

国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外
建築主体工事

実施設計図

株式会社 K R C

国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事

図面番号	工事種別	図面名称	縮尺 (A1/A3)	図面番号	工事種別	図面名称	縮尺 (A1/A3)	図面番号	工事種別	図面名称	縮尺 (A1/A3)	図面番号	工事種別	図面名称	縮尺 (A1/A3)
000 共通				100 クラブハウス				200 スタンド				300 トイレ			
A- 001	意 匠	特記仕様書（１）〔木造〕	NON	A- 101	意 匠	クラブハウス 配置図	1：200/1：400	A- 201	意 匠	スタンド 配置図	1：200/1：400	A- 301	意匠・構造	トイレ 配置図・面積表〔トイレ１〕	1：100/1：200
A- 002		特記仕様書（２）〔木造〕	NON	A- 102		クラブハウス 求積図・面積表	1：200/1：400	A- 202		スタンド 求積図・面積表（１）	1：150/1：300	A- 302		トイレ 配置図・面積表〔トイレ２〕	1：100/1：200
A- 003		特記仕様書（３）〔木造〕	NON	A- 103		クラブハウス 仕上表	NON	A- 203		スタンド 求積図・面積表（２）	1：150/1：300	A- 303		トイレ 仕上表・求積図〔共通〕	1： 50/1：100
A- 004		特記仕様書（４）〔木造〕	NON	A- 104		クラブハウス 平面図	1：100/1：200	A- 204		スタンド 仕上表	NON	A- 304		トイレ 平面詳細図・屋根伏図〔共通〕	1： 50/1：100
A- 005		特記仕様書（５）〔木造〕	NON	A- 105		クラブハウス 屋根伏図	1：100/1：200	A- 205		スタンド 平面図	1：150/1：300	A- 305		トイレ 立面図〔トイレ１〕	1： 50/1：100
A- 006		特記仕様書（６）〔木造〕	NON	A- 106		クラブハウス 立面図	1：100/1：200	A- 206		スタンド 屋根伏図	1：150/1：300	A- 306		トイレ 立面図〔トイレ２〕	1： 50/1：100
A- 007		特記仕様書（７）〔木造〕	NON	A- 107		クラブハウス 矩計図（１）	1： 30/1： 60	A- 207		スタンド 立面図	1：150/1：300	A- 307		トイレ 矩計図〔トイレ１〕	1： 30/1： 60
A- 008		特記仕様書（１）〔非木造〕	NON	A- 108		クラブハウス 矩計図（２）	1： 30/1： 60	A- 208		スタンド 矩計図（１）	1： 30/1： 60	A- 308		トイレ 矩計図〔トイレ２〕	1： 30/1： 60
A- 009		特記仕様書（２）〔非木造〕	NON	A- 109		クラブハウス 矩計図（３）	1： 30/1： 60	A- 209		スタンド 矩計図（２）	1： 30/1： 60	A- 309		トイレ 部分詳細図（１）〔共通〕	1：10/1： 20
A- 010		特記仕様書（３）〔非木造〕	NON	A- 110		クラブハウス 矩計図（４）	1： 30/1： 60	A- 210		スタンド 矩計図（３）	1： 30/1： 60	A- 310		トイレ 部分詳細図（２）〔共通〕	1：10/1： 20
A- 011		特記仕様書（４）〔非木造〕	NON	A- 111		クラブハウス 矩計図（５）	1： 30/1： 60	A- 211		スタンド 矩計図（４）	1： 30/1： 60	A- 311		トイレ 展開図〔共通〕	1： 50/1：100
A- 012		特記仕様書（５）〔非木造〕	NON	A- 112		クラブハウス 矩計図（６）	1： 30/1： 60	A- 212		スタンド 矩計図（５）	1： 30/1： 60	A- 312		トイレ ビット図・天井伏図〔共通〕	1： 50/1：100
A- 013		特記仕様書（６）〔非木造〕	NON	A- 113		クラブハウス 矩計図（７）	1： 30/1： 60	A- 213		スタンド 矩計図（６）	1： 30/1： 60	A- 313		トイレ 建具キープラン・建具表〔共通〕	1： 50/1：100
A- 014		特記仕様書（７）〔非木造〕	NON	A- 114		クラブハウス 矩計図（８）	1： 30/1： 60	A- 214		スタンド 平面詳細図（１）	1： 50/1：100	A- 314		トイレ 床伏図・土台伏図〔共通〕	1： 50/1：100
				A- 115		クラブハウス 平面詳細図（１）	1： 50/1：100	A- 215		スタンド 平面詳細図（２）	1： 50/1：100	A- 315		トイレ 梁伏図・小屋伏図〔共通〕	1： 50/1：100
S- 001	構 造	構造特記仕様書〔木造〕	NON	A- 116		クラブハウス 平面詳細図（２）	1： 50/1：100	A- 216		スタンド 平面詳細図（３）	1： 50/1：100	A- 316		トイレ 基礎詳細図〔トイレ１〕	1： 50/1：100
S- 002		構造特記仕様書（１）〔非木造〕	NON	A- 117		クラブハウス 平面詳細図（３）	1： 50/1：100	A- 217		スタンド 平面詳細図（４）	1： 50/1：100	A- 317		トイレ 基礎詳細図〔トイレ２〕	1： 50/1：100
S- 003		構造特記仕様書（２）〔非木造〕	NON	A- 118		クラブハウス 部分詳細図（１）	1： 10/1： 20 1： 5/1： 10	A- 218		スタンド 部分詳細図（１）	1： 10/1： 20 1： 5/1： 10	A- 318		トイレ 壁量計算表〔共通〕	NON
S- 004		鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）	NON	A- 119		クラブハウス 部分詳細図（２）	1： 10/1： 20 1： 5/1： 10	A- 219		スタンド 部分詳細図（２）	1：10/1： 20				
S- 005		鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）	NON	A- 120		クラブハウス 部分詳細図（３）	1： 10/1： 20 1： 5/1： 10	A- 220		スタンド 部分詳細図（３）	1：10/1： 20				
S- 006		鉄骨構造標準図（１）	NON	A- 121		クラブハウス 部分詳細図（４）	1： 10/1： 20 1： 5/1： 10	A- 221		スタンド 部分詳細図（４）	1： 20/1： 40				
S- 007		鉄骨構造標準図（２）	NON	A- 122		クラブハウス 部分詳細図（５）	1： 20/1： 40 1：10/1： 20	A- 222		スタンド 建具キープラン・建具表	1： 50/1：100	400 付属棟			
S- 008		木構造標準図（１）	NON	A- 123		クラブハウス 展開図（１）	1： 50/1：100	A- 223		スタンド 法規チェック図（１）	1：150/1：300	A- 401	意匠・構造	倉庫 配置図・面積表	1：100/1：200
S- 009		木構造標準図（２）	NON	A- 124		クラブハウス 展開図（２）	1： 50/1：100	A- 224		スタンド 法規チェック図（２）	1：150/1：300	A- 402		倉庫 平面図・立面図・断面図	1： 50/1：100 1：100/1：200
S- 010		木構造標準図（３）	NON	A- 125		クラブハウス 展開図（３）	1： 50/1：100					A- 403		倉庫 矩計図・建具表	1： 50/1：100 1： 30/1： 60
S- 011		木構造標準図（４）	NON	A- 126		クラブハウス 展開図（４）	1： 50/1：100	S- 201	構 造	スタンド 構造設計標準仕様	NON	A- 404		倉庫 構造図	1：100/1：200 1： 30/1： 60
				A- 127		クラブハウス 展開図（５）	1： 50/1：100	S- 202		スタンド 地盤改良工法仕様書	NON	A- 405		シェルター 配置図・面積表	1：100/1：200
共- 001	共 通	工事区分表	NON	A- 128		クラブハウス 展開図（６）	1： 50/1：100	S- 203		スタンド 柱状図	NON	A- 406		シェルター 詳細図	1： 50/1：100
共- 002		案内図	NON	A- 129		クラブハウス 展開図（７）	1： 50/1：100	S- 204		スタンド ハイベース標準図（１）	NON	A- 407		四阿 配置図・面積表	1：100/1：200
共- 003		全体配置図	1：800/1：1600	A- 130		クラブハウス 天井伏図	1：100/1：200	S- 205		スタンド ハイベース標準図（２）	NON	A- 408		四阿 詳細図	1： 50/1：100
共- 004		敷地求積図	1：800/1：1600	A- 131		クラブハウス ビット図	1： 50/1：100	S- 206		スタンド 地盤改良伏図・基礎リスト	1：150/1：300 1： 30/1： 60				
共- 005		仮設計画図（１）	1：800/1：1600	A- 132		クラブハウス 建具キープラン	1：100/1：200	S- 207		スタンド 基礎伏図・梁伏図	1：150/1：300				
共- 006		仮設計画図（２）	1：800/1：1600	A- 133		クラブハウス 建具表（１）	1： 50/1：100	S- 208		スタンド 軸組図	1：150/1：300				
				A- 134		クラブハウス 建具表（２）	1： 50/1：100	S- 209		スタンド ＲＣ配筋詳細図・雑配筋詳細図	1： 30/1： 60				
				A- 135		クラブハウス 建具表（３）	1： 50/1：100	S- 210		スタンド ＲＣ部材リスト	1： 30/1： 60				
				A- 136		クラブハウス サインキープラン	1：100/1：200	S- 211		スタンド 鉄骨詳細図・部材リスト	1： 30/1： 60				
				A- 137		クラブハウス サイン詳細図（１）	NON								
				A- 138		クラブハウス サイン詳細図（２）	NON								
				A- 139		クラブハウス 雨水設備平面図	1：100/1：200								
				A- 140		クラブハウス 外構詳細図	1： 20/1： 40								
				A- 141		クラブハウス 法規チェック図	1：100/1：200								
				S- 101	構 造	クラブハウス 木構造標準仕様	NON								
				S- 102		クラブハウス 地盤改良工法仕様書	NON								
				S- 103		クラブハウス 柱状図	NON								
				S- 104		クラブハウス 基礎伏図	1：100/1：200								
				S- 105		クラブハウス 基礎配筋図	1： 50/1：100 1： 30/1： 60								
				S- 106		クラブハウス 地盤改良伏図	1：100/1：200								
				S- 107		クラブハウス 土台伏図	1：100/1：200								
				S- 108		クラブハウス 梁伏図	1：100/1：200								
				S- 109		クラブハウス 梁伏図（金物伏図）	1：100/1：200								
				S- 110		クラブハウス 母屋伏図	1：100/1：200								
				S- 111		クラブハウス 軸組図（１）	1：100/1：200								
				S- 112		クラブハウス 軸組図（２）	1：100/1：200								

国補

南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体

工事設計図

仕 様 書

※ 本特記仕様書は、木造の建築物に適用する。

Ⅰ 工事概要

1. 工事場所

長野市篠ノ井東福寺 南長野運動公園

2. 工事種目

	建 物 名	構 造	階 数	延床面積	備 考
1	クラブハウス	木 造	平屋建て	929.13㎡	
2	トイレ1	木 造	平屋建て	44.89㎡	
3	トイレ2	木 造	平屋建て	44.89㎡	

3. 工事範囲

※「2. 工事種目」すべてを工事範囲とする。

・「2. 工事種目」のうち 工事範囲は下記表のとおりとする。

ただし、他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。

2 仮 設 工 事	
3-1 土 工 事	
3-2 地 業 工 事	
3-3 基 礎 工 事	
4 木 造 工 事	
5 軸組構法（壁構造系）工事	
6 軸組構法（軸構造系）工事	
7 枠組壁工法工事	
8 丸太組構法工事	
9 C L T パネル工法工事	
10 木 工 事	
11 防 水 工 事	
12 石 工 事	
13 タ イ ル 工 事	
14 屋根及びとい工事	
15 金 風 工 事	
16 左 官 工 事	
17 建 具 工 事	
18 塗 装 工 事	
19 内 装 工 事	
20 断熱・防露、ユニット工事	
21 排 水 工 事	
22 舗 装 工 事	
23 植 栽 工 事	

Ⅱ 建築工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて長野市建設工事共通仕様書による。

(2) (1) 及び国土交通省大臣官庁官庁営繕部制定の「公共建築木造工事標準仕様書 令和7年版」(以下、「木造標仕」という。) により、木造標仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」(以下「標仕」という。) による。

(3) 木造標仕で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法を明示している場合において、それらが関係法令等（条例を含む）に抵触する場合には、関係法令等の遵守（1.1.13）の規定を優先する。

なお、関係法令を遵守する場合は具体的な対応策について監督職員と協議すること。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 本工事は特記あるものを除き、長野市契約規則及び工事請負契約書の記載事項による。

(4) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、木造標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(5) 特記事項に記載の〔 ）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(6) ㊥印は「図等による環境物品等の調達等に関する法律」（以下「グリーン購入法」という。) の特定調達品目を示す。なお、特定調達品目否かの判断基準は監督職員との協議による。

(7) 長野市環境方針について

工事にあたっては、長野市環境方針（最新版）を充分に配慮し、設計書及び標準仕様書はもとより、環境に配慮した材料の仕様、廃棄物の発生抑制、アイドリングストップや省エネ重視の使用による省エネルギーの推進、低公害工率機材の使用、工事従業者への教育など、施工にあたって細心の注意を払うことにより、工事の環境への影響を極力少なくするよう配慮すること。なお、具体的な計画を、施工計画書に記載し実践するものとする。

また、循環型社会の構築への取り組みとして、リサイクル促進の観点から「長野市溶融スラグ入りコンクリート二次製品利用基準」に基づき、溶融スラグ入りコンクリート二次製品の積極的な利用に努めること。

(8) 長野市公契約等基本条例に関する事項

受注者等は、法令を遵守するとともに、次に掲げる取組その他長野市公契約等基本条例第3条の基本理念に基づく必要な取組を行ない、公契約等を適正に履行するよう努めなければならない。

1) 長野市公契約等基本条例の内容について、労働者等へ周知するとともに、事務所（作業所）等へポスターを掲示すること。

2) 業務の一部を下請負者等に履行させるときは、長野市公契約等基本条例の内容について説明し、各々の対等な立場における合意に基づいて適正に契約を締結すること。

○ 長野市公契約等労働環境報告書 1 部及び施工体系図（共通仕様書に定められたもの）の写し 1 部を契約後速やかに監督職員へ提出すること。この場合、業務の一部を下請負者等に履行させるときは、下請負者等の労働環境報告書を取りまとめて提出すること。

(9) 本工事における必要な諸手続等は原則として受注者において行うこと。

(10) 工事の着手前に工事概要等を近隣住民等に周知するなど、理解協力を求めること。

また、工事車両の通行による道路の損傷には十分留意し、損傷が発生した場合は、道路管理者と協議のうえ受注者の責任において速やかに修復すること。

(11) 工事区域外に土砂等を散乱することがないように注意すること。また、道路を汚した場合は速やかに清掃すること。

(12) 作業時間、作業日、騒音振動等については、近隣住民に配慮し、関係法令を遵守することとし、事前に監督職員と協議のうえ、工事内容、施工条件等考慮して決めること。特に建設法、建設リサイクル法には留意すること。

(13) 施設用途を十分に理解し、転倒防止、落下防止、衝突防止、足掛かり、指路の確保、面取り等に配慮し、図示なくとも施工段階で考慮し安全性の高い施設になるよう努めること。

(14) 諸材料については必要に応じ見本品または現品を提出し、監督職員の承諾を受け使用のこと。

ただし、JIS規格合格品等で監督職員がそれを確認できた場合はこの限りではない。

(15) 施工上必要な箇所は、監督職員の指示により適切な材料をもって養生を施し、急硬急乾剥離破壊の防止をする。

(16) 施工するにあたり建築、電気設備、機械設備等の取合いを十分に検討すること。

(17) 施工期間中の降雨等の排水については、任意仮設により水処理を行うこと。

(18) 施工にあたり、必要最小限の樹木の枝打ち伐採は工事に含む。（監督職員と協議、承諾のうえとする）

(19) 工事完了後検査不可能箇所の施工にあたっては、必要に応じ監督職員の立会いのもとに施工のこと。

(20) 工事完了後は速やかに工事現場内外の清掃、後片付け及び損傷箇所の復旧修繕をし、監督職員の確認を受けること。

(21) 上記各事項に要する諸経費は全て受注者において負担する。

(22) 工事しゅん工引渡し後特記あるものを除き、工事の施工に起因した不具合が生じた場合は、木造建物及び工作物 1 年間（受注者の故意または重大な過失による場合、5 年間）以内に期日をもって補修工事をし、市建築課係員の検査を受けること。

23) 暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置について

1) 長野市が発注する建設工事(以下「発注工事」という。)において、暴力団員等による不当要求又は工事妨害(以下「不当介入」という。)を受けた場合は、断固としてこれを拒否すること。また、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。

2) 上記により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により発注者に報告すること。

3) 発注工事において、暴力団員等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

(24) 過去の工事における瑕疵等を発見した場合は速やかに監督職員に報告すること。

技能士

15 見本施工の実施

16 化学物質の濃度測定

17 技術検査

18 完成図等

19 電子納品に関する事項（試行）

20 情報共有システム

21 完成写真

25 工事数量総括表

適用工事種別

仮設工事

鉄筋工事

コンクリート工事

鉄骨工事

コンクリート・ブロック・ALC・鉄押出成形材・板工事

防水工事

石工事

タイル工事

木工事

屋根及びとい工事

金風工事

左官工事

建具工事

塗装工事

内装工事

排水工事

舗装工事

植栽工事

技 能 検 定 作 業

○とび作業

○鉄筋組立作業

○鉄骨組立作業

○コンクリート圧送工事作業

○構造物鉄工作業

・コンクリートブロック工事作業

・エーモルシーパネル工事作業

・70kg系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業

・強化ビニルシート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業

○シーリング防水工事作業 ○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業

・FRP防水工事作業

・石張り作業

○タイル張り作業

○大工工事作業

○内外装板金作業 ・スレート工事作業 ・瓦葺き作業

○鋼製下地工事作業 ・内外装板金作業

○左官作業

○ビル用サッシ施工作業 ○ガラス工事作業 ○自動ドア施工作業

○建築塗装作業

・プラスチック系床仕上げ工事作業 ○カーペット系床仕上げ工事作業

・木質系床仕上げ工事作業 ○ボード仕上げ工事作業 ○壁装作業

○建築配管作業

・溶融ヘイワッド・マーカ工事作業 ・加熱ヘイワッド・マーカ工事作業

・造園工事作業

15 見本施工の実施

・実施する ・実施しない

16 化学物質の濃度測定

設計書の仕様のみならず、VOC等濃度を下げる施工方法を提案し、かつ、しゅん工前に「厚生労働省が定める室内温度に関する指針値」によるVOC測定（対象物：ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼン、スチレン）を行い、指針値以下であることを確認する。また、測定により指針値を超えた場合、監督職員との協議により必要な措置（強制換気等による対象物質の放散法、VOC等の吸収、分解法、工期の延期及び再検査等）を講ずるものとする。

測定結果について、測定時の室温を記載した報告書を監督職員に提出すること。

測定はアクティブ方式にて行う。

着工前の測定 ※ 行わない ・ 行う

測定対象室：多目的室A・B、ロッカールームD・F、管理事務室、医務室、審判員控室

測定箇所数：7箇所

中間技術検査 ・ 行わない

※ 行う（※建て方完了時 ・ ）

※ 行う（長野市建設工事中間検査実施要領第3（契約金額5000万以上））

17 技術検査

・ 行わない

18 完成図等

※ 作成する

様式等	作成方法	部数	備考
建築主体原図	CADデータ	1	
総合版製本	見開きA1製本		
	見開きA3製本	3	

※ 製本については、白焼きとし、背表紙に年度と工事名、表紙に年度、工事名、設計者名、工事監理者名、施工者名、工期しゅん工日を印刷する。

※ 電気設備工事、機械設備工事等が別途発注されている場合は総合版で提出すること。

※ CADデータの提出は、D2にJww形式（SXF対応拡張線色・線種）で保存したものを1部提出する。

保全に関する資料

※ 作成する 提出部数2部

なお、「建築物等の利用に関する説明書」は、建築物等の利用に関する説明書作成の手引き（国土交通省大臣官庁官庁営繕部計画課保全指導室）を参考に、保全に関する事項について作成すること。

19 電子納品に関する事項（試行）

※適用する ・ 適用しない（国庫補助事業による工事）

竣工書類の電子納品について、受注者が電子媒体の提出を希望し、発注者（長野市の工事担当課）がこれを認めた場合に適用する。

電子納品は「工事書類の電子納品に関する運用の手引き」に基づくものとする（図面関係、写真関係のみ）。なお、電子納品における書類の作成費用等は工事費の諸経費（共通仮設費の率分）に含まれ、検査に要する費用においても受注者の負担とする。

20 情報共有システム

本工事は、情報共有システムを利用できる工事である。利用にあたっては、長野市情報共有システム実施要領により行う。

利用するシステムは「長野市情報共有システム機能仕様書」を満たすものから受注者が選択し、事前に監督員の承諾を受けけるものとする。

情報共有システム利用に要する費用（登録料及び利用料）は、共通仮設費の積み上げによる算定とし、設計変更により対応する。

21 完成写真

○作成する ・ 作成しない

下記のことを監督職員に提出する。ただし、原画は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原画の大きさ（mm）
※カラー ・ ※2判 ・ ※2判	外部（27）内部（32）	※1	※100×125以上
・ カラー半切木製パネル 324×400（mm）	外部（ ）内部（ ）	※2	・
※電子データ（78dpi・+24bit）	外部（27）内部（32）	※1	※428万画素以上 350 dpi以上

電子データは、RGB各8ビット（フルカラー）、JPEG形式最高画質としDPIにて提出する。

撮影業者は監督職員の承諾する撮影業者（建築完成写真撮影の実績のある業者）とする。

22 設備工事との取合い

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

23 設計GL

※ 図示 ・ 設計GL= 現状GL

24 工事写真

・「営繕工事電子納品要領（令和3年改定）」による

・着工前状況及び完成後の工事写真について電子データで1部提出すること。

25 工事数量総括表

・有り ・なし

2 仮設工事

① 足場その他

2 監督職員事務所

③ 工事用水

④ 工事用電力

⑤ 交通誘導員

3 土・地業・基礎工事

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3 山留め

4 木造工事

① 材料

足場を設ける場合、「横仕」2.2.4 (b) によるほか、設置においては、「手すり先行工法」による足場の組立て等に関する基準」における2の(1)手すり設置方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行うこと。(2.2.4)

・設ける () m程度 ※設けない (2.3.1)

設ける備品 (机、椅子、書棚、行事予定表、長靴、雨合羽、懐中電灯、安全帯、更衣ロッカー、時計、事務用品、約4台・ド、冷暖房、冷蔵庫、電話、インターネット回線、プリンター、コピー機)

構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる (※ 有償 ・ 無償)

構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる (※ 有償 ・ 無償)

※ 配置する (延べ 280 人) ・配置しない

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3 山留め

① 材料

使用する材料は図示及び特記による指定並びに木造標仕各章の規定による。

※ 信州木材認証製品又は同等品(長野市産材)を極力使用すること

・

材料のホルムアルデヒド放散量

※ 木造標仕 4.2.1(2)による

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3 山留め

① 材料

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3 山留め

① 材料

国補

南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体

工事設計図

特記仕様書（1）〔木造〕

令和7年度

縮尺NON

図面番号A-001

株式会社 KRC

一級建築士事務所 長野県知事登録 第75251号

一級建築士 第293052号 渡利 真二

2	構造用面材	JAS 0600Iに基づく甲種たて継ぎ材（※下表による（寸法は図示） ・図示）	施工部位	樹種名又は樹種群	寸法型式名	備考
		・	パイン	・206・212		
		JAS 0600Iに基づく乙種たて継ぎ材（※下表による（寸法は図示） ・図示）				
		施工部位	樹種名又は樹種群	寸法型式名	備考	
		・	パイン	・203・204		
		JAS 0600Iに基づくMSRたて継ぎ材（※下表による（寸法は図示） ・図示）				
		施工部位	樹種名又は樹種群	寸法型式名	備考	
		・	パイン			
		下地用製材				（4.2.2(4)）
		JAS 1083-5Iに基づく下地用製材（※下表による（寸法は図示） ・図示）				
施工部位	樹種名	等級	含水率	備考		
・	桧	・1級・2級	・D15・D20			
・	杉					
集成材					（4.2.2(5)）	
JAS 1152Iに基づく構造用集成材（※下表による（寸法は図示） ○図示）						
施工部位	樹種名	品名	強度等級 (曲げ性能)	材面の品質	接合性能 (使用環境)	保存処理 (性能区分)
通し柱	最外層 中間層	・異等級構成集成材	・	・1種	・A	・K3
梁		・同一等級構成集成材		・2種	・B	
間柱				・3種	・C	
JAS 1152Iに基づく化粧ばり構造用集成材（※下表による（寸法は図示） ・図示）						
施工部位	樹種名	化粧薄板	曲げヤング係数	曲げ強さ	見付材面の化粧面数	備考
通し柱	芯材					
梁						
間柱						
構造用単板積層材					（4.2.2(6)）	
JAS 0701Iに基づく構造用単板積層材						
・A種構造用単板積層材						
・B種構造用単板積層材						
施工部位	接合性能 (使用環境)	樹種名	曲げヤング係数区分	曲げ性能等級 (A種構造用単板積層材のみ)	水平せん断区分	保存処理 (性能区分)
・	・A ・B ・C		・	・特級・1級・2級	・	・
・						
直交集成板					（4.2.2(7)）	
JAS 3079Iに基づく直交集成板（※下表による（寸法は図示） ・図示）						
施工部位	品名	樹種名	強度等級 (曲げ性能)	種別	ラミナの等級区分 （ラミナの樹種群等級）	接合性能 (使用環境)
・	・異等級構成直交集成板 ・同一等級構成直交集成板	・	・	・A種構成 ・B種構成	・	・A ・B ・C
・						
丸太材					（4.2.2(8)）	
施工部位	樹種名	寸法 (mm)	含水率	末口径 (mm)		
・	・	・	・20％以下	・		
・						
・加工前に縦振動ヤング係数を測定する施工部位（対象部材：）						
木質接着成形軸材 木質複合軸材料					（4.2.2(9)）	
形状、寸法 ※図示 ・（）						
含水率（％）						
構造用面材					（4.2.2(10)）	
JIS A 5905Iに基づくMDF						
施工部位	普通、構造用MDFの区分	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ (mm)	難燃性による区分
・	・普通MDF ・構造用MDF	・無研磨板 ・研磨板 ・塗装 ・単板オーバーレイ ・プラスチックオーバーレイ	・30タイプ ・25タイプ ・15タイプ ・5タイプ	・耐水1 (Mタイプ) ・耐水2 (Pタイプ)	・	・難燃2級 ・難燃3級
・						
JAS 0233Iに基づく構造用合板						
施工部位	品名	強度等級 曲げ性能	接合の程度	厚さ (mm)	板面の品質	単板の樹種名
・	・構造用合板 ・構造用合板(防虫処理) ・構造用合板(さね加工)	・1級 ・2級	・特類 ・1類	・	・C-D	・
・	・	・	・	・	・	・
JAS 0233Iに基づく化粧ばり構造用合板						
施工部位	品名	強度等級 曲げ性能	接合の程度	厚さ (mm)	板面の品質	単板の樹種名
・	・化粧ばり構造用合板 ・化粧ばり構造用合板(防虫処理) ・化粧ばり構造用合板(さね加工)	・1級 ・2級 ・3級 ・4級	・特類 ・1類	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・
JAS 0360Iに基づく構造用パネル						
施工部位	厚さ (mm)	曲げ性能等級 (常態曲げ試験)	曲げ性能等級 (湿潤曲げ試験)			
・	・	・1級・2級・3級・4級	・1級・2級・3級・4級			
・	・		・			
JIS A 5908Iに基づくパーティクルボード						
施工部位	種類	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ (mm)	
・	・	・無研磨板 ・研磨板	・13タイプ ・18タイプ	・耐水1 (Mタイプ) ・耐水2 (Pタイプ)	・	
・	・	・	・	・	・	
JIS A 5905Iに基づくハードファイバーボード						
施工部位	種類	難燃性による区分	厚さ (mm)			
・	・スタンダードボード(無処理) ・テンバードボード(処理)	・2級 ・3級	・			
・	・素地ハードボード ・無研磨板・研磨板 ・内装用化粧ハードボード ・曲げ強さによる区分 ・35タイプ	・素地ハードボード ・無研磨板・研磨板 ・外装用化粧ハードボード ・曲げ強さによる区分 ・45タイプ・35タイプ	・2級 ・3級	・		
・	・	・	・	・	・	
JIS A 5404Iに基づく硬質木片セメント板						
施工部位	断面形状	重ねしろの有無	厚さ (mm)			
・	・平板 ・凹凸板	・有り ・無し	・			
・	・	・	・			
JIS A 6901Iに基づく石こうボード						
施工部位	種類	厚さ (mm)				
・	・構造用せっこうボード (GB-St-A)	・				
・	・構造用せっこうボード (GB-St-B)	・				
・	・せっこうボード (GB-R)	・				
・	・強化せっこうボード (GB-F)	・				
・	・せっこうラスボード (GB-L)	・				
・	・	・				
JIS A 5905Iに基づくシーシングボード						
施工部位	厚さ (mm)					
・	・12・15・18					
・	・					
JIS A 5524Iに基づくラスシート						
施工部位	ラス目による区分	山高、山ピッチ、質量及び溶接ピッチによる区分	板厚 (mm)			
・	・	・LS1・LS2・LS3・LS4	・			
・	・	・	・			
JIS A 5430Iに基づくフレキシブル板						
施工部位	厚さ (mm)					
・	・6・8					
・	・					
JIS A 5440Iに基づく火山性ガラス質複層板 (VSボード)						
施工部位	密度による区分 (g/cm3)	曲げ強度 (N/mm2)	厚さ (mm)			
・	・0.6以上 0.8未満 ・0.8以上	・11.5以上	・			
・	・	・	・			
木質断熱複合パネル 木質接着複合パネル						
施工部位	形状	厚さ (mm)	含水率			
・	・	・	・			
・	・	・	・			
接合金物					（4.2.7）	
施工部位及び接合金物名称、記号、寸法は図示による						
接合金物規格	○Zマーク表示金物 ・Mマーク表示金物 ○Dマーク表示金物	○Cマーク表示金物 ・Xマーク表示金物 ○Sマーク表示金物				
屋外環境下での使用金物 ○溶融亜鉛めっき製 ・鋼板製 ・ステンレス製						
接合具等						
釘、木ねじ、特殊ねじ						
使用部位	種類	記号	規格	表面処理	備考	
・せっこうボード耐力壁	せっこうボード用釘	PW	大臣認定品			
・構造用合板耐力壁		GNF	JIS A 5508			
・床下地	普通鉄丸釘	N				
○屋根下地	太め鉄丸釘	CN	JIS A 5508	※鉄・SUS		
・火打ち土台	シーシングボード用釘	SN				
○間柱	太め釘	ZN				
○接合金物	太め釘	ZN	日本住宅			
	平釘	ZF	木材技術	JIS H 8641	Znめ表示	
	スクリュー釘	ZS	ビス規格			
ボルト、アンカーボルト、ナット及び産金						
ボルト、ナットはJIS B 1180、JIS B 1181による引張り応力を受けるボルトに用いる産金						
○A種 ○B種 ○C種 ・D種 ・E種 ・F種 ・G種						
せん断応力を受けるボルトに用いる産金						
○H種 ・I種 ・J種 ・K種 ・L種						
ラグスクリューの材質、形状、寸法 ※図示 ・（）						
ドリフトピンの径、寸法 ※図示 ・（）						
木栓及びダボの樹種、形状、長さ ※図示 ・（）						
接着剤						
床鳴り防止用接着剤の適用 ・適用する ・適用しない						
床鳴り防止用接着剤の種類 ※図示 ・（一般用・構造用Ⅰ類・構造用Ⅱ類）						
接着剤併用接合の適用 ・適用する（部位 ※図示 ・適用しない）						
併用接着剤の種類 ※図示 ・（床根太用接着剤 JIS A 5550）						
輪型ジベル接合、圧入型ジベル接合						
施工部位	種類	材質、形状、寸法等				
・	・	・				
・	・	・				

5	軸組構法（壁構造系）工事	① 木材の加工	現寸図	（5.4.2）（6.4.2）		
			床書き現寸図の作成			
			・ 行う ○行わない			
		孔あけ加工	ボルトの径に加える木のボルト孔の大きさ	（5.4.6）（6.4.6）		
			※ 表5.4.2又は表6.4.2による ・（）			
			ドリフトピンの孔径	・（）		
		表面仕上げ	見え掛り面の仕上げの程度	（5.4.7）（6.4.7）		
			○機械加工			
			施工部位（適用部材）	仕上の程度		
		○見え掛り部	※プレーナー加工仕上			
			・超自動機械かんな掛け仕上げ			
			・サンダー掛け仕上げ			
		・手加工				
			施工部位（適用部材）	仕上の程度		
			・	・		
		見え掛り面の表面保護	工事現場搬入前の木材保護塗料塗り	〔18.12.2〕〔表18.12.1〕		
			・ 行う（※標仕18章12節 木材保護塗料塗り（WP） ・（）			
			施工部位（適用部材）	種別		
		・	・A種 ・B種			
			アンカーボルトの設置等		（5.5.3）（表5.5.1）（6.5.3）（表6.5.1）	
			施工部位	埋込み深さ (mm)	保持及び埋込み工法	埋込み位置の許容誤差
		○土台	○図示による	・A種 ○B種	※±5mm	
			・	・	・	
			基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ		（5.5.4）（表5.5.2）（6.5.4）（表6.5.2）	
		施工部位	無収縮モルタル	モルタルの厚さ (mm)	柱底均しモルタルの工法	
			・	・適用する ・適用しない	・図示による ・	・A種 ※B種
			・	・	・	・
		建方精度	建入れ直し後の水平、垂直の誤差の範囲	（5.5.7）（6.5.7）		
			※ 1/1000以下 ・			
			国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体 工事設計図		特記仕様書（2）〔木造〕	令和7年度

株式会社 KRC	一級建築士事務所 長野県知事登録 H第7251号	一級建築士 第293052号 渡利 真二
----------	--------------------------	----------------------

8	1 材料	接合金物、接合具 だぼの適用 ・木だぼは、(4.2.7(2)(i)(e))材料による ・鋼製だぼは、木造標仕8.2.4(7)(b)による ・ラグスクリュードぼ ・Zマーク表示金物だぼ ・Zマーク表示金物以外のだぼは、図示による	(8.2.4)
	2 木材の加工	丸太組壁用木材の表面仕上げ 見え掛り面の仕上げの程度 ・機械加工 施工部位（適用部材） ・ ・ ・手加工 施工部位（適用部材） ・ ・斜めから光線を当て、さか目、かななまくれが全くないもの ・さか目、かななまくれがほとんどないもの ・多少のさか目、かななまくれを許容するが、のこ目が見えないもの ・ちよな仕上げ	(8.4.5)
		見え掛り面の表面保護 工事現場搬入前の木材保護塗料塗り ・行う（※標仕18章12節 木材保護塗料塗り（NP） 施工部位（適用部材） ・ ・A種 ・B種	[18.12.2][表18.12.1]
		丸太組壁の仮組立 ・行う ・行わない 手加工による丸太組壁加工材の場合は仮組立てを行う	(8.4.9)
	3 搬入及び建方	アンカーボルトの設置等 施工部位 埋込み深さ（mm） 保持及び埋込み工法 埋込み位置の許容誤差 ・ ・図示による ・A種 ・B種 ※±5mm ・ ・ ・ ・	(8.5.3)
		基礎天端均しモルタルの仕上げ 施工部位 埋込み深さ（mm） モルタルの厚さ（mm） ・ ・適用する ・適用しない ・図示による ・ ・ ・	(8.5.4)

9	1 木材の加工	孔あけ加工 ボルトの径に加える木のボルト孔の大きさ ※ 表9.4.1による ・（ ドリフトピンの孔径 ※ ピン軸径と同径 ・（ 引きボルトの孔径 ※ 軸径+5～10mm ・（	(9.4.4)
		表面仕上げ 見え掛り面の仕上げの程度 ・機械加工 施工部位（適用部材） ・ ※プレーナー加工仕上 ・超自動機械かんな掛け仕上げ ・サンダー掛け仕上げ ・ ・	(9.4.5)
		見え掛り面の表面保護 工事現場搬入前の木材保護塗料塗り ・行う（※標仕18章12節 木材保護塗料塗り（NP） 施工部位（適用部材） ・ ・A種 ・B種	[18.12.2][表18.12.1]
	2 搬入及び建方	アンカーボルトの設置等 施工部位 埋込深さ 保持及び埋込み工法 埋込み位置の許容誤差 ・GLT用アンカーボルト ・図示による ・A種 ・B種 ・ ・土台用アンカーボルト ・図示による ・A種 ・B種 ※±5mm ・ ・	
		基礎天端均しモルタルの仕上げ 施工部位 無収縮モルタル モルタルの厚さ（mm） ・ ・適用する ・適用しない ・図示による ・ ・	(9.5.4)
		建方精度 建入れ直し後の水平、垂直の誤差の許容値 ※ 1/1000以下 建入れ直し後の床の天端及び壁の天端の平坦さ ※ ±3mm以下 ・ ・	(9.5.7)

10	① 表面仕上げ	見え掛り面の仕上げの程度 ○機械加工 施工部位（適用部材） ○見え掛かり部 ・ ・手加工（ ・	(10.1.4)
	② 木材 ㊦	木材の品質 ※信州木材認証製品又は同等品（長野県産材） ○木造標仕 10.2.1 ・市販品 製材 種 別 施工部位 樹種名 寸法 等級（材面の品質） 含水率 ○下地用製材 図示 図示 ※図示 ・1級 ※2級 ※A種・B種 ○造作用製材 図示 図示 ※図示 ・上小節 ※小節以上・並 ※A種・B種 ・広葉樹製材 ・ ・ ※図示 ・特等 ※1等 ・2等 ※10%以下・ ・JAS1038以外の製材 ・ ※図示 ※A種 ・B種 ※A種・B種	(10.2.1(2))
	③ 集成材等 ㊧	造作用集成材等 種 別 施工部位 品名 樹種・見付材面の品質 化粧薄板の厚さ等 寸法 ○造作用集成材 見切材・枠 ・ カラマツ 一等 ※図示 ・化粧ばり造作用集成材 ・ ※図示(A- 図) ※図示 ・JAS以外の造作用集成材 ・ ※図示(A- 図) ※図示 ・JAS以外の化粧ばり造作用集成材 ・ ※図示(A- 図) ※図示	(10.2.1(3))
		造作用単板積層材 施工部位 品名 表面の化粧加工 防虫処理 寸法（mm） ・ ・ ・1等 ・2等 ・3等 ・有リ ・天然木化粧加工 ・行方 ・行わない ・塗装加工	(10.2.1(4))
		直交集成板 施工部位 品名 強度等級 接着性能 樹種名 ラミナの構成・等級 寸法（mm） ・ ・ ・A・B・C ※図示(A- 図) ※図示	(10.2.1(5))

9	1 木材の加工	孔あけ加工 ボルトの径に加える木のボルト孔の大きさ ※ 表9.4.1による ・（ ドリフトピンの孔径 ※ ピン軸径と同径 ・（ 引きボルトの孔径 ※ 軸径+5～10mm ・（	(9.4.4)
		表面仕上げ 見え掛り面の仕上げの程度 ・機械加工 施工部位（適用部材） ・ ※プレーナー加工仕上 ・超自動機械かんな掛け仕上げ ・サンダー掛け仕上げ ・ ・	(9.4.5)
		見え掛り面の表面保護 工事現場搬入前の木材保護塗料塗り ・行う（※標仕18章12節 木材保護塗料塗り（NP） 施工部位（適用部材） ・ ・A種 ・B種	[18.12.2][表18.12.1]
	2 搬入及び建方	アンカーボルトの設置等 施工部位 埋込深さ 保持及び埋込み工法 埋込み位置の許容誤差 ・GLT用アンカーボルト ・図示による ・A種 ・B種 ・ ・土台用アンカーボルト ・図示による ・A種 ・B種 ※±5mm ・ ・	
		基礎天端均しモルタルの仕上げ 施工部位 無収縮モルタル モルタルの厚さ（mm） ・ ・適用する ・適用しない ・図示による ・ ・	(9.5.4)
		建方精度 建入れ直し後の水平、垂直の誤差の許容値 ※ 1/1000以下 建入れ直し後の床の天端及び壁の天端の平坦さ ※ ±3mm以下 ・ ・	(9.5.7)

10	① 表面仕上げ	見え掛り面の仕上げの程度 ○機械加工 施工部位（適用部材） ○見え掛かり部 ・ ・手加工（ ・	(10.1.4)
	② 木材 ㊦	木材の品質 ※信州木材認証製品又は同等品（長野県産材） ○木造標仕 10.2.1 ・市販品 製材 種 別 施工部位 樹種名 寸法 等級（材面の品質） 含水率 ○下地用製材 図示 図示 ※図示 ・1級 ※2級 ※A種・B種 ○造作用製材 図示 図示 ※図示 ・上小節 ※小節以上・並 ※A種・B種 ・広葉樹製材 ・ ・ ※図示 ・特等 ※1等 ・2等 ※10%以下・ ・JAS1038以外の製材 ・ ※図示 ※A種 ・B種 ※A種・B種	(10.2.1(2))
	③ 集成材等 ㊧	造作用集成材等 種 別 施工部位 品名 樹種・見付材面の品質 化粧薄板の厚さ等 寸法 ○造作用集成材 見切材・枠 ・ カラマツ 一等 ※図示 ・化粧ばり造作用集成材 ・ ※図示(A- 図) ※図示 ・JAS以外の造作用集成材 ・ ※図示(A- 図) ※図示 ・JAS以外の化粧ばり造作用集成材 ・ ※図示(A- 図) ※図示	(10.2.1(3))
		造作用単板積層材 施工部位 品名 表面の化粧加工 防虫処理 寸法（mm） ・ ・ ・1等 ・2等 ・3等 ・有リ ・天然木化粧加工 ・行方 ・行わない ・塗装加工	(10.2.1(4))
		直交集成板 施工部位 品名 強度等級 接着性能 樹種名 ラミナの構成・等級 寸法（mm） ・ ・ ・A・B・C ※図示(A- 図) ※図示	(10.2.1(5))

(10.2.3)						
施工部位	品名	厚さ (mm)	接着の程度	板面の品質	単板の樹種名	防虫処理
	・普通合板	※5.5	※1類 ・2類	※2等以上 ・C-D以上	※図示(A- 図)	・有 ・無
図示	○構造用合板	※12	○特種 ・1類	※C-D以上	針葉樹合板	・有 ・無
	・化粧ばり構造用合板	・	・特種 ・1類		※図示(A- 図)	・有 ・無
	・天然木化粧合板	・	・特種 ・1類		※図示(A- 図)	・有 ・無
	・特殊加工化粧合板	・	・特種 ・1類		※図示(A- 図)	・有 ・無
	・構造用パネル	・				
構造用合板の強度等級 ※2級以上 ・1級						
特殊加工化粧合板の表面性能 ・F ・FW ・W ・SW						
特殊加工化粧合板の化粧加工の方法 ・オーバーレイ ・プリント ・塗装						
施工部位	品名	厚さ (mm)	表裏面の状態 による区分	曲げ強さ による区分	耐水性 による区分	難燃性 による区分
	・パーティクルボード	・9 ※15		※13タイプ ・18タイプ	・耐水1(M947) ・耐水2(P947)	・難燃2級 ・難燃3級
	・MDF	・	・		・耐水1(M947) ・耐水2(P947)	
釘等 (10.2.2)						
造作材化粧面の釘打ち						
※ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し						
諸金物形状及び材質						
※ 木造標仕10.2.2(2)による						
防腐、防蟻処理 (10.3.1)						
・工場における薬剤の加圧注入処理						
・JAS1083に基づく保存処理又は優良木質建材等認証制度に基づく保存処理						
施工部位（適用部材）	保存処理の性能区分					
・	・K2又はAQ3 ・K3又はAQ2 ・K4又はAQ1					
・木造標仕10.3.1(7)(b)に基づく加圧式保存処理						
施工部位（適用部材）	保存処理の性能区分				インサイジング	
・	・K2又はAQ3相当 ・K3又はAQ2相当 ・K4又はAQ1相当				・適用する ・適用しない	
・薬剤の塗布						
薬剤の種類（ ）適用部材（ ）						
・薬剤の接着剤への混入						
施工部位（適用部材）	保存剤の種類		処理の方法			
・	・		・			
・合板等の加圧注入等						
施工部位（適用部材）	保存処理の性能区分					
・	・K3又はAQ2					
防虫処理 (10.3.2)						
・適用する（適用部位： ）						
不燃処理木材等 (10.3.3)						
施工部位（適用部材）	不燃材料		準不燃材料		難燃材料	
○ 図示	・		・		○ 羽目板	
軒先 けらば回り (10.4.1)						
施工部位（適用部材）	樹種名		寸法(mm)		備 考	
鼻隠し	※ 図示 ○（ 杉 ）		図示			
破風板	※ 図示 ○（ 杉 ）		図示			
広小舞 登りよど	※ 図示 ○（ 杉 ）		図示			
面戸板	※ 図示 ・（ ）					
屋根下地 (10.4.2)						
瓦棒葺屋根用芯木材の樹種及び寸法 ※ 図示 ・（ ）						
屋根の構造用材の上部に通気層を設ける場合						
通気垂木の樹種及び寸法 ※ 図示 ・（ ）						
断熱材の厚さ ※ 図示 ・（ ）						
通気垂木に留め付ける下地合板の種類及び厚さ ※ 図示 ・（ ）						
軒天井下地 (10.4.3)						
施工部位（適用部材）	樹種名		寸法(mm)		備 考	
野縁受け	※ 図示 ○（ 松 ）		図示			
野縁	※ 図示 ○（ 松 ）		図示			
下地板	※ 図示 ・（ ）					
建具回り (10.5.1)						
施工部位（適用部材）	樹種名		寸法(mm)		備 考	
取付下地材	※ 図示 ・（ ）					
受材	※ 図示 ・（ ）					
外部出入口木製建具回り (10.5.2)						
施工部位（適用部材）	樹種名		寸法(mm)		備 考	
枠材	※ 図示 ・（ ）					
下枠 (10.5.2)						
材質・種類	厚さ(mm)	寸法(mm)		形 状		
※ステンレス製	※2.0	※ 図示 ・（ ）				
・花こう岩	※40以上	※ 図示 ・（ ）				
外部額縁 (10.5.3)						
施工部位（適用部材）	樹種名		寸法(mm)		備 考	
額縁材	※ 図示 ・（ ）					
内部出入口木製建具回り (10.6.1)						
施工部位（適用部材）	樹種名		寸法(mm)		備 考	
枠材	※ 図示 ・（ ）					
内部窓回り (10.6.2)						
施工部位（適用部材）	樹種名		寸法(mm)		備 考	
窓枠材	※ 図示 ○（ 集成材 ）		図示			

(10.7.1)				
施工部位（適用部材）	材料名	厚さ（mm）	備 考	
・下地用床材	・構造用合板	※12 ・15		
・二重張り用合板	※ 普通合板	※12 ・		
(10.7.2)				
施工部位（適用部材）	樹種名	寸法（mm）	備 考	
製材	※ 図示 ・（ ）			
(10.7.3)				
施工部位（適用部材）	樹種名	寸法（mm）	備 考	
製材	※ 図示 ・（ ）			
(10.8.1)				
施工部位	樹種名	寸法（mm）	間 隔	防腐・防蟻処理
胴縁	※ 図示 ・（ ）			・適用・適用しない
(10.8.2)				
施工部位	樹種名	厚さ（mm）	幅（mm）	釘の種類・寸法
ラス下地板	※ 図示 ・（ ）	※12	※75	※NZ50 ・ ・適用・適用しない
(10.8.3)				
施工部位	樹種名	厚さ（mm）	幅（mm）	防腐・防蟻処理
下地用合板	種類	寸法（mm）	間隔（mm）	・適用・適用しない
(10.8.4)				
施工部位	樹種名	厚さ（mm）	幅（mm）	通気金物 形状及び寸法
通気胴縁	※ 図示 ・（ 杉 ）	※18	※45	・適用○適用しない
(10.8.2)				
通気胴縁工法 胴縁の負荷が大きい場合の接合具と留付け間隔 ※ 図示 ・（ ） 積雪地域の胴縁補強の方法及び高さ ※ 木造標仕10.8.2(7)(h)③による ・（ ） 横通気胴縁工法 胴縁の間隔 ※ 図示 ・（ ） 積雪地域の胴縁補強の方法及び高さ ※ 木造標仕10.8.2(7)(i)③による ・（ ）				
(10.8.3)				
施工部位（適用部材）	樹種名	寸法（mm）	備 考	
押縁	※ 図示 ・（ ）			
下見板	※ 図示 ・（ ）			
(10.8.3)				
施工部位（適用部材）	樹種名	寸法（mm）	備 考	
下見板	※ 図示 ・（ ）			
(10.8.3)				
施工部位（適用部材）	樹種名	寸法（mm）	備 考	
羽目板	※ 図示 ・（ ）			
(10.8.3)				
施工部位（適用部材）	樹種名	寸法（mm）	備 考	
目板	※ 図示 ・（ ）			
羽目板	※ 図示 ・（ ）			
(10.8.3)				
施工部位（適用部材）	樹種名	寸法（mm）	備 考	
数目板	※ 図示 ・（ ）			
(10.8.4)				
施工部位（適用部材）	樹種名	寸法（mm）	備 考	
付け土台	※ 図示 ・（ ）			
雨押え	※ 図示 ・（ ）			
見切り縁	※ 図示 ・（ 集成材 ）	図示		
笠木	※ 図示 ・（ ）			
外部回り縁	※ 図示 ・（ ）			
(10.8.5)				
種 別	樹種名	寸法（mm）	備 考	
製材	※ 図示 ・（ ）			
(10.8.5)				
種 別	樹種名	寸法（mm）	備 考	
製材	※ 図示 ・（ ）			
(10.9.1)				
施工部位（適用部材）	樹種名	寸法（mm）	間隔（mm）	備 考
胴縁	※ 図示 ○（ 杉 ）	図示	図示	
(10.9.2)				
施工部位（適用部材）	樹種名	寸法（mm）	備 考	
羽目板	※ 図示 ・（ ）			
(10.9.2)				
施工部位（適用部材）	樹種名	寸法（mm）	備 考	
数目板	※ 図示 ・（ ）			

10 木 工 事	⑰ 内部造作	材料 (10. 9. 3) 施工部位 (適用部材) 樹種名 寸法 (mm) 備 考 幅木 ※ 図示 ○ (杉) 図示 回り縁 ※ 図示 ○ (杉) 図示 二重回り縁 ※ 図示 ・ ()	12 石 工 事	1 石材	粗面仕上げの場合のみみ込み部分の仕上げ ・ 図示 ・ ・ 天然石張り [10. 2. 1] [表 10. 2. 1～2] 天然石 施工箇所 岩石の種類 形状及び寸法 表面仕上げの種類 バフ仕上げの有無 ・ テラゾ張り [10. 2. 1] [表 10. 2. 2] 種 類 種石の種類、大きさ (mm) 形状 仕上げ 寸法 表面仕上げ ・ テラゾブロック ※大理石 ※1. 5～12 ・ 平もの ・ 片面仕上げ ・ 粗磨き ・ 役もの ・ 両面仕上げ ・ 水磨き ・ テラゾタイル ※大理石 ※1. 5～12 ・ 300型 ・ 本磨き ・ 400型	14 屋 根 及 び と い 工 事	① 金属板葺	(14. 3. 2) (表 14. 3. 1) 屋根葺形式 長尺金属板の種類、記号 板厚 (mm) ・ 平葺 (一文字葺) ※ 塗装溶融 55%アルミニウム－亜鉛合金めっき ※ 0. 4 ・ 瓦葺葺 (心木なし) 銅板及び銅帯 (OGLCCR-20-AZ150) ・ 0. 5 ・ 横葺 ○ 立て平葺 ・ 下葺材料 ○ アスファルトルーフィング 940 (14. 2. 2) ※ 改質アスファルトルーフィング下葺材 (一般タイプ) 屋根葺工法 ※ 図示 (A-105・118・304・309図) 雪止め ※ 設ける (図示 A-105・304図) (14. 3. 4～8) 心木の樹種及び防蟻防蟻処理 (14. 3. 2) 樹種 () 防蟻防蟻方法 () 平葺 (一文字葺) 工法 (14. 3. 4) はぜの作り方 ※ 図示 ・ 吊子の間隔 ※ 図示 ・ 軒先及びけらば 唐草の留付け間隔 ※ 図示 ・ 心木あり瓦葺工法 (14. 3. 5) 瓦棒、吊子及び釘の留付け間隔 ※ 図示 ・ 銅板以外の板による屋根一般部分の工法 溝板及びキャップの留付け方法 ※ 図示 ・ 本造標仕14. 3. 5(3) (f) (c) による 棟覆い 銅板以外 棟板の材質及び留付け間隔 ※ 図示 ・ 銅板 通し付け子の留付け間隔 ※ 図示 ・ 唐草 留付け間隔 ※ 図示 ・ 心木なし瓦葺工法 (14. 3. 6) 棟覆いの釘の留付け間隔 ※ 図示 ・ 軒先の釘の留付け間隔 ※ 図示 ・ 屋根の流れ方向に並行な壁との取合い部 雨押えを付ける場合 ※ 図示 ・ 本造標仕14. 3. 6(4) (g) (a) による 雨押えを用いない場合 ※ 図示 ・ 本造標仕14. 3. 6(4) (g) (b) による 横葺工法 (14. 3. 7) 特殊工法 ※ 図示 ・ 立て平葺工法 (14. 3. 8) 吊子の工法 ※ 図示 ・ 特殊工法 ※ 図示 ・ 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1・1. 15・1. 3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・ 適用しない 屋根の構造用材の上部に通気層を設ける場合 通気垂木の樹種及び寸法、断熱材の厚さ ※ 図示 ・ 通気垂木に留付ける下地合板の種類及び厚さ ※ 図示 ・					
	⑱ 天井地下	材料 (10. 9. 4) 施工部位 (適用部材) 樹種名 寸法 (mm) 備 考 吊木受け ※ 図示 ○ (杉) 図示 吊木 ※ 図示 ○ (松) 40×30 野縁 ※ 図示 ○ (松) 40×30 野縁受け ※ 図示 ○ (松) 40×30 板野縁 ※ 図示 ・ ()		2 取付金物	外壁湿式工法、内壁空積工法用金物の材質、形状及び寸法 [10. 2. 2] 受け金物 ※標仕10. 2. 2(1) (d) による 特殊部位用金物の材質、形状等 ・ 引金物、だば、かすがい及び受け金物 () ・ 吊り金物、化粧吊りボルト () アンカーの材質、寸法 ・ 湿式工法、空積工法 () あと施工アンカーの材質、寸法等 () その他の取付金物 ()		15 金 属 工 事	⑥ とい	材 種 ・ 金属板 ・ 銅板 ・ 硬質塩化ビニル樹脂 (14. 8. 2) (表 14. 8. 1) 金属製とい (14. 8. 3) 部 位 金属板の種類 板 厚 備 考 と い 図示 図示 谷どい 塩どい (14. 8. 3) 種 類 外 径 厚 さ 集水器・あんこうの形 備 考 ※受注者及び施工業者と連名で、保証書を提出すること。 ○ガルバリウム等 保証期間 10年 ・ 折 板 保証期間 10年 ・ 長尺カラー鉄板 保証期間 5年				
	⑲ 天井板張り	・ 敷目天井板張り (10. 9. 5) 施工部位 (適用部材) 樹種名 寸法 (mm) 備 考 敷目板 ※ 図示 ・ () ○ 打上げ天井板張り (10. 9. 5) 施工部位 (適用部材) 樹種名 寸法 (mm) 備 考 羽目板 ※ 図示 ○ (杉) 図示		3 外壁湿式工法	下地ごしらえ ※ 流し筋工法 ・ あと施工アンカー工法 ・ [10. 3. 2～3] 石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない ドレンパイプの材質 ※ ステンレス SUS 304 ・ 樹脂ネットパイプクロスネット巻き 一般目地 目地幅 (mm) ※6mm ・ シーリング材 ・ 適用する ・ 適用しない				⑦ 保証書				
	20 和室の造作	材料 (10. 10. 1) (10. 10. 2) 施工部位 (適用部材) 樹種名 寸法 (mm) 備 考 柱 ※ 図示 ・ () ・ 背割不要処理製材 敷居 ※ 図示 ・ () かもし ※ 図示 ・ () ・		4 内壁空積工法	下地ごしらえ ※ あと施工アンカー横筋流し工法 ・ あと施工アンカー工法 ・ [10. 4. 2～3] 石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない 一般目地 目地幅 (mm) ※6mm ・ シーリング材 ・ 適用する ・ 適用しない				15 金 属 工 事				
	21 壁回り	材料 (10. 10. 3) 施工部位 (適用部材) 樹種名 寸法 (mm) 備 考 差込め貫 ※ 図示 ・ ()		5 乾式工法	石裏面処理 ・ 適用する (・小口共) ・ 適用しない 裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1・1. 15・1. 3) 倍の風圧力に対応した工法) ・ 適用しない 一般目地 目地幅 (mm) ※8mm ・ シーリング材 ・ 適用する ・ 適用しない								
	22 床回り	材料 (10. 10. 4) 施工部位 (適用部材) 樹種名 寸法 (mm) 厚さ (mm) 備 考 畳下地板 ※ 図示 ・ () 畳寄せ ※ 図示 ・ ()		6 床及び階段の石張り	床石張りの裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 階段石張りの裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない								
	23 天井回り	・ 年縁天井板張り (10. 10. 5) 施工部位 (適用部材) 樹種名 寸法 (mm) 備 考 年縁天井板 ※ 図示 ・ () ・ 格縁天井板張り (10. 10. 5) 施工部位 (適用部材) 樹種名 寸法 (mm) 備 考 格縁天井板 ※ 図示 ・ ()		7 特殊部位の石張り	[10. 7. 1～10. 7. 3] 施工箇所 工法 材料 厚さ 表面処理 裏打ち処理 ・ 外壁湿式工法 ・ 適用する ・ 適用する ・ 内壁空積工法 ・ 適用しない ・ 適用しない ・ 乾式工法								
	24 床の間回り	材料 (10. 10. 7) 施工部位 (適用部材) 樹種名 寸法 (mm) 備 考 製材 (床の間) ※ 図示 ・ () 製材 (床脇棚) ※ 図示 ・ ()		8 石材の割付け	・ イモ目地 ・ ウマ目地 [10. 1. 3] 9 清掃 屋内本磨き床ワックス ・ 行う (適用箇所 ・ すべて ・) ・ 行わない [10. 1. 5]								
	11 防 水 工 事	1 FRP系塗膜防水		ルーフトレン ※ FRP系塗膜防水用ルーフトレン ・ 鋼鉄製 (11. 2. 2) 下地合板の上の防火板 ・ 有 ・ 無 (11. 2. 4) 材質 (※ケイ酸カルシウム板 ・) 厚さ (※10mm ・) 防水層平場の勾配 (11. 2. 4) ※ 1/100 ・ 水張り試験 ※ 行う ・ 行わない (11. 2. 4)	13 タ イ ル 工 事		① 陶磁器質タイル	タイルの種類 [11. 2. 2, 11. 3. 2] 主な用途区分 形状・寸法 吸水率区分 釉薬 役物 色 再生材 耐凍害性 備考 施 工 箇 所 (mm) Ⅰ類 Ⅱ類 Ⅲ類 施釉 無釉 ありなし 標準 特注 適用 ありなし 床 150×150 ○ ・ ・ ・ ○ ○ ・ ○ ・ ・ ○ ・ 巾木 二丁掛 ○ ・ ・ ・ ○ ○ ・ ○ ・ ・ ○ ・ 床 300×300 ○ ・ ・ ・ ○ ○ ・ ○ ・ ・ ○ ・ 役物：標準的な曲がり (小口、標準、二丁、屏風) の役物は一体成形とする タイルの試験張り ※ 行わない ・ 行う (※ 外壁タイル ・) タイルの見本焼き ※ 行わない ・ 行う (※ 外壁タイル ・) 目地の位置 [11. 1. 3] ※ 標仕 表11. 1. 1による ・ 図示	2 伸縮調整目地、ひび割れ誘発目地	[11. 1. 3]	7 金 属 工 事	⑧ とい	引抜耐力の確認試験 ※ 行う [14. 1. 3] [14. 2. 1] 種 類 施工箇所 ※ H L 程度 下記以外の見え掛かり全て ・ №2 B 程度 ・ 鏡面仕上げ [14. 2. 2] (表 14. 2. 1) 種 別 施工箇所 ・ AB-1 種 (無着色) ・ BB-1 種 (無着色) ・ BB-2 種 (・ブラス系 ・ブラス ・シンター) 陽極酸化皮膜も着色方法 ※二次電解着色 ・三次電解着色 [14. 2. 3] (表 14. 2. 2) 表面処理方法 種 別 施工箇所 溶融亜鉛めっき ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 電気亜鉛めっき ・ E 種 ・ F 種
		② シーリング		下表以外は、本造標仕表 11. 3. 1による (11. 3. 2, 3) (表 11. 3. 1) 施工箇所 シーリング材の種類 (記号) 目地寸法 化粧ケイ酸カルシウム板 SR-1 ○図示 接着性試験 ※ 行う ・ 行わない (10. 3. 5) (※簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験)			3 セメントモルタルによるタイル張り	既調合モルタル [11. 2. 3] () 壁タイル張りの工法 [11. 2. 7] (表 11. 2. 3) 内装タイル ※ 改良横上げ張り 外装タイル ・ 密着張り ・ 改良横上げ張り ・ 改良圧着張り コンクリート素地面の処理 ・ 行わない ※ 行う (施工範囲 ※図示 ・) [11. 2. 7] 処理方法 ・ MCR工法 ・ 目荒し工法	4 有機系接着剤によるタイル張り	[11. 3. 3] [11. 3. 7] [11. 3. 4]			
③ ケイ酸系塗布防水		防水層の種類 (9. 6. 3) ※ C-SUI ・ C-SUP	4 有機系接着剤によるタイル張り	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ・ 第三種 [11. 3. 3] 壁タイル張りの工法 [11. 3. 7] ・ 内装壁タイル接着剤張り ・ 外装壁タイル接着剤張り (・外装タイル ・ 内装タイル以外のユニットタイル) コンクリート素地面の処理 ・ 行わない ※ 行う (施工範囲 ※図示 ・) 処理方法 ・ MCR工法 ・ 目荒し工法 外装壁タイル接着剤張りにおける目地シーリング材 [11. 3. 4] 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 ・ 伸縮調整目地、その他目地 ※変成シリコン系 ・									
④ 防水テープ		両面粘着テープの幅 ※ 50mm ・ mm (11. 4. 2)											
5 バルコニー手すり		バルコニー手すり (11. 4. 3) ※ 本造標仕11. 4. 3(2) (g) による。 固定方法 ※ 図示											
6 保証書の提出		※受注者及び施工業者と連名で、保証書を提出すること。 ・ FRP防水 保証期間 10年											
									国 補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体 工事設計図		縮 尺 NON 図面番号 A-004		
						株式会社 KRC 一級建築士事務所 長野県知事登録 H第75251号 一級建築士 第293052号 渡利 真二			特記仕様書 (4) [木造]			令和 7 年度	

19 内装工事	4 帯電防止床タイル張り	種 類 厚さ(mm) 性 能 ・ コンポジションビニル床タイル ※ 2 ・ 体積抵抗値 (JIS K 6911 による) ・ ホモジニアスビニル床タイル ※4.0 ・ 4.5 1.0X10⁹ Ω以下、または、 ・ ・ 漏えい抵抗値 (JIS A 1454 による) ・ ・ 1.0X10¹⁰ Ω未満 材質 ※ 軟質 ・ 硬質 高さ(mm) ※ 60 ・ 70 ・ 100 厚さ(mm) ※1.5 ・
------------	--------------	--

21	① 屋外雨水排水	排水管用材料 材 種 管の種類 管形状 (接合方法) ※ 遠心力鉄筋コンクリート管 ※ 外圧管 (※1種 ・ 2種) B形 (ゴム接合) ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 ※ V P O V U 円形 (接着接合) ・ リリフ硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 ・ RS-VU G ・ 硬質ポリ塩化ビニル管継手 ・ D V 樹の種類 種 別 形 状 寸法 (mm) ・ 現場打ち ・ 角型 ※ 図示 ※ 既製品 ○ 塩ビ製小口径雨水樹 ・ 450×450 鉄鉄製マンホールふた 種 類 適用荷重 ・ 水封形 ・ 密閉形 (デーバー・パッキン式) ・ T- 2 用 ・ 簡易気密形 (パッキン式) ・ 中ふた付密閉形 ・ T- 6 用 ・ T-1 4 用 ・ T-2 0 用 グレーチングふた 材 質 形 式 種 類 適用荷重 マンホールの上面形状 ※ 細目 ※ 凹凸形 ・ 鋼製 ※ 受枠付き ・ 溝ふた用 ・ 歩行用 ※ 細目 ※ 凹凸形 ・ ステンレス製 ・ 樹ふた用 ・ T- 2 用 ※ 普通目 ※ 平形 ・ ボルト固定 ・ かさ上げ用 ・ T- 6 用 ・ 細目 ・ 凹凸形 ※ 無し ・ U字溝用 ・ T-1 4 用 ・ T-2 0 用 基床の厚さ及び種類 () 現場打ちコンクリート 種類 ※普通コンクリート () 設計基準強度 ※18N/mm2 () スランプ ・15cm ・18cm 鉄筋の種類 ※SD295A () 凍上抑制層の材料 () 砂の粒度試験 ・行う ・行わない 埋戻し材料の種類 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種
----	----------	--

2 浸透管及び浸透樹

3 緑石及び側溝

22	舗装工事	添加材料による安定処理 ・行う ・行わない [22. 2. 2~3] [表 22. 2. 2] 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 () ・ 消石灰 () 添加量 kg/m³ (目標 CBR ※ 5 以上 ()) ジオテキスタイル ・ 適用する 単位面積質量 ・ 60g/m²以上 厚さ (mm) ・ 0. 5~1. 0 引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・ 1. 5×10⁻¹⁰-1cm/sec以上 ・ 適用しない 2 盛り土に用いる材料 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 [22. 2. 3] [表 3. 2. 1] 3 遮断層、凍上抑制層 フィルター層の材料 ・ 遮断層 ※ 川砂、海砂又良質な山砂 [22. 2. 2~3] ・ 凍上抑制層 ※ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン 切り込み砂利 ・ 砂 ・ フィルター層 ※ ごみ、泥等の有機物を含まない砂 4 路床土の支持力比試験 ・ 行う (※ 乱した土 ・ 乱さない土) 合格判定値 以上 ・ 行わない [22. 2. 5] 5 路床締固め度の試験 ・ 行う (合格判定値 以上) ・ 行わない [22. 2. 5] 6 砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない 7 路盤材料 G ※ 再生クラッシュラン (RC-40) G ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ (CS-40) G ・ クラッシュラン (C-40) 透水性アスファルト舗装にもちいる場合は透水性の高いもの 8 路盤の締固め度の試験 ※ 行う [22. 3. 5] 9 アスファルト舗装 車道部の基層 ※ 無し ・ 有り 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 [22. 4. 2] アスファルト ※ 再生アスファルト ・ ストレートアスファルト [22. 4. 3] 再生アスファルトの種類 ・ 60~80 ・ 80~100 加熱アスファルト混合物の種類 [22. 4. 4] [表 22. 4. 4] 区分 ・ 一般地域 ・ 寒冷地域 ※ 密粒度アスファルト混合物 (13) ※ 密粒度アスファルト混合物 (13F) ※ 細粒度アスファルト混合物 (13) ※ 細粒度ギャップアスファルト混合物 (13F) ※ 粗粒度アスファルト混合物 (20) シールコート ※ 行わない ・ 行う (施工範囲:) [22. 4. 5] シールコート用乳剤の種類 ・ P K-1 ・ P K-2 [22. 4. 3] アスファルト混合物の抽出試験 ※ 行わない ・ 行う [22. 4. 6]
----	------	---

10	コンクリート舗装	早強セメント ※ 使用しない ・ 使用する [22. 5. 3] 注入目地材料 ※ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ [表 22. 5. 2] ※目地の種類、間隔、構造 標仕表22. 5. 3 図22. 5. 1による ・ 図示 溶接金網 ※ 有り ・ 無し [22. 5. 3~4] [22. 6. 2~3] 種類 材料 厚さ 構 成 ※ 加熱系 ・ 有色骨材 (焼成) ・ 着色骨材 (樹脂被覆) ・ 自然石 ・ 常温系 ・ 常温系カラー舗装着色部の下部 ・ アスファルト舗装 ・ コンクリート舗装 12 透水性 アスファルト舗装 G アスファルト混合物の抽出試験 ※ 行わない ・ 行う [22. 7. 6] [22. 4. 6] 13 ブロック系舗装 G ・ コンクリート平板舗装 (コンクリート平板は、JIS A 5371 の平板) [22. 8. 2~3] 種 類 寸法 (mm) 厚さ (mm) 目地材 ※ 普通平板 (N) ※ 300角 ※ 60 ※ 砂 ・ 透水平板 (P) ・ ・ モルタル ・ インターロッキングブロック舗装 [22. 8. 2~3] 種 類 厚さ (mm) 色彩及び表面加工等 ※ 普通ブロック (N) 車道部 ※ 80 ・ ※ 標準品 ・ 透水性ブロック (P) 歩道部 ※ 60 ・ ・ 誘導、注意喚起用ブロック 誘導、注意喚起用は黄色系とする ・ 植生ブロック (V) ※ 80 ・ 100 ・ 鋪石舗装 (石材は、JIS A 5003 の 2等品) [22. 8. 2~3] 種 類 厚さ (mm) 施工方法 基 層 ※ 小鋪石 (花こう岩) ※ 80~100 ・ ※ うちこ張り ※ コンクリート舗装 ・ ・ ・ ・ アスファルト舗装 ・ A種 ・ B種 [22. 9. 2] [表 22. 9. 1] JIS K 5665 (路面標示用塗料) による 種類 施工 適用 色 幅 (mm) 塗布厚さ (mm) 揮発性有機溶剤の含有率 ・ 1種 G 常温 液状 ※ 白 ※ 150 ※ 1. 0 塗料総質量に対して ・ 2種 G 加熱 ・ ・ ・ 5% 以下 ※ 3種 1号 熔融 粉体状 14 砂利敷き 15 路面標示用塗料
23	植栽工事	芝及び地被類 [23. 2. 2~3] [表 23. 2. 1~2] 適 用 有効土層の厚さ (cm) 工 法 整備範囲 ※ 行う ・ 行わない ※ 20 ※ B種 ※ 植栽範囲 ・ 図示 樹木 [23. 2. 2~3] [表 23. 2. 1~2] 樹木の樹高 (m) 有効土層の厚さ (cm) 工 法 整備範囲 ・ 1 2 以上 ※ 100 ※ A種 ・ 乗張りの範囲 ・ 7 以上~1 2 未満 ※ 80 ・ B種 ・ ただし、低木は植栽範囲 ・ 3 以上~7 未満 ※ 60 ・ C種 ・ 図示 ・ 3 未満 ※ 50 ・ D種 工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。 ※ 現場発生土の良質土 ・ 客土 (※ 畑土 ・ 黒土) [23. 2. 3] ※ 適用する [23. 2. 3~4] 施工箇所 ※ 植栽範囲 ・ 図示 バークたい肥 G 有機物の含有量 (乾物) : 70%以上 炭素窒素比 (C/N比) : 35以下 陽イオン交換容量 (乾物) : 70meq/100g以上 pH : 5. 5~7. 5 水分 : 55~65% 幼植物試験の結果 : 生育阻害その他の以上を認めない 窒素全量 (現物) : 0. 5%以上 りん酸全量 (現物) : 0. 2%以上 カリ全量 (現物) : 0. 1%以上 発酵下水汚泥コンポスト G 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する 原料を使用したもので、植栽試験の調査の結果、害が認められないものとする 有機物の含有量 (乾物) : 35%以上 炭素窒素比 (C/N比) : 20以下 pH : 8. 5以下 水分 : 50%以下 窒素全量 (現物) : 0. 8%以上 りん酸全量 (現物) : 1. 0%以上 アルカリ分 (現物) : 15%以下 (ただし、土壌の酸度を矯正する目的で使用する場合はこの限りでない) 4 支柱材 ※ 杉、ひのき又はから松 (皮はぎもの、間伐材) G ※加圧式防腐処理 [23. 3. 2] ・ 真竹 (良質な 2年生以上) 5 幹巻き用材料 ※ 幹巻き用テープ ・ わら及びこも [23. 3. 2] 6 樹木の枯補償 期間 (引渡しの日から) ・ () 年 ・ 1年 [23. 3. 4] 7 芝張り 種類 ※ コウライシバ ・ ノシバ [23. 4. 2] 工法 ・ 目地張り ・ べた張り 平地 ※ 目地張り ・ べた張り 法面 ・ 目地張り ※ べた張り 8 吹付けは種用種子等 ※ 洋芝類 (採取後2年以内) [23. 4. 2] 9 地被類 ※ コンテナ栽培品

国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体　工事設計図

仕　様　書

I　　　工事概要

1．工事場所

長野市篠ノ井東福寺　南長野運動公園

2．工事種目

	建物名	構　造	階　数	延床面積	備　考
1	スタンド（観客席A棟）	鉄骨造	平屋建て	366.11㎡	
2	スタンド（中央倉庫棟）	R C造	平屋建て	114.00㎡	
3	スタンド（観客席B棟）	鉄骨造	平屋建て	366.11㎡	
4	倉庫	鉄骨造	平屋建て	105.41㎡	
5	シェルトー	アルミニウム合金造	平屋建て	12.60㎡	4 棟（合計：50.40㎡）
6	四阿	鉄骨造	平屋建て	9.00㎡	

3．工事範囲

※「2．工事種目」すべてを工事範囲とする。

・「2．工事種目」のうち_____の工事範囲は下表のとおりとする。
ただし、他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。

2 仮設工事	
3 土工事	
4 地業工事	
5 鉄筋工事	
6 コンクリート工事	
7 鉄骨工事	
8 コンクリート打込み板工 押出成形シート板工事	
9 防水工事	
10 石工事	
11 タイル工事	
12 木工事	
13 屋根及びとい工事	
14 金属工事	
15 左官工事	
16 建具工事	
17 カーテンウォール工事	
18 塗装工事	
19 内装工事	
20 ユニット及びその他の工事	
21 排水工事	
22 舗装工事	
23 植栽及び屋上緑化工事	

II　　　建築工事仕様

1．共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて長野市建設工事共通仕様書による。

(2) (1) 及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書・同指針（建築工事編）令和7年版」（以下、「標仕」という。）で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法を明示している場合において、それらが関係法令等（条例を含む）と異なる場合には、具体的な対応策について監督職員と協議すること。

2．特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 本工事は特記あるものを除き、長野市契約規則及び工事請負契約書の記載事項による。

(4) 特記事項に記載の() 内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(5) ◎印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（以下「グリーン購入法」という。）、の特定調達品目を示す。なお、特定調達品目が否かの判断基準は監督職員との協議による。

(6) 長野市環境方針について
工事にあたっては、長野市環境方針(最新版)を充分に配慮し、設計書及び標準仕様書はもとより、環境に配慮した材料の仕入れ、廃棄物の発生抑制、アイドリングストップや省エネ重視の使用による省エネルギーの推進、低公害工事機材の使用、工事従業者への教育など、施工にあたって細心の注意を払うことにより、工事の環境への影響を極力少なくするように配慮すること。なお、具体的な計画を、施工計画書に記載し実施することとする。
また、循環型社会の構築への取り組みとして、リサイクル促進の観点から「長野市溶融スラグ入りコンクリート二次製品利用基準」に基づき、溶融スラグ入りコンクリート二次製品の積極的な利用に努めること。

(7) 長野市公契約等基本条例に関する事項
受注者等は、法令を遵守するとともに、次に掲げる取組その他長野市公契約等基本条例第3条の基本理念に基づく必要な取組を行い、公契約等を適正に履行するよう努めなければならない。
1)長野市公契約等基本条例の内容について、労働者等へ周知するとともに、事務所（作業所）等へポスターを掲示すること。
2)業務の一部を下請負者等に履行させるときは、長野市公契約等基本条例の内容について説明し、各々の対等な立場における合意に基づいて適正に契約を締結すること。
○長野市公契約等労働環境報告書1部及び施工体系図（共通仕様書に定められたもの）の写し1部を契約後速やかに監督職員へ提出すること。この場合、業務の一部を下請負者等に履行させるときは、下請負者等の労働環境報告書を取りまとめて提出すること。
(8)本工事に於ける必要な諸手続等は原則として受注者において行うこと。
(9)工事の着手前に工事概要等を近隣住民等に周知するなど、理解協力を求めること。
また、工事車両の通行による道路の損傷には十分留意し、損傷が発生した場合は、道路管理者との協議の上受注者の責任において速やかに修復すること。
(10)工事区域外に土砂等を散乱することがないように注意すること。また、道路を汚した場合は速やかに清掃すること。
(11)作業時間、作業日、騒音振動等については、近隣住民に配慮し、関係法令を遵守することとし、事前に監督職員と協議の上、工事内容、施工条件等を考慮して決めること。特に建設美法、建設リサイクル法には留意のこと。
(12)施設用途を十分に理解し、転倒防止、落下防止、衝突防止、足掛かり、指詰め防止、面取り等に配慮し、図示なくとも施工段階で考慮し安全性の高い施設になるよう努めること。
(13)諸材料については必要に応じ見本品または現品を提出し、監督職員の承諾を受け使用のこと。
ただし、JIS規格合格品等で監督職員がそれを確認できた場合はこの限りではない。
(14)施工中に必要な箇所は、監督職員の指示により適切な材料をもって養生をし、急硬急乾凍結破損の防止を行うこと。
(15)施工するにあたり建築、電気設備、機械設備等の取合いを十分に検討すること。
(16)施工期間中の降雨等の排水については、任意仮設により水処理を行うこと。
(17)施工にあたり、必要最小限の樹木の枝打ち伐採は工事に含む。（監督職員と協議、承認のうえとする）
(18)工事完了後検査不可能箇所の施工にあたっては、必要に応じ監督職員の立会いのもとに施工のこと。
(19)工事完了後は速やかに工事現場内外の清掃、後片付け及び損傷箇所の復旧補修をし、監督職員の確認を受けること。
(20)上記各事項に要する諸経費は全て受注者において負担する。
(21)工事後引渡し後特記あるものを除き、工事の施工に起因した不具合が生じた場合は、木造建築物及び工作物1年間（受注者の故意または重大な過失による場合、5年間）、木造以外の建物及び工作物2年間(岡、10年間)以内に、期日を定め補修工事をし、市建築課係員の検査を受けること。

22)暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置について

1)長野市が発注する建設工事(以下「発注工事」という。)において、暴力団員等による不当要求又は工事妨害(以下「不当介入」という。)を受けた場合は、断固としてこれを拒否すること。また、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査に必要な協力を行うこと。

2)上記により警察に通報を行うとともに、捜査に必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により発注者に報告すること。

3)発注工事において、暴力団員等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

(22)過去の工事における前症等を発見した場合は速やかに監督職員に報告すること。

(24)「1.各章共通事項」と「2.仮設工事」については、図A-001の「1.各章共通事項」、「2.仮設工事」を適用する。

章

項　目

特　記　事　項

1　各章共通事項

1　適用基準等

○建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備監修　令和４年版）
○工事写真撮影ガイドブック（建築工事編）（国土交通省官房官庁営繕部監修　令和５年版）
・建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)同解説・令和5年版（国土交通省官房官庁営繕部監修）

2　週休２日工事

本工事は、週休２日工事の対象工事である。実施にあたっては、長野市週休２日工事実施要領により行う。
※発注者指定型
本工事は、発注者指定型の週休２日工事である。当初予定価格において、４週８休以上の達成を前提とした経費補正を行っている。そのため、現場の開所実績を確認し、４週８休未満の場合は、未達成として減額変更を行う。
・施工者希望型
本工事は、施工者希望型の週休２日工事であり、受注者が工事着手前に、発注者に対して週休２日に取組む旨を通知したうえで取組む工事である。当初予定価格において、４週８休以上達成を前提とした経費補正を行っている。そのため、４週８休未満の場合は、現場の開所実績に応じた金額補正を行う。
また、希望しなかった場合は、未達成として減額変更を行う。

3　熱中症対策に資する現場管理責補正(実行)

本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して現場管理費の補正を試行的に実施する対象工事である。熱中症リスク軽減対策として、遮光ネット（足場に設置するものに限り）等の設置を予定し現場管理費の補正を求める場合は、受発注者間で必要な設置期間等を協議し、設計変更により対応する。
受注者は、事前（施工計画書等）に「熱中症リスク軽減に対する具体的対策内容」を記載し、竣工時に熱中症対策に資する現場管理の実績報告書を提出するものとする。

4　工事実績情報の登録

※適用する（工事カルテ：請求金額500万以上）（1.1.4）

5　火災保険等

工事目的物及び工事用材料（支給材料を含む）について、次により保険を付す。
保険の種類　※建設工事保険（○水灾害特約を含む）
保険期間　工事着手から工事目的物引渡し日まで

6　書類の書式等

※長野市公共建築工事関係提出書類形式（令和４年度改定）による。（1.1.5）

7　品質計画

○建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。（1.2.2）
※風速（Vo=30m/s）
※地表面粗度区分（Ⅰ・Ⅱ※Ⅲ・Ⅳ）
※積雪区分　告示第1455号別表（第25号 ※第26号）

8　電気保安技術者

・適用する　・適用しない（1.3.3）

9　条件明示項目

部分引渡し　・無　・有　範囲（ ）（1.3.5）
部分使用　・無　・有　範囲（ ）
使用開始時期：令和　年　月
イメージアップ　・行わない（ ）

10　発生材の処理等

※構外搬出適切処理（1.3.11）

11　環境配慮

揮発性有機化合物を放散させる建築材料等（1.4.1）
本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の１ から ５）を満たすものとする。
1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ウリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
2)保温材、緩衝材、断熱材は、ホルムアルデヒド及びステレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
3)接着剤はフタル酸ジ-nブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル含有なし難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、ASETALDEHID、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン を放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
5)1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

12　材料の品質等

建築材料等（1.4.2）
本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能と同等級以上のものを使用する。ただし、製造業者等が記載されている場合に同等以上のものとする場合はあらかじめ監督職員の承諾を受ける。
材料・機材等の製造業者は次の（1）から（6）すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける
(1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること
(2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
(3)安定的な供給が可能であること
(4)法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること
(5)製造又は

	6	床及び階段の石張り	石材の厚さ(mm) 床 ()、階段 () (10.6.2) (10.6.3)	12	木工事	1 施工一般 ㊦	ホルムアルデヒド放散量 ※ 標仕12.2.1(ウ)のいずれかによる (12.2.1)	5 合板等	・ JAS 0233(合板) による普通合板 (12.2.1) (12.3.2)	13 屋根及びとい工事	1 長尺金属板葺	材料 (13.2.2) (13.2.3) (表 13.2.1)	
			床石張り 浸透性吸水防止剤 ・ 適用する ・ 適用しない 石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない 階段張り (10.6.3) 石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 目地 一般目地 目地幅(mm) ・ 図示による (10.6.2) (10.6.3) シーリング材 位置 ・ 適用する ・ 適用しない 伸縮調整目地 位置 ※ 床面30㎡程度ごと、細長い通路の場合6㎡程度ごと及び他部材との取り合い部 ・ 図示による シーリング材の目地寸法 ※ 幅・深さ共 10mm以上 ・ 図示による			2 製材	・ JAS 1083-5 による下地用製材 (12.2.1) (表 12.2.1)	・ JAS 0233(合板) による構造用合板 (12.2.1) (12.3.2)	下葺材料 ※ アスファルトルーフィング 940 ・ 改質アスファルトルーフィング下葺材 (・ 一般タイプ ・ 複層基材タイプ ・ 粘着層付タイプ)				
	7	笠木、甲板等の石張り	取り付け方法 ・ 湿式工法 ・ 乾式工法 (10.7.2) (10.2.2) 湿式工法の取付け金物 ・ 標仕10.2.2(1)による ・ 図示による 乾式工法の取付け金物 ・ 標仕10.2.2(2)による ・ 図示による 方式 ・ スライド方式 ・ ロッキング方式 特殊部位用金物 ・ 標仕10.2.2(3)による ・ 図示による ファスナー ・ 図示による アンカーの材質及び寸法 (10.2.2) 湿式工法の材質：※ ステンレス (SUS304) 製 寸法： 乾式工法の材質：※ SS400 寸法： あと施工アンカーの種類、材質及び寸法 種類： 材質： 寸法： 上記以外の金物の材質、形状及び寸法 ・ 図示による			3 造作用集成材		・ JAS 1083-2 による造作用製材 (12.2.1) (表 12.2.1)	・ JAS 0233(合板) による化粧びり構造用合板 (12.2.1) (12.3.2)	② 折板葺		材料 (13.3.2) (表 13.2.1)	
			石材の厚さ(mm) ・ (10.7.2) 石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 乾式工法の場合の取付け代 ※ 標仕10.5.3(2)による ・ 石裏の補強用モルタル ・ 適用する ・ 適用しない 目地 (10.7.2) 造式工法の場合 一般目地 目地幅(mm) ・ 6mm ・ mm (10.3.3) シーリング材 ・ 適用する ・ 適用しない 伸縮調整目地 位置 ※ 標仕 表11.1.1による ・ 図示による シーリング材の目地寸法 ※ 幅・深さ共 10mm以上 ・ 図示による 乾式工法の場合 (10.5.3) 目地幅(mm) ・ 8mm ・ mm シーリング材 ・ 適用する (※ 標仕9.7による ・ 図示) ・ 適用しない					・ JAS 1083-6 による広葉樹製材 (12.2.1) (表 12.2.1)	・ JAS 0233(合板) による天然木化粧合板 (12.2.1) (12.3.2)			材質の種類 (JIS G 3322) 塗膜の耐久性の種類、めっき付着量等 () 断熱材 ○ 有り (倉庫) ○ メーカー仕様 (結露軽減材) ○ 無し (スタンド)	
	8	隔て板	石材の厚さ(mm) ※ 40 ・ (10.7.3)			4 造作用単板積層材	・ JAS 1152(集成材) による造作用集成材 (12.2.1)	・ JAS 1152(集成材) による化粧びり造作用集成材 (12.2.1)	6 接合具等	造作材の化粧面の釘打ち ・ 適用する (※ 隠し釘打ち ・) ・ 適用しない (12.2.2) 諸金物の形状、寸法及び材質 (12.2.2) (表 12.2.3～表 12.2.5) ※ 標仕12.2.2(2)(7)による 接着剤 (木れんが用接着含む) のホルムアルデヒド放散量 (12.2.2) (12.2.3) ※ F☆☆☆☆ ・	③ 粘土瓦葺		材料 (13.4.2)
			施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 見え掛り面 ※ 上小節 ・ ※ A種 ・ B種 見え掛り面以外 ※ 小節以上 ・ ※ A種 ・ B種 ※ A種				・ JAS 1083 以外の製材 (12.2.1) (表 12.2.1) (表 12.2.2) (12.3.2)	・ パーティクルボード (12.2.1)	JIS A 5208に基づく凍害試験 ・ 行う ※ 行わない 瓦桝木 材質 ※ 杉 寸法 ※ 幅21×高さ15(mm)以上 ・ 棟補強用心材 材質 ※ 杉 寸法 ※ 幅40×高さ30(mm)以上 ・ 瓦緊結用釘又はねじ 種類 ・ 径 ・ 長さ ・ 棟補強等使用する金物等 材質 ・ ステンレス製 ・ 溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製 形状 ・ 寸法 ・ 留め付け方法 ・				
	11	タイル工事	1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 ※ 標仕 表 11.1.1による ・ 図示による (11.1.3)					・ JAS 1152(集成材) 以外の造作用集成材 (12.2.1)	7 防腐・防蟻処理等	・ 薬剤による防腐・防蟻処理を省略できる樹種による製材 (12.3.1) 適用部材： () ・ 工場における薬剤の加圧注入処理による防腐・防蟻処理 (12.3.1) 適用部材 保存処理性能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4	④ とい		工法 (13.4.3)
			2 見本焼、試験施工 見本焼 ・ 行う ※ 行わない (11.1.4) 試験張り ・ 行う ※ 行わない					・ JAS 1152(集成材) 以外の化粧びり造作用集成材 (12.2.1)		建築基準法に基づき定まる風圧力又は地震力に対応した瓦の緊結方法などの工法 風圧力 ・ 図示による 地震力 ・ 図示による 瓦緊結用釘又はねじの有効長さの最小値 () mm 瓦桝木の留付け工法 ・ 図示による 棟の工法 ・ 7寸丸伏せ様又はF型用冠瓦伏せ様 ・ のし積み様 面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合 ・ モルタルによる ・ 瓦葺き用しっくいによる			
		3 セメントモルタルによるタイル張り	タイルの形状、寸法等 (11.2.2) (11.2.3) (11.2.6)					・ 薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 (12.3.1) 適用部材 処理の方法 薬剤の種類 ※ 薬剤の製造所の仕様による ・ ・	⑤ ルーフドレイン		材料 (13.5.2) (表 13.5.1)		
			施工箇所 種類 形状寸法(mm) 吸水率区分 I 類 II 類 III 類 釉薬 施釉 無釉 有 無 標準 特注 色 再生材適用 ㊦ 耐凍害性 有 無 耐滑り性 備考					・ JAS 1152(集成材) 以外の化粧びり造作用集成材 (12.2.1)			といの材質 ・ 配管用鋼管(WGP) ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 (倉庫) ・ ステンレス鋼板 ○ アルミ既製品 (スタンド) ・ 表面処理鋼板(屋根同材) ・ 表面及び裏面の塗膜の種類 () ・ 耐酸被覆鋼板		
	4	有機系接着剤によるタイル張り	既調合モルタル (11.2.3) ・ 既調合モルタルの製造所の仕様による ・ 下地モルタル塗りのコンクリート素地面の下地処理方法 (11.2.6) ・ 目荒し工法 (標仕 15.3.4(4)による) ・ MCR工法 (標仕 6.8による) ・ 壁タイル張りの工法 (表 11.2.3) 内外装タイル ・ 密着張り ・ 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り					・ JAS 1152(集成材) 以外の化粧びり造作用集成材 (12.2.1)				とい受金物 ・ 配管用鋼管(WGP) ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 (倉庫) ・ ステンレス鋼板 ○ アルミ既製品 (スタンド) ・ 表面処理鋼板(屋根同材) ・ 表面及び裏面の塗膜の種類 () ・ 耐酸被覆鋼板	
			タイルの形状、寸法等 (11.3.2～11.3.4) (11.3.7)					・ JAS 1152(集成材) 以外の化粧びり造作用集成材 (12.2.1)				と受金物の材質、形状、取付け間隔 ※ 標仕 表13.5.2による ○ 図示 足金物の材質、形状、取付け間隔 ※ 標仕 表13.5.2による ・ 多雪地域の場合の軒どいの取付け間隔 0.5m以下 ・ 図示による 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・	
			接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ (11.3.3) 外装タイルにおける目地詰め ・ 行う ・ 行わない (11.3.3) (11.3.5) 目地のシーリング材 (11.3.4) 打継ぎ目地 ※ ポリウレタンシーリング材 ・ ひび割れ誘発目地 ※ ポリウレタンシーリング材 ・ 伸縮調整目地 ※ 変性シリコーンシーリング材 ・ その他の目地 ※ 変性シリコーンシーリング材 ・					・ JAS 1152(集成材) 以外の化粧びり造作用集成材 (12.2.1)				工法 (13.5.3) ・ 鋼管製といの場合の防露巻きの工法 ※ 標仕 表 13.5.4による	
			下地モルタル塗りのコンクリート素地面の下地処理方法 (11.3.5) ・ 目荒し工法 (標仕 15.3.4(4)による) ・ MCR工法 (標仕 6.8による)					・ JAS 1152(集成材) 以外の化粧びり造作用集成材 (12.2.1)				JOW 301によるルーフドレインの種類及び呼び (13.5.2)	
			施工箇所 種類 形状寸法(mm) 吸水率区分 I 類 II 類 III 類 釉薬 施釉 無釉 有 無 標準 特注 色 再生材適用 ㊦ 耐凍害性 有 無 耐滑り性 備考							国補 南長野運動公園フットボールクラブハウス外建築主体 工事設計図		縮尺 NON	
			施工箇所 種類 形状寸法(mm) 吸水率区分 I 類 II 類 III 類 釉薬 施釉 無釉 有 無 標準 特注 色 再生材適用 ㊦ 耐凍害性 有 無 耐滑り性 備考							特記仕様書 (3) 〔非木造〕		令和7年度	
			施工箇所 種類 形状寸法(mm) 吸水率区分 I 類 II 類 III 類 釉薬 施釉 無釉 有 無 標準 特注 色 再生材適用 ㊦ 耐凍害性 有 無 耐滑り性 備考									図面番号 A-010	

14 金属工事	1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	表面処理 (14.2.1) (表 14.2.1) <table> <tr> <th>種別</th><th>施工箇所（成形板、笠木、建具以外）</th><th>色合い等</th></tr> <tr><td>・ AB-1種</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・ AB-2種</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・ AC-1種</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・ AC-2種</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・ BA-1種</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・ BA-2種</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・ BB-1種</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・ BB-2種</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・ BC-1種</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・ BC-2種</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・ C種</td><td></td><td></td></tr> </table> ・常温乾燥形の塗装の場合（ ） 陽極酸化被膜の着色方法 ※ 二次電解着色 ・ 三次電解着色	種別	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）	色合い等	・ AB-1種			・ AB-2種			・ AC-1種			・ AC-2種			・ BA-1種			・ BA-2種			・ BB-1種			・ BB-2種			・ BC-1種			・ BC-2種			・ C種			3 こまい下地	建築基準法に基づく耐力壁の指定 ・ なし ・ あり	(15.2.6)	7 マスチック塗材塗り	・ 複層仕上塗材 ・ 軽量骨材仕上塗材	7 マスチック塗材塗り	8 しっくい塗り	9 こまい壁塗り	10 ロックウール吹付け	16 建具工事	1 防火戸	・ 建具表による ・ ・ 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸について、運動させる装置等 ・ 建具表による	(16.1.3)	2 見本の製作等	建具見本製作 ・ 行う（建具符号： ） ※ 行わない 特殊な建具の仮組 ・ 行う（建具符号： ） ※ 行わない	(16.1.4)	3 防犯建物部品	※ 適用する（適用箇所 ・ 建具表による ・ ） ・ 適用しない	(16.1.6)	④ アルミニウム製建具	性能値等（建具符号、枠の見込み寸法は建具表による）	(16.2.2)	10 木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ※ A種 ・ B種 (16.7.2) (表 16.7.1) 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・ (16.7.2) 枠、くつずりの材料 ・ 建具表による ・ (16.7.2)	5 網戸	防虫網の材料	(16.2.3)	6 樹脂製建具	性能値等（建具符号、枠の見込み寸法は建具表による） (16.3.2) 耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級 ・ 建具表による ・ 図示による 外部に面する建具の種類 ※ 標仕 表16.3.1、表16.3.2iによる ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 ・ T-1種 ・ T-2種 ・ 断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級 ※ 外部に面する建具は標仕 表16.3.3iによる（等級・ ） 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ・ ガラス ※ 複層ガラス ・ (16.3.3) ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ (16.3.4) (16.4.4) 表面色 ・ 標準色 ・ 特注色 (16.3.4) 水切り板、ぜん板 ・ 図示による ・ (16.3.5) (16.2.5) 木下地の内付け建具 ・ 適用する（建具の製造所の仕様） ・ 適用しない (16.3.5) (16.2.5)	⑦ 鋼製建具	性能値等（建具符号は建具表による） (16.4.2) 簡易気密型ドアセットの気密性等級、水密性等級 ※ 標仕 表16.4.1 ・ 建具表による 外部に面する建具の耐風圧性（表 16.2.1iによる） ○ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級（ ・ ） ・ 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級（ ・ ） ・ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級（ ・ ） ステンレス鋼板の種類 ※ SUS304、SUS430J1L 又は SUS443J1 ・ (16.4.3) (16.6.3) 点検口の類のくつずりの材料 ・ 鋼板類の厚さ(mm) ※ 標仕 表16.4.2iによる (16.4.4) ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL ・ (16.4.4) 標準型鋼製建具の有効内法寸法（表 16.4.5iによる） (16.4.6) ・ 適用する（建具符号、形式及び寸法は建具表による）	8 鋼製軽量建具	性能値等（建具符号は建具表による） (16.5.2) 簡易気密型ドアセットの気密性等級 ・ A-3 ・ 建具表による ・ 耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級（ ・ ） ・ 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級（ ・ ） ・ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級（ ・ ） 鋼板の種類 (16.5.3) ・ 亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 召合せ、縦小口包み板の材質 ※ 鋼板 ・ (16.5.3) 鋼板の厚さ(mm) ※ 標仕 表16.5.1iによる ・ 図示による (16.5.4) ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL ・ (16.5.4) (16.4.4) 標準型鋼製軽量建具の有効内法寸法（表 16.4.5iによる） (16.5.6) ・ 適用する（建具符号、形式及び寸法は建具表による）	9 ステンレス製建具	性能値等（建具符号は建具表による） (16.6.2) 簡易気密型ドアセットの気密性等級、水密性等級 ・ 建具表による ・ 耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級 ・ 建具表による ・ 外部に面する建具の耐風圧性（表 16.2.1iによる） ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級（ ・ ） ・ 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級（ ・ ） ・ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級（ ・ ） ステンレス鋼板の種類 ※ SUS304、SUS430J1L 又は SUS443J1 ・ (16.6.3) 表面仕上げ ※ HL ・ (16.6.4) ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL ・ (16.6.4) (16.4.4) ステンレス鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ (16.6.5)	15 左官工事	1 ラス系下地	下地の種類 (15.2.4) ・ 通気工法（ ・ 二層下地 ・ 単層下地） ・ 直張り工法（ ・ ラスモルタル下地 ・ ラスシートモルタル下地） ・ 図示による（外張断熱工法で断熱材の外側に野縁を施工する形式の通気構法を行う場合） 材料 (15.2.4) ラス及び補強用プラス 材料記号（※ K ・ ） 種類及び単位面積当りの質量 ・ 二層下地通気構法 ※ 波形ラス（W700） ・ こぶラス（K800） ・ カ骨付きラス（BP700） ・ 単層下地通気構法 ・ リプラスC（RC800）にターボン紙などの裏打ち材と一体化したラス ・ ラスシートの山高、山ピッチ、質量及び溶接ピッチによる区分 ※ LS4（耐力壁の場合） ステーブルの形状及び寸法 リプラス ※ L1925以上（リプラスC（RC800）の場合） ・ 波形ラス ※ L1019JS以上（波形ラス（W700）の場合） ・ 施工 (15.2.4) 二層下地通気構法 換気口部の措置 ※ 講ずる ・ 直張り構法（ラスシートモルタル下地の場合） 建築基準法に基づく耐力壁として使用する場合のラスシートの施工 ・ 図示による ・	2 せっこうボード その他のボード下地	材料 (15.2.5) せっこうボード、せっこうラスボード及び木質系セメント板の種類及び厚さ せっこうボード 種類（ ） 厚さ（ mm） せっこうラスボード 種類（ ） 厚さ（ mm） 木質系セメント板 種類（ ） 厚さ（ mm）	3 こまい下地	建築基準法に基づく耐力壁の指定 ・ なし ・ あり	(15.2.6)	4 木ずり下地	材料 (15.2.7) 木ずり用小幅板の樹種 ※ 杉（心去り材） ・	⑤ モルタル塗り	モルタル ○ 現場調合材料 ・ 既調合材料 (15.3.2) 既製目地材 (15.3.2) ・ 設ける 施工箇所（ ） 形状（ ・ 図示 ・ ） ・ 設けない 床の目地 (15.3.5) ・ 設ける 目地割 ※ 2㎡程度（最大目地間隔3㎡程度） ・ 種類 ※ 押し目地 ・ ・ 設けない 外装タイル張りの下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 (15.3.5) ・ 行う ・ 行わない	6 仕上塗材仕上げ	建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (15.6.2) ※ F☆☆☆☆ ・ 材料 (15.6.2) (表 15.6.1) ・ 薄付け仕上塗材 <table> <tr> <th>呼び名</th><th>仕上げる形状</th><th>工 法</th><th>吸放湿性</th><th>防火材料</th></tr> <tr> <td>・ 外装厚塗材 Si</td><td>・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状</td><td>・ 吹付け ・ ローター塗り</td><td rowspan="4"></td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr> <tr> <td>・ 可とう形外装厚塗材 Si</td><td>・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状</td><td>・ 吹付け ・ ローター塗り</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr> <tr> <td>※ 外装薄塗材 E（見上げ面）</td><td>・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ さざ波状 ・ 着色骨材砂壁状</td><td>・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローター塗り</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr> <tr> <td>・ 可とう形外装薄塗材 E</td><td>・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ さざ波状</td><td>・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローター塗り</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr> <tr> <td>・ 防水形外装薄塗材 E</td><td>・ ゆず肌状 ・ さざ波状 ・ 凹凸状</td><td>・ 吹付け ・ ローター塗り</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr> <tr> <td>・ 外装薄塗材 S</td><td>・ 砂壁状</td><td>・ 吹付け</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr> <tr> <td>・ 内装厚塗材 C ・ 内装薄塗材 L</td><td>・ 凹凸状 ・ 平たん状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状</td><td>・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローター塗り</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr> <tr> <td>・ 内装薄塗材 Si ・ 内装薄塗材 E</td><td>・ 砂壁状じゅらく ・ ゆず肌状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ さざ波状</td><td>・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローター塗り</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr> <tr> <td>・ 内装薄塗材 W</td><td>・ 京壁状じゅらく ・ ゆず肌状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状</td><td>・ 吹付け ・ こて塗り</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr> </table>	呼び名	仕上げる形状	工 法	吸放湿性	防火材料	・ 外装厚塗材 Si	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状	・ 吹付け ・ ローター塗り		・ 適用する ・ 適用しない	・ 可とう形外装厚塗材 Si	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状	・ 吹付け ・ ローター塗り	・ 適用する ・ 適用しない	※ 外装薄塗材 E（見上げ面）	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ さざ波状 ・ 着色骨材砂壁状	・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローター塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・ 可とう形外装薄塗材 E	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ さざ波状	・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローター塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・ 防水形外装薄塗材 E	・ ゆず肌状 ・ さざ波状 ・ 凹凸状	・ 吹付け ・ ローター塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	・ 外装薄塗材 S	・ 砂壁状	・ 吹付け	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	・ 内装厚塗材 C ・ 内装薄塗材 L	・ 凹凸状 ・ 平たん状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状	・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローター塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	・ 内装薄塗材 Si ・ 内装薄塗材 E	・ 砂壁状じゅらく ・ ゆず肌状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ さざ波状	・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローター塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	・ 内装薄塗材 W	・ 京壁状じゅらく ・ ゆず肌状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状	・ 吹付け ・ こて塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	・ 厚付け仕上塗材	<table> <tr> <th>呼び名</th><th>仕上げる形状</th><th>工 法</th><th>吸放湿性</th><th>防火材料</th></tr> <tr> <td>・ 外装厚塗材 C</td><td>・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし</td><td>・ 吹付け ・ こて塗り</td><td rowspan="2"></td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr> <tr> <td>・ 外装厚塗材 Si ・ 外装厚塗材 E</td><td>・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし</td><td>・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローター塗り</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr> <tr> <td>・ 内装厚塗材 C</td><td>・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし</td><td>・ 吹付け ・ こて塗り</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr> <tr> <td>・ 内装厚塗材 L</td><td>・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし</td><td>・ こて塗り</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr> <tr> <td>・ 内装厚塗材 G</td><td>・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし</td><td>・ こて塗り</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr> <tr> <td>・ 内装厚塗材 Si ・ 内装厚塗材 E</td><td>・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし</td><td>・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローター塗り</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr> </table>	呼び名	仕上げる形状	工 法	吸放湿性	防火材料	・ 外装厚塗材 C	・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし	・ 吹付け ・ こて塗り		・ 適用する ・ 適用しない	・ 外装厚塗材 Si ・ 外装厚塗材 E	・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし	・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローター塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・ 内装厚塗材 C	・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし	・ 吹付け ・ こて塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	・ 内装厚塗材 L	・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし	・ こて塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	・ 内装厚塗材 G	・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし	・ こて塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	・ 内装厚塗材 Si ・ 内装厚塗材 E	・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし	・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローター塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	外装厚塗材 C における上塗材がセメントスタッコ以外の場合（ ） 外装厚塗材 Si、外装厚塗材 E における上塗材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	16 建具工事	1 防火戸	・ 建具表による ・ ・ 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸について、運動させる装置等 ・ 建具表による	(16.1.3)	2 見本の製作等	建具見本製作 ・ 行う（建具符号： ） ※ 行わない 特殊な建具の仮組 ・ 行う（建具符号： ） ※ 行わない	(16.1.4)	3 防犯建物部品	※ 適用する（適用箇所 ・ 建具表による ・ ） ・ 適用しない	(16.1.6)	④ アルミニウム製建具	性能値等（建具符号、枠の見込み寸法は建具表による）	(16.2.2)	10 木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ※ A種 ・ B種 (16.7.2) (表 16.7.1) 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・ (16.7.2) 枠、くつずりの材料 ・ 建具表による ・ (16.7.2)	5 網戸	防虫網の材料	(16.2.3)	6 樹脂製建具	性能値等（建具符号、枠の見込み寸法は建具表による） (16.3.2) 耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級 ・ 建具表による ・ 図示による 外部に面する建具の種類 ※ 標仕 表16.3.1、表16.3.2iによる ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 ・ T-1種 ・ T-2種 ・ 断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級 ※ 外部に面する建具は標仕 表16.3.3iによる（等級・ ） 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ・ ガラス ※ 複層ガラス ・ (16.3.3) ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ (16.3.4) (16.4.4) 表面色 ・ 標準色 ・ 特注色 (16.3.4) 水切り板、ぜん板 ・ 図示による ・ (16.3.5) (16.2.5) 木下地の内付け建具 ・ 適用する（建具の製造所の仕様） ・ 適用しない (16.3.5) (16.2.5)	⑦ 鋼製建具	性能値等（建具符号は建具表による） (16.4.2) 簡易気密型ドアセットの気密性等級、水密性等級 ※ 標仕 表16.4.1 ・ 建具表による 外部に面する建具の耐風圧性（表 16.2.1iによる） ○ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級（ ・ ） ・ 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級（ ・ ） ・ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級（ ・ ） ステンレス鋼板の種類 ※ SUS304、SUS430J1L 又は SUS443J1 ・ (16.4.3) (16.6.3) 点検口の類のくつずりの材料 ・ 鋼板類の厚さ(mm) ※ 標仕 表16.4.2iによる (16.4.4) ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL ・ (16.4.4) 標準型鋼製建具の有効内法寸法（表 16.4.5iによる） (16.4.6) ・ 適用する（建具符号、形式及び寸法は建具表による）	8 鋼製軽量建具	性能値等（建具符号は建具表による） (16.5.2) 簡易気密型ドアセットの気密性等級 ・ A-3 ・ 建具表による ・ 耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級（ ・ ） ・ 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級（ ・ ） ・ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級（ ・ ） 鋼板の種類 (16.5.3) ・ 亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 召合せ、縦小口包み板の材質 ※ 鋼板 ・ (16.5.3) 鋼板の厚さ(mm) ※ 標仕 表16.5.1iによる ・ 図示による (16.5.4) ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL ・ (16.5.4) (16.4.4) 標準型鋼製軽量建具の有効内法寸法（表 16.4.5iによる） (16.5.6) ・ 適用する（建具符号、形式及び寸法は建具表による）	9 ステンレス製建具	性能値等（建具符号は建具表による） (16.6.2) 簡易気密型ドアセットの気密性等級、水密性等級 ・ 建具表による ・ 耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級 ・ 建具表による ・ 外部に面する建具の耐風圧性（表 16.2.1iによる） ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級（ ・ ） ・ 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級（ ・ ） ・ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級（ ・ ） ステンレス鋼板の種類 ※ SUS304、SUS430J1L 又は SUS443J1 ・ (16.6.3) 表面仕上げ ※ HL ・ (16.6.4) ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL ・ (16.6.4) (16.4.4) ステンレス鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ (16.6.5)	10 木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ※ A種 ・ B種 (16.7.2) (表 16.7.1) 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・ (16.7.2) 枠、くつずりの材料 ・ 建具表による ・ (16.7.2)	・ フラッシュ戸	(16.7.2) (表 16.7.2)	表面材の合板の種類	合板の種類	表面材の品質等	備 考
種別	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）	色合い等																																																																																																																																																																																																											
・ AB-1種																																																																																																																																																																																																													
・ AB-2種																																																																																																																																																																																																													
・ AC-1種																																																																																																																																																																																																													
・ AC-2種																																																																																																																																																																																																													
・ BA-1種																																																																																																																																																																																																													
・ BA-2種																																																																																																																																																																																																													
・ BB-1種																																																																																																																																																																																																													
・ BB-2種																																																																																																																																																																																																													
・ BC-1種																																																																																																																																																																																																													
・ BC-2種																																																																																																																																																																																																													
・ C種																																																																																																																																																																																																													
呼び名	仕上げる形状	工 法	吸放湿性	防火材料																																																																																																																																																																																																									
・ 外装厚塗材 Si	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状	・ 吹付け ・ ローター塗り		・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																									
・ 可とう形外装厚塗材 Si	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状	・ 吹付け ・ ローター塗り		・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																									
※ 外装薄塗材 E（見上げ面）	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ さざ波状 ・ 着色骨材砂壁状	・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローター塗り		・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																									
・ 可とう形外装薄塗材 E	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ さざ波状	・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローター塗り		・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																									
・ 防水形外装薄塗材 E	・ ゆず肌状 ・ さざ波状 ・ 凹凸状	・ 吹付け ・ ローター塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																									
・ 外装薄塗材 S	・ 砂壁状	・ 吹付け	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																									
・ 内装厚塗材 C ・ 内装薄塗材 L	・ 凹凸状 ・ 平たん状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状	・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローター塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																									
・ 内装薄塗材 Si ・ 内装薄塗材 E	・ 砂壁状じゅらく ・ ゆず肌状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ さざ波状	・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローター塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																									
・ 内装薄塗材 W	・ 京壁状じゅらく ・ ゆず肌状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状	・ 吹付け ・ こて塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																									
呼び名	仕上げる形状	工 法	吸放湿性	防火材料																																																																																																																																																																																																									
・ 外装厚塗材 C	・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし	・ 吹付け ・ こて塗り		・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																									
・ 外装厚塗材 Si ・ 外装厚塗材 E	・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし	・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローター塗り		・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																									
・ 内装厚塗材 C	・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし	・ 吹付け ・ こて塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																									
・ 内装厚塗材 L	・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし	・ こて塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																									
・ 内装厚塗材 G	・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし	・ こて塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																									
・ 内装厚塗材 Si ・ 内装厚塗材 E	・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし	・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローター塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																									
・ 普通合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ 板面の品質 ※広葉樹1等 ・（ ）																																																																																																																																																																																																												
・ 天然木化粧合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ 板面の品質 ※広葉樹1等 ・（ ）																																																																																																																																																																																																												
・ 特殊加工化粧合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ 板面の品質 ※広葉樹1等 ・（ ）																																																																																																																																																																																																												
・ MDF	表裏面の状態による区分（ ） 曲げ強さによる区分（ ） 耐水性による区分（ ） 難燃性による区分（ ） ・（ ）																																																																																																																																																																																																												

11	建具用金物	表面材のホルムアルデヒド放散量 ※ 標仕 16. 7. 2 (i) (a) による 表面板の厚さ ※ 標仕 表16. 7. 6による 引戸の定規縁 ・ 召し合せかまちいんろう付きとする ・ かまち戸 かまち樹種 () 鏡板樹種 () 見込み寸法 ※30mm ・ 建具表による ・ ふすま 種別、工法 ・ I 型 ・ II 型 上張り ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上 ・ 塗り縁 ・ 生地縁 (素地) ・ 生地縁 (ウレタンクリヤー塗装) 見込み寸法 ※ 19. 5mm ・ 建具表による ・ 戸ぶすま 表面材の種類、品質等 () 見込み寸法 ※ 30mm ・ 建具表による ・ 紙張り障子 見込み寸法 ※ 30mm ・ 建具表による 金物の種類・見え掛り部の材質等 ※ 標仕 表16. 8. 1及び適用 (備考欄の特記事項も含め) は、建具表による 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 標仕 表16. 8. 2による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 標仕 表16. 8. 3による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 標仕 表16. 8. 4による 木製建具に使用する戸車及びレール ※ 標仕 表16. 8. 3による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置 ・ 建具表による マスターキー ※ 製作する ・ 製作しない 鍵の製作本数等 ※ 各室3本1組 ・ () 本 鍵箱 ※ 必要 ・ 不要	18 ガラス 適用は以下によるほか、ガラスの種類、厚さの組合せは建具表及び図示による (16. 14. 2) ・ フロート板ガラスの品質及び厚さの呼びによる種類 ※ 図示 (※ 建具表 ・) による ・ 型板ガラスの厚さによる種類 ※ 図示 (※ 建具表 ・) による ・ 網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態、厚さの呼びによる種類 ※ 図示 (※ 建具表 ・) による ・ 合わせガラス 材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、合わせガラスの合計厚さ、特性による種類 ※ 図示 (※ 建具表 ・) による ・ 強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類、厚さの呼びによる種類、特性による種類 ※ 図示 (※ 建具表 ・) による ・ 熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類、性能による種類 ※ 図示 (※ 建具表 ・) による ・ 複層ガラス 材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、複層ガラスの厚さ、断熱性による区分、日射取得性及び日射遮蔽性による区分、封入気体の種類 ※ 図示 (※ 建具表 ・) による ・ 熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類、厚さによる種類、日射遮蔽性による区分 ※ 図示 (※ 建具表 ・) による ・ 倍強度ガラス 材料板ガラスの種類、厚さの呼びによる種類 ※ 図示 (※ 建具表 ・) による ガラス留め材及び溝の大きさ (16. 14. 2) (16. 14. 3) (図 16. 14. 1) 建具の種類 ガラスの留め材 ガラス溝の大きさ (mm) アルミニウム製 ※ シーリング材 ・ 建築用ガスケット ・ グレージングチャンネル ※ 建具の製造所の仕様による 樹脂製 ・ 建築用ガスケット ・ グレージングビード ※ 建具の製造所の仕様による 鋼製及び鋼製軽量 ※ シーリング材 ※ 建具の製造所の仕様による ステンレス製 ※ シーリング材 ※ 建具の製造所の仕様による	19 ガラスブロック積み 材料 (16. 14. 5) <table><tr><th>表面形状</th><th>呼び寸法 (mm)</th><th>厚さ (mm)</th><th>色調</th><th>目地幅 (mm)</th><th>伸縮調整目地位置 (mm)</th></tr><tr><td rowspan="2">・ 正方形</td><td>・ 160×160</td><td>95</td><td>・ ・ ・</td><td>平積み</td><td rowspan="2">※ 6mm以下ごとに10～25</td></tr><tr><td>・ 200×200</td><td>95</td><td>・ ・ ・</td><td>外側 ※ 8～15 内側 ※ 15以下</td></tr><tr><td rowspan="2">・ 長方形</td><td>・ ・</td><td>・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td>※ 6以上</td><td rowspan="2">・ 図示</td></tr><tr><td>・ ・</td><td>・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td>・</td></tr></table> 壁用金属枠及び補強材 ・ 設ける (形状 ・ 図示 ・) ・ 設けない 力骨 材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) ・ 寸法 ※ 径5. 5mm ・ 形状 ※ はしご形状複筋及び単筋 ・ 化粧目地モルタルの色 () シーリング材の種類 () 金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製 寸法 ・ 図示による ・ 形状 ・ 図示による ・ 工法 (16. 14. 5) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による 木下地の場合の壁用金属枠の取付け間隔 () 目地部の横力骨の納まり ※ ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示による	表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	・ 正方形	・ 160×160	95	・ ・ ・	平積み	※ 6mm以下ごとに10～25	・ 200×200	95	・ ・ ・	外側 ※ 8～15 内側 ※ 15以下	・ 長方形	・ ・	・ ・	・ ・ ・	※ 6以上	・ 図示	・ ・	・ ・	・ ・ ・	・	20 PCカーテンウォール 適用は以下によるほか、カーテンウォール図による 材料 コンクリート 種類 () 品質 設計基準強度 (Fc) ※ 50N/mm2 ・ スランプ ※ 12cm ・ 気乾単位容積質量 ・ 普通コンクリートの場合 2. 1t/m3を超え2. 5t/m3以下 単位水量の最大値 ※ 185kg/m ・ 鉄筋 種類記号 ※ SD245 ・ 補強鉄線 径 (mm) ・ 3. 2 ・ 4. 0 ・ 5. 0 ・ 6. 0 網目寸法 ・ シーリング材 下表以外は標仕 表9. 7. 1による <table><tr><th>被着体の組合せ</th><th colspan="2">シーリング材の種類</th></tr><tr><td></td><th>記 号</th><th>主成分による区分</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> ガラスの取付け材料 ・ シーリング (種類：) ・ 構造ガスケット (材質、形状等 ・ 図示 ・) 断熱材 種類 () 厚さ (mm) () 施工箇所 ・ 図示による 形状及び仕上げ 製品の寸法許容差 ※ 標仕 表17. 2. 1による 見え掛り部の仕上げ ・ カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 ※ 標仕 表17. 2. 3による ・ 図示による ガラスの取付け方法 ・ 適用は以下によるほか、カーテンウォール図による 材料 コンクリート 種類 () 品質 設計基準強度 (Fc) ※ 50N/mm2 ・ スランプ ※ 12cm ・ 気乾単位容積質量 ・ 普通コンクリートの場合 2. 1t/m3を超え2. 5t/m3以下 単位水量の最大値 ※ 185kg/m ・ 鉄筋 種類記号 ※ SD245 ・ 補強鉄線 径 (mm) ・ 3. 2 ・ 4. 0 ・ 5. 0 ・ 6. 0 網目寸法 ・ シーリング材 下表以外は標仕 表9. 7. 1による <table><tr><th>被着体の組合せ</th><th colspan="2">シーリング材の種類</th></tr><tr><td></td><th>記 号</th><th>主成分による区分</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> ガラスの取付け材料 ・ 構造ガスケット (材質、形状等 ・ 図示 ・) 耐火目地材 ・ 耐火材 種類 () 厚さ (mm) () 施工箇所 ・ 図示による 先付けの材料 ・ 先付け材料の仕上げ材 ・ 石材 (・ 花こう岩 ・ 大理石 ・) ・ セラミックタイル ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール 形状及び仕上げ 製品の見え掛り部の寸法許容差 ※ 標仕 表17. 3. 1による ・ 上記以外 辺長 (mm)、対角線上の差 (mm)、版厚 (mm) 開口部内法寸法 (mm)、ねじれ、そり (mm)、曲がり (mm) 面の凹凸 (mm)、先付け金物の位置 (mm) カーテンウォールの仕上げ ・ 構造ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差 (mm) ・ 図示による 製作 配筋 ・ 図示による 取付け 躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 ※ 標仕 表17. 2. 2による ・ 図示による カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 ※ 標仕 表17. 2. 2による ・ 図示による ガラスの取付け方法 ・	被着体の組合せ	シーリング材の種類			記 号	主成分による区分							被着体の組合せ	シーリング材の種類			記 号	主成分による区分																																																																																																																																																																																																						
表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																		
・ 正方形	・ 160×160	95	・ ・ ・	平積み	※ 6mm以下ごとに10～25																																																																																																																																																																																																																																																		
	・ 200×200	95	・ ・ ・	外側 ※ 8～15 内側 ※ 15以下																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 長方形	・ ・	・ ・	・ ・ ・	※ 6以上	・ 図示																																																																																																																																																																																																																																																		
	・ ・	・ ・	・ ・ ・	・																																																																																																																																																																																																																																																			
被着体の組合せ	シーリング材の種類																																																																																																																																																																																																																																																						
	記 号	主成分による区分																																																																																																																																																																																																																																																					
被着体の組合せ	シーリング材の種類																																																																																																																																																																																																																																																						
	記 号	主成分による区分																																																																																																																																																																																																																																																					
12	鍵	戸の開閉方式 ・ 図示による 自動ドア開閉装置の性能 駆動装置の性能 ※ 引き戸用駆動装置の場合、標仕 表16. 9. 1による 防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない 車椅子使用者用便所出入口の引き戸用駆動装置の性能 ※ 引き戸用駆動装置の場合、標仕 表16. 9. 2による 防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない 検出装置の性能 ※ 引き戸用駆動装置の場合、標仕 表16. 9. 3による 防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない 引き戸用検出装置の種類は、標仕 表16. 9. 4による 種類 ・ 光線 (反射) センサー ・ 熱線センサー ・ 音波センサー ・ 光電センサー ・ 電波センサー ・ タッチスイッチ (・ 無線式 ・ 光電式) ・ 押しボタンスイッチ ・ 車椅子使用者用便所用操作スイッチ (・ 大形 (開・閉) 押しボタンスイッチ ・ 非接触スイッチ) 凍結防止装置 ・ 適用する ・ 適用しない	13 自動ドア開閉装置 戸の開閉方式 ・ 図示による 自動ドア開閉装置の性能 駆動装置の性能 ※ 引き戸用駆動装置の場合、標仕 表16. 9. 1による 防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない 車椅子使用者用便所出入口の引き戸用駆動装置の性能 ※ 引き戸用駆動装置の場合、標仕 表16. 9. 2による 防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない 検出装置の性能 ※ 引き戸用駆動装置の場合、標仕 表16. 9. 3による 防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない 引き戸用検出装置の種類は、標仕 表16. 9. 4による 種類 ・ 光線 (反射) センサー ・ 熱線センサー ・ 音波センサー ・ 光電センサー ・ 電波センサー ・ タッチスイッチ (・ 無線式 ・ 光電式) ・ 押しボタンスイッチ ・ 車椅子使用者用便所用操作スイッチ (・ 大形 (開・閉) 押しボタンスイッチ ・ 非接触スイッチ) 凍結防止装置 ・ 適用する ・ 適用しない	14 自閉式上吊り引戸装置 性能 ※ 標仕 表16. 10. 1による ・ 図示による	15 重量シャッター シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防災シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッター 耐風圧強度 () pa 開閉方式の種類 (標仕 表16. 11. 1) ※ 電動式 (手動併用) ・ 手動式 安全装置の設置箇所 急降下制御装置又は急降下停止装置の設置箇所 ・ 図示による 障害物感知装置の設置箇所 ・ 図示による 危害防止機構の設置箇所 ・ 図示による 管理用シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない スラット及びシャッターケース用銅板 (16. 11. 3) 銅板の種類 ・ JIS G 3302 (塗装溶融亜鉛めっき銅板及び銅帯) ・ JIS G 3302 (塗装溶融亜鉛めっき銅板及び銅帯) めっきの付着量 ※ Z12 又は F12 ステンレス銅板の種類 ※ SUS304、SUS430J1L 又は SUS443J1 ・ (16. 11. 3) (16. 6. 3)	16 軽量シャッター 開閉形式 ・ 電動式 (手動併用) ※ 手動式 耐風圧強度 () pa 電動式の場合の安全装置 急降下停止装置 ・ 設ける ・ 設けない 障害物感知装置の設置箇所 ・ 図示による スラットの材質の種類 (16. 12. 3) ○ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき銅板及び銅帯) めっきの付着量 ※ Z06 又は F06 ・ JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウムー亜鉛めっき銅板及び銅帯) めっきの付着量 ※ AZ90 スラットの種類 ○ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形 区分、材料 (16. 13. 2) (16. 13. 3) <table><tr><th>セクション材料</th><th>風圧力区分 (Pa)</th><th>開閉方式</th><th>収納形式</th><th>ガイドレール</th></tr><tr><td>※ スチールタイプ</td><td>・ 125</td><td>※ バランス式</td><td>・ スタンダード形</td><td>※ 溶融亜鉛めっき銅板</td></tr><tr><td>・ 7M204タイプ</td><td>・ 100</td><td>・ チェーン式</td><td>・ ローヘッド形</td><td>・ ステンレス銅板</td></tr><tr><td>・ 7M204タイプ</td><td>・ 75</td><td>・ 電動式</td><td>・ ハイリフト形</td><td>(SUS 304)</td></tr><tr><td>・ 7M204タイプ</td><td>・ 50</td><td></td><td>・ パーチカル形</td><td></td></tr></table> 電動式の場合の障害物感知装置の設置場所 ・ 図示 ()	セクション材料	風圧力区分 (Pa)	開閉方式	収納形式	ガイドレール	※ スチールタイプ	・ 125	※ バランス式	・ スタンダード形	※ 溶融亜鉛めっき銅板	・ 7M204タイプ	・ 100	・ チェーン式	・ ローヘッド形	・ ステンレス銅板	・ 7M204タイプ	・ 75	・ 電動式	・ ハイリフト形	(SUS 304)	・ 7M204タイプ	・ 50		・ パーチカル形		17 カーテンウォール工事 1 取付方法、性能等 <table><tr><th colspan="2">性能</th><th colspan="2">耐風性能</th><th>水密性</th><th>気密性</th><th>耐火性</th><th>耐温度変化 (℃)</th><th>遮音性</th><th>断熱性</th></tr><tr><td rowspan="3">耐風性能</td><td rowspan="3">水平方向 (kN)</td><td rowspan="3">垂直方向 (kN)</td><td rowspan="3">・ 1. 0</td><td rowspan="3">・ 0. 5</td><td rowspan="3">・ W-4</td><td rowspan="3">・ A-3</td><td rowspan="3">・ 80</td><td rowspan="3">・ T3</td><td rowspan="3">・ H-2</td></tr><tr></tr><tr></tr><tr><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">・</td><td rowspan="3">・</td><td rowspan="3">・ W-5</td><td rowspan="3">・ A-4</td><td rowspan="3">・ 70</td><td rowspan="3">・ T4</td><td rowspan="3">・ H-3</td></tr><tr></tr><tr></tr><tr><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">・ 60</td><td rowspan="3">・ T5</td><td rowspan="3">・ H-4</td></tr><tr></tr><tr></tr></table> 性能の確認方法及び判定方法 ※ 性能の確認及び判定方法が確認できる適切な資料 ・ 適用は以下によるほか、カーテンウォール図による 金属系材料の種類 ・ アルミニウム材 ・ 鋼材 ・ ステンレス鋼材 (アルミニウム材の場合) 規格等 標仕16. 2. 3による 種別 ・ 着色 ・ 標準色 ・ 特注色	性能		耐風性能		水密性	気密性	耐火性	耐温度変化 (℃)	遮音性	断熱性	耐風性能	水平方向 (kN)	垂直方向 (kN)	・ 1. 0	・ 0. 5	・ W-4	・ A-3	・ 80	・ T3	・ H-2				・	・	・ W-5	・ A-4	・ 70	・ T4	・ H-3								・ 60	・ T5	・ H-4	18 塗装工事 ① 材料 ③ 素地ごしらえ	19 内装工事 1 接着剤等 (19. 2. 2) (19. 3. 2) (19. 5. 4) (19. 7. 2) (19. 9. 3) 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合のゴム床タイプ用接着剤の主成分による区分 (19. 2. 2) (表 19. 2. 2) ・ 図示による 下地の施工 標仕19. 2. 3 (1) (7) から (9) 以外の下地の工法 (19. 2. 3) ・ 図示による 材料 (19. 2. 2) <table><tr><th>種 類</th><th>色 柄</th><th>厚さ (mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※ F S (複層ビニル床シート)</td><td>※ 無地 ・ マーブル柄</td><td>※ 2. 0</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>※ 柄物 ・ 無地</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 接合部の処理 ※ 熱溶接工法 ・ 実付け (19. 2. 3) 2 ビニル床シート G 3 ビニル床タイル G 4 特殊機能床 G 5 ビニル幅木 6 ゴム床タイル	種 類	色 柄	厚さ (mm)	備 考	※ F S (複層ビニル床シート)	※ 無地 ・ マーブル柄	※ 2. 0		・	※ 柄物 ・ 無地	・		・				20 床 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ (19. 2. 2) (19. 3. 2) (19. 5. 4) (19. 7. 2) (19. 9. 3) 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合のゴム床タイプ用接着剤の主成分による区分 (19. 2. 2) (表 19. 2. 2) ・ 図示による 下地の施工 標仕19. 2. 3 (1) (7) から (9) 以外の下地の工法 (19. 2. 3) ・ 図示による 材料 (19. 2. 2) <table><tr><th>種 類</th><th>色 柄</th><th>寸 法</th><th>厚さ (mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※ K T (コバ・ジヨンビニル床タイル)</td><td>・ 無地</td><td>・ 300×300</td><td>※ 2. 0</td><td></td></tr><tr><td>・ T T (単層ビニル床タイル)</td><td>・</td><td>・ 450×450</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・ F T (複層ビニル床タイル)</td><td>・</td><td>・ 500×500</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・ F O A (置敷ビニル床タイル)</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・ F O B (薄型置敷ビニル床タイル)</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr></table> 材料 (19. 2. 2) <table><tr><th>シート・タイルの種類</th><th>種類</th><th>性能</th><th>厚さ、寸法、形状 (mm)</th></tr><tr><td>・ 帯電防止床シート</td><td></td><td></td><td>厚さ：</td></tr><tr><td>・ 帯電防止床タイル</td><td></td><td></td><td>寸法： 厚さ：</td></tr><tr><td>・ 視覚障害者用床タイル</td><td></td><td>—</td><td>形状：</td></tr><tr><td>・ 移動荷重性床シート</td><td></td><td>—</td><td>厚さ：</td></tr><tr><td>・ 防滑性床シート</td><td></td><td>—</td><td>厚さ：</td></tr><tr><td>・ 防滑性床タイル</td><td></td><td>—</td><td>寸法： 厚さ：</td></tr></table> 材質の種類 ※ 軟質 ・ 硬質 (19. 2. 2) 高さ (mm) ※ 60 ・ 70 ・ 100 厚さ (mm) ※ 1. 5以上 種類 ・ 単層品 ・ 積層品 (19. 2. 2) 色柄 () 厚さ (mm) ・ 3. 0 ・ 4. 5 ・ 6. 0 ・ 9. 0 寸法 (mm) ()	種 類	色 柄	寸 法	厚さ (mm)	備 考	※ K T (コバ・ジヨンビニル床タイル)	・ 無地	・ 300×300	※ 2. 0		・ T T (単層ビニル床タイル)	・	・ 450×450	・		・ F T (複層ビニル床タイル)	・	・ 500×500	・		・ F O A (置敷ビニル床タイル)	・	・	・		・ F O B (薄型置敷ビニル床タイル)	・	・	・		シート・タイルの種類	種類	性能	厚さ、寸法、形状 (mm)	・ 帯電防止床シート			厚さ：	・ 帯電防止床タイル			寸法： 厚さ：	・ 視覚障害者用床タイル		—	形状：	・ 移動荷重性床シート		—	厚さ：	・ 防滑性床シート		—	厚さ：	・ 防滑性床タイル		—	寸法： 厚さ：																																																																																																		
セクション材料	風圧力区分 (Pa)	開閉方式	収納形式	ガイドレール																																																																																																																																																																																																																																																			
※ スチールタイプ	・ 125	※ バランス式	・ スタンダード形	※ 溶融亜鉛めっき銅板																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 7M204タイプ	・ 100	・ チェーン式	・ ローヘッド形	・ ステンレス銅板																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 7M204タイプ	・ 75	・ 電動式	・ ハイリフト形	(SUS 304)																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 7M204タイプ	・ 50		・ パーチカル形																																																																																																																																																																																																																																																				
性能		耐風性能		水密性	気密性	耐火性	耐温度変化 (℃)	遮音性	断熱性																																																																																																																																																																																																																																														
耐風性能	水平方向 (kN)	垂直方向 (kN)	・ 1. 0	・ 0. 5	・ W-4	・ A-3	・ 80	・ T3	・ H-2																																																																																																																																																																																																																																														
			・	・	・ W-5	・ A-4	・ 70	・ T4	・ H-3																																																																																																																																																																																																																																														
							・ 60	・ T5	・ H-4																																																																																																																																																																																																																																														
種 類	色 柄	厚さ (mm)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																				
※ F S (複層ビニル床シート)	※ 無地 ・ マーブル柄	※ 2. 0																																																																																																																																																																																																																																																					
・	※ 柄物 ・ 無地	・																																																																																																																																																																																																																																																					
・																																																																																																																																																																																																																																																							
種 類	色 柄	寸 法	厚さ (mm)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																			
※ K T (コバ・ジヨンビニル床タイル)	・ 無地	・ 300×300	※ 2. 0																																																																																																																																																																																																																																																				
・ T T (単層ビニル床タイル)	・	・ 450×450	・																																																																																																																																																																																																																																																				
・ F T (複層ビニル床タイル)	・	・ 500×500	・																																																																																																																																																																																																																																																				
・ F O A (置敷ビニル床タイル)	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																				
・ F O B (薄型置敷ビニル床タイル)	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																				
シート・タイルの種類	種類	性能	厚さ、寸法、形状 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 帯電防止床シート			厚さ：																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 帯電防止床タイル			寸法： 厚さ：																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 視覚障害者用床タイル		—	形状：																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 移動荷重性床シート		—	厚さ：																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 防滑性床シート		—	厚さ：																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 防滑性床タイル		—	寸法： 厚さ：																																																																																																																																																																																																																																																				
17	オーバーヘッドドア	区分、材料 (16. 13. 2) (16. 13. 3) <table><tr><th>セクション材料</th><th>風圧力区分 (Pa)</th><th>開閉方式</th><th>収納形式</th><th>ガイドレール</th></tr><tr><td>※ スチールタイプ</td><td>・ 125</td><td>※ バランス式</td><td>・ スタンダード形</td><td>※ 溶融亜鉛めっき銅板</td></tr><tr><td>・ 7M204タイプ</td><td>・ 100</td><td>・ チェーン式</td><td>・ ローヘッド形</td><td>・ ステンレス銅板</td></tr><tr><td>・ 7M204タイプ</td><td>・ 75</td><td>・ 電動式</td><td>・ ハイリフト形</td><td>(SUS 304)</td></tr><tr><td>・ 7M204タイプ</td><td>・ 50</td><td></td><td>・ パーチカル形</td><td></td></tr></table> 電動式の場合の障害物感知装置の設置場所 ・ 図示 ()	セクション材料	風圧力区分 (Pa)	開閉方式	収納形式	ガイドレール	※ スチールタイプ	・ 125	※ バランス式	・ スタンダード形	※ 溶融亜鉛めっき銅板	・ 7M204タイプ	・ 100	・ チェーン式	・ ローヘッド形	・ ステンレス銅板	・ 7M204タイプ	・ 75	・ 電動式	・ ハイリフト形	(SUS 304)	・ 7M204タイプ	・ 50		・ パーチカル形		18 ガラス用フィルム (内張り用) 用途による区分 記号 ・ ガラス飛散防止フィルム ※ GS-A-B ・ 日射調整フィルム/ガラス飛散防止フィルム ・ SC-A/GS-A-B ・ SC-B/GS-A-B ・ ガラス貫通防止フィルム ※ SF-A ・ 日射調整フィルム/ガラス貫通防止フィルム ・ SC-A/SF-A ・ SC-B/SF-A 品質 JIS A5759 による	19 カーテンウォール工事 1 取付方法、性能等 <table><tr><th colspan="2">性能</th><th colspan="2">耐風性能</th><th>水密性</th><th>気密性</th><th>耐火性</th><th>耐温度変化 (℃)</th><th>遮音性</th><th>断熱性</th></tr><tr><td rowspan="3">耐風性能</td><td rowspan="3">水平方向 (kN)</td><td rowspan="3">垂直方向 (kN)</td><td rowspan="3">・ 1. 0</td><td rowspan="3">・ 0. 5</td><td rowspan="3">・ W-4</td><td rowspan="3">・ A-3</td><td rowspan="3">・ 80</td><td rowspan="3">・ T3</td><td rowspan="3">・ H-2</td></tr><tr></tr><tr></tr><tr><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">・</td><td rowspan="3">・</td><td rowspan="3">・ W-5</td><td rowspan="3">・ A-4</td><td rowspan="3">・ 70</td><td rowspan="3">・ T4</td><td rowspan="3">・ H-3</td></tr><tr></tr><tr></tr><tr><td rowspan="3"></td><td rowspan="4"></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">・ 60</td><td rowspan="3">・ T5</td><td rowspan="3">・ H-4</td></tr><tr></tr><tr></tr></table> 性能の確認方法及び判定方法 ※ 性能の確認及び判定方法が確認できる適切な資料 ・ 適用は以下によるほか、カーテンウォール図による 金属系材料の種類 ・ アルミニウム材 ・ 鋼材 ・ ステンレス鋼材 (アルミニウム材の場合) 規格等 標仕16. 2. 3による 種別 ・ 着色 ・ 標準色 ・ 特注色	性能		耐風性能		水密性	気密性	耐火性	耐温度変化 (℃)	遮音性	断熱性	耐風性能	水平方向 (kN)	垂直方向 (kN)	・ 1. 0	・ 0. 5	・ W-4	・ A-3	・ 80	・ T3	・ H-2				・	・	・ W-5	・ A-4	・ 70	・ T4	・ H-3								・ 60	・ T5	・ H-4	20 床 接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※ F☆☆☆☆ (18. 1. 3) ・ 防火材料 ・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・ 次の箇所を除き防火材料とする (箇所：) 種別 (18. 2. 2～18. 2. 7) (表 18. 2. 1～表 18. 2. 7) <table><tr><th colspan="2">下地面等</th><th>種 別</th></tr><tr><td rowspan="2">本部</td><td>不透明塗料塗りの場合</td><td>※ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td>透明塗りの場合</td><td>・ A 種 ※ B 種</td></tr><tr><td rowspan="2">鉄鋼面</td><td>耐候性塗料塗り (DP) の場合</td><td>・ A 種 ※ B 種 ・ C 種</td></tr><tr><td>上記以外の場合</td><td>・ A 種 ・ B 種 ※ C 種</td></tr><tr><td colspan="2">亜鉛めっき鋼面</td><td>・ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td colspan="2">モルタル面、せっこうプラスター面</td><td>・ A 種 ※ B 種</td></tr><tr><td colspan="2">コンクリート面 (DP以外) 、ALCパネル面</td><td>・ A 種 ※ B 種</td></tr><tr><td colspan="2">コンクリート面 (DP)</td><td>※ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td colspan="2">押出成形セメント板面</td><td>・ A 種 ※ B 種</td></tr><tr><td colspan="2">せっこうボード面、その他のボード面</td><td>・ A 種 ※ B 種</td></tr></table> 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒドの放散量 ※ F☆☆☆☆ (18. 1. 3) ・ 防火材料 ・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・ 次の箇所を除き防火材料とする (箇所：) 種別 (18. 2. 2～18. 2. 7) (表 18. 2. 1～表 18. 2. 7) <table><tr><th colspan="2">下地面等</th><th>種 別</th></tr><tr><td rowspan="2">本部</td><td>不透明塗料塗りの場合</td><td>※ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td>透明塗りの場合</td><td>・ A 種 ※ B 種</td></tr><tr><td rowspan="2">鉄鋼面</td><td>耐候性塗料塗り (DP) の場合</td><td>・ A 種 ※ B 種 ・ C 種</td></tr><tr><td>上記以外の場合</td><td>・ A 種 ・ B 種 ※ C 種</td></tr><tr><td colspan="2">亜鉛めっき鋼面</td><td>・ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td colspan="2">モルタル面、せっこうプラスター面</td><td>・ A 種 ※ B 種</td></tr><tr><td colspan="2">コンクリート面 (DP以外) 、ALCパネル面</td><td>・ A 種 ※ B 種</td></tr><tr><td colspan="2">コンクリート面 (DP)</td><td>※ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td colspan="2">押出成形セメント板面</td><td>・ A 種 ※ B 種</td></tr><tr><td colspan="2">せっこうボード面、その他のボード面</td><td>・ A 種 ※ B 種</td></tr></table> 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒドの放散量 ※ F☆☆☆☆ (18. 1. 3) ・ 防火材料 ・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・ 次の箇所を除き防火材料とする (箇所：) 種別 (18. 2. 2～18. 2. 7) (表 18. 2. 1～表 18. 2. 7) <table><tr><th colspan="2">下地面等</th><th>種 別</th></tr><tr><td rowspan="2">本部</td><td>不透明塗料塗りの場合</td><td>※ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td>透明塗りの場合</td><td>・ A 種 ※ B 種</td></tr><tr><td rowspan="2">鉄鋼面</td><td>耐候性塗料塗り (DP) の場合</td><td>・ A 種 ※ B 種 ・ C 種</td></tr><tr><td>上記以外の場合</td><td>・ A 種 ・ B 種 ※ C 種</td></tr><tr><td colspan="2">亜鉛めっき鋼面</td><td>・ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td colspan="2">モルタル面、せっこうプラスター面</td><td>・ A 種 ※ B 種</td></tr><tr><td colspan="2">コンクリート面 (DP以外) 、ALCパネル面</td><td>・ A 種 ※ B 種</td></tr><tr><td colspan="2">コンクリート面 (DP)</td><td>※ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td colspan="2">押出成形セメント板面</td><td>・ A 種 ※ B 種</td></tr><tr><td colspan="2">せっこうボード面、その他のボード面</td><td>・ A 種 ※ B 種</td></tr></table> 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒドの放散量 ※ F☆☆☆☆ (18. 1. 3) ・ 防火材料 ・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・ 次の箇所を除き防火材料とする (箇所：) 種別 (18. 2. 2～18. 2. 7) (表 18. 2. 1～表 18. 2. 7) <table><tr><th colspan="2">下地面等</th><th>種 別</th></tr><tr><td rowspan="2">本部</td><td>不透明塗料塗りの場合</td><td>※ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td>透明塗りの場合</td><td>・ A 種 ※ B 種</td></tr><tr><td rowspan="2">鉄鋼面</td><td>耐候性塗料塗り (DP) の場合</td><td>・ A 種 ※ B 種 ・ C 種</td></tr><tr><td>上記以外の場合</td><td>・ A 種 ・ B 種 ※ C 種</td></tr><tr><td colspan="2">亜鉛めっき鋼面</td><td>・ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td colspan="2">モルタル面、せっこうプラスター面</td><td>・ A 種 ※ B 種</td></tr><tr><td colspan="2">コンクリート面 (DP以外) 、ALCパネル面</td><td>・ A 種 ※ B 種</td></tr><tr><td colspan="2">コンクリート面 (DP)</td><td>※ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td colspan="2">押出成形セメント板面</td><td>・ A 種 ※ B 種</td></tr><tr><td colspan="2">せっこうボード面、その他のボード面</td><td>・ A 種 ※ B 種</td></tr></table> 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒドの放散量 ※ F☆☆☆☆ (18. 1. 3) ・ 防火材料 ・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・ 次の箇所を除き防火材料とする (箇所：) 種別 (18. 2. 2～18. 2. 7) (表 18. 2. 1～表 18. 2. 7) <table><tr><th colspan="2">下地面等</th><th>種 別</th></tr><tr><td rowspan="2">本部</td><td>不透明塗料塗りの場合</td><td>※ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td>透明塗りの場合</td><td>・ A 種 ※ B 種</td></tr><tr><td rowspan="2">鉄鋼面</td><td>耐候性塗料塗り (DP) の場合</td><td>・ A 種 ※ B 種 ・ C 種</td></tr><tr><td>上記以外の場合</td><td>・ A 種 ・ B 種 ※ C 種</td></tr><tr><td colspan="2">亜鉛めっき鋼面</td><td>・ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td colspan="2">モルタル面、せっこうプラスター面</td><td>・ A 種 ※ B 種</td></tr><tr><td colspan="2">コンクリート面 (DP以外) 、ALCパネル面</td><td>・ A 種 ※ B 種</td></tr><tr><td colspan="2">コンクリート面 (DP)</td><td>※ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td colspan="2">押出成形セメント板面</td><td>・ A 種 ※ B 種</td></tr><tr><td colspan="2">せっこうボード面、その他のボード面</td><td>・ A 種 ※ B 種</td></tr></table> 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒドの放散量 ※ F☆☆☆☆ (18. 1. 3) ・ 防火材料 ・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・ 次の箇所を除き防火材料とする (箇所：) 種別 (18. 2. 2～18. 2. 7) (表 18. 2. 1～表 18. 2. 7) <table><tr><th colspan="2">下地面等</th><th>種 別</th></tr><tr><td rowspan="2">本部</td><td>不透明塗料塗りの場合</td><td>※ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td>透明塗りの場合</td><td>・ A 種 ※ B 種</td></tr><tr><td rowspan="2">鉄鋼面</td><td>耐候性塗料塗り (DP) の場合</td><td>・ A 種 ※ B 種 ・ C 種</td></tr><tr><td>上記以外の場合</td><td>・ A 種 ・ B 種 ※ C 種</td></tr><tr><td colspan="2">亜鉛めっき鋼面</td><td>・ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td colspan="2">モルタル面、せっこうプラスター面</td><td>・ A 種 ※ B 種</td></tr><tr><td colspan="2">コンクリート面 (DP以外) 、ALCパネル面</td><td>・ A 種 ※ B</td></tr></table>	下地面等		種 別	本部	不透明塗料塗りの場合	※ A 種 ・ B 種	透明塗りの場合	・ A 種 ※ B 種	鉄鋼面	耐候性塗料塗り (DP) の場合	・ A 種 ※ B 種 ・ C 種	上記以外の場合	・ A 種 ・ B 種 ※ C 種	亜鉛めっき鋼面		・ A 種 ・ B 種	モルタル面、せっこうプラスター面		・ A 種 ※ B 種	コンクリート面 (DP以外) 、ALCパネル面		・ A 種 ※ B 種	コンクリート面 (DP)		※ A 種 ・ B 種	押出成形セメント板面		・ A 種 ※ B 種	せっこうボード面、その他のボード面		・ A 種 ※ B 種	下地面等		種 別	本部	不透明塗料塗りの場合	※ A 種 ・ B 種	透明塗りの場合	・ A 種 ※ B 種	鉄鋼面	耐候性塗料塗り (DP) の場合	・ A 種 ※ B 種 ・ C 種	上記以外の場合	・ A 種 ・ B 種 ※ C 種	亜鉛めっき鋼面		・ A 種 ・ B 種	モルタル面、せっこうプラスター面		・ A 種 ※ B 種	コンクリート面 (DP以外) 、ALCパネル面		・ A 種 ※ B 種	コンクリート面 (DP)		※ A 種 ・ B 種	押出成形セメント板面		・ A 種 ※ B 種	せっこうボード面、その他のボード面		・ A 種 ※ B 種	下地面等		種 別	本部	不透明塗料塗りの場合	※ A 種 ・ B 種	透明塗りの場合	・ A 種 ※ B 種	鉄鋼面	耐候性塗料塗り (DP) の場合	・ A 種 ※ B 種 ・ C 種	上記以外の場合	・ A 種 ・ B 種 ※ C 種	亜鉛めっき鋼面		・ A 種 ・ B 種	モルタル面、せっこうプラスター面		・ A 種 ※ B 種	コンクリート面 (DP以外) 、ALCパネル面		・ A 種 ※ B 種	コンクリート面 (DP)		※ A 種 ・ B 種	押出成形セメント板面		・ A 種 ※ B 種	せっこうボード面、その他のボード面		・ A 種 ※ B 種	下地面等		種 別	本部	不透明塗料塗りの場合	※ A 種 ・ B 種	透明塗りの場合	・ A 種 ※ B 種	鉄鋼面	耐候性塗料塗り (DP) の場合	・ A 種 ※ B 種 ・ C 種	上記以外の場合	・ A 種 ・ B 種 ※ C 種	亜鉛めっき鋼面		・ A 種 ・ B 種	モルタル面、せっこうプラスター面		・ A 種 ※ B 種	コンクリート面 (DP以外) 、ALCパネル面		・ A 種 ※ B 種	コンクリート面 (DP)		※ A 種 ・ B 種	押出成形セメント板面		・ A 種 ※ B 種	せっこうボード面、その他のボード面		・ A 種 ※ B 種	下地面等		種 別	本部	不透明塗料塗りの場合	※ A 種 ・ B 種	透明塗りの場合	・ A 種 ※ B 種	鉄鋼面	耐候性塗料塗り (DP) の場合	・ A 種 ※ B 種 ・ C 種	上記以外の場合	・ A 種 ・ B 種 ※ C 種	亜鉛めっき鋼面		・ A 種 ・ B 種	モルタル面、せっこうプラスター面		・ A 種 ※ B 種	コンクリート面 (DP以外) 、ALCパネル面		・ A 種 ※ B 種	コンクリート面 (DP)		※ A 種 ・ B 種	押出成形セメント板面		・ A 種 ※ B 種	せっこうボード面、その他のボード面		・ A 種 ※ B 種	下地面等		種 別	本部	不透明塗料塗りの場合	※ A 種 ・ B 種	透明塗りの場合	・ A 種 ※ B 種	鉄鋼面	耐候性塗料塗り (DP) の場合	・ A 種 ※ B 種 ・ C 種	上記以外の場合	・ A 種 ・ B 種 ※ C 種	亜鉛めっき鋼面		・ A 種 ・ B 種	モルタル面、せっこうプラスター面		・ A 種 ※ B 種	コンクリート面 (DP以外) 、ALCパネル面		・ A 種 ※ B
セクション材料	風圧力区分 (Pa)	開閉方式	収納形式	ガイドレール																																																																																																																																																																																																																																																			
※ スチールタイプ	・ 125	※ バランス式	・ スタンダード形	※ 溶融亜鉛めっき銅板																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 7M204タイプ	・ 100	・ チェーン式	・ ローヘッド形	・ ステンレス銅板																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 7M204タイプ	・ 75	・ 電動式	・ ハイリフト形	(SUS 304)																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 7M204タイプ	・ 50		・ パーチカル形																																																																																																																																																																																																																																																				
性能		耐風性能		水密性	気密性	耐火性	耐温度変化 (℃)	遮音性	断熱性																																																																																																																																																																																																																																														
耐風性能	水平方向 (kN)	垂直方向 (kN)	・ 1. 0	・ 0. 5	・ W-4	・ A-3	・ 80	・ T3	・ H-2																																																																																																																																																																																																																																														
			・	・	・ W-5	・ A-4	・ 70	・ T4	・ H-3																																																																																																																																																																																																																																														
							・ 60	・ T5	・ H-4																																																																																																																																																																																																																																														
下地面等		種 別																																																																																																																																																																																																																																																					
本部	不透明塗料塗りの場合	※ A 種 ・ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
	透明塗りの場合	・ A 種 ※ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
鉄鋼面	耐候性塗料塗り (DP) の場合	・ A 種 ※ B 種 ・ C 種																																																																																																																																																																																																																																																					
	上記以外の場合	・ A 種 ・ B 種 ※ C 種																																																																																																																																																																																																																																																					
亜鉛めっき鋼面		・ A 種 ・ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
モルタル面、せっこうプラスター面		・ A 種 ※ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
コンクリート面 (DP以外) 、ALCパネル面		・ A 種 ※ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
コンクリート面 (DP)		※ A 種 ・ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
押出成形セメント板面		・ A 種 ※ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
せっこうボード面、その他のボード面		・ A 種 ※ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
下地面等		種 別																																																																																																																																																																																																																																																					
本部	不透明塗料塗りの場合	※ A 種 ・ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
	透明塗りの場合	・ A 種 ※ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
鉄鋼面	耐候性塗料塗り (DP) の場合	・ A 種 ※ B 種 ・ C 種																																																																																																																																																																																																																																																					
	上記以外の場合	・ A 種 ・ B 種 ※ C 種																																																																																																																																																																																																																																																					
亜鉛めっき鋼面		・ A 種 ・ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
モルタル面、せっこうプラスター面		・ A 種 ※ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
コンクリート面 (DP以外) 、ALCパネル面		・ A 種 ※ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
コンクリート面 (DP)		※ A 種 ・ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
押出成形セメント板面		・ A 種 ※ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
せっこうボード面、その他のボード面		・ A 種 ※ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
下地面等		種 別																																																																																																																																																																																																																																																					
本部	不透明塗料塗りの場合	※ A 種 ・ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
	透明塗りの場合	・ A 種 ※ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
鉄鋼面	耐候性塗料塗り (DP) の場合	・ A 種 ※ B 種 ・ C 種																																																																																																																																																																																																																																																					
	上記以外の場合	・ A 種 ・ B 種 ※ C 種																																																																																																																																																																																																																																																					
亜鉛めっき鋼面		・ A 種 ・ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
モルタル面、せっこうプラスター面		・ A 種 ※ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
コンクリート面 (DP以外) 、ALCパネル面		・ A 種 ※ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
コンクリート面 (DP)		※ A 種 ・ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
押出成形セメント板面		・ A 種 ※ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
せっこうボード面、その他のボード面		・ A 種 ※ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
下地面等		種 別																																																																																																																																																																																																																																																					
本部	不透明塗料塗りの場合	※ A 種 ・ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
	透明塗りの場合	・ A 種 ※ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
鉄鋼面	耐候性塗料塗り (DP) の場合	・ A 種 ※ B 種 ・ C 種																																																																																																																																																																																																																																																					
	上記以外の場合	・ A 種 ・ B 種 ※ C 種																																																																																																																																																																																																																																																					
亜鉛めっき鋼面		・ A 種 ・ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
モルタル面、せっこうプラスター面		・ A 種 ※ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
コンクリート面 (DP以外) 、ALCパネル面		・ A 種 ※ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
コンクリート面 (DP)		※ A 種 ・ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
押出成形セメント板面		・ A 種 ※ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
せっこうボード面、その他のボード面		・ A 種 ※ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
下地面等		種 別																																																																																																																																																																																																																																																					
本部	不透明塗料塗りの場合	※ A 種 ・ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
	透明塗りの場合	・ A 種 ※ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
鉄鋼面	耐候性塗料塗り (DP) の場合	・ A 種 ※ B 種 ・ C 種																																																																																																																																																																																																																																																					
	上記以外の場合	・ A 種 ・ B 種 ※ C 種																																																																																																																																																																																																																																																					
亜鉛めっき鋼面		・ A 種 ・ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
モルタル面、せっこうプラスター面		・ A 種 ※ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
コンクリート面 (DP以外) 、ALCパネル面		・ A 種 ※ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
コンクリート面 (DP)		※ A 種 ・ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
押出成形セメント板面		・ A 種 ※ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
せっこうボード面、その他のボード面		・ A 種 ※ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
下地面等		種 別																																																																																																																																																																																																																																																					
本部	不透明塗料塗りの場合	※ A 種 ・ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
	透明塗りの場合	・ A 種 ※ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
鉄鋼面	耐候性塗料塗り (DP) の場合	・ A 種 ※ B 種 ・ C 種																																																																																																																																																																																																																																																					
	上記以外の場合	・ A 種 ・ B 種 ※ C 種																																																																																																																																																																																																																																																					
亜鉛めっき鋼面		・ A 種 ・ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
モルタル面、せっこうプラスター面		・ A 種 ※ B 種																																																																																																																																																																																																																																																					
コンクリート面 (DP以外) 、ALCパネル面		・ A 種 ※ B																																																																																																																																																																																																																																																					

7	カーペット敷き	(19. 3. 2) (表19. 3. 1)					11	せつこうボード、その他ボード及び合板張り	(19. 7. 2) (表 19. 7. 1)					20	ユニット及びその他の工事	フェノールフォームを使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆					10	タラップ	材料の種類 ※ ステンレス製 仕上げ ※ 研磨等の仕上げは行わない					(20. 2. 12)				
		織り方							厚さ (mm)等							(19. 9. 4)							煙突ライニング					(20. 2. 13)				
		バイル形状							種 類							断熱材の種類							材料等					(20. 2. 14)				
		帯電性							厚さ (mm)等							A種1							種類					※ギア式				
		・ ウィルトカーペット							・ 15 ・ 20 ・ 25							・ A種1							幅、高さ					・ 図示による				
		・ ダブルフェースカーペット							・ 15 ・ 20 ・ 25							・ 25 ・ 30									スラットの幅					※25mm		
		・ アキスミンスターカーペット							・ 30							・ 図示による							材質					スラット				
		色柄、バイル糸の種類等							・ 30							・ 図示による							ヘッドボックス					※鋼製				
		※ 無地 (種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種)							・ 30							・ 図示による							ボトムレール					※鋼製				
		・ 柄物 (標準品)							・ 30							・ 図示による							・ 両端開き					操作方法				
		下敷き材 ※ 反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ8mm							・ 30							・ 図示による							※2本操作コード方式					・ 1本操作コード方式				
		見切り、押え金物							・ 30							・ 図示による							スラットの材質					・ 焼付け塗装仕上げのアルミスラット				
		・ 適用する (材質、形状等 ・ 図示)							・ 30							・ 図示による							・ 消防法で定める防災性能の表示がある特殊樹脂加工クロススラット					スラットの幅				
		・ 適用しない							・ 30							・ 図示による							() mm									
		織じゅうたんの接合方法							・ 30							・ 図示による																
		※シートボンド工法							・ 30							・ 図示による																
		・ タフテッドカーペット							・ 30							・ 図示による							材料等					(20. 2. 15)				
		バイル形状							・ 30							・ 図示による							材 種					品質				
		工 法							・ 30							・ 図示による							品 質					遮光性能				
		・ カットバイル							・ 30							・ 図示による							・ 1級					・ 電動式				
		・ ループバイル							・ 30							・ 図示による							・ 2級					・ スプリング式				
		・ カット、ループ併用							・ 30							・ 図示による							・ 3級					・ チェーン式				
		下敷き材 (グリッパー工法の場合)							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		※ 反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ8mm							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		見切り、押え金物							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 適用する (材質、形状等 ・ 図示)							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 適用しない							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		タイルカーベットの敷き方 平場 ※市松敷き ・ 模様流し ・ 平場 ※市松敷き ・ 模様流し ・ 階段 ※市松敷き ・ 模様流し ・							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・ 図示				
		・ 模様の流し							・ 30							・ 図示による							・ 電動式					・				

22

止水板

形式

施工箇所

・ 差込式

・ 据置式

・ 壁張り式

・ 図示による

23

エキスパンション・ジョイント金物

材 種

クリアランス

耐火性能

備 考

○ アルミニウム製

○ 50 ・ 100

・ 有り (時間)

○ 外部は防水型

○ ステンレス製

・ 150 ・

○ 無し

外部は防水型とする

24

くつふきマット

材 種

受け枠

備 考

・ 塩化ビニル又はゴム製

・ ステンレス鋼 (SUS304)

・ 硬質アルミニウム合金製

・ 硬質アルミニウム合金

・ ステンレス鋼 (SUS304) 製

・

・

25

流し台ユニット

材 種

寸 法 (mm)

備 考

・ 流し台

・ 1200

・ 550

・ 800

市販品

・ 1500

・ 600

・ 850

トラップ付き

・ 1800

・ 650

天板ｽﾚｯｽﾞ製

・ コロ台

・ 600

・ 550

・ 620

市販品

・ 600

・ 670

ﾊﾞｯｸｶｰﾄﾞ有り

・ 650

天板ｽﾚｯｽﾞ製

・ つり戸棚

・ 1200

・ 450

・ 500

市販品

・ 900

・ 700

・ 水切り棚

・ 1200

市販品

・ 900

ｽﾚｯｽﾞ製

・ 600

・ 1 段式 ・

品質・性能 JIS A 4420による

形状 ※ 図示による ・

26

旗竿

材 質

形 式

高さ (m)

操作方法

固定方法

・ アルミニウム合金製

・ テーパー型

・ ハンドル式

・ 埋込み式 ・ バンド式

・

・ 同一断面型

・ ロープ式

・ ベース式

27

旗竿受金物

材質 ・ ステンレス製 (SUS 304) ・

28

車止め支柱

※ ステンレス製 (上下式鎖内蔵型) 径 114.3mm t=2.5mm H=GL+700mm

※ スプリング付 ・ スプリング無し

29

フェンス

フェンスの種類 ・ ビニル被覆エキスパンドフェンス

・ 樹脂塗装メッシュフェンス

・ 鋼管フェンス

・ アルミフェンス

高さ ・ 図示による ・

30

鋼製書架及び物品棚

種 類

規格等

JISによる種類

・ 鋼製書架

JIS S 1039 の規格による

・ 1 種 ・ 2 種 ・ 3 種

・ 鋼製物品棚

・ 4 種 ・ 5 種 ・ 6 種

31

屋内掲示板

枠の材質 ※ アルミニウム製 ・

表面の材質 ※ 塩ビ発泡シート張り ・

32

洗面カウンター

材 種 ・ メラミン樹脂化粧板張り (心材 : 集成材) ・ 人工大理石

奥行き (mm) ・ 約 450 ・ 約 600

33

防煙垂れ壁

・ 固定式

材 質

厚さ (mm)

高さ (mm)

備 考

※ 網入り磨板ガラス

※ 6.8

※ 500

アルミ製枠付き

・ 網入り磨板ガラス

・

・

・ 可動式

種 類

材 質

高さ (mm)

備 考

・ 垂直降下式 (巻取り型)

※ 不燃布 (不燃認定品)

※ 500

ガイドレール

・

・ 800

※ 固定式 (壁埋込型)

・

・

・ 可動式 (天井収納型)

・ 回転降下式

鋼板製又はアルミ製

※ 500

表面仕上げ

・

・ 800

※ 天井材張り

・

・

・

34

収納家具

降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型)

材質形状・寸法 ※ 図示による ・

合板、集成材、MDF、パーティクルボード等のホルムアルデヒドの放散量

※ F☆☆☆☆ ・

35

屋外掲示板

照明器具 (※ 有り ・ 無し) 施設 (※ 有り ・ 無し)

36

敷地境界石標

種類 ※ コンクリートブロック製 (市販品)

・ 花こう石類 (文字記号等入り)

37

視覚障害者用床タイル (誘導用及び注意喚起用床材)

ブロックパターンは JIS T 9251 による

色彩は黄色を原則とする

屋 内 ※ 塩化ビニル製 ・ 磁器又はせっ器質タイル (※ 300 ・)

・ レジンコンクリート製

屋 外 ※ レジンコンクリート製 ・ 磁器又はせっ器質タイル (※ 300 ・)

38

かぎ箱

形 式 市販品 (・ 30 組用 ・ 60 組用 ・ 120 組用 ・)

①

屋外雨水排水

排水管用材料

(表 21.2.1)

(表 21.2.1)

材 種	種類・記号	形状	呼び径	備考
※ 遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管(1種)	・ B形管 ・	・ 図示 ・	
○ 硬質ポリ塩化ビニル管	※ V P ○ V U		・ 図示 ○ 図示	・
・ 硬質ポリ塩化ビニル管継手	・ RS-WU ㊦ ・ D V ・ V U 継手		・ 図示 ・ 図示 ・ 図示	

基礎の厚さ及び種類 ・ 図示による (21.2.2)

硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※ 接着剤 ・ ゴム輪 (21.2.2)

側境の形状及び寸法 ・ 図示による (21.2.1)

排水樹の種類 ○ 図示による (21.2.1)

砂地業に用いる材料 ・ シルト ・ 山砂 ・ 川砂 ・ 砕砂 (21.2.1)

砂利地業に用いる材料 ・ 再生クラッシャーラン ・ 切込砂利 ・ 切込碎石 (21.2.1)

・ 現場打ちの場合のコンクリート材料 ※ 普通コンクリート (21.2.1)

設計基準強度 ※ 18N/mm2 ・

スランプ ※ 15cm又は18cm ・

・ 現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※ S0295 (21.2.1)

凍上抑制層に用いる材料 ・ (21.2.1)

砂を用いる場合の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない

・ 標準仕様書 21.2.2(6) (注) の排水樹を現場打ちとする場合の足掛け金物 (21.2.2)

・ 幅400mm、径22mmのステンレス製

・ 径22mmの防錆処理を行った鋼製

・ 径19mmの成組指被覆加工を行ったもの

2

鉄鉄製ふた

種類

(21.2.1)

名 称	種 類	適用荷重	鍵	備 考
鉄鉄製 丸かんふた	・ 水封形 ・ 簡易気密形 (ハ' ヲ式) ・ 密閉形 (テハ' ハ' ヲ式) ・ 中ふた付密閉形 (テハ' ハ' ヲ式) ・	・ T-2 用 ・ T-6 用 ・ T-2 0 用	・ 有 ・ 無	左記以外の品質等は (公社)空気調和衛生 工学会SHASE-S209 による

③

グレーチング

材質等

(21.2.1)

材 質	形 式	種 類	適用荷重	ノバ' ビ' ヅ (質量)	書影/ホ (質量)	上面形状
○ 鋼製	・ 受付けき、 ボルト固定 ・	・ 溝ふた (横断用) ・ 溝ふた (側清用) ○ 餅ふた用 ・ U字溝用	○ 歩行用 ※ 細目 ・ T-2 用 ・ T-6 用 ・ T-1 4 用 ・ T-2 0 用	※ 細目 ・ 普通目 ・ 細目 ()	・	○ 凹凸形 ・
・ ステン製	・ 受付けき、 ボルト固定 ・	・ 溝ふた (横断用) ・ 溝ふた (側清用) ・ 餅ふた用 ・ U字溝用	・ 歩行用 ・ T-2 用 ・ T-6 用 ・ T-1 4 用 ・ T-2 0 用		/	/

4

街きよ、縁石、側溝

材料

(21.3.1)(表21.3.1)

種 類	形状、寸法
・ 街きよ、縁石	・ 図示 ・
・ L形側溝	・ 図示 ・
・ U形側溝	・ 図示 ・
・ U形側溝ふた	・ 図示 ・
・	・

砂地業の材料 ・ シルト ・ 山砂 ・ 川砂 ・ 砕砂 (21.3.1)

砂利地業に用いる材料 ・ 再生クラッシャーラン ・ 切込砂利 ・ 切込碎石 (21.3.1)

砂利事業の厚さ ※ 100mm/19 ・ 図示による (21.3.2)

・ 現場打ちの場合のコンクリート材料 ※ 普通コンクリート (21.3.1)

設計基準強度 ※ 18N/mm2 ・

スランプ ※ 15cm又は18cm ・

・ 現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※ S0295 (21.3.1)

凍上抑制層に用いる材料 (21.3.1)

砂を用いる場合の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない

5

埋戻し土

※ B種 (標準仕様書 表3.2.1)

(21.2.1)

1

路床

路床の材料

(22.1.3)(22.2.2)(22.2.3)(22.2.4)(22.2.5)

種 別	材 料	厚さ(mm)
・ 盛土	標準仕様書 表3.2.1により ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・ 図示
・ 凍結抑制層	※ 再生クラッシャーラン ・ クラッシャーラン ・ 切込み砂利 ・ 砂	・ 図示 ・

透水性舗装に用いるフィルター層の厚さ ・ 図示による ・

路床安定処理 ・ 適用する ・ 適用しない (22.2.2)(22.2.3)

安定処理の方法 ・ 置き換え工法 ・ 安定処理工法 (表22.2.1)

添加材料

種類 ・ 普通ポルトランドセメント
・ 高炉セメントB種
・ フライアッシュセメントB種
・ 生石灰 (・ 特号 ・ 1号)
・ 消石灰 (・ 特号 ・ 1号)
添加量を定めるために用いる CBR () (22.2.4)

試験 (22.2.5)

路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 行う ・ 行わない

路床締固め度の試験 (現場密度) ・ 行う ・ 行わない

現場 CBR 試験 ・ 行う ・ 行わない

1	路床	路床の材料 (22.1.3) (22.2.2) (22.2.3)		
		種 別	材 料	厚さ (mm)
		・ 盛土	標準仕様書 表3.2.1により ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・ 図示
		・ 凍結抑制層	※ 再生クラッシャー ・ クラッシャー ・ 切込み砂利 ・ 砂	・ 図示 ・
		透水性舗装に用いるフィルター層の厚さ ・ 図示による ・		
		路床安定処理	・ 適用する ・ 適用しない	(22.2.2) (22.2.3)
		安定処理の方法	・ 置き換え工法 ・ 安定処理工法	
		添加材料 (表22.2.1)		
		種類	・ 普通ポルトランドセメント ・ 高伊セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 (・ 特号 ・ 1号) ・ 消石灰 (・ 特号 ・ 1号)	
		添加量を定めるために用いる CBR () (22.2.4)		
		試験 (22.2.5)		
		路床土の支持力比 (CBR) 試験	・ 行う ・ 行わない	
		路床締固め度の試験 (現場密度)	・ 行う ・ 行わない	
		現場 CBR 試験	・ 行う ・ 行わない	

2

路盤

路盤の厚さ

・ 図示による

路盤材料

※ 再生クラッシャーラン

※ 再生粒度調整砕石

・ 粒度調整鉄鋼スラグ

・ クラッシャーラン

・ クラッシャー鉄鋼スラグ

・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ

・ 粒度調整砕石

3

アスファルト舗装

アスファルト舗装の構成及び厚さ

※ 図示による

材料

アスファルト

※ 再生アスファルト (・ 60～80 ・ 80～100)

・ スレートアスファルト

(22.4.2)

(22.1.3) (22.4.3)

加熱アスファルト混合物の種類

(22.4.4) (表 22.4.5)

区 分	地 域	種 類
表層	・ 一般地域	※ 密粒度アスファルト混合物 (A3)
	・ 寒冷地域	※ 細粒度アスファルト混合物 (A13)
		※ 密粒度アスファルト混合物 (A13F)

試験

アスファルト混合物等の抽出試験

・ 行う

・ 行わない

(22.4.6)

舗装の平たん性

※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度

・

(22.4.2)

4

コンクリート舗装

コンクリート舗装の厚さ

(22.5.2)

舗装の種類	部 位	構 成	厚さ (mm)
コンクリート舗装	歩行者用通路	・ 図示	・ ※ 70
	車路及び駐車場	・ 図示	・ ※ 図示

材料

コンクリート

※ 普通コンクリート、標準仕様書 表 22.5.1 による

・ 図示による

早強ポルトランドセメント

・ 使用する

・ 使用しない

注入目地材料

※ 低弾性タイプ

・ 高弾性タイプ

(22.5.3)

施工：目地

種類、間隔、構造

※ 標準仕様書 表 22.5.3 及び 図 22.5.1 による

・ 図示による

(22.5.4)

舗装の平たん性

※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度

・

(22.5.2)

5

カラー舗装

・ 加熱系カラー舗装

(22.6.2) (22.6.3) (22.6.4) (表 22.6.1)

構成・厚さ ・ 図示による

表層に用いる加熱系混合物の結合材

・ アスファルト混合物

・ 石油樹脂系混合物 顔料の添加量 (%)

加熱系混合物に添加する材料

・ 着色骨材 ()

・ 自然石 ()

アスファルト混合物の抽出試験

・ 行う

・ 行わない

(22.6.6)

・ 常温系カラー舗装

(22.6.2) (22.6.3) (22.6.4) (表 22.6.1)

工法

・ ニート工法

・ 塗布工法

着色部の下部

・ アスファルト舗装

・ コンクリート舗装

ニート工法及び塗布工法の配合等

・

舗装の平たん性

※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度

・

(22.6.6)

6

透水性
アスファルト舗装 ㊦

舗装構成

※ 図示による

材料

アスファルト

※ 再生アスファルト (・ 60～80 ・ 80～100)

・ スレートアスファルト

試験

開粒度アスファルト混合物等の抽出試験

・ 行う

・ 行わない

(22.7.6)

舗装の平たん性

※ 著しい不陸がないもの

・

(22.7.2)

7

ブロック系舗装 ㊦

・ コンクリート平板舗装

(22.8.2) (22.8.3)

種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材
※ 普通平板 (N)	・ 300角	※ 60	※ 砂
・ 透水性平板 (P)	・	・	・ モルタル
・ 保水性平板 (M)	・	・	・

クッション材

・ 砂

・ 空録モルタル

仕上りの平たん性

※ コンクリート平板間の段差3mm以内

・

(22.8.2)

・ インターロッキングブロック舗装

(22.8.2) (22.8.3)

種 類	部 位	形状寸法 厚さ (mm)	飛び強度 (N/mm ²)	色彩、表面加工等
※ 普通ブロック (N)	車路	・ 図示	※ 80	※ 5.0
	・ 透水性ブロック (P)	・	・	・ ※ 標準品
・ 保水性ブロック (M)	歩行者用通路	・ 図示	※ 60	※ 3.0
	・	・	・	・

インターロッキングブロックの割付け

・ 図示による

・

(22.8.4)

仕上りの平たん性

※ インターロッキングブロック間の段差3mm以内

・

(22.8.2)

・ 鎮石舗装

(22.8.2) (22.8.3)

種 類	形状寸法	厚さ (mm)	割付け	基 層 (mm)
※ 小鎮石 (花こ岩等)	・ 図示	・ 80	・ 図示	※ コンクリート版 (※ 70)
・	・	・	・	・ 75mm 砕混合物 (※ 50)
・	・	・	・	・

クッション材

・ 砂

・ 空録モルタル

舗装の割付け

・ 図示による

・

(22.8.4)

仕上りの平たん性

※ 舗装間の段差3mm以内

・

(22.8.2)

8

砂利敷き

種別

通路

※ A種

・ 図示による

建築物周囲その他 ()

※ B種

・ 図示による

(22.9.2) (表 22.9.1)

1	植栽地の確認等	土壌の水素イオン濃度指数(pH)試験 ・ 行う (23.1.3) 電気伝導度(EC試験) ・ 行う ・ 行わない				
2	樹木の植栽基盤整備	整備内容 (23.2.2)(表 23.2.1)(表 23.2.2)				
		植 栽	工 法	有効土層の厚さ(cm)	整備範囲	土壌改良材
		・ 樹木	※ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種	樹高12m以上 (※100 ・ 120 ・ 150) 樹高7m以上～12m未満 (※80 ・ 100) 樹高3m以上～7m未満 (※60 ・ 80) 樹高3m未満 (※50 ・ 60)	・ 葉張りの範囲 ・ 植栽部分 ・ 図示 ・	・ 適用する ・ 適用しない
		※ 芝、 地被類	・ B 種 ・	※ 20 ・	・ 植栽部分 ・ 図示 ・	・ 適用する ・ 適用しない
3	植込み用土	・ 現場発生土の良質土 ・ 客土 (23.2.3)				
4	土壌改良材 [G]	種類、指定量 (23.2.3)(23.2.4) ・ パークたい肥 施工箇所 ・ 植栽範囲 ・ 図示による 指定量 植栽基盤面積1㎡当たり (・ L ・) ・ 汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) 施工箇所 ・ 植栽範囲 ・ 図示による 指定量 植栽基盤面積1㎡当たり (・ L ・)				
5	樹木	樹種、寸法、株立数 ・ 図示による ・ (23.3.2) 刈込みものの適用 ・ 適用する (数量:) ・ 適用しない				
6	支柱	支柱材の種類 (23.3.2) ※ 丸太 (間伐材) ・ 真竹 ・ 防腐処理方法 ※ 加圧式防腐処理丸太材 ・ 形式 ・ 添え柱形 ・ 鳥居形 ・ ハツ掛け形 ・ 布掛け形 ・ ワイヤ掛け形 ・ 地下埋設形 (23.3.3)				
7	幹巻き用材料	材料 ※ 幹巻き用テープ ・ わら ・ こも (23.3.2)				
8	芝	種類 ※ コウライシバ ・ ノシバ (23.4.2) 芝張り工法 平地 ※ 目地張り ・ べた張り 法面 ・ 目地張り ※ べた張り				
9	吹付けは種子	種類等 (23.4.2)				
		種子の種類	種子の量 (g/m2)		備 考	
		※ 洋芝類				
		・				
10	地被類	種類等 (23.4.2)				
		植物の種類	株立数	径	単位面積当たりの株数	
		・	・	・	・	
		・	・	・	・	
11	新植、移植樹木、 芝等の枯保証	新植樹木の枯損償の期間 (芝張り、吹付は種及び地被類を含む) (23.3.4)(23.4.7) ※ 引渡しの日から 1 年 ・ ・ 無し 移植樹木の枯損処置を行う期間 (23.3.6) ※ 引渡しの日から 1 年 ・ ・ 無し				
12	屋上緑化	植栽基盤及び材料 (23.5.2)(23.5.3) ・ 屋上緑化システム 土壌層の厚さ ・ 図示による ・ 排水層 ・ 軽量資材 (層の厚さ:) ・ 板状成型品 植込み用土 ※ 改良土 ・ 人工軽量土 ・ 屋上緑化軽量システム 樹木、芝及び地被類 (23.5.3) 樹種、寸法、株立数 ・ 図示による ・ 刈込みものの適用 ・ 適用する (数量:) ・ 適用しない 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 (23.5.3) ・ 図示による 工法 (23.5.4) 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ・ 図示による ・ 支柱 ・ 設置する (形式 ・ 図示 ・) (23.5.4) かん水装置 ・ 設置する (種類 ・ 図示 ・) (23.5.4)				

6

コンクリート工事

①

コンクリートの種類等

(6.2.1) (表6.2.1)

※Ⅰ類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート)
※Ⅱ類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)

(6.2.1～6.2.4) (表6.2.2)

設計基準強度 (N/mm ²)	スランブ (cm)	適用箇所
○ 24	※ 15又は18	スタンド (基礎、基礎梁、土間)
○ 24	※ 18	スタンド (柱、梁、スラブ、壁)
○ 21	※ 18	スタンド以外全て
・	・	

(6.2.1) (6.2.10)

(6.2.1)

(6.3.2)

②セメント

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.2)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.2)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(6.3.1)

(

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

1. 一般事項

(1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

(2) 記号

d...異形鉄筋の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D...部材の成 R...直径
e...間隔 r...半径 c...中心線 lo...部材間の内法距離 ho...部材間の内法高さ
ST...あばら筋 HOOP...帯筋 S・HOOP...補強帯筋 φ...直径又は丸鋼

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折曲げ角度90°はスラブ底、壁筋の末端部またはスラブと梁の打ちまちで折曲げし、易及し、折曲のキヤップタイにのみ用いる。
図				
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(≧4d以上)	8d以上(≧4d以上)	
折曲げ内法寸法 Rは、	S R235は3d以上、S D295 A、S D295 B、S D345のD16以下は、3d以上、D19以上は4d以上			

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	S R235、S D295 A S D295 B、S D345	16φ 以下 D16 19φ 以下 D19	3d以上
	上記以外の鉄筋	S R235、S D295 A S D295 B、S D345	16φ 以下 D16 19φ≧25φ D19≧D25 28φ≧32φ D28≧D38	4d以上 6d以上 8d以上

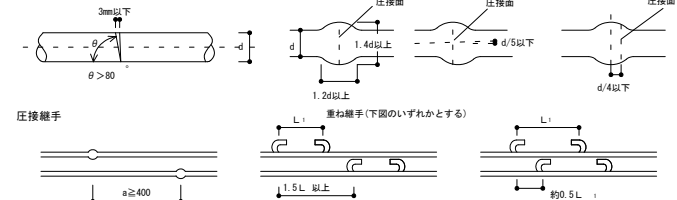
(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm ²)	定着の長さ			特別の定着及び重ね継手の長さ(L ₁)
		一般(L ₁)	下 筋	上 筋	
S R235	21~36	35d フックつき	25d フック	15d フック	35d フックつき
S D295 A S D295 B S D345	18以下	45d フックつき	25d または 30d フック	10d かつ 15cm以上	45d フックつき
	21~36	35d または 25d フックつき	25d または 15d フック	10d かつ 15cm以上	40d または 30d フックつき
	18以下	40d または 30d フックつき	25d または 15d フック	10d かつ 15cm以上	45d または 35d フックつき

継 手

- 末端のフックは、定着及び重ね継手の長さに含まない。
- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
- 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
- D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
- 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

ガス圧接形状



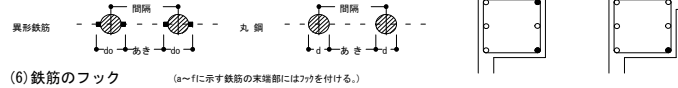
(4) かぶり厚さ (単位: mm)

部 位	設計かぶり厚さ (mm)	最少かぶり厚さ (mm)	
		屋外	屋内
土に接しない部分			
スラブ	30	30 (20)	
柱	40 (1)	40 (20)	30
土に接する部分			
基礎・壁	70	60 (1)	

(注) (1) 耐久地上有効な仕上げのある場合、工事監督者の承認を受けて30mmとすることができる
(2) 耐久地上有効な仕上げのある場合、工事監督者の承認を受けて40mmとすることができる
(3) コンクリートの表面および施工方法に応じ、工事監督者の承認を受けて40mmとすることができる。
(4) 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
(5) () 内は仕上げがある場合、改定により標準かぶり厚さは10mm増し

(5) 鉄筋のあき

丸鋼で径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上
粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上



(6) 鉄筋のフック

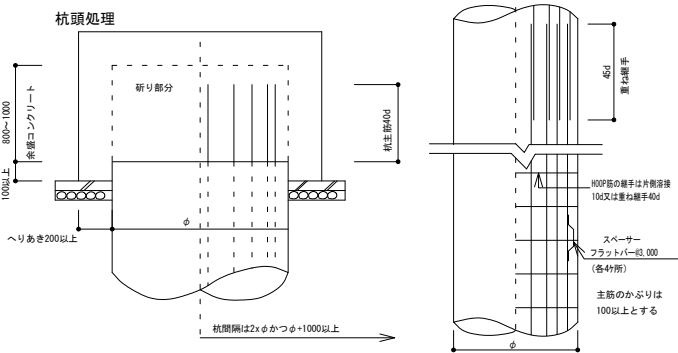
- 丸鋼
- あばら筋、帯筋、煙突の鉄筋
- 柱、梁(基礎梁を除く)の出す部分の鉄筋(右図参照)
- 単純梁の下端筋
- その他、本配筋標準に記載する箇所

3. 杭 (地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること。)

(1) PC杭、又はPHC杭の全てに補強を行う

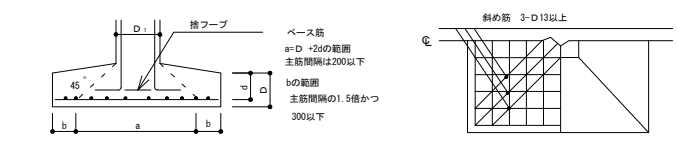
所定の位置に止まった場合		所定より低く止まった場合	
杭径	300φ、350φ	400φ	450φ、500φ、600φ
補強筋	6-D13	8-D13	10-D13、8-D16、10-D16
HOOP			D10-#150

(2) 現場打ちコンクリート杭

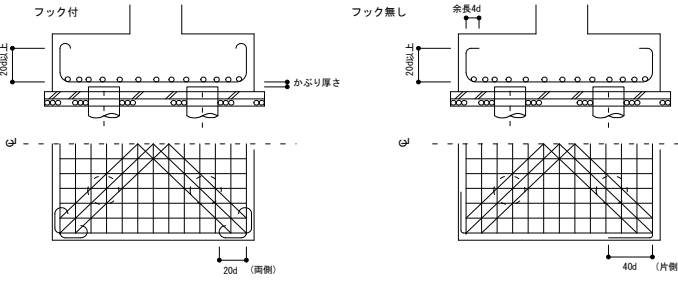


4. 基礎

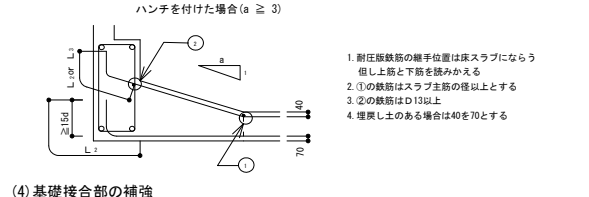
(1) 直接基礎



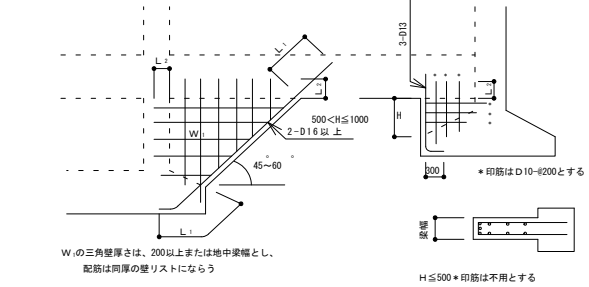
(2) 杭基礎



(3) ベタ基礎

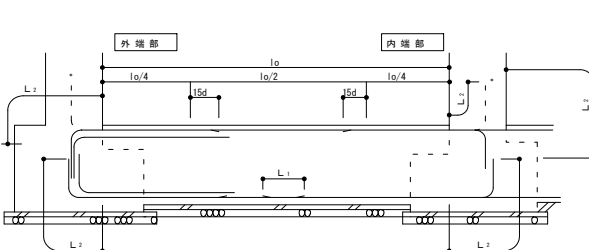


(4) 基礎接合部の補強

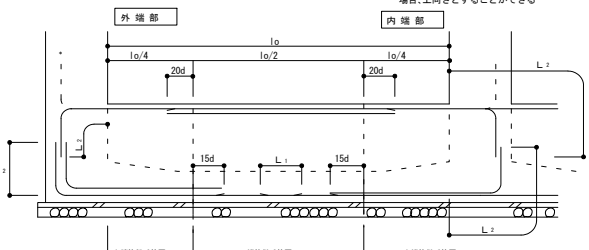


5. 地中梁

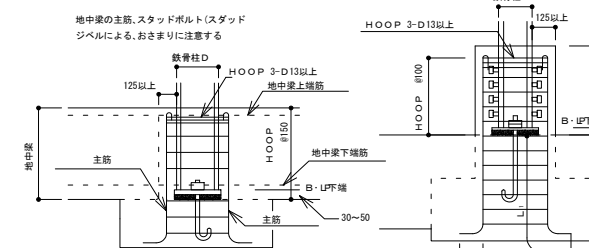
(1) 独立基礎、杭基礎の場合



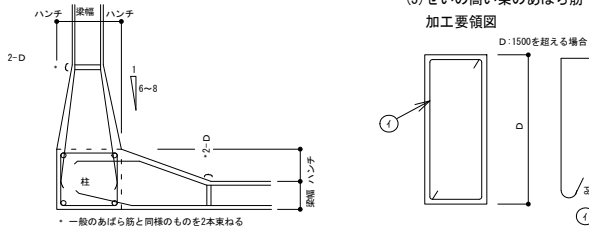
(2) 布基礎、べた基礎の場合



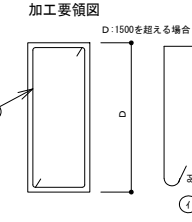
(3) 小規模鉄骨造の柱脚固定の配筋



(4) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領

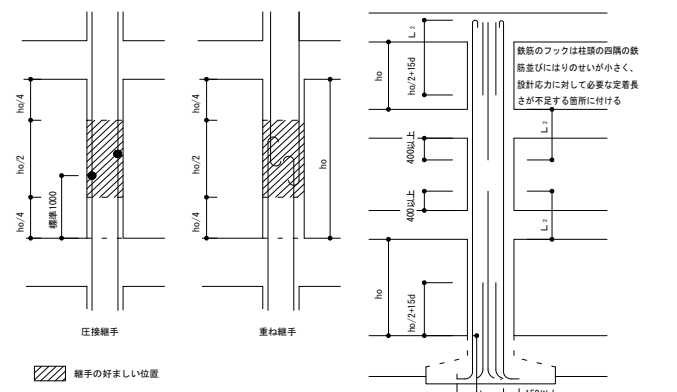


(5) せいの高い梁のあばら筋加工要領図

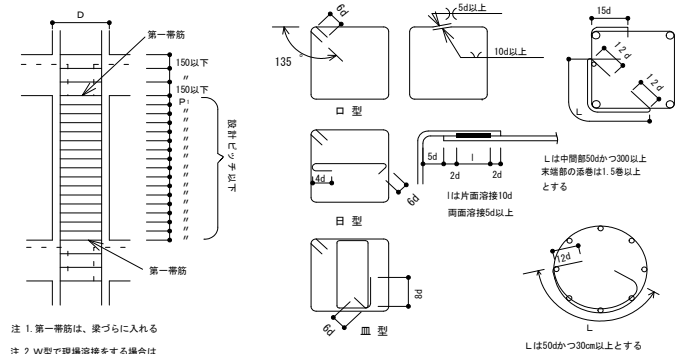


6. 柱

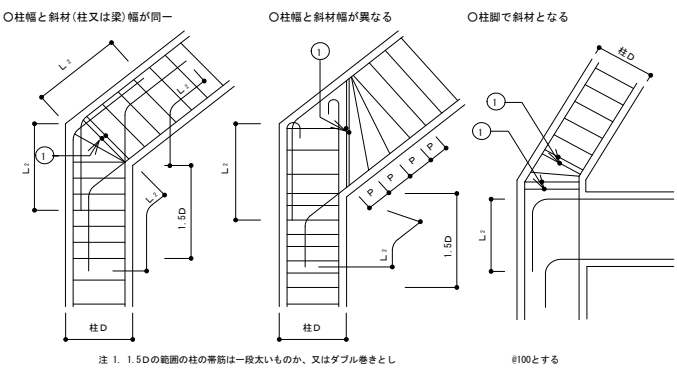
(1) 柱主筋の継手



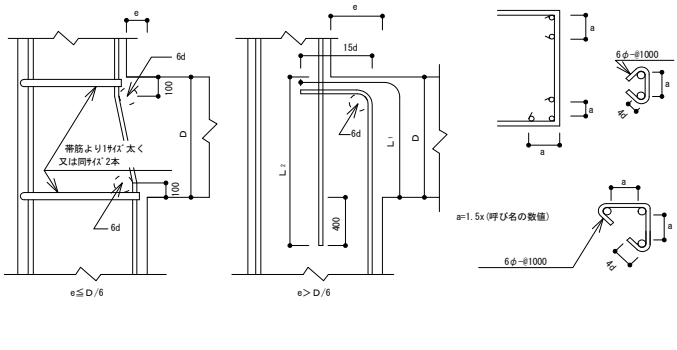
(3) 帯筋



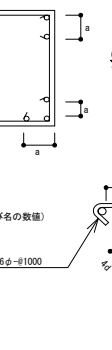
(4) 斜め柱・斜め梁



(5) 絞り



(6) 二段筋の保持



工事名称 : 国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事

図面名称 : 鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

縮 尺 : NON 図面番号 : S-004

DATE : . . .

株 式 会 社 KRC

長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670

1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号

1級建築士 第293052号 渡利 真二

1級建築士 第235863号 山崎 高夫

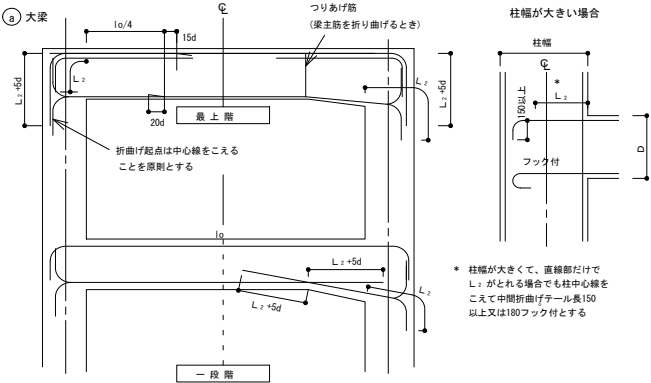
1級建築士 第163891号 関田 政道

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

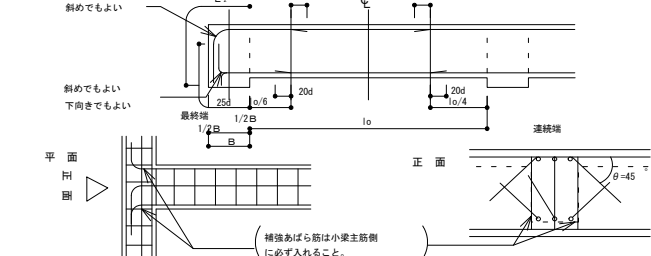
L=鉄筋コンクリート構造配筋
標準図(1)の2-(3)による。

7. 大梁、小梁、片持梁

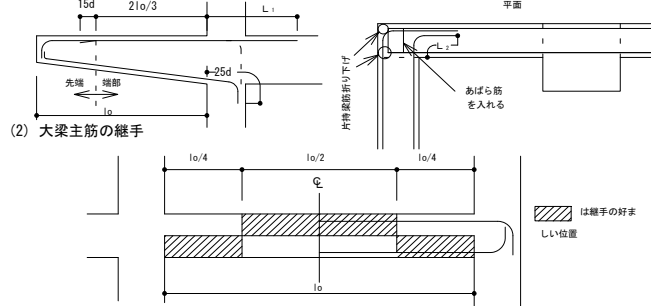
(1) 定着



(2) 小梁の定着



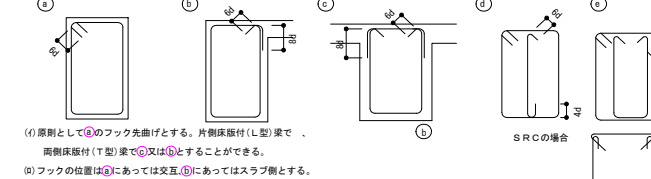
(3) 片持梁の定着



(4) あばら筋、腹筋、幅止めの配置



(5) あばら筋の型

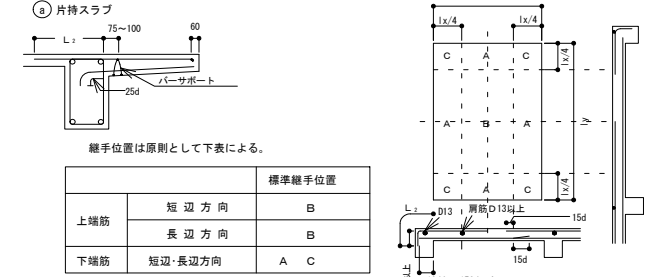


(6) 幅止め筋の本数、加工

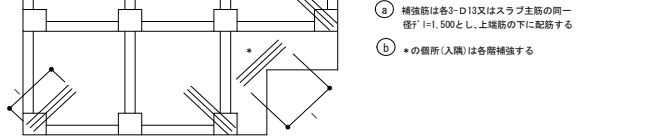
幅止め筋	D < 600 不要	
	600 ≤ D < 900	900 ≤ D < 1200
幅止め筋	2-D10(9φ) 1段	4-D10(9φ) 2段
幅止め筋	600 ≤ D < 1200	4-D10(9φ) 2段
幅止め筋	1200 ≤ D	D10(9φ) #300以内

8. 床板

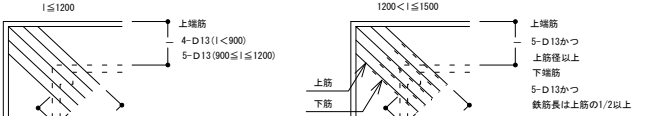
(1) 定着および継手



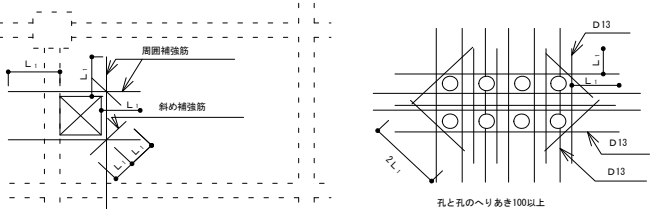
(2) 屋根スラブの補強



(3) 片持ちスラブ出隅部補強

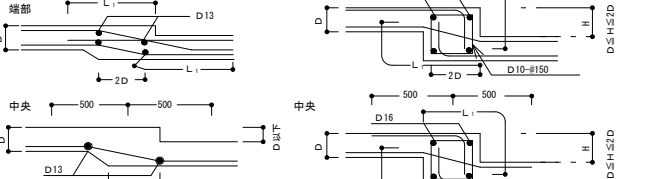


(4) 床板開口部の補強

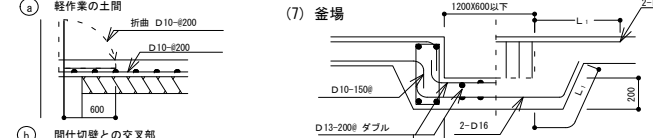


床板厚さ D	周 囲	斜 め
D ≤ 150	各2-D13	各1-D13
150 < D ≤ 200	各2-D13	各2-D13
200 < D ≤ 300	各2-D19	各2-D16

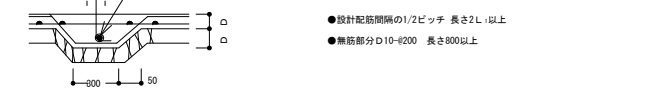
(5) 床板段差



(6) 土間コンクリート



(7) 釜場

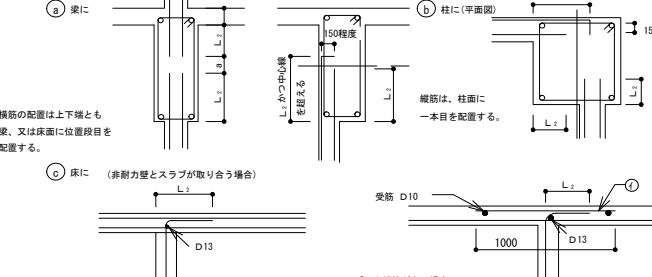


(8) 打継ぎ補強

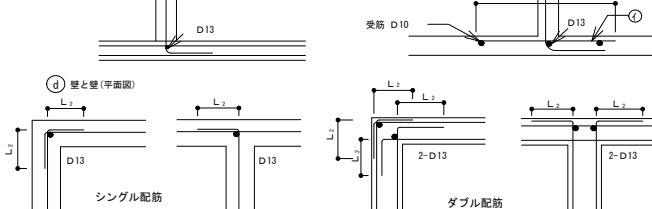


9. 壁

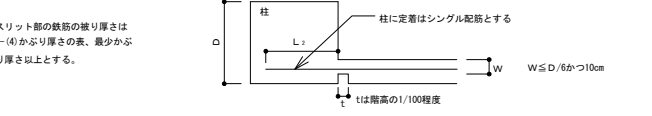
(1) 定着



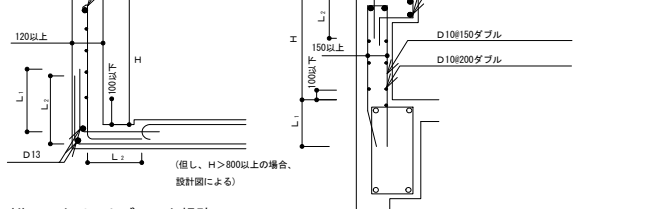
(2) スリット部



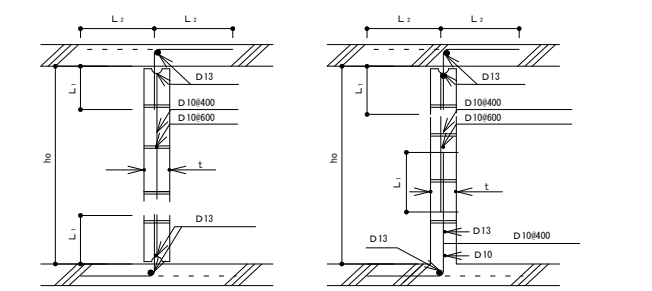
(3) 手摺、パラベット



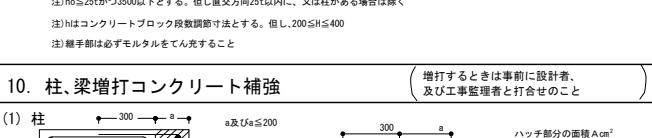
(4) コンクリートブロック横壁



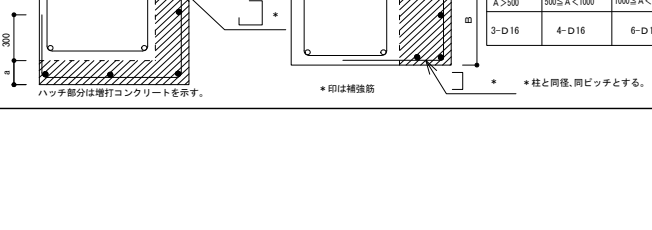
(5) 一般の場合



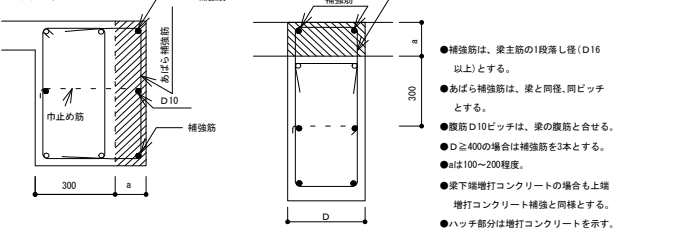
(6) 下部防水立上りの場合



(7) 柱、梁増打コンクリート補強

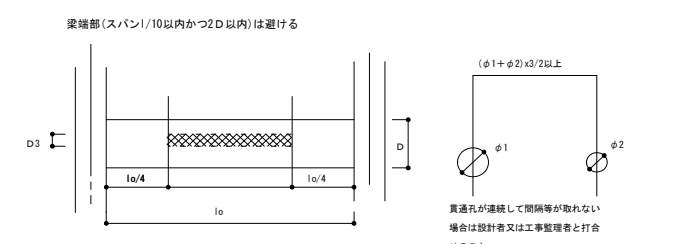


(2) 梁



11. 梁貫通孔補強

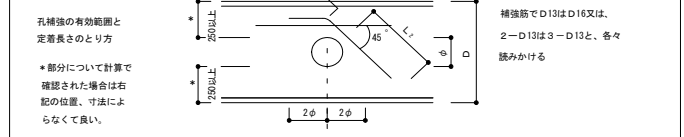
(1) 設置可能範囲



(2) 鉄筋標準配筋

80 ≤ φ ≤ 100	100 < φ ≤ 150	150 < φ ≤ 250
折 筋 2-(2-D13)	折 筋 2-(2-D13)	折 筋 4-(2-D13)
縦 筋 ST 2-D13-100φ	縦 筋 ST 2-D13-100φ	縦 筋 ST 2-D13-100φ
	横 筋 2-(2-D13)	横 筋 2-(2-D13)
	上 下 縦 筋 ST 2-D13	

φ < 250

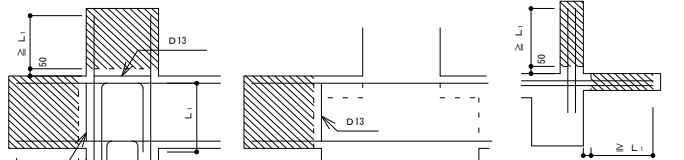


(3) 既製品

☐ リング型	☐ バイブ型	☐ 金網型	☐ プレート型
-------------------------------	-------------------------------	------------------------------	--------------------------------

(将来増築予定のコンクリート増打ち部分は、増築時の鉄筋継手工法を考慮して設置する)

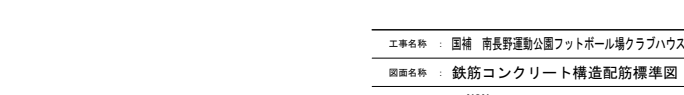
(1) 柱、梁



(2) 地中梁



(3) 床版、壁



工事名称 : 国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事

図面名称 : 鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

縮 尺 : NON 図面番号 : S-005

DATE : . . .

株 式 会 社 KRC

長野県長野市稲垣町中央3-33-23 TEL 026-285-7670

1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号

1級建築士 第293052号 渡利 真二

1級建築士 第235863号 山崎 高夫

1級建築士 第163891号 関田 政道

鉄骨構造標準図 (1)

1. 一般事項

- (1) 材料及び検査
- (a) 構造設計仕様による
- (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
- (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する
- (2) 工 作 一 般
- (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
- (b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
- (c) 高強度鋼の歪矯正は、冷間矯正とする
- (3) 高力ボルト接合
- (a) 本構めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない
- (4) 溶 接 接 合
- (a) 溶接技能者
- 溶接技能者は施工する溶接に適用するJIS Z3801（手溶接）又はJIS Z3841（半自動溶接）の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする
- (b) 溶接機器
- (イ) 交流アーク溶接機 300A～500A (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
- (ロ) アークエア-ガウジング機（直流） (ホ) 溶接電流を測定する電流計
- (ハ) サブマジック溶接機一式 (ヘ) 溶接棒乾燥機
- (c) 溶接方法
- アーク手溶接（MC） ガスシールドアーク半自動溶接（GC）
- セルフ（ノンガス）シールドアーク半自動溶接（NGC） アークエア-ガウジング（AAG）
- (d) 溶接姿勢
- 下向 F 立向 V 横向 H 上向 O
- (e) 仮付溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う
- (イ) 仮付位置
- 仮付溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける
- (ロ) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する
- (f) 溶接施工
- (イ) エンドタブ
- 1) 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける
- 2) エンドタブの材質は、母材と同質とする
- 3) エンドタブの長さは、MC:35mm以上
- NGC、GC:40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダ仕上げとする
- 4) プレス鋼板タブ、鋼材タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る
- (ロ) 裏あて金
- 材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする
- (ハ) スカラップ 半径は30～35mmと、10mmのダブルアルとする
- 但し梁成が0=150mm未満の場合のスカラップはr=20mmとする
- (ニ) ノンスカラップ工法
- 裏あて金
- 規準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を履行し、部材に確認マークをつける
- (ヘ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先面をいためない様に、養生を行なう
- (5) 塗 装
- コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

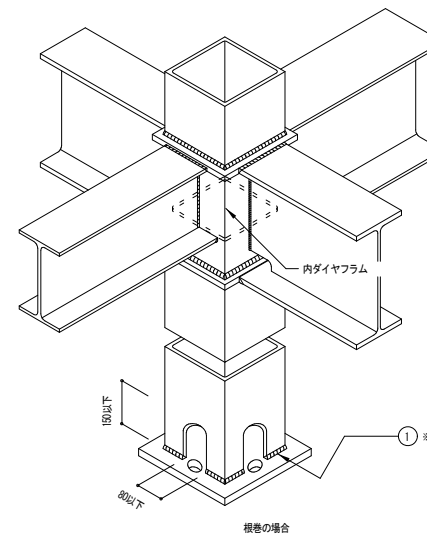
2. 溶接規準図

(注) F:余盛 G:ルート開閉 R:フェース S:継長 (単位:mm)

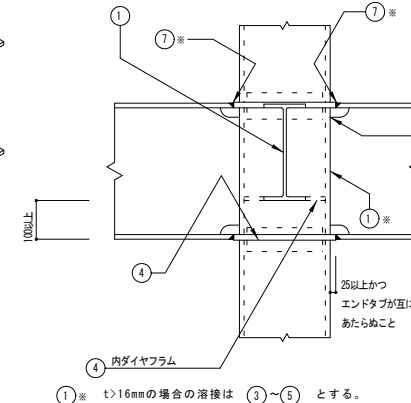
- (1) 隅肉溶接
- $t \leq 16\text{mm}$
- | t | 7以下 | 8～10 | 11～13 | 14～16 |
|---|-----|------|-------|-------|
| S | 6 | 7 | 10 | 12 |
- ・但し片面溶接の場合はS=tとする
- ・tはt1、t2の小さな方とする
- ・余盛は (1+0.1S) mm以下とする
- ・軸力が加わる場合のSは母材と同厚とすることが望ましい
- (2) 部分溶け込み溶接 (使用箇所: 注意)
- $R \leq 2$ $t/4 \leq S \leq 10\text{mm}$ $t \leq t1$
- | t | t1 |
|------|-----|
| 溶接姿勢 | F.V |
- ・両側に補強隅肉溶接を付加する
- (3) 完全溶込み溶接 (平継手 T形継手)
- $f=t/4$ $\theta=45^\circ$ $R \leq 2$ $G=0 \sim 2$ (裏はつり後溶接)
- | t | 6<t<19mm |
|------|----------|
| 溶接姿勢 | F.V |
- ・両側に補強隅肉溶接を付加する AAG
- $f=t/4$ $\theta=45^\circ$ $R \leq 2$ $G=0 \sim 2$ (裏はつり後溶接)
- | tmm | θ | G | t1 | L | θ | G | t1 | L |
|---------|-----|---|----|---|-----|---|----|---|
| 6<t<12 | 45° | 6 | 6 | 5 | 45° | 6 | 6 | 5 |
| 12<t<16 | 35° | 9 | 9 | 8 | 45° | 6 | 9 | 8 |
| 16<t | 35° | 9 | 9 | 8 | 35° | 9 | 9 | 8 |
- 溶接姿勢 F.V
- ・補強隅肉溶接を付加する
- T形突合せ継手余盛 $f=t/4$
- | のど厚tmm | 余盛の高さmm |
|---------|---------|
| t≤4 | 1 |
| 4<t≤12 | 2 |
| 12<t≤19 | 3 |
| t19 | 4 |
- t t1
- 溶接姿勢 F.V
- ・AAG () 内はGCでF.Hの場合
- ・両側に補強隅肉溶接を付加する
- $f \geq 0.5\text{mm}$ (ただし、t≥15mmのとき4mmとする) $\theta=45^\circ$ $R \leq 2$ $G=0 \sim 2$ (裏はつり後溶接)
- a>4mmの場合 (平継手で板厚が異なるとき)
- 削り面
- 5
- 1
- $G=0 \sim 2$ (裏はつり後溶接)
- ・両側に補強隅肉溶接を付加する
- t t1
- | tmm | θ | G | t1 | L | θ | G | t1 | L |
|---------|-----|---|----|---|-----|---|----|---|
| 6<t<12 | 45° | 6 | 6 | 5 | 45° | 6 | 6 | 5 |
| 12<t≤19 | 35° | 9 | 9 | 8 | 45° | 6 | 9 | 5 |
| t19 | 35° | 9 | 9 | 8 | 35° | 9 | 9 | 8 |
- 溶接姿勢 F.V
- $f=t/4$ $\theta=45^\circ$ $R \leq 2$ $G=0 \sim 2$ (裏はつり後溶接)
- | tmm | θ | G | t1 | L | θ | G | t1 | L |
|---------|-----|---|----|---|-----|---|----|---|
| 6<t<12 | 45° | 6 | 6 | 5 | 45° | 6 | 6 | 5 |
| 12<t≤19 | 35° | 9 | 9 | 8 | 45° | 6 | 9 | 5 |
| t19 | 35° | 9 | 9 | 8 | 35° | 9 | 9 | 8 |
- 溶接姿勢 F.V
- (4) フレア溶接
- K形の場合
- 寸法 (mm)
- | φ | B | S |
|----|----|-----|
| 9 | 7 | 4 |
| 13 | 8 | 4.5 |
| 16 | 9 | 5 |
| 19 | 10 | 6 |
| 22 | 11 | 7 |
| 25 | 12 | 8 |
- ・フレア溶接長は、鋼板に接する全長とする
- ・9mm～16mmは1パス以上、19mm以上は2パス以上とする
- 溶接継手角度θは30°～40°とする

※溶接記号番号を○中に記入する

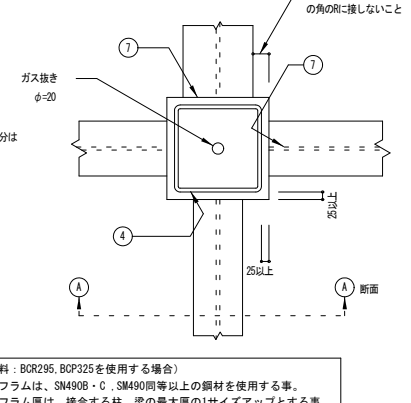
○ BOX型 (通しダイヤフラムの場合)



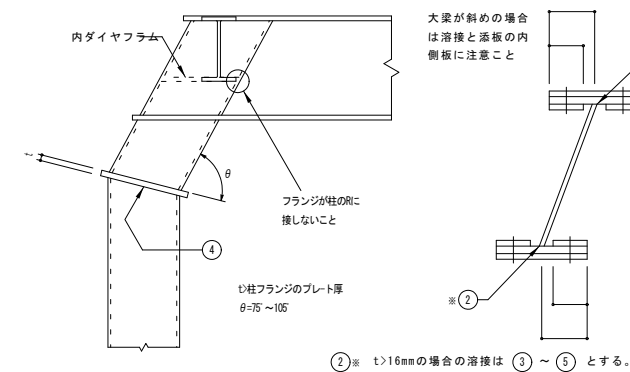
○ A-A断面図



平面詳細



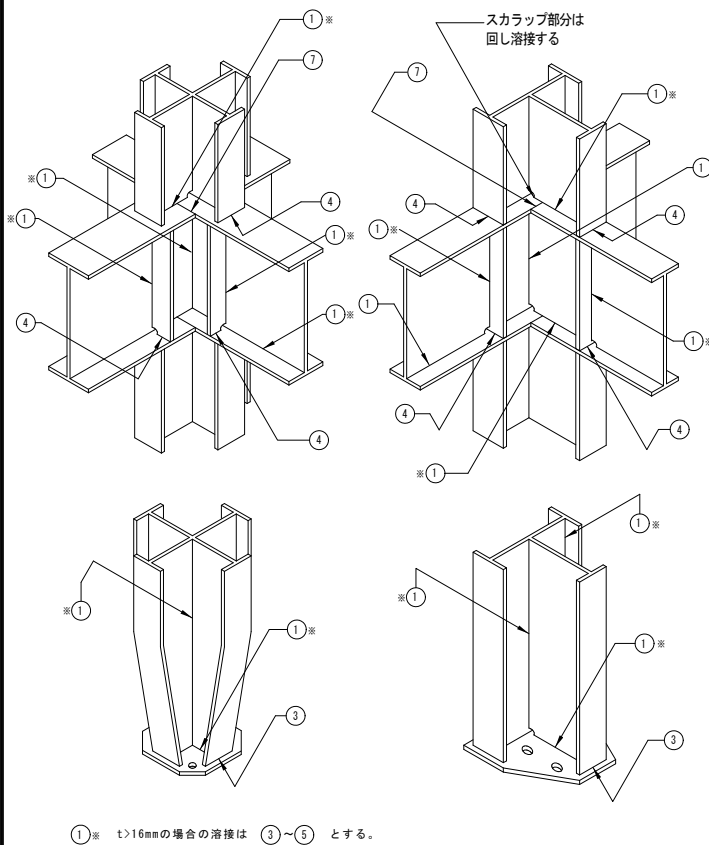
○ 柱が途中で折れる場合
及梁成が異なる場合



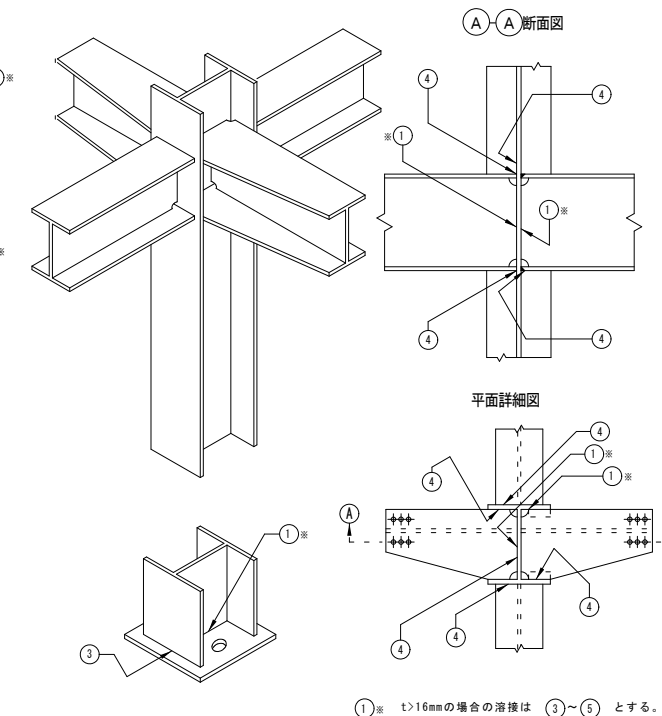
○ 鋼材種別による溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	パス温度 (℃)
400N級鋼	JIS Z 3211, 3212, 3214	40以下	350以下
	YGM-11, 15		
	YGM-18, 19		
	YGA-50W, 50P		
490N級鋼	JIS Z 3212, 3214	40以下	350以下
	YGM-11, 15		
	YGM-18, 19		
	YGA-50W, 50P		

○ H、I、H型



○ BH方式



工事名称 : 国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事

図面名称 : 鉄骨構造標準図 (1)

編 尺 : NON

図面番号 : S-006

DATE : . . .

株式会社 KRC

長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670

1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号

1級建築士 第293052号 渡利 真二

構造設計 1級建築士 第163891号 関田 政道

構造設計 1 級建築士 第 1881 号 関田 政道

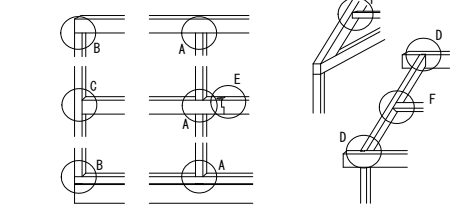
木 造 軸 組 接 合 部 標 準 図 (1)

1. 一般事項	2. 材料	3. アンカーボルト	4. 接合一般
(1) 適用範囲 ※本標準図は建築物及び工作物の構造上主要な部分に木材・木質材料を用いる工事に適用する。 木造の構法は、建築基準法施行令第3章3節に規定する木造軸組工法に適用する。 (2) 設計図書 設計図書とは本標準図、特記仕様書、設計図、指示書（現場説明書及び質疑回答書を含む）をいう。 (3) 準拠する図書 設計図書に記載なきものは下記の図書に準拠する。（※全て最新版による。） 「木造住宅工事仕様書」（住宅金融支援機構監修） 「公共建築木造工事標準仕様書」（国土交通大臣官庁官庁営繕部監修） 「木造計画・設計基準」（国土交通大臣官庁官庁営繕部監修） 「木造軸組工法住宅の許容応力度設計」（日本住宅・木材技術センター） 「日本工業規格 JIS A3301-2015 木造校舎の構造設計標準」 上記の仕様書に記載無き場合は、公共規格又はこれに準ずる規格を適用する。 (4) 設計図書の優先順位 設計図書の優先順位は下記による。 1. 指示書（現場説明書及び質疑回答書） 2. 設計図 3. 特記仕様書 4. 本標準図 (5) 疑義 疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監理者に申し出、その処理方法について協議する。 (6) 製作要領書及び施工計画書の作成・提出 工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監督職員の承認を受ける。 (7) 施工図及びブレイク図の提出 工事に先立ち各種の施工図を作成し監督職員の承認を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。ブレイク工場を使用する場合には、ブレイク図を施工図と位置づける。 (8) 製作工場の選定、承諾 設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場及び木工技能者を選定し、監督職員の承認を受ける (9) 各種試験・検査報告書の提出 施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。 (10) 接合法 本標準図に示す構造耐力上主要な柱及び梁の接合法は、下記による。 ・継手仕口による在来工法 ・梁受け金物、及びホソパイプ等による金物工法 なお、上記の方法はひとつの建物で混用して構わない。 また、本標準図は在来接合法のみについて記載しており、金物工法を用いる場合は、金物工法用の標準図を本標準図に追加して用いること。 本標準図で指定していない金物に変更する場合は、監督職員の承認を得ること。 (11) 加工部材に関する留意事項 本標準図で扱う一般的な在来ブレイク工場で加工可能な範囲は以下による。 ・梁：部材断面が幅90mm～150mm、梁成が幅と同等～450mm、及び材長6m以下 ・柱：90角～150角の正方形断面、長さ6m以下 これらを超える場合は、一般ブレイク工場では加工できない為、任意形状の加工が可能な加工機を有する工場を選定すること。	(1) 木材及び木質材料 主要構造部に使用する木材・木質材料の品質については特記仕様書で指定する。 (2) 接合具 a) くぎ 主要構造部に使用するくぎはJIS A 5508で規定される鉄丸くぎ（N釘）または太め鉄丸くぎ（ON釘）または溶融亜鉛メッキ太め鉄丸くぎ（ZN釘）またはステンレス鋼釘（S釘）またはせっこうボード用くぎ（GN釘）を用いる。 b) 木質構造用ビス 主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靱性が確保されるものを選定することとし、造作用のビス（コーススレッド等）を用いてはならない。 使用箇所・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。 c) ボルト・ナット・座金 1) 主要構造部に使用するボルト及びナットについては以下による。 ・ボルトはJIS B 1051、ナットはJIS B 1052に規定される機械的性質を満たす炭素鋼 ・公益財団法人日本住宅・木材技術センター規格に準じた金物に使用するボルト及びナット 【 Z マーク表示金物 】 【 D マーク表示金物 】 【 S マーク表示金物 】 ・上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験成績書を取得して、耐力が明示された金物に使用するボルト及びナット 2) 主要構造部に使用するボルト・ナットのねじはJISB0205に示すメートル並目ねじとし、構造上主要な部分にはM12以上を用いる。 3) ボルト及びナットを用いて木材及び接合金物を緊結する場合には適切な寸法と厚みのある座金を用いる。 ※ ボルト・ナット及び座金の使用部位、種類、材質、寸法、表面処理については特記仕様書で指定する。 d) ドリフトピン・ラグスクリュー 主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靱性が確保されるものを選定することとする。使用箇所・材質・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。 e) 木栓・木ダボ 主要構造部に使用する場合は所定の強度が確保できる樹種を指定する。 樹種・径等については、特記仕様書で指定する。 節・目切れ等の耐力上の欠点のないものとする。 (3) 接合金物 a) 規格金物 構造材の接合に用いる接合金物の規格は以下による。 ・JIS A 5531；木構造用金物 ・公益財団法人日本住宅・木材技術センターによる規格に準じた金物； Z マーク表示金物、又は C マーク表示金物 ・同等認定金物；D マーク表示金物 ・性能認定金物；S マーク表示金物 上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験評価機関で試験成績書を取得して基準耐力が明示された金物を、規格金物として使用できる。 使用部位と金物の名称、材質、その他については特記仕様書で指定する。 b) 製作金物 製作金物の使用部位・材質・形状・寸法・溶接仕様・表面処理等については、特記仕様書及び設計図による。 (4) 接着剤 原則として、構造計算による応力の検定に現場接着による接着剤の耐力は算入しない。但し、たわみや振動等に対する剛性確保のために接着剤の効果を見込む場合はこの限りではない。 建築現場で用いる接着剤の名称・材質・使用環境等については特記仕様書による。 (5) 防腐防蟻処理及び耐候処理 防腐防蟻処理及び耐候処理（塗装）は特記仕様書で指定する。 土台及び外壁の地盤面から1m以下の構造材については適切な防腐防蟻処理を行う。 適切な防腐防蟻処理については特記仕様書で指定する。	※共通事項 ・アンカーボルト及び座金の品質と性能、表面処理等は、特記仕様書による。 (1) 土台固定用アンカーボルト a). アンカーボルトの埋設位置； アンカーボルトの埋設位置は以下による。 -1. 耐力壁（筋交い、合板仕様共通）の下部； 耐力壁（筋交い、合板仕様共通）の下部は、その両端の柱の下部に近接した位置（柱芯より200mm内外）とする。 ※ J型及びL型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す。 -2. 土台切れの端部及び、土台の継手仕口； 土台切れの端部及び、土台の継手仕口では、男木の端部に設ける。 当該部分が出隅の場合は、出来る限り柱に近接させた位置とする。 ※ J型及びL型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す。 -3. その他； 上記以外では、2.0m以内の間隔で設ける。 (2) 引張金物専用アンカーボルト a). 引張金物専用アンカーボルトの径 引張金物専用アンカーボルトの呼び径は、M16以上とする。 b). 引張金物専用アンカーボルトの基礎への埋込み長さ 引張金物専用のアンカーボルトの基礎コンクリートへの埋込み長さは、J型アンカーボルトを用いる場合は、360 mm 以上とする。その他のアンカーボルトを用いる場合は、引張金物の耐力を満たす埋込み長さとする。	(1) 釘接合 ・釘の長さは材厚の2.5倍以上とする。 ・面材表面に対し、釘頭がめり込んではいならない。 ・自動釘打ち機を使用する場合は、圧力を適切に調整するか、弱めの圧力で打込んだうえに手で打込んで仕上げる等により、釘頭のめり込みを防ぐ。 ・構造耐力上主要な部分において、釘を引き抜き方向に抵抗させることは避ける。 ・木口面に打たれた釘は、引抜き方向に抵抗させることはできない。 (2) 木質構造用ビス接合 ・木口面に打たれた木質構造用ビスは、引抜き方向に抵抗させることはできない。 ・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。； 比置が 0.5 以上の樹種・・・呼び径の 60～75 % 上記以外の樹種・・・呼び径の 40～70 % ※ 先孔の深さは、主材へのねじ込み深さの2／3程度とする。 (3) ボルト接合 ・締付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。 ・ボルトの締め付けは、座金等が木材に軽くめり込む程度とし、過度に締付けない。 ・締め付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから2山以上突き出ていることを確認する。但し、座掘り座金等、ナットと座金等が一体になって土台に埋込まれるタイプのものについては、メーカーの使用条件による。 ・引張力を負担する構造上主要な箇所のボルトで、設計図書で指定する部位のものについては、ダブルナット等、弛み止め等の適切な処置を行う。 (4) ラグスクリュー接合 ・座金の厚さと大きさは、同じ胴径のボルト接合部における規定値を用いる。 ・締付けに先立ち、ラグスクリューの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。 ・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。； 比置が 0.5 以上の樹種・・・呼び径の 60～75 % 上記以外の樹種・・・呼び径の 40～70 % ※ 先孔の深さは、ネジ部の長さと同寸以上とする。 ・ラグスクリューの挿入は、スパナやインパクトレンチ等を用い、必ず回転させて行う。ハンマー等での叩き込みによる挿入を行ってはならない。 ・一度ねじ込んだラグスクリューは、抜き直して再びねじ込むことは避ける。 ・鋼板を側材に用いる場合のラグスクリューは、切剛ネジタイプとし、転造ネジタイプを用いてはならない。また、鋼板の孔径は以下のとおりとする。 ・呼び径 M12以下；+1.0mm ・呼び径 M16以上；+1.5mm (5) ドリフトピン接合 ・ドリフトピンは、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。 ・ドリフトピンは、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。 ・施工に際しては、孔に対しテーパのある側を先端にして打込み、無理な打撃を加えてはならない。 (6) 木栓接合 ・木栓は、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。 ・木栓は、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。 ・施工に際しては、木栓を孔に対し打込む時に、折れ曲がりや割れ、頭部の潰れ等が生じないように注意し、無理な打撃を加えてはならない。 ・木栓は湿気の少ない場所で保管し、現場においても水に濡れないよう注意する。 (7) グルードインロッド接合 ・グルードインロッド接合とは、軸組部材の木口に先孔を開け、鋼棒等を挿入して、樹脂接着剤等注入・充填させることにより、接着剤の付着抵抗と鋼棒等の引張によって、応力を伝達する接合をいう。 ・グルードインロッド接合は、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。 ・施工に際しては、所定の適用範囲や材料、手順、接着剤の使用環境、養生方法等を遵守して適正に行う。

木 造 軸 組 接 合 部 標 準 図 (2)

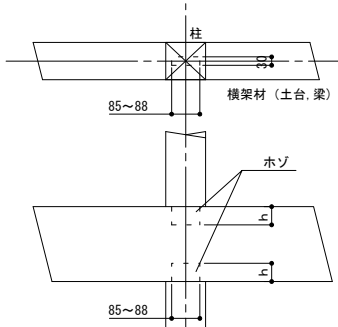
5. 軸組標準接合部

(1) 共通事項及びキープレーム



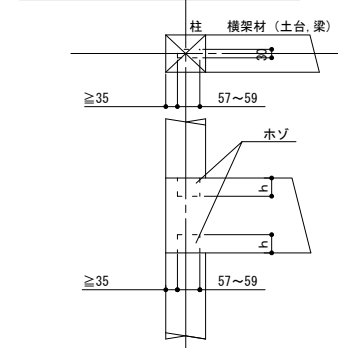
(2) 標準的な継手仕口 (mm)

A 柱-横架材仕口：一般部 (土台共通)



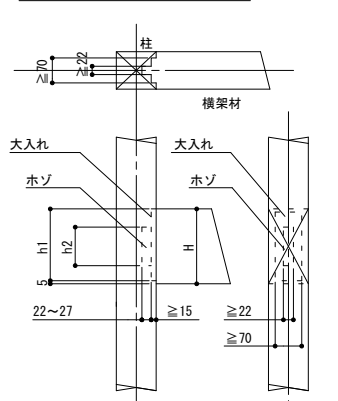
h : ホゾ長さ □ 短ホゾ 45~60 mm
□ 長ホゾ 90 mm
□ 上記以外 () mm

B 柱-横架材仕口：出隅部 (土台共通)



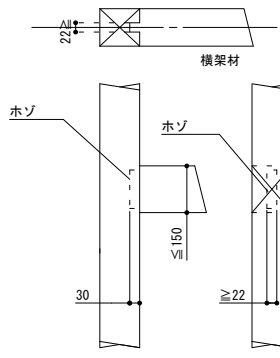
h : ホゾ長さ □ 短ホゾ 45~60 mm
□ 長ホゾ 90 mm
□ 上記以外 () mm

C 通柱-横架材仕口：胴差し



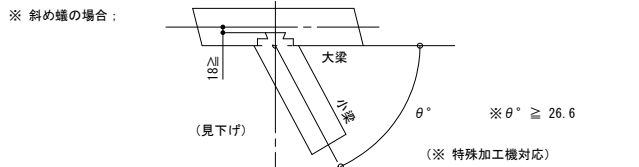
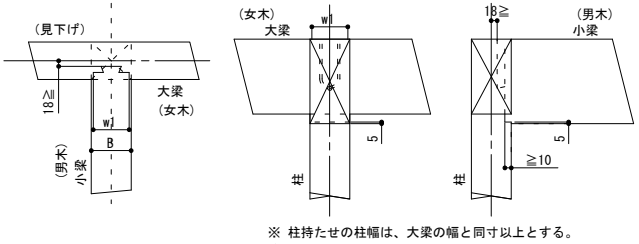
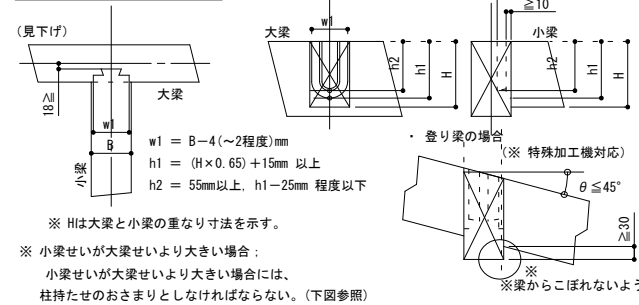
C 通柱-横架材仕口：桁差し

※ 材せい150mm以下かつ、上階からの柱や直交梁を受けないときに用いること。

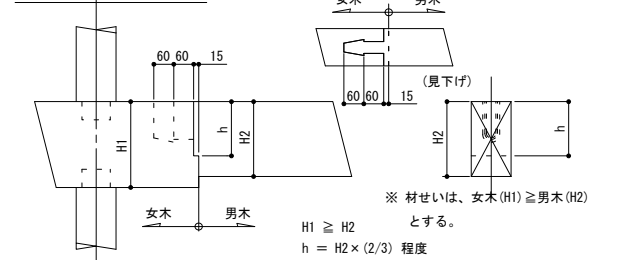


h1 = H-5 mm 程度
※ 胴差しで通し柱に取り付く方向は、2方向までとする。

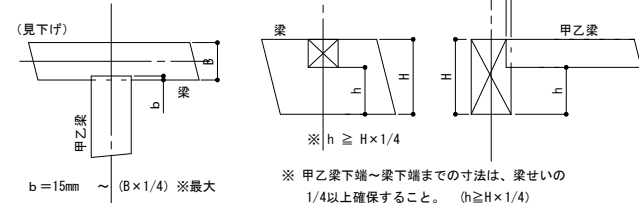
D 大梁-小梁仕口：蟻仕口



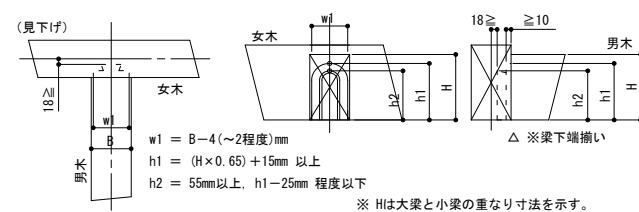
E 梁-梁継手：腰掛継ぎ



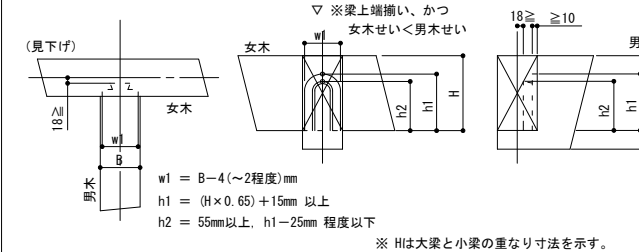
F 梁-甲乙梁仕口：大入れ



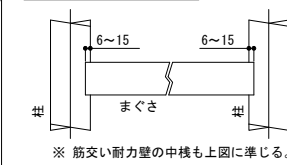
G 梁-梁仕口：逆蟻仕口



H 梁-梁仕口：茶臼仕口

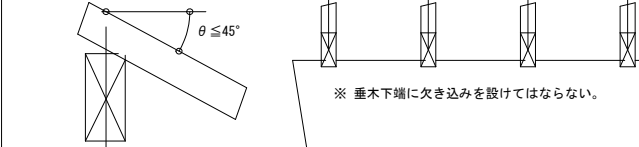


I その他：まぐさ欠き



※ 筋交い耐力壁の中横にも上図に準じる。

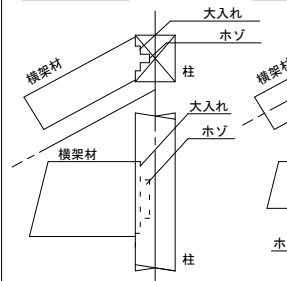
K その他：垂木欠き



(3) 特殊加工機を用いた標準的な継手仕口 (mm)

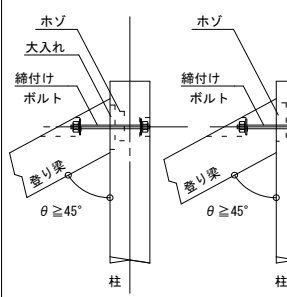
特殊加工機を用いることにより対応可能な継手仕口の一例を、本節に示す。
特殊加工機を用いた継手仕口は、加工工場が限定されるので注意すること。
特殊加工機を用いた継手仕口は、その形状により加工コストが増すので注意すること。

L 斜め胴差し



※ L, Mともに、梁幅が柱からこぼれない範囲で用い、柱断面を調整して使用すること。
※ L, Mともに、柱梁の緊結には引きボルトの代わりにコーナ金物を横使いとする。
使用するコーナ金物は、羽子板同等以上の引張耐力を有するものとする。

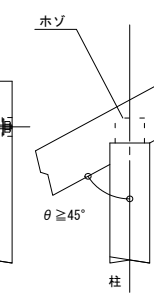
O 登り胴差し



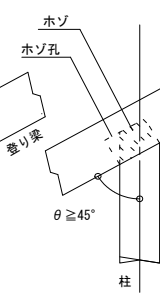
P 登り桁差し



Q 登り斜めホゾ

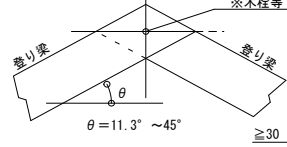


R 登り座付きホゾ

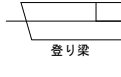


S 登り梁合掌部

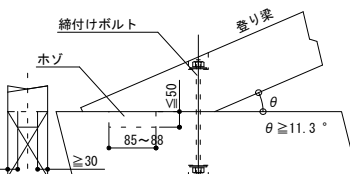
※ 棟束を挟まない場合



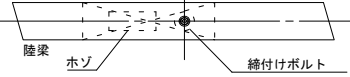
(見下げ)



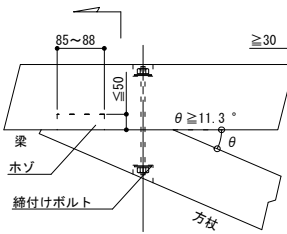
T 登り梁合掌尻



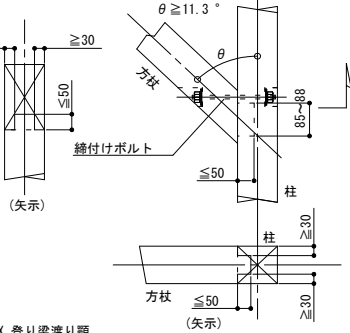
(見下げ)



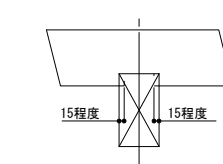
U 方杖-梁仕口



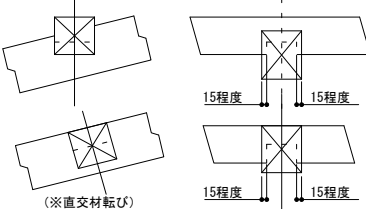
V 方杖-柱仕口



W 渡り頭

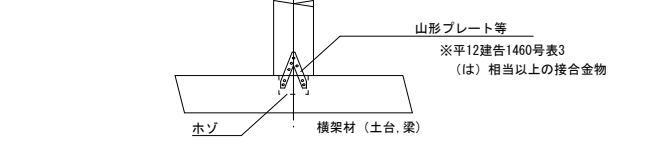


X 登り梁渡り頭



(4) 継手・仕口の補強金物

- ・耐力壁特柱の柱脚・柱頭においては、耐力壁による引抜き力を計算し、引抜き以上の耐力を有する接合金物を使用すること。
- ・上記以外の柱脚接合部には、5.1kN以上の引張耐力を有する接合金物(平12建告1460号表3に対応する表符号の"は"相当以上)を使用すること。

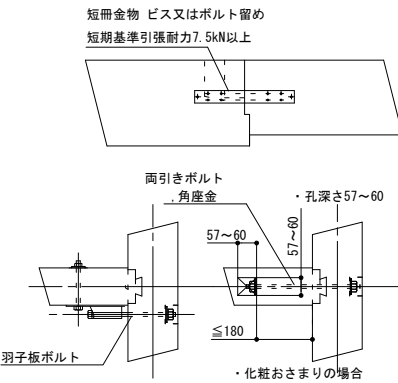


(梁-梁 接合部)

- ・水平構面の外周部横架材接合部においては、床水平構面による引抜き力を計算し、引抜き以上の耐力を有する接合金物を使用すること。
- ・上記以外の接合部には、7.5kN以上の引張耐力を有する接合金物を使用すること。(右図参照)

(小梁端部接合部)

- ・小梁端部接合においては、地震力によって外れ落ちることのないよう、最低3.0kN以上の引張耐力を有する接合金物で緊結すること。



工事名称 : 国補 南長野運動公園フットボールクラブハウス外建築主体工事

図面名称 : 木造軸組接合部標準図 (2)

縮 尺 : NON 図面番号 : S-009

DATE : . . .

株 式 会 社 KRC

長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670

1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号

1級建築士 第293052号 渡 利 真 二

1級建築士 第235863号 構造設計1級建築士 第1977号 山 崎 高 夫

木 造 軸 組 接 合 部 標 準 図 (3)

6. 面材耐力壁

(注) (単位)mm

6.1 共通事項

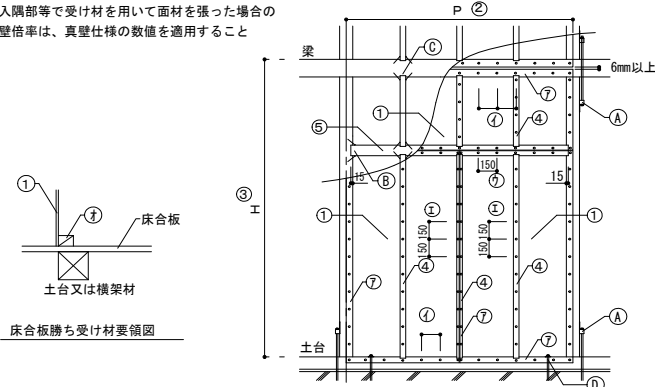
各部仕口形状は、(3)高耐力仕様構造用合板張り耐力壁を除き、木造軸組接合部標準図(2)5.軸組標準接合部に準ずる。
面材張り耐力壁の面材に対する釘頭のめり込みは、面材厚の10%未満かつ1mmを限度とする。左記を超える場合は隣り合う釘との中間部に増し打ちすること。
耐力壁の土台と基礎との間は、無収縮モルタル又は十分な耐久力を持つスペーサー材を挿入し隙間を埋めること。
柱の有効細長比(断面の最小二次率半径に対する座屈長さの比)は、150以下とすること。

6.2 面材耐力壁の仕様

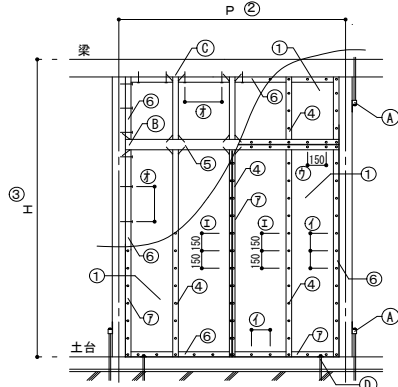
(1) 昭56建告1100号に準じた耐力壁 面材種類：構造用パーティクルボード、構造用MDF、構造用合板、構造用パネル (OSB)

a. 面材張り大壁仕様耐力壁

※ 入隅部等で受け材を用いて面材を張った場合の壁倍率は、真壁仕様の数値を適用すること



b. 受け材付き真壁仕様耐力壁



a-1. 高倍率仕様大壁耐力壁

壁倍率：4.3または3.7

① 面材および壁倍率	構造用パーティクルボード t=9mm、構造用MDF t=9mm 構造用合板 t=9mm以上、構造用パネル (OSB) t=9mm以上	・・・4.3 倍 ・・・3.7 倍
② 柱間隔	600mm≦P≦2000mm	
③ 高さ	H≦6000mm、かつ一連の耐力壁の両端柱芯間距離の5倍以下	
④ 間柱	幅45以上、間隔500mm以下	
⑤ 中棧	幅90mm以上	
2) 各部仕口形状及び性能		
④ 各階の柱頭柱脚部	ホゾ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力を有する金物を使用する	
⑥ 中棧端部	まぐさ欠きに15mm大入れの上、2-N75斜め釘打ち	
⑦ 間柱端部	間柱欠きに6〜15mm大入れの上、2-N75斜め釘打ち	
⑧ アンカーボルト	耐力壁のせん断力を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト：M12以上のアンカーボルトを耐力壁両端の柱近接位置(柱芯から200mm内外)に1本ずつ設ける	

b-1. 高倍率仕様真壁耐力壁

壁倍率：4.0または3.3

① 面材および壁倍率	構造用パーティクルボード t=9mm、構造用MDF t=9mm 構造用合板 t=9mm以上、構造用パネル (OSB) t=9mm以上	・・・4.0 倍 ・・・3.3 倍
② 柱間隔	600mm≦P≦2000mm	
③ 高さ	H≦6000mm、かつ一連の耐力壁の両端柱芯間距離の5倍以下	
④ 間柱	幅45以上、間隔500mm以下	
⑤ 中棧	幅90mm以上	
⑥ 受け材	幅45mm以上	
2) 各部仕口形状及び性能		
④ 各階の柱頭柱脚部	ホゾ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力を有する金物を使用する	
⑥ 中棧端部	突き付けの上、2-N75斜め釘打ち	
⑦ 間柱端部	突き付けの上、2-N75斜め釘打ち	
⑧ アンカーボルト	耐力壁のせん断力を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト：M12以上のアンカーボルトを耐力壁両端の柱近接位置(柱芯から200mm内外)に1本ずつ設ける	

3) 面材の釘打ち方法 ※ 構造用合板には、C.N釘を用いること。

⑦ 面材の釘打ち	面材の4周を釘打ちする。 金物が干渉する場合は、金物を避けた位置に所定の本数を釘打ちする。	
	柱及びはりに対するかかり寸法	22.5mm以上
	面材に対するへり空き	10mm以上
	柱はりのへり空き	12.5mm以上
⑧ 横架材・柱	構造用合板：CN50@75mm以下、左記以外の面材：N50@75mm以下	
⑨ 中棧	構造用合板：CN50@150mm以下、左記以外の面材：N50@150mm以下	
⑩ 間柱	構造用合板：CN50@150mm以下、左記以外の面材：N50@150mm以下	
⑪ 受け材	受け材	45×60以上
※ 床合板勝ち仕様の場合	受け材と柱梁	釘N90@120mm以下(両面張りの場合は、@60mm以下) ※ 枠材用ホールダウン金物は、45mm用を用いること(30mm用は不可)

3) 面材の釘打ち方法 ※ 構造用合板には、C.N釘を用いること。

⑦ 面材の釘打ち	面材の4周を釘打ちする。 金物が干渉する場合は、金物を避けた位置に所定の本数を釘打ちする。	
	受け材に対するかかり寸法	22.5mm以上
	面材に対するへり空き	10mm以上
	受け材のへり空き	12.5mm以上
⑧ 外周受材	構造用合板：CN50@75mm以下、左記以外の面材：N50@75mm以下	
⑨ 中棧	構造用合板：CN50@150mm以下、左記以外の面材：N50@150mm以下	
⑩ 間柱	構造用合板：CN50@150mm以下、左記以外の面材：N50@150mm以下	
⑪ 受け材	受け材	45×60以上
	構造用パーティクルボード、構造用MDF：釘N90@120mm以下(両面張りの場合は、@60mm以下)	
	構造用合板、構造用パネル：釘N90@200mm以下(両面張りの場合は、@100mm以下)	
※ 床勝ち仕様の場合の受け材及び釘打ち方法はa-1.に準ずる		
※ 枠材用ホールダウン金物は、45mm用を用いること(30mm用は不可)		

a-2. 標準仕様大壁耐力壁

壁倍率：2.5

① 面材および壁倍率	構造用パーティクルボード t=9mm、構造用MDF t=9mm 構造用合板 t=9mm以上、構造用パネル (OSB) t=9mm以上	・・・2.5 倍 ・・・2.5 倍
② ③ ④ ⑤	a-1. (高倍率仕様) に同じ	
2) 各部仕口形状及び性能		
④ ⑥ ⑦ ⑧	a-1. (高倍率仕様) に同じ	
3) 面材の釘打ち方法		
⑦ 面材の釘打ち	a-1. (高倍率仕様) に同じ	
⑧ 横架材・柱	N50@150mm以下	
⑨ 中棧	N50@150mm以下	
⑩ 間柱	N50@150mm以下	
⑪ 受け材	受け材	45×60以上
※ 床合板勝ち仕様の場合	受け材と柱梁	釘N90@200mm以下(両面張りの場合は、@100mm以下)

b-2. 標準仕様真壁耐力壁

壁倍率：2.5

① 面材および壁倍率	構造用パーティクルボード t=9mm、構造用MDF t=9mm 構造用合板 t=9mm以上、構造用パネル (OSB) t=9mm以上	・・・2.5 倍 ・・・2.5 倍
② ③ ④ ⑤ ⑥	b-1. (高倍率仕様) に同じ	
2) 各部仕口形状及び性能		
④ ⑥ ⑦ ⑧	b-1. (高倍率仕様) に同じ	
3) 面材の釘打ち方法		
⑦ 面材の釘打ち	b-1. (高倍率仕様) に同じ	
⑧ 外周受材	N50@150mm以下	
⑨ 中棧	N50@150mm以下	
⑩ 間柱	N50@150mm以下	
⑪ 受け材	受け材	45×60以上
	受け材と柱梁	釘N90@300mm以下(両面張りの場合は、@120mm以下)
※ 床勝ち仕様の場合の受け材及び釘打ち方法はa-2.に準ずる		

(2) 高耐力仕様構造用合板張り耐力壁 (JIS A 3301標準仕様)：短期許容せん断耐力 $\angle 0a=29.6\text{kN/m}$

本耐力壁を採用する場合は、設計図書に試験成績書を添付すること。

a. 条件及び仕様

1) 各部材料

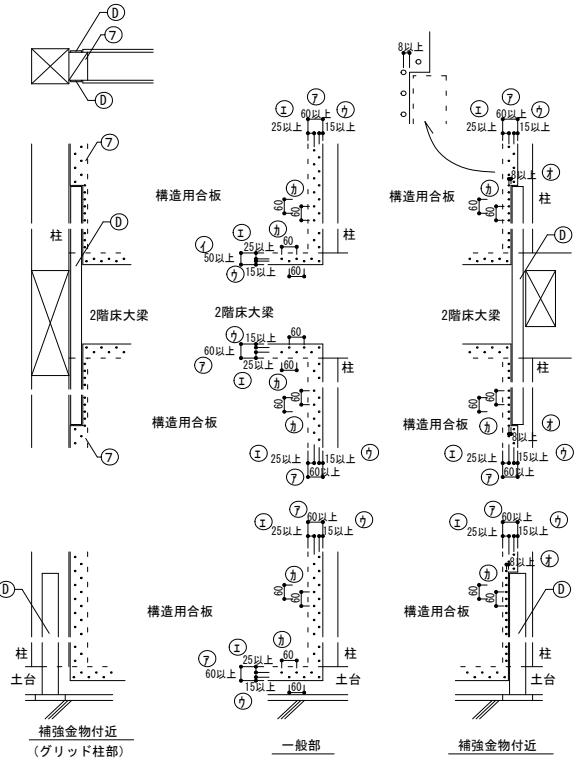
① 面材：構造用合板 t=12mm 両面張り
② 間隔：900mm≦P≦1000mm
③ 高さ：1800mm≦H≦3650mm
④ 高耐力壁を用いる場合のグリッド柱：150mm×150mm以上 (グリッド柱：X方向とY方向の主要鉛直断面の交点の柱)
⑤ 高耐力壁の端部および合板継ぎ目部の柱：120mm×120mm以上
⑥ 構造用合板継ぎ目部横つなぎ材：120mm×120mm以上
⑦ グリッド柱に取付く受け材：75mm×120mm以上
⑧ 間柱：見付け45mm以上、見込み120mm以上、間隔P/3以下
⑨ 小屋柱：120mm×120mm以上

2) 各部仕口形状及び性能

④ 柱頭柱脚ホゾ：厚さ30mm×深さ90mm以上
⑥ 中棧端部ホゾ： 片側から柱に取り付く場合：厚さ30mm×深さ90mmホゾ差し 両側から柱に取り付く場合：厚さ30mm×深さ60mmホゾ差し
⑦ 間柱両端：横架材への溝加工及び15mm程度大入れ
⑧ 各階の柱頭柱脚部： 水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
⑨ 耐力壁のせん断を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト： M16アンカーボルト耐力壁1P当り2本設ける

3) 各部への釘打ち及びビス止め

構造用合板はたて張り、4周を釘打ちする
⑦ ④を除き、柱及びはりに対するかかり寸法：60mm以上
⑧ 2階耐力壁合板を2階床大梁へ留め付ける場合かかり代：50mm以上
⑨ ⑦を除き、合板に対するへり空き：15mm以上
⑩ 柱はりのへり空き：25mm以上
⑪ 金物が干渉しへり空きが確保できない合板部分のへり空き：8mm以上
⑫ 横架材・柱・受け材：N50@60mmチドリ打ち
⑬ 間柱：N50@90mm打ち
⑭ ⑦の受け材とグリッド柱： 木質構造用ビスφ6、L130〜150@100(2列)で留め付ける。



6.3 その他の耐力壁

- ・木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2017年版)の詳細計算法による面材張り耐力壁については、同書の規定に準拠することとし、釘ピッチ配列等の仕様については設計図による。
- ・指定性能評価機関またはそれに準じる公共の評価機関で成績書を取得して耐力が明示された耐力壁については試験成績書の仕様に基づきとすること。
- ・大臣認定を取得した耐力壁については、認定書に記載された適用範囲及び仕様を守ること。

釘打ち要領図

工事名称：国補 南長野運動公園フットボールクラブハウス外建築主体工事

図面名称：木造軸組接合部標準図(3)

縮尺：NON 図面番号：S-010

DATE：-

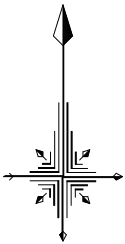
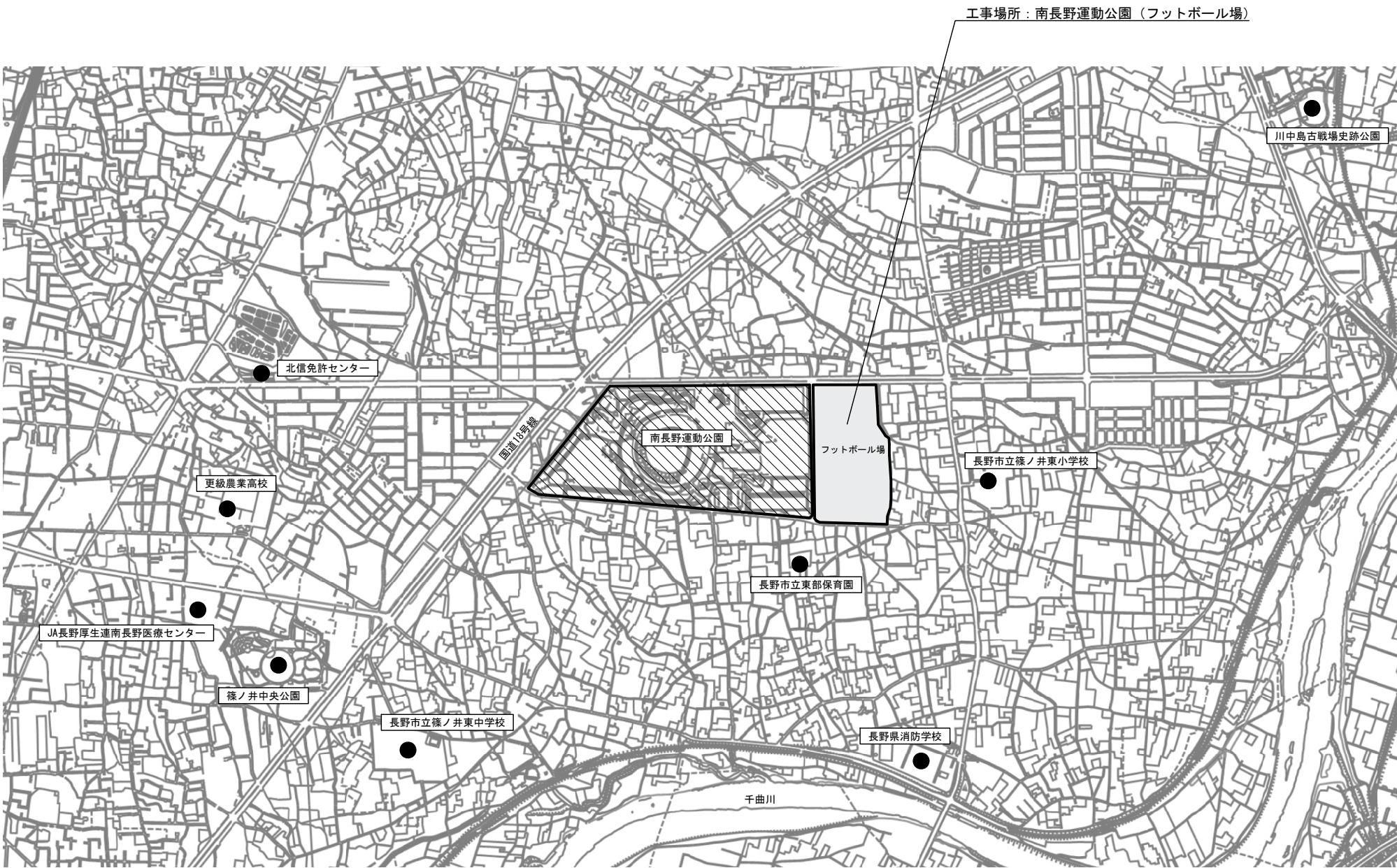
株式会社 KRC

長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670

1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号

1級建築士 第293052号 渡利 真二

構造設計1級建築士 第235863号 山崎 高夫



工事名称：国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事

図面名称：案内図

縮尺：NON

図面番号：共—002

DATE：. . .

株式会社 KRC

長野県長野市稲屋町中央3-33-23 TEL 026-285-7670

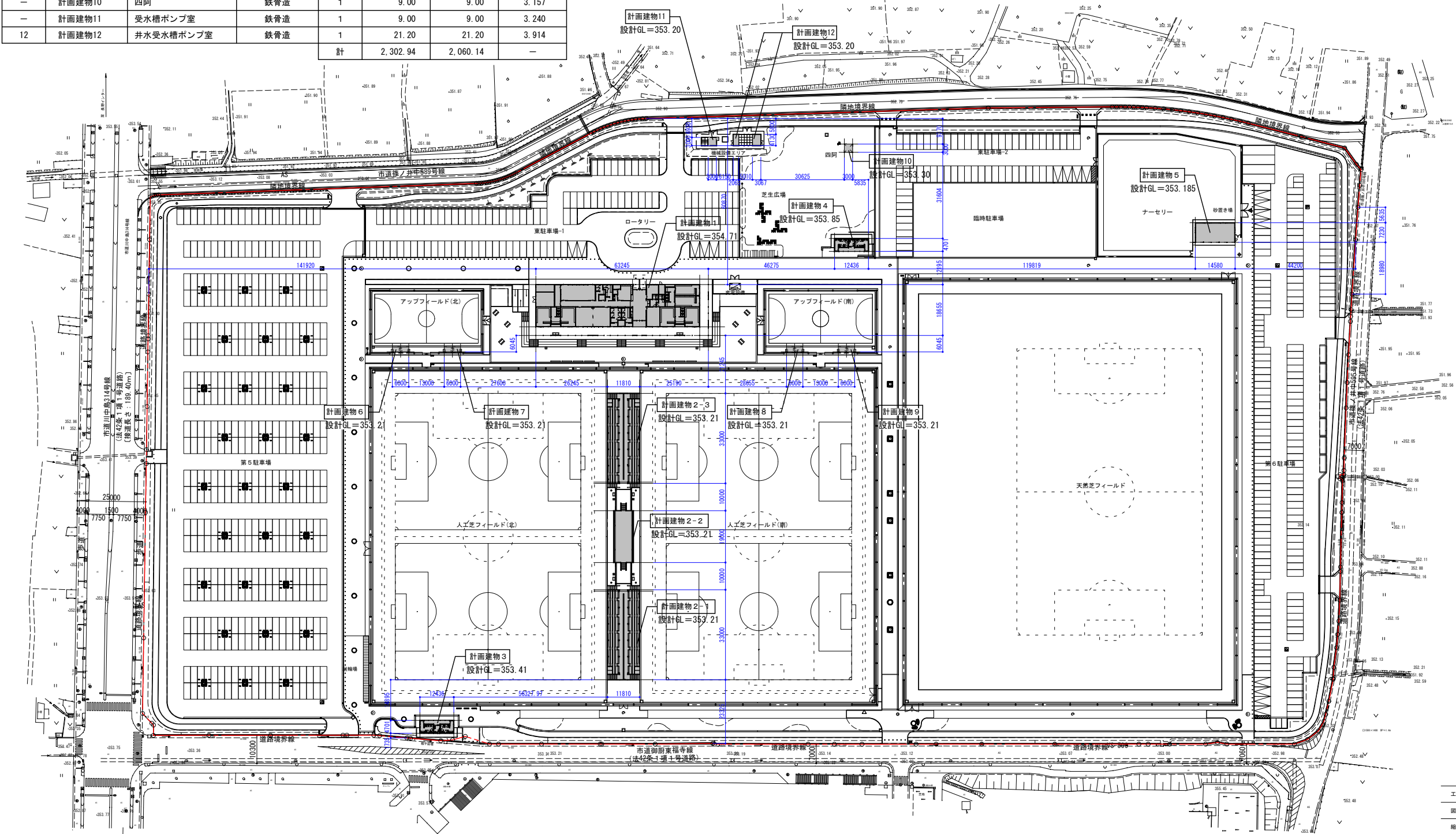
1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号

1級建築士 第293052号 渡利 真二

面 積 表

敷 地 面 積	96,821.44㎡
---------	------------

建物様番号		建 物 名	構造	階数	建築面積 (㎡)	延べ床面積 (㎡)	最高の高さ (m)
1	計画建物 1	クラブハウス	木 造	1	1,218.51	929.13	6.450
2	計画建物 2-1	スタンド (観客席 A 棟)	鉄骨造	1	327.00	366.11	5.095
3	計画建物 2-2	スタンド (中央倉庫棟)	R C 造	1	142.50	114.00	4.400
4	計画建物 2-3	スタンド (観客席 B 棟)	鉄骨造	1	327.00	366.11	5.095
5	計画建物 3	トイレ 1	木 造	1	58.46	44.89	4.240
6	計画建物 4	トイレ 2	木 造	1	58.46	44.89	4.240
7	計画建物 5	倉庫	鉄骨造	1	105.41	105.41	3.843
8	計画建物 6	シェルター 1	アルミニウム合金造	1	6.60	12.60	2.245
9	計画建物 7	シェルター 2	アルミニウム合金造	1	6.60	12.60	2.245
10	計画建物 8	シェルター 3	アルミニウム合金造	1	6.60	12.60	2.245
11	計画建物 9	シェルター 4	アルミニウム合金造	1	6.60	12.60	2.245
—	計画建物 10	四阿	鉄骨造	1	9.00	9.00	3.157
—	計画建物 11	受水槽ポンプ室	鉄骨造	1	9.00	9.00	3.240
12	計画建物 12	井水受水槽ポンプ室	鉄骨造	1	21.20	21.20	3.914
計					2,302.94	2,060.14	—



配置図 S=1:800

※敷地の接道長さ：837m
※雨水排水は、敷地内の雨水排水処理施設に接続し、敷地内処理を行う。
※各フィールドは、屋根のない屋外フィールドとする。

工事名称：国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事

図面名称：全体配置図

縮 尺：1：800 (A3 (A3=1:1600) 図面番号：共—003

DATE： . . .

株 式 会 社 K R C

長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670

1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号

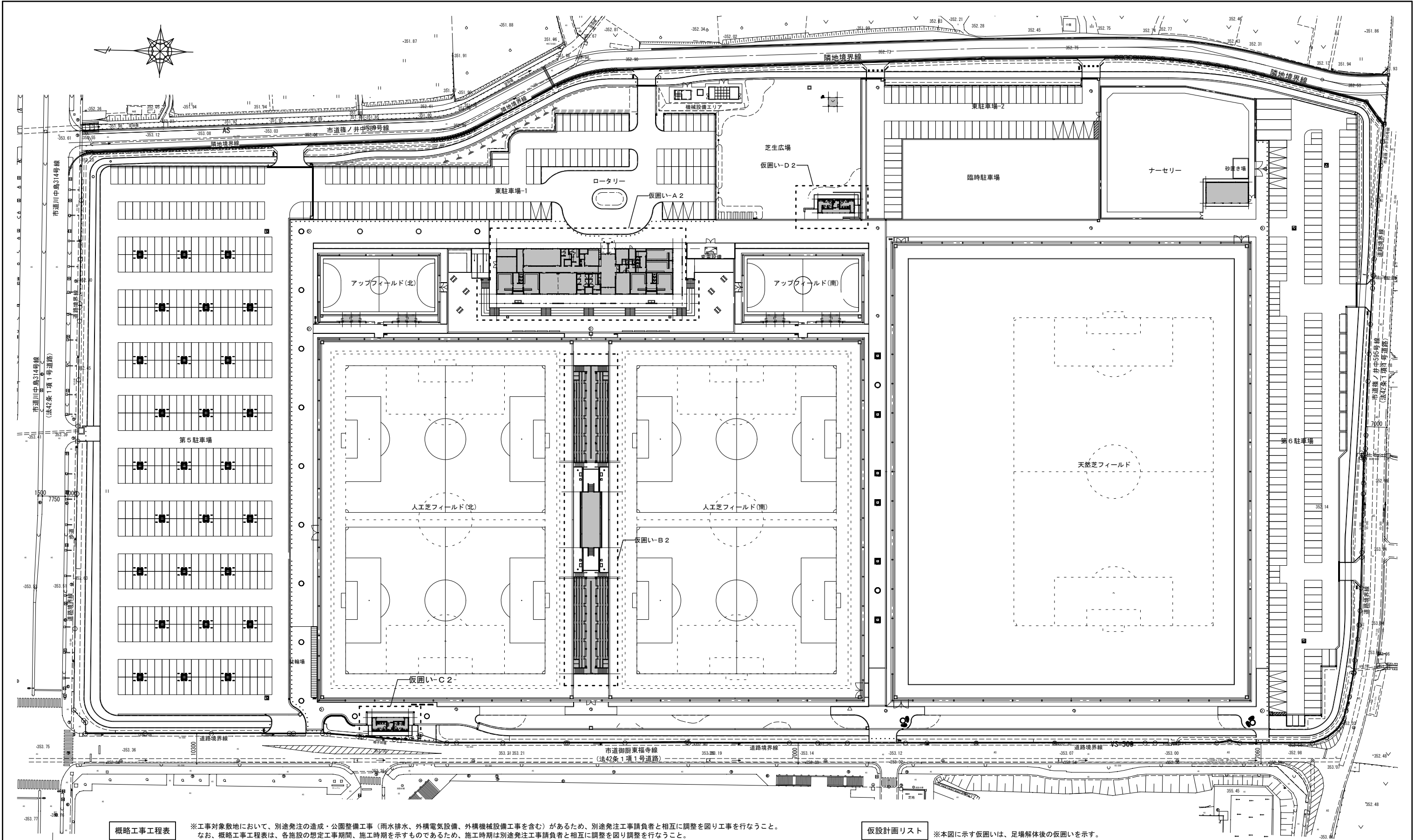
1級建築士 第293052号 渡 利 真 二

■座席求積表				
N0	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn・(Yn+1-Yn-1)
1	64602354.5536	-29257805.8404	16011.761	1034397461149.501
2	64601627.0623	-29257490.9733	556.191	35930843557.38460
3	64600871.9811	-29257249.6494	407.588	26330514368.69689
4	64600091.4521	-29257083.3857	253.286	16362285843.44014
5	64599308.9022	-29256996.3636	7255.601	468706790890.2177
6	64482926.8813	-29249827.7850	7239.120	466799645645.0238
7	64481994.0749	-29249757.2436	167.099	10774870279.81878
8	64481063.6015	-29249660.6861	219.056	14124944523.99531
9	64480136.1868	-29249538.1879	270.842	17463909700.98872
10	64479212.5536	-29249389.8444	324.475	20921898941.21564
11	64478283.3340	-29249213.7128	378.422	2439988040.08042
12	64477359.4563	-29249011.4226	433.437	27946899041.49493
13	64476430.8239	-29248780.2754	488.723	31511095358.60733
14	64475509.1721	-29248522.6999	537.169	34634238339.03255
15	64474608.1363	-29248243.1065	584.446	37681933274.30763
16	64473715.3303	-29247938.2538	634.723	40922956462.90843
17	64472831.4619	-29247608.3834	684.497	44131453269.87226
18	64471957.2321	-29247253.7569	733.728	47304867341.63242
19	64471093.3339	-29246874.6556	782.377	50440687695.12104
20	64470240.4525	-29246471.3801	830.405	53536442257.98050
21	64469399.2642	-29246044.2501	877.776	56589672067.66000
22	64468570.4360	-29245593.6044	15715.086	1013129109358.327
23	64441414.2932	-29230329.1644	15896.711	1024406526562.197
24	64440250.9877	-29229696.8936	1231.168	79336755595.95625
25	64439070.1539	-29229097.9967	1163.934	75002850456.11676
26	64437872.7489	-29228532.9592	1095.758	70608282348.67200
27	64436659.7435	-29228002.2392	1026.692	66156635283.63616
28	64435432.1209	-29227506.2667	956.795	61651518606.70850
29	64434190.8762	-29227045.4439	886.122	57096573417.79283
30	64432937.0156	-29226620.1444	814.731	52495511207.57615
31	64431671.5556	-29226230.7129	742.679	47852075171.95654
32	64430395.5220	-29225877.4650	670.026	43170027304.00091
33	64429109.9490	-29225560.6871	596.829	38453154818.72590
34	64427815.8789	-29225280.6361	523.148	33705295907.07895
35	64426514.3607	-29225037.5389	449.044	28930313944.00884
36	64425206.4494	-29224831.5925	374.575	24132065263.10630
37	64423893.2051	-29224662.9640	299.802	19314437800.25801
38	64422575.6926	-29224531.7901	224.787	14481363964.60982
39	64421254.9797	-29224438.1769	7177.412	462377882104.3948
40	64296069.6205	-29217354.3782	8626.926	554677415417.9324
41	64250590.7253	-29215811.2512	1601.403	102891063038.8911
42	64249018.7329	-29215752.9756	81.512	523707864.864439
43	64247445.8470	-29215729.7390	47.038	302207782.526024
44	64245873.1667	-29215705.9375	31.158	2001792189.965427
45	64244300.0669	-29215698.5807	4.050	260202264.156997
46	64242727.0906	-29215701.8873	-19.204	-1233691633.994955
47	64241154.1911	-29215717.7843	-44.388	-2851529928.027613
48	64239581.2678	-29215746.2752	-69.560	-4468537392.757744
49	64238009.0259	-29215787.3448	-160.960	-10339749932.86630
50	64234865.5784	-29215907.2352	-290.108	-18635029112.85183
51	64231724.0507	-29216077.4525	-390.659	-25092681816.43697
52	64228586.2531	-29216297.8939	-491.154	-31546120629.77341
53	64225451.5834	-29216568.6064	-591.555	-37992867743.91593
54	64222321.8499	-29216889.4486	-691.747	-44425624161.43667
55	64219197.6539	-29217260.3538	-791.693	-50841876404.15019
56	64216080.3947	-29217681.1414	-891.416	-57243254364.38888
57	64212970.2699	-29218151.7700	-991.083	-63640351107.72867
58	64209867.4809	-29218672.2239	-1099.514	-70021753005.11809
59	64206773.4217	-29219242.2839	-1189.539	-76376441787.20836
60	64203689.0823	-29219861.7626	-1288.253	-82710562969.58178
61	64200615.0548	-29220530.5364	-5089.457	-326746250434.8312
62	64181050.5489	-29224951.2193	-8163.738	-523957294082.0379
63	64165022.4676	-29228694.2746	-9645.251	-618887727870.9388
64	64160589.9525	-29234596.4700	-7773.312	-498740264556.7959
65	64158831.1918	-29236467.5863	-7595.215	-487300142714.1456
66	64159129.5559	-29242191.6854	-13842.099	-888097010234.7552
67	64159571.5549	-29250309.6851	-19994.999	-1282870594744.309
68	64160165.5540	-29262186.6848	-31894.000	-2046324339427.412
69	64160979.5521	-29282203.6854	-25724.000	-1650477057246.601
70	64161160.5511	-29287910.6851	-8191.999	-525608195153.9659
71	64161265.5508	-29290395.6849	-4304.000	-276150099762.8746

N0	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn・(Yn+1-Yn-1)
72	64161326.5509	-29292214.6853	-14077.000	-903199006689.2628
73	64161684.5497	-29304472.6851	-22438.000	-1439659858677.576
74	64161908.5478	-29314652.6850	-19504.000	-1251413864316.291
75	64162056.5471	-29323976.6851	-27638.000	-1773310918848.750
76	64162284.5449	-29342290.6850	-22907.000	-1469765439237.589
77	64162300.5449	-29346883.6849	-6181.001	-396587211749.2422
78	64162299.5442	-29348471.6855	-1573.001	-100927335680.3409
79	64163680.5446	-29348456.6855	-1488.999	-95539675416.28981
80	64163685.5445	-29349960.6848	-1563.999	-100351972109.6902
81	64162830.5439	-29350020.6850	-748.000	-47993797246.83720
82	64162687.5437	-29350708.6848	-8651.000	-555071390691.8947
83	64162686.5435	-29358671.6847	-11615.001	-745249636284.1609
84	64162679.5429	-29362323.6853	-23652.000	-1517575683716.156
85	64162639.5408	-29382323.6845	-21649.000	-1389056964169.900
86	64162636.5403	-29383972.6850	-12108.001	-776881260976.3466
87	64162615.5396	-29394431.6854	-18193.999	-1167374588629.978
88	64162752.5382	-29402166.6844	-12628.999	-810375532476.0246
89	64162997.5380	-29407061.6849	-9782.000	-627642454749.2937
90	64163363.5372	-29411948.6846	-11977.460	-768514133064.9797
91	64164156.5636	-29419039.1451	-11319.001	-726274120225.5317
92	64164260.5361	-29423267.6851	-4462.540	-286335572796.1757
93	64164290.5360	-29423501.6850	-8357.001	-536221008091.5623
94	64165676.5353	-29431624.6856	-12930.000	-829662184768.3157
95	64166677.5345	-29436431.6848	-7390.000	-474191740563.1787
96	64167275.5339	-29439014.6855	-6143.001	-394179605688.4506
97	64169221.5337	-29442574.6853	-6766.000	-434168959314.0450
98	64173089.5336	-29445780.6856	-5112.001	-328052910703.5790
99	64177882.5328	-29447686.6865	-2521.004	-161792685740.9672
100	64202646.5328	-29448301.6894	-62.003	-3980788794.273504

N0	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn・(Yn+1-Yn-1)
101	64206080.5328	-29447748.6900	-191.001	-12263419167.25871
102	64210425.5328	-29448492.6903	-1080.002	-69347362311.93032
103	64223617.5325	-29448828.6916	-543.002	-34873578456.80699
104	64231493.5331	-29449035.6927	-294.001	-18884116907.09702
105	64234887.5333	-29449122.6925	-880.004	-56526938698.58236
106	64265724.5322	-29449915.6964	-1480.668	-95156227517.98350
107	64292473.7877	-29450603.3609	-1120.005	-72007879246.05296
108	64309221.5324	-29451035.7012	-622.341	-40022297392.25245
109	64316559.5325	-29451225.7024	-700.002	-45021752463.99549
110	64336366.5323	-29451735.7037	-770.003	-49539182371.87062
111	64346484.5324	-29451995.7052	-503.003	-32366455455.36987
112	64356130.5325	-29452238.7064	-1097.005	-70599009845.94228
113	64390425.5323	-29453092.7104	-603.004	-38827671279.65802
114	64391056.5317	-29452841.7102	-541.002	-34835683926.56922
115	64412174.5320	-29453633.7123	-1280.004	-82447866814.52639
116	64431757.5318	-29454121.7146	-502.002	-32344871144.49978
117	64432327.5311	-29454135.7143	-549.002	-35373502452.13731
118	64453835.5314	-29454670.7170	-927.005	-59749021361.46567
119	64469583.5312	-29455062.7192	-475.002	-30623187563.33552
120	64472901.5317	-29455145.7191	2484.999	160215108728.0409
121	64481839.5315	-29452577.7200	1163.998	75056738699.01869
122	64486451.5314	-29453981.7210	-1819.001	-117300919822.1988
123	64490779.5318	-29454396.7210	205.999	13285023194.74683
124	64501911.5318	-29453775.7222	691.998	44635206676.52178
125	64503213.5311	-29453704.7228	683.998	44120075499.01444
126	64513205.5316	-29453091.7241	718.999	46384943166.74364
127	64515378.5314	-29452985.7236	-154.001	-9935413454.644027
128	64525249.5312	-29453245.7248	-298.002	-19228666315.84580
129	64526672.5309	-29453283.7258	-779.004	-50266510197.43797

N0	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn・(Yn+1-Yn-1)
130	64553241.5313	-29454024.7284	-1300.005	-83919530301.63737
131	64575821.5312	-29454583.7307	-1098.005	-70904549090.01316
132	64596138.5314	-29455122.7330	3233.998	208903750520.3553
133	64596198.5311	-29451349.7332	4422.051	285647658472.1522
134	64596855.7295	-29450700.6824	4154.000	268335319321.1989
135	64600331.5314	-29447195.7335	31213.948	2016431402123.855
136	64600631.5351	-29419486.7342	73718.999	4762293917375.723
137	64601135.5400	-29373476.7341	63920.000	4129304590177.023
138	64601314.5424	-29355566.7341	23032.000	1487897483000.557
139	64601358.5429	-29350444.7340	20919.000	1351395812898.680
140	64601544.5443	-29334647.7342	35799.000	2312670660840.799
141	64601758.5470	-29314645.7345	24776.000	1600573182680.802
142	64601809.5474	-29309871.7340	5956.000	384768364743.7338
143	64601821.5476	-29308689.7347	16413.000	1060309690600.708
144	64601985.5486	-29293458.7341	35187.000	2273150091339.579
145	64602201.5511	-29273502.7343	35652.894	2303255424687.337
合 計 (倍面積)				193642888274.3623
面 積 (m2)				



概略工事工程表

※工事対象敷地において、別途発注の造成・公園整備工事（雨水排水、外構電気設備、外構機械設備工事を含む）があるため、別途発注工事請負者と相互に調整を図り工事を行なうこと。
なお、概略工事工程表は、各施設の想定工事期間、施工時期を示すものであるため、施工時期は別途発注工事請負者と相互に調整を図り調整を行なうこと。

	2025年（令和7年度）												2026年（令和8年度）												2027年（令和9年度）				
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月		
造成・公園整備工事（別途発注工事）	●																									●			
クラブハウス外建築主体工事（全体工程）							●															●							
クラブハウス							●															●							
スタンド							●																						
トイレ1・2											●																		
倉庫												●																	
シェルター・四阿													●																
※建築 別途発注工事：電気設備・機械設備													●																

仮設計画リスト

※本図に示す仮囲いは、足場解体後の仮囲いを示す。

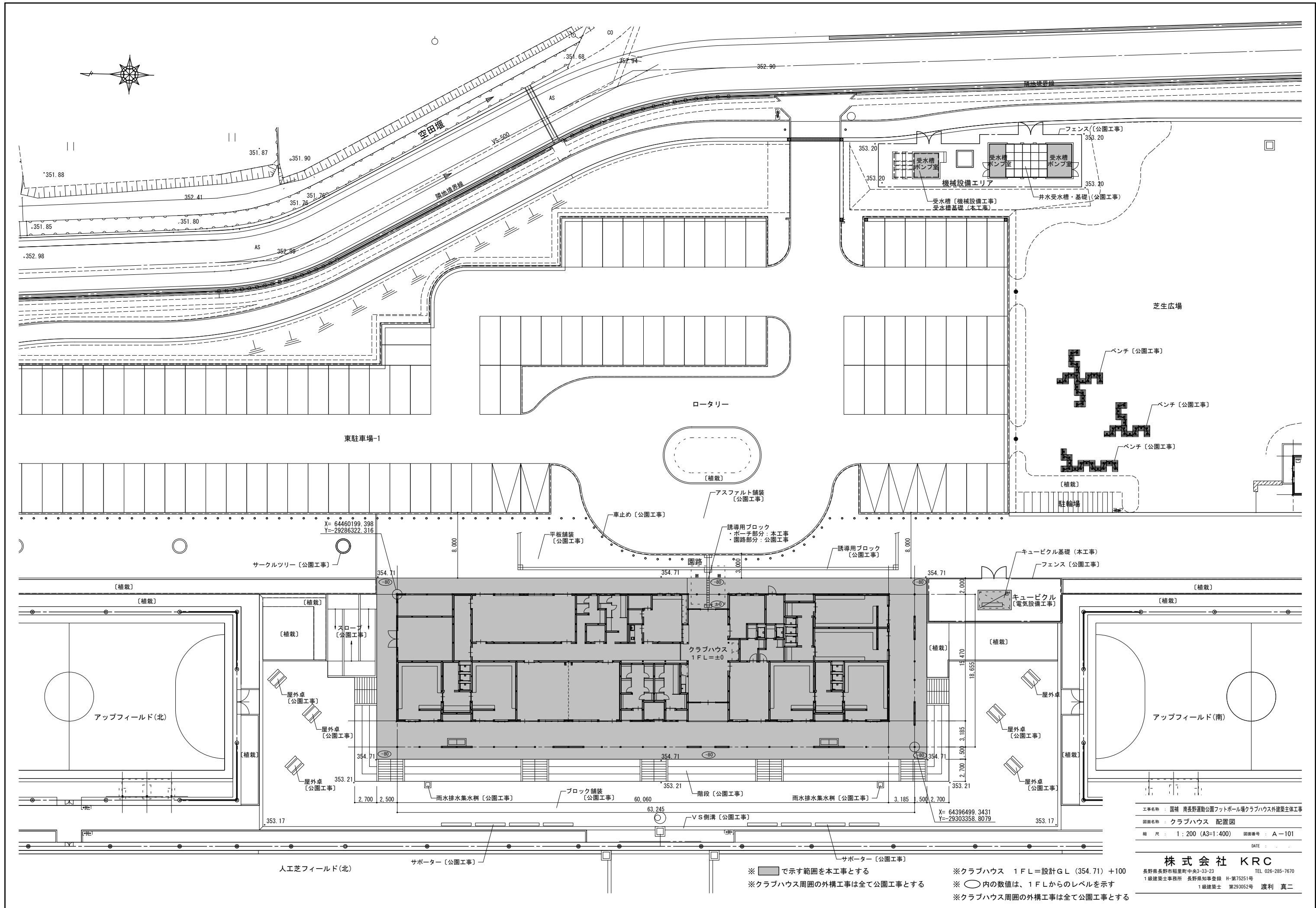
仮設No.	仕様・設置期間
仮囲いーA 2	単管バリケード：延長 214.0m（設置期間 3ヶ月）
仮囲いーB 2	単管バリケード：延長 262.4m（設置期間 1ヶ月）
仮囲いーC 2	単管バリケード：延長 62.6m（設置期間 1ヶ月）
仮囲いーD 2	単管バリケード：延長 78.3m（設置期間 1ヶ月）

工事名称：国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事

図面名称：仮設計画図（2）

縮尺：1：600（A3（A3=1:1200）図面番号：共—006

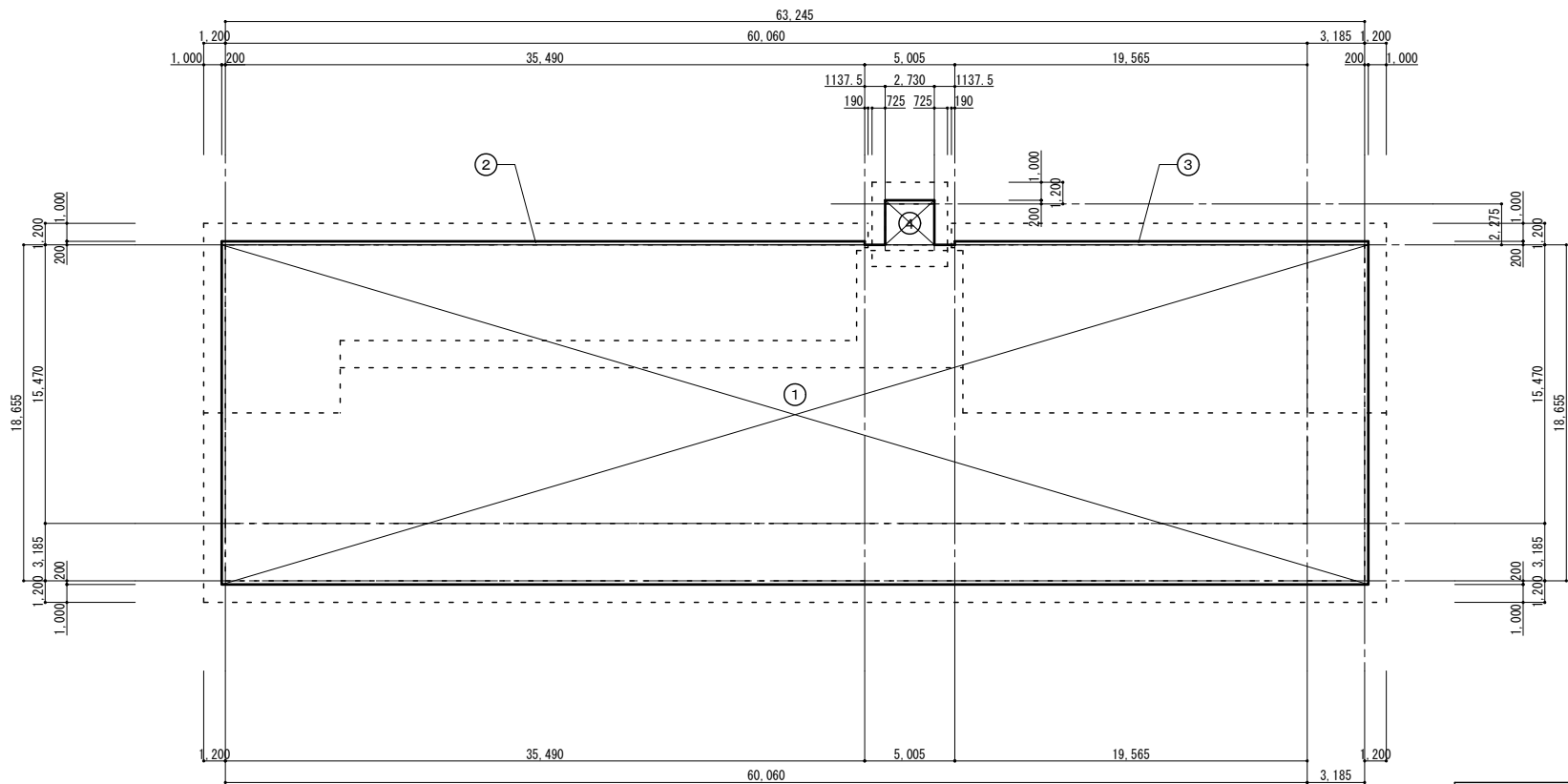
DATE



工事名称	国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事		
図面名称	クラブハウス 配置図		
縮尺	1:200 (A3=1:400)	図面番号	A-101
DATE			

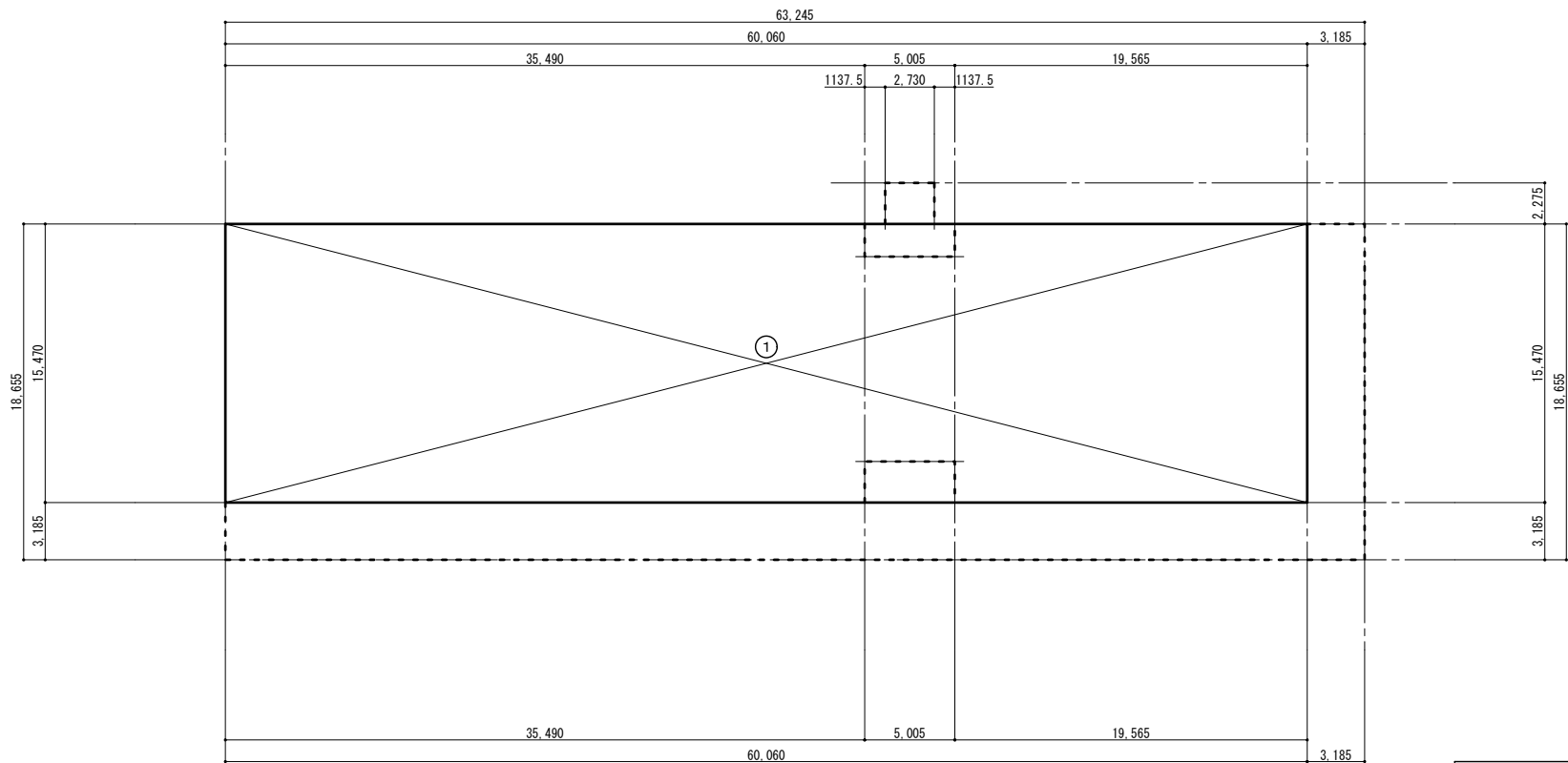
株式会社 KRC
長野県長野市相里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670
1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号
1級建築士 第293052号 渡利 真二

- ※で示す範囲を本工事とする
※クラブハウス周囲の外構工事は全て公園工事とする
- ※クラブハウス 1F L=設計G L (354.71) +100
※内の数値は、1F Lからのレベルを示す
※クラブハウス周囲の外構工事は全て公園工事とする



建築面積 求積図 S=1:50

建築面積表			
	計 算 式 (㎡)		
①	63.645 × 18.855	=	1200.026
②	35.690 × 0.200	=	7.138
③	22.950 × 0.200	=	4.590
④	2.730 × 2.475	=	6.757
	建築床面積		1218.511



床面積 求積図 S=1:50

1 階 床面積表			
	計 算 式 (㎡)		
①	60.060 × 15.470	=	929.128
	1 階床面積		929.128

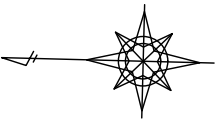
面積表	
■ 床面積	
1 階床面積	929.13 ㎡
合 計	929.13 ㎡
■ 建築面積	1218.51 ㎡

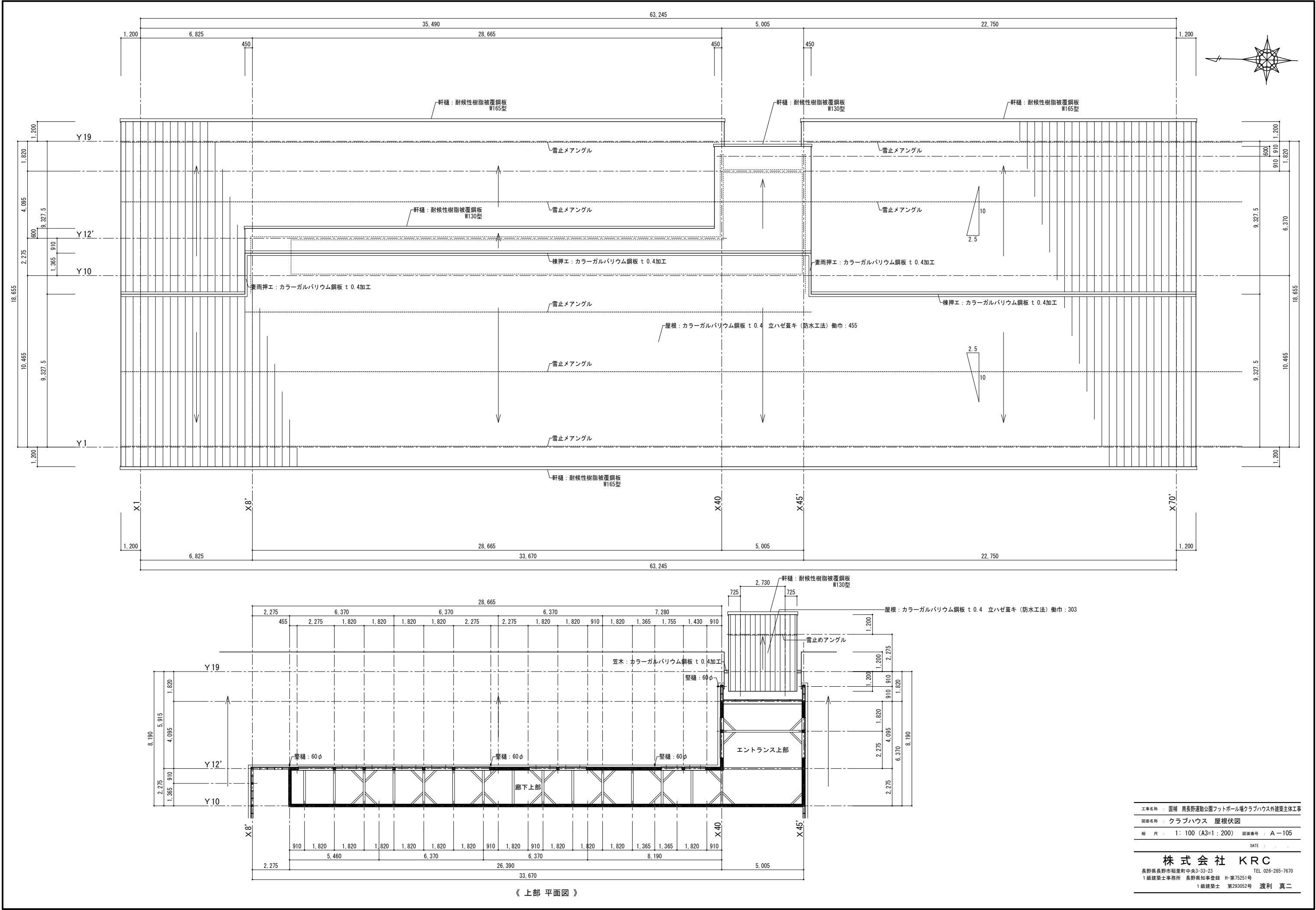
[illegible]

■ 特 記 仕 様	
1. 断熱材仕様	土間下（外通路、設備スペースを除く）：押出法ポリスチレンフォーム t30+ポリエチレンシート t0.15敷 ビストラフ下、側面：押出法ポリスチレンフォーム t30打込 外壁面：高性能グラスウール t100 (24kg/m ³) 充填（男女トイレB、外部倉庫A・B、設備スペース、給湯・物入に面する壁面を含む） 外壁面および外壁面から0.6mの範囲の基礎立上りのRC面：現場発泡ウレタン t25吹付（外部倉庫A・B、設備スペース、給湯・物入に面する面を含む） 天井裏：高性能グラスウール敷込み t50+50 (24kg/m ³)
2. コンクリート打増し	外部に面する部分は、特記なき限り打増し t=20とする。（外部倉庫、設備スペース、給湯器・物入を含む） コンクリートの出隅部分は、面木を使用とする。
3. 外壁下地仕様	サイディング張りの下地胴縁は、縦胴縁18×45 @455とする。 羽目板張りの下地胴縁は、横胴縁18×45 @455とする。
4. 内部壁下地仕様	外壁等の基礎立上りに面する壁の下地は、縦胴縁45×40 @455、横胴縁18×45 @303とする。バリアフリートイレの一部は縦胴縁105×30 @455とする。 内部間仕切壁の下地は、縦胴縁18×45 @303とする。（バリアフリートイレの一部は縦胴縁105×30 @455とする。）
5. 仕上仕様	ビニル床シートは、溶接工法とすること。 汚垂石は、抗菌仕様のタイル製とする。 化粧ケイ酸カルシウム板の目地コーキングは、シリコン系（防カビ仕様）とする。 化粧ケイ酸カルシウム板のジョイント目地は縦目地のみとして、水平目地は設けないこと。 サッシ、建具の額縁は、特記なき限り、木製+木材保護着色塗料塗（屋内仕様）とする。 WPS（木材保護着色塗料塗り）は、屋外を3回塗り、屋内を2回塗りとする。 内部で使用する塗料材料、天井裏等の使用材料は、F☆☆☆☆とする。 外壁の水切材の出隅部分は、面取り加工又は、ガード材取付とする。 指示壁は、シナ合板 t5.5（難燃）下地 指示クロス（準不燃）とし、周囲は本柾目付25（WPS）とする。 手摺等の設備機器の取付で下地補強が必要な場合は、建築工事とする。
6. その他	ユニットシャワーは、0812タイプとし、コイン式シャワーユニット取付対応とし、固定用壁裏補強木を取付とする。 シャワーパネルは、コイン式シャワーユニットとする。 壁隠はバンドレス仕様とし、受金具は一本ボルト支持金具とする。 埋込消火器ボックスは、スチール製（扉共）、壁掛消火器BOXはステンレス製とする。

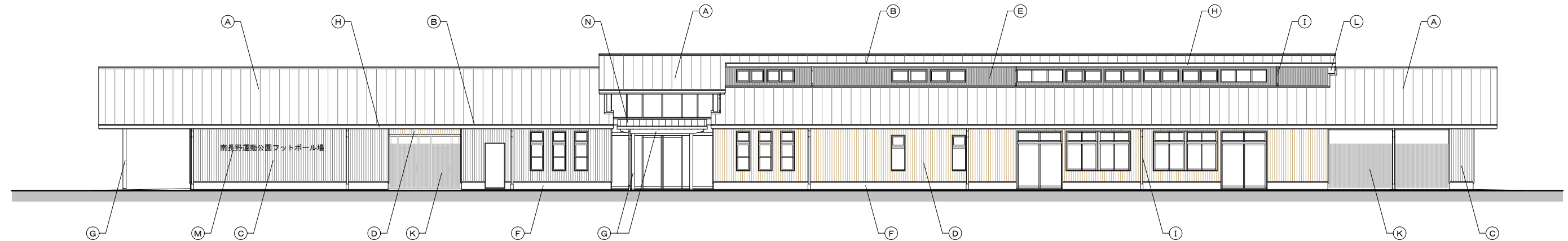
■ 内 部 仕 上 表													
室 名	床 高	床		巾 木		壁		天 井		廻り縁	天井高	備 考 ※〔 〕内は、機械設備工事を表す	
		下 地	仕 上	仕 上	H	下 地	仕 上	下 地	仕 上				
エントランス	±0	モルタル	防滑性ビニル床シート t2.5（屋外対応）	ビニル巾木	60	木製銅縁	石膏ボード t12.5+9.5 上部：石膏ボード t12.5	ビニールクロス（H=3200） E P	木野縁組	石膏ボード t9.5+ロックウール吸音板 t9 木製梁：木材保護着色塗料（屋内仕様）	塩ビ製	4620～5595	受付カウンター 自動販売機コーナー
ホール	±0	モルタル	防滑性ビニル床シート t2.5（屋外対応）	ビニル巾木	60	木製銅縁	石膏ボード t12.5+9.5	ビニールクロス	木野縁組	石膏ボード t9.5+ロックウール吸音板 t9 木製梁：木材保護着色塗料（屋内仕様）	塩ビ製	3000	流し台、作業台 掲示壁、埋込消火器BOX
管理事務室	±0	〇Aフロア	タイルカーベツト敷	ビニル巾木	60	木製銅縁	石膏ボード t12.5+9.5	ビニールクロス	木野縁組	化粧石膏ボード t9.5	塩ビ製	2700	ブラインドBOX、ブラインド、窓下収納棚 総合壁〔電気設備工事〕
職員更衣室	±0	モルタル	複層ビニル床シート t2.0	ビニル巾木	60	木製銅縁	石膏ボード t12.5	E P	木野縁組	化粧石膏ボード t9.5	塩ビ製	2500	
倉庫 A	±0	モルタル	複層ビニル床シート t2.0	ビニル巾木	60	木製銅縁	石膏ボード t12.5	E P	木野縁組	化粧石膏ボード t9.5	塩ビ製	2500	
湯沸室	±0	モルタル	複層ビニル床シート t2.0	ビニル巾木	60	木製銅縁	石膏ボード t12.5	E P	木野縁組	化粧石膏ボード t9.5	塩ビ製	2500	流し台、吊戸棚、フード ライニング
男子トイレ A	±0	モルタル	複層ビニル床シート t2.0	SUS巾木	60	木製銅縁	耐水石膏ボード t12.5+化粧ケイ酸カルシウム板 t6		木野縁組	化粧石膏ボード t9.5	塩ビ製	2500	ライニング、汚垂石、洗面カウンター、棚板、SUSパイプ（\$カン付）、床下点検口 〔鏡、手摺（小便器用、L型）、ペビーチェア〕
女子トイレ A	±0	モルタル	複層ビニル床シート t2.0	SUS巾木	60	木製銅縁	耐水石膏ボード t12.5+化粧ケイ酸カルシウム板 t6		木野縁組	化粧石膏ボード t9.5	塩ビ製	2500	洗面カウンター 〔鏡、手摺（L型）、ペビーチェア〕
バリアフリートイレ A	±0	モルタル	複層ビニル床シート t2.0	SUS巾木	60	木製銅縁	耐水石膏ボード t12.5+化粧ケイ酸カルシウム板 t6		木野縁組	化粧石膏ボード t9.5	塩ビ製	2500	〔鏡、手摺（L型、跳ね上げ式）、ペビーチェア、ペビーシート〕
多目的室 A	±0	モルタル	長尺弾性ビニル床シート t7.5 一部：磁器質100角タイル貼り	ビニル巾木	60	木製銅縁	石膏ボード t12.5+9.5 一部：合板 t9+羽目板 t12（難燃）	ビニールクロス 木材保護着色塗料（屋内仕様）	木野縁組	石膏ボード t9.5+ロックウール吸音板 t9 木製梁：木材保護着色塗料（屋内仕様）	塩ビ製	2900	ブラインドBOX、ブラインド、壁面鏡、ロールスクリーン スクリーンBOX、電動スクリーン〔電気設備工事〕、プロジェクター〔電気設備工事〕
倉庫 B	±0	モルタル	複層ビニル床シート t2.0	ビニル巾木	60	木製銅縁	石膏ボード t12.5+9.5	E P	木野縁組	化粧石膏ボード t9.5	塩ビ製	2500	
多目的室 B・C	±0	モルタル	防滑性ビニル床シート t2.5（屋外対応）	ビニル巾木	60	木製銅縁	石膏ボード t12.5+9.5 一部：合板 t9+羽目板 t12（難燃）	ビニールクロス 木材保護着色塗料（屋内仕様）	木野縁組	石膏ボード t9.5+ロックウール吸音板 t9 木製梁：木材保護着色塗料（屋内仕様）	塩ビ製	2900	カーテンBOX、カーテンレール、カーテン スライディングウォール
廊 下	±0	モルタル	複層ビニル床シート t2.0	ビニル巾木	60	木製銅縁	石膏ボード t12.5+9.5 上部：石膏ボード t12.5	ビニールクロス（H=3200） E P	木野縁組	石膏ボード t9.5+ロックウール吸音板 t9 木製梁：木材保護着色塗料（屋内仕様）	塩ビ製	5065～5590	下足棚、掲示壁、ピクチャーレール、 埋込消火器BOX
医務室	±0	モルタル	防滑性ビニル床シート t2.5（屋外対応）	ビニル巾木	60	木製銅縁	石膏ボード t12.5+9.5	ビニールクロス	木野縁組	化粧石膏ボード t9.5	塩ビ製	2700	ブラインドBOX、ブラインド カーテンレール、医療用カーテン
審判員控室	±0	モルタル	防滑性ビニル床シート t2.5（屋外対応）	ビニル巾木	60	木製銅縁	石膏ボード t12.5+9.5	ビニールクロス	木野縁組	化粧石膏ボード t9.5	塩ビ製	2700	ブラインドBOX、ブラインド
男子更衣室	±0	モルタル	防滑性ビニル床シート t2.5（屋外対応）	ビニル巾木	60	木製銅縁	石膏ボード t12.5	E P	木野縁組	化粧石膏ボード t9.5	塩ビ製	2500	ライニング、洗面カウンター 〔鏡〕
男子脱衣室	±0	モルタル	防滑性ビニル床シート t2.0	ビニル巾木	60	木製銅縁	耐水石膏ボード t12.5	E P	木野縁組	化粧石膏ボード t9.5	塩ビ製	2500	脱衣棚、ユニットシャワー（0812・シャワーパネル付） カーテンレール、シャワーカーテン
女子更衣室	±0	モルタル	防滑性ビニル床シート t2.5（屋外対応）	ビニル巾木	60	木製銅縁	石膏ボード t12.5	E P	木野縁組	化粧石膏ボード t9.5	塩ビ製	2500	ライニング、洗面カウンター、隔て板 〔鏡〕
女子脱衣室	±0	モルタル	防滑性ビニル床シート t2.0	ビニル巾木	60	木製銅縁	耐水石膏ボード t12.5	E P	木野縁組	化粧石膏ボード t9.5	塩ビ製	2500	脱衣棚、ユニットシャワー（0812・シャワーパネル付） カーテンレール、シャワーカーテン
ロッカールーム A～F	±0	—	コンクリート金ゴテ 防塵塗床	ビニル巾木	60	木製銅縁	石膏ボード t12.5+9.5 一部：合板（特製） t15捨張り	ビニールクロス貼り 化粧ケイ酸カルシウム板 t6	木野縁組	化粧石膏ボード t9.5	塩ビ製	2700	ベンチ、荷物用フック カーテンレール、シャワーカーテン
洗面所 A～C	±0	モルタル	防滑性ビニル床シート t2.0	ビニル巾木	60	木製銅縁	耐水石膏ボード t12.5+化粧ケイ酸カルシウム板 t6		木野縁組	ケイ酸カルシウム板 t6 E P	塩ビ製	2500	ライニング、洗面カウンター、埋込消火器BOX 〔鏡〕
シャワー室 A～D	±0	モルタル	防滑性ビニル床シート t2.0	ビニル巾木	60	木製銅縁	耐水石膏ボード t12.5+化粧ケイ酸カルシウム板 t6		木野縁組	ケイ酸カルシウム板 t6 E P	塩ビ製	2500	ユニットシャワー（0812・シャワーパネル付） カーテンレール、シャワーカーテン
男子トイレ B	+20	モルタル	磁器質100角タイル貼り	45＝二丁掛タイル	100	木製銅縁	耐水石膏ボード t12.5+化粧ケイ酸カルシウム板 t6		木野縁組	化粧石膏ボード t9.5	塩ビ製	2500	ライニング、洗面カウンター、汚垂石、棚板、SUSパイプ（\$カン付）、床下点検口 〔鏡、手摺（小便器用、L型）、ペビーチェア〕
女子トイレ B	+20	モルタル	磁器質100角タイル貼り	45＝二丁掛タイル	100	木製銅縁	耐水石膏ボード t12.5+化粧ケイ酸カルシウム板 t6		木野縁組	化粧石膏ボード t9.5	塩ビ製	2500	ライニング、洗面カウンター、棚板、SUSパイプ（\$カン付） 〔鏡、手摺（L型）、ペビーチェア〕
バリアフリートイレ B	±0	モルタル	磁器質100角タイル貼り	45＝二丁掛タイル	100	木製銅縁	耐水石膏ボード t12.5+化粧ケイ酸カルシウム板 t6		木野縁組	化粧石膏ボード t9.5	塩ビ製	2500	〔オストメイト、鏡、手摺（L型、跳ね上げ式）、ペビーチェア、ペビーシート〕
外部倉庫 A	+50	—	コンクリート金ゴテ 防塵塗床 （基礎立上り）	コンクリート	250	木製銅縁	合板 t9+ケイ酸カルシウム板 t6 E P		木野縁組	ケイ酸カルシウム板 t6 E P	塩ビ製	2700	
外部倉庫 B	+50	—	コンクリート金ゴテ 防塵塗床 （基礎立上り）	コンクリート	250	木製銅縁	合板 t9+ケイ酸カルシウム板 t6 E P		木野縁組	ケイ酸カルシウム板 t6 E P	塩ビ製	2500	
設備スペース	-225	—	コンクリート金ゴテ 防塵塗床	—	—	木製銅縁	—	窯業系サイディング t16張り（金具工法） 基礎立上り：コンクリート打放し	木野縁組	ケイ酸カルシウム板 t6 E P	塩ビ製	3300	アルミ製目隠しルーバー（門扉付）、設備基礎 壁掛消火器BOX
給湯器・物入	±0～+20 -40～20	—	コンクリート金ゴテ仕上	—	—	木製銅縁	—	窯業系サイディング t16張り（金具工法） 基礎立上り：コンクリート打放し	木野縁組	ケイ酸カルシウム板 t6 E P	塩ビ製	2500	アルミ製目隠しルーバー（門扉付） 仕切板

■ 共 通 事 項	
1. 凡 例	EP : 合成樹脂エマルジョンペイント塗料塗り（防火性能 難燃 [RM-9364] 同等以上） WPS : 木材保護着色塗料塗り SOP : 合成樹脂調合ペイント塗り DP : 耐候性塗料塗り
	カラーガルバリウム鋼板：ポリエステル樹脂塗装溶融熔融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 SUS：ステンレス304
2. 防火材料リスト	石膏ボード t12.5 : NM-8619 耐水石膏ボード t12.5 : QM-0898, NM-9639 石膏ボード t 9.5 : QM-9828 化粧石膏ボード t 9.5 : QM-0524, NM-1864 ケイ酸カルシウム板 t 6, 8 : NM-8578 ロックウール吸音板 t 9 : NM-8599 化粧ケイ酸カルシウム板 t 6 : NM-4487, NM-5037 ビニルクロス：防火性能 NM-3991, QM-0822

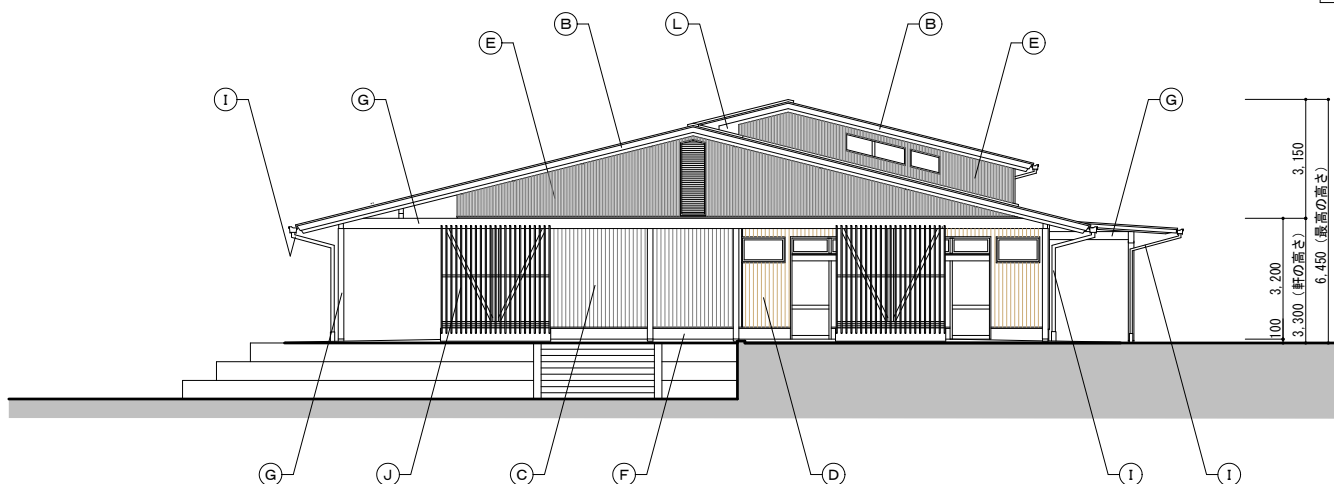




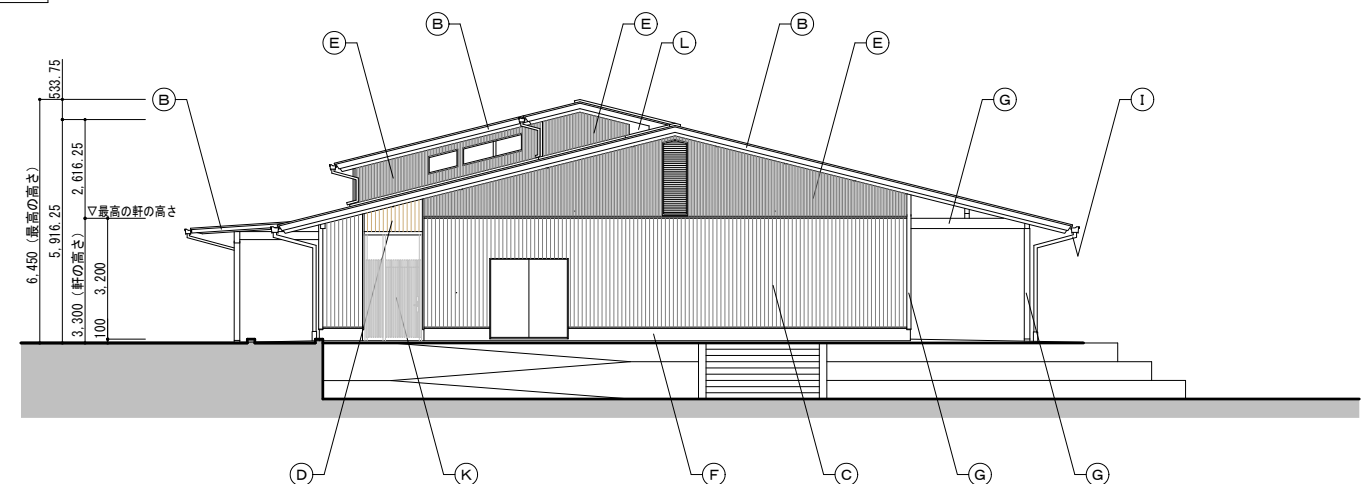
《 上部 平面図 》



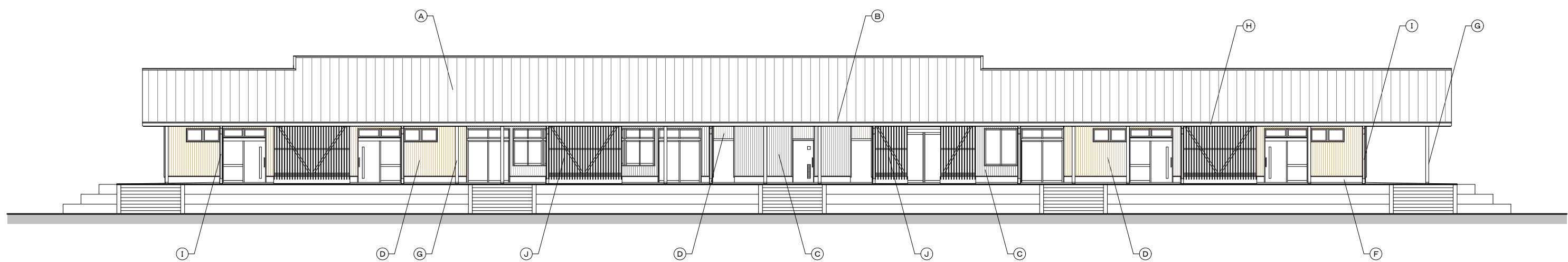
東側立面図



南側立面図



北側立面図

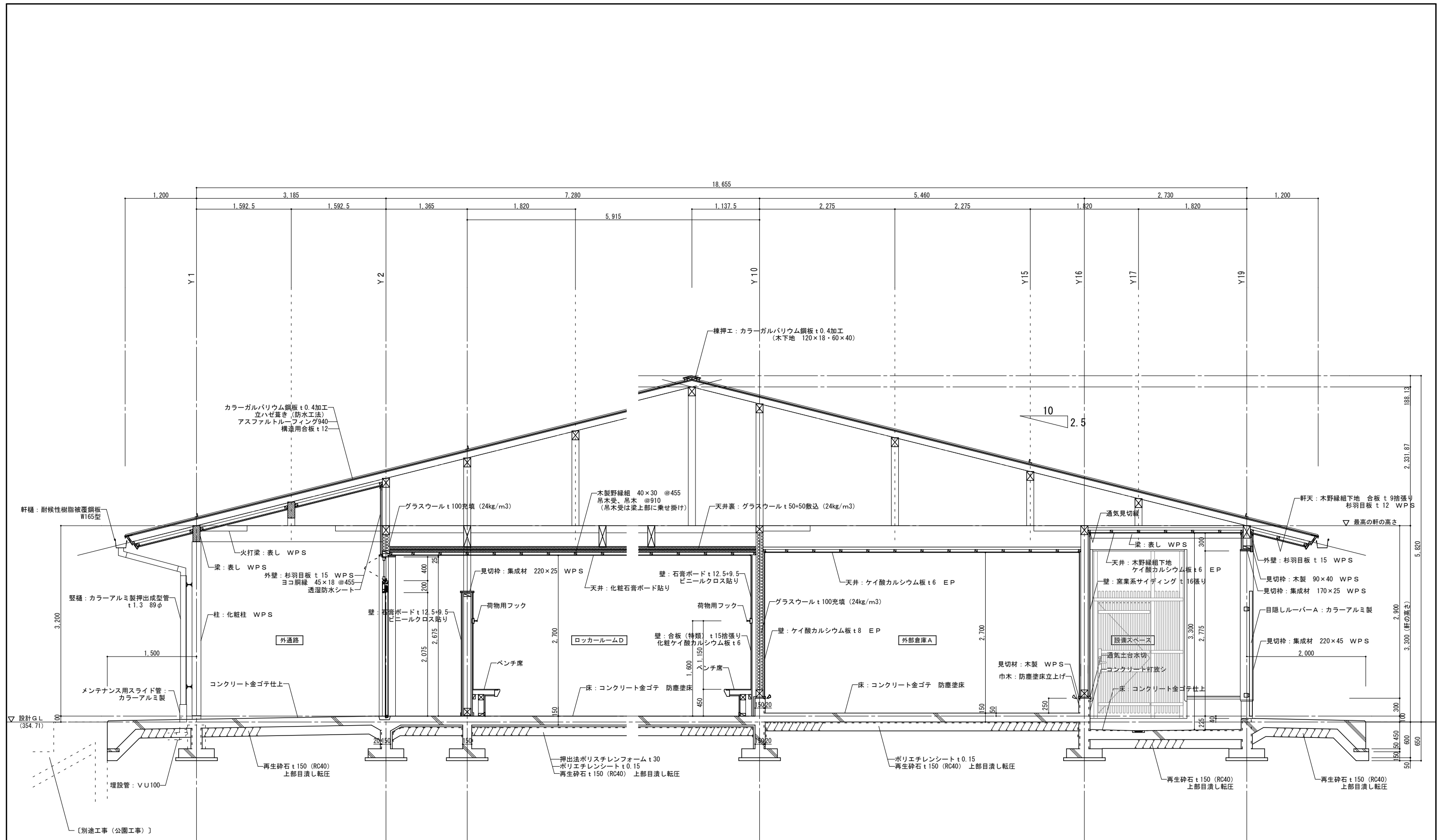


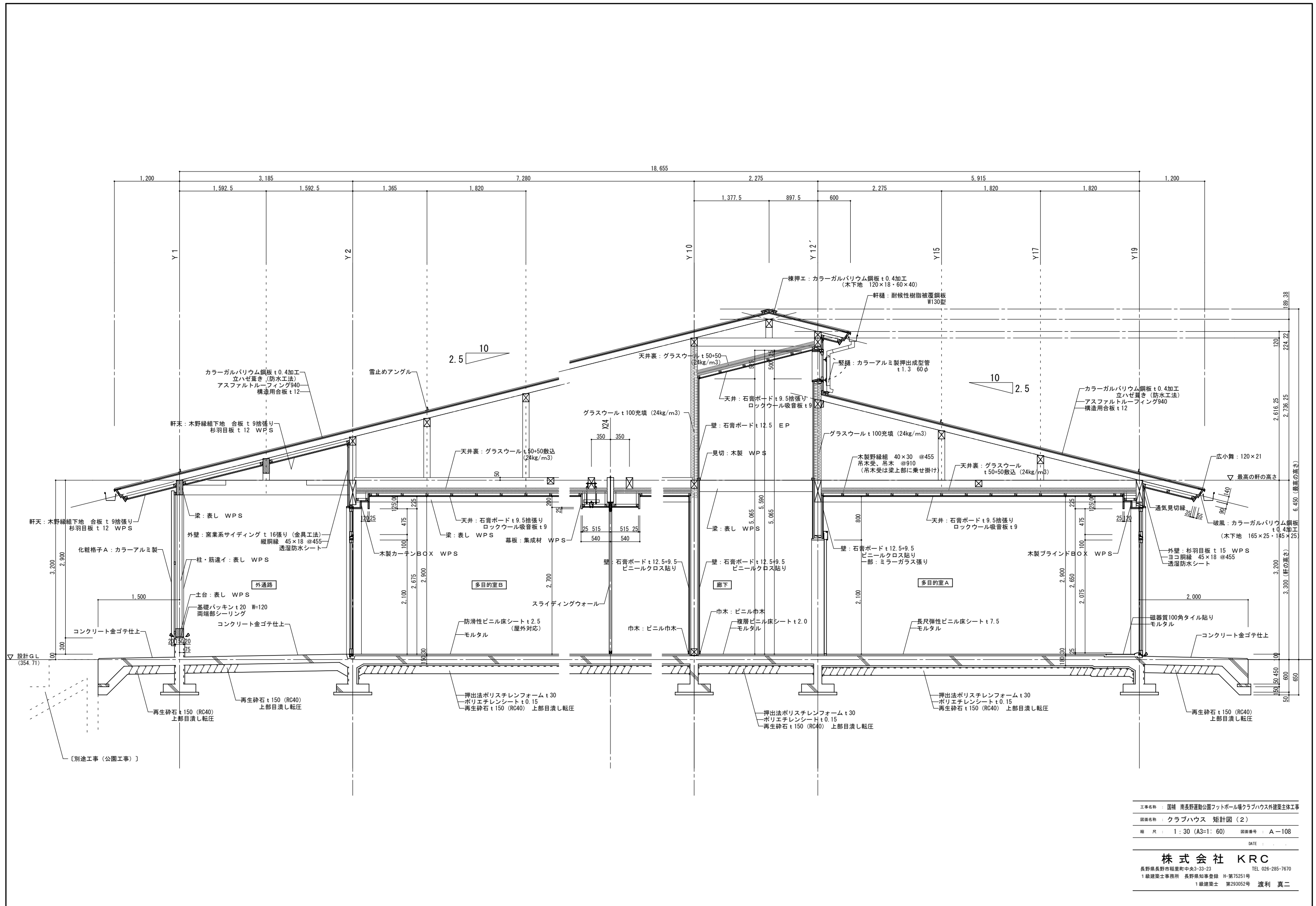
西側立面図

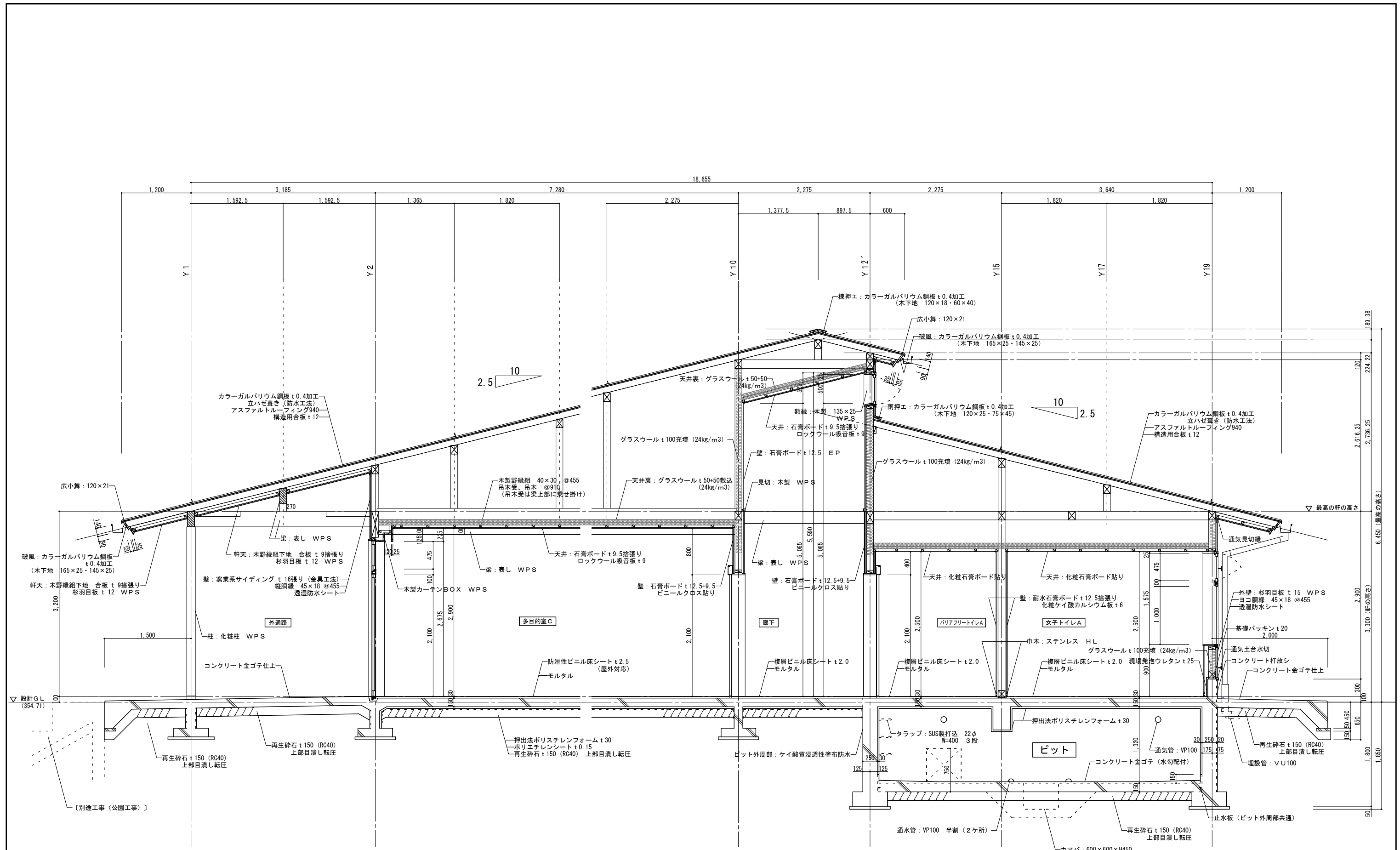
《外部仕上凡例》

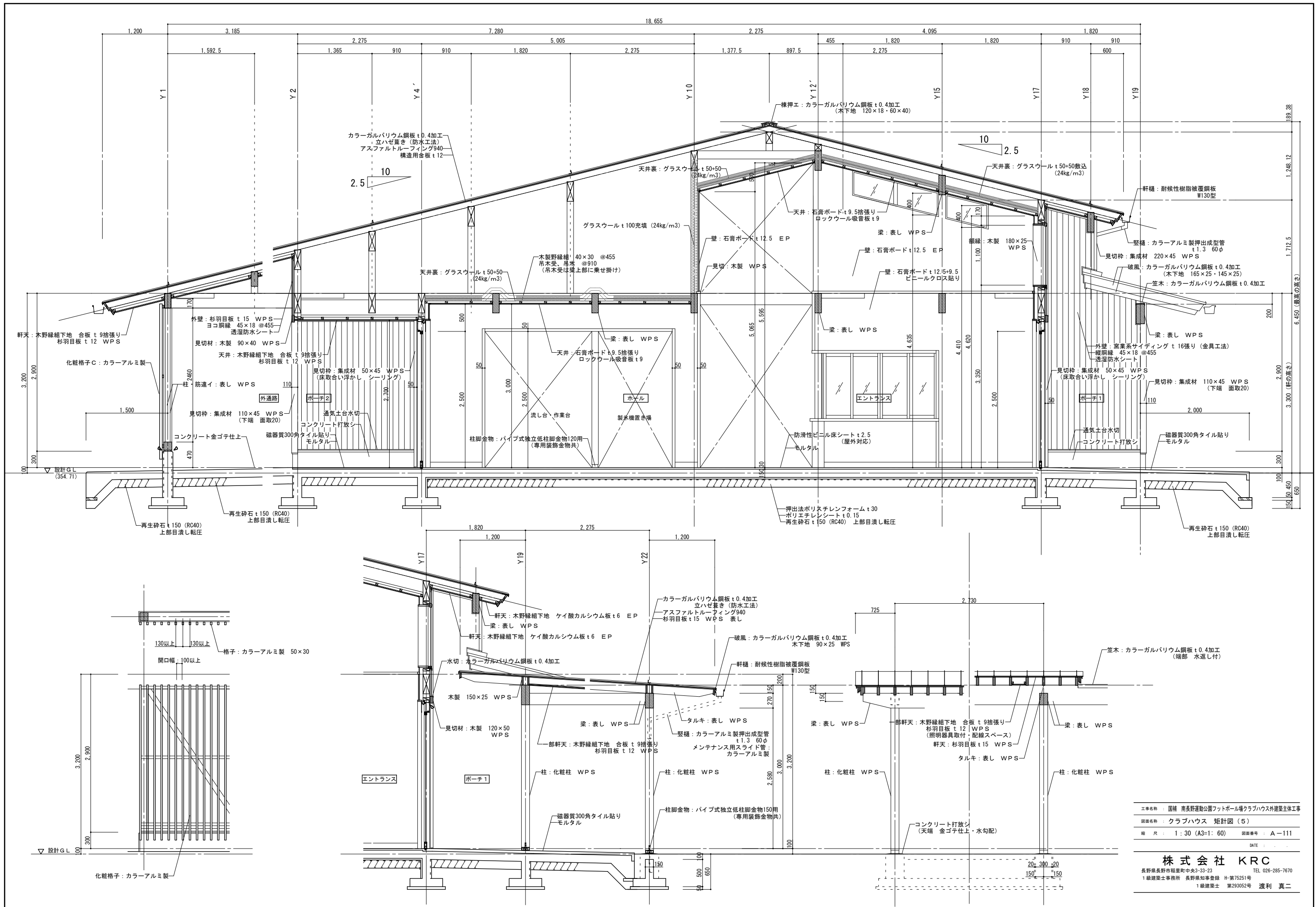
(A)	屋根：カラーガルバリウム鋼板 t 0.4 立ハゼ葺キ（防水工法） 働巾455	(H)	軒樋：耐候性樹脂被覆鋼板
(B)	破風：カラーガルバリウム鋼板 t 0.4加工（唐草、ケラバ 同材）	(I)	縦樋：アルミ押出成形管（カラー）
(C)	外壁：窯業系サイディング t 16張り（金具工法）	(J)	化粧格子：カラーアルミ製
(D)	外壁：杉羽目板 t 15張り WPS	(K)	目隠しルーバー：カラーアルミ製
(E)	外壁：金属サイディング t 15張り（リブ調）	(L)	立上り：構造用合板 t 12下地 カラーガルバリウム鋼板 t 0.4張り
(F)	基礎立上り：コンクリート打放シ	(M)	館名板：SUS製箱文字 焼付塗装 300×300
(G)	木部表し：WPS	(N)	屋根：カラーガルバリウム鋼板 t 0.4 立ハゼ葺キ（防水工法） 働巾303

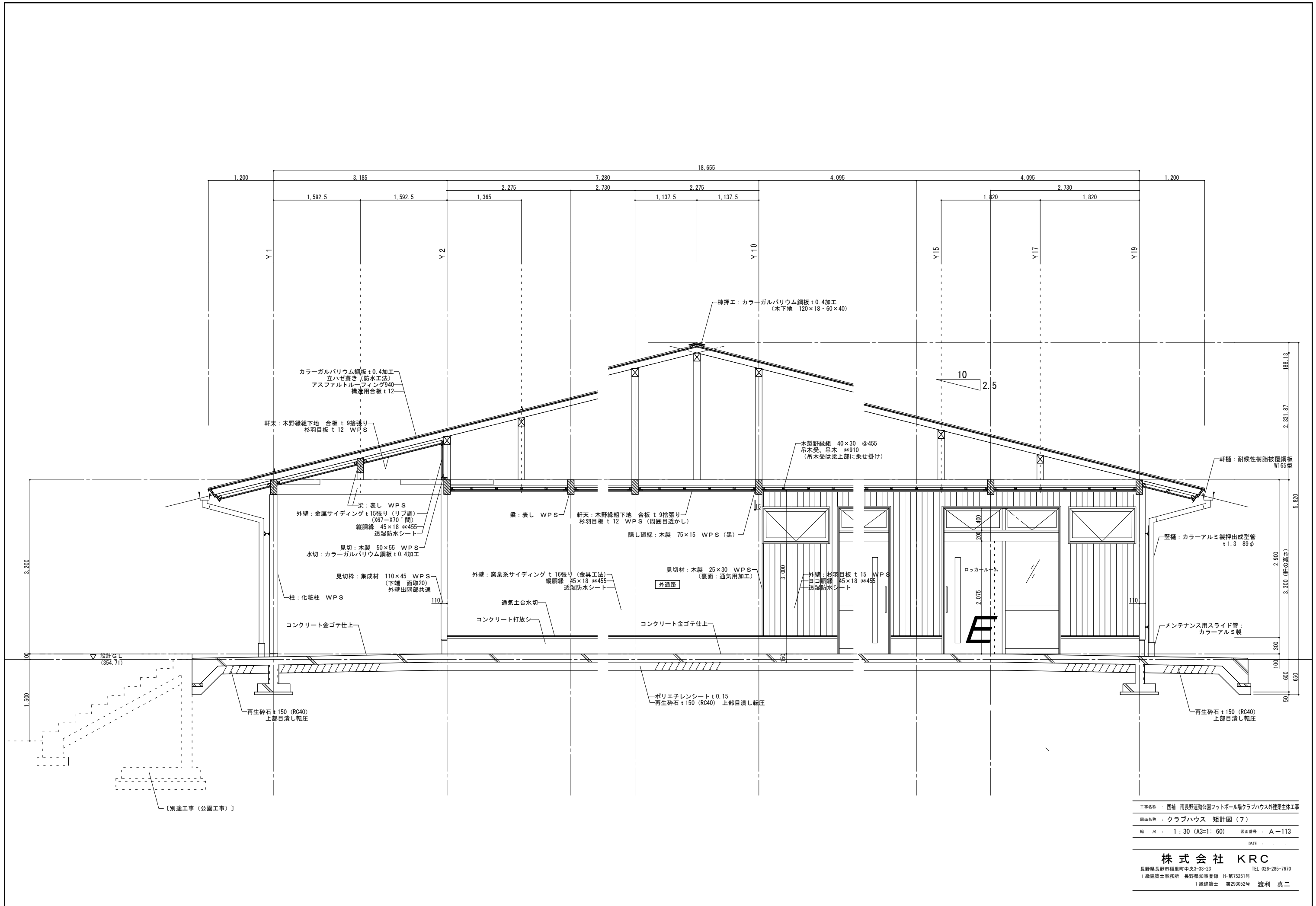
工事名称：国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称：クラブハウス 立面図
縮尺：1：100 (A3=1：200) 図面番号：A-106
DATE：
株式会社 KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670
1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号
1級建築士 第293052号 渡利 真二

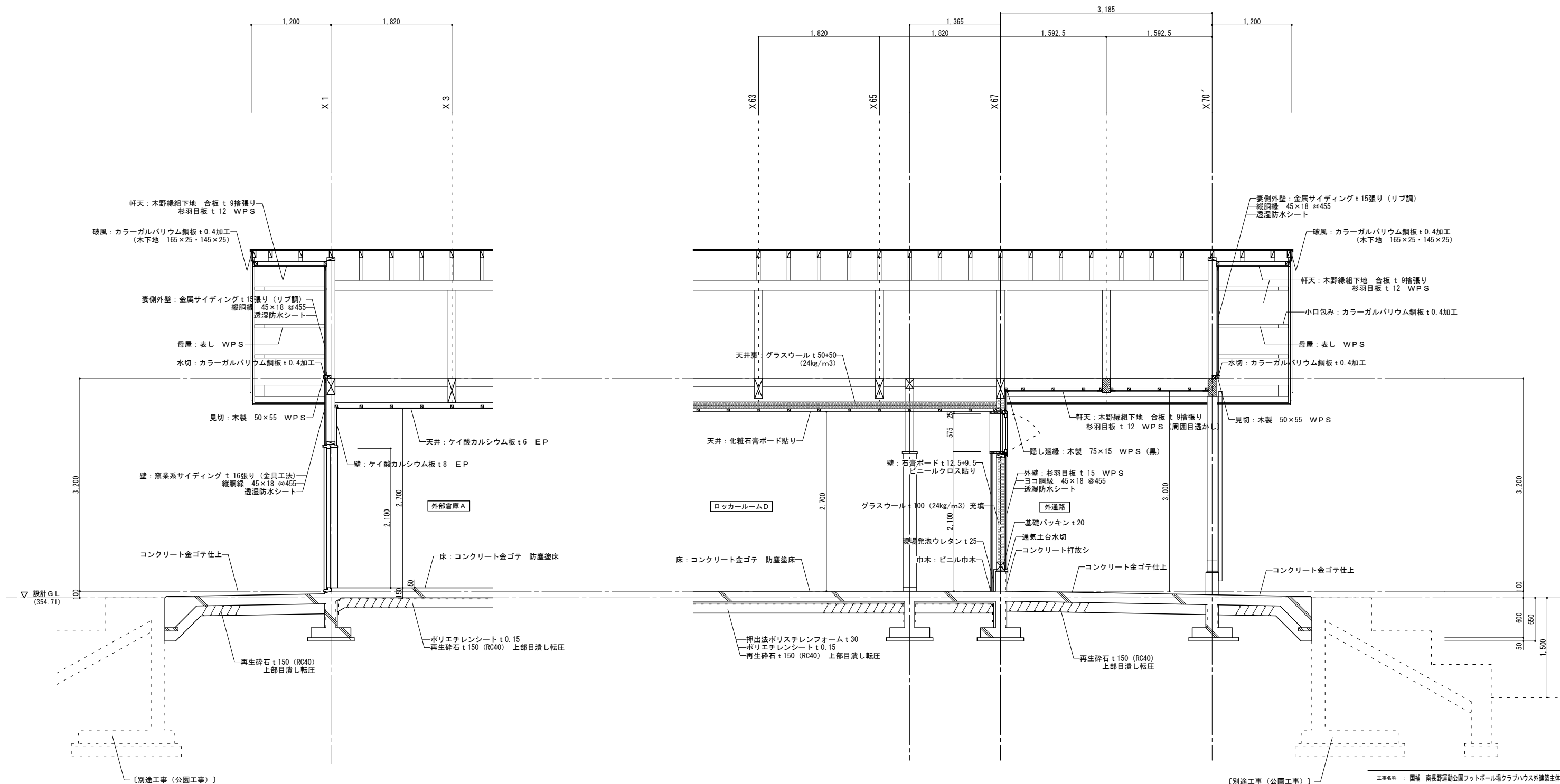


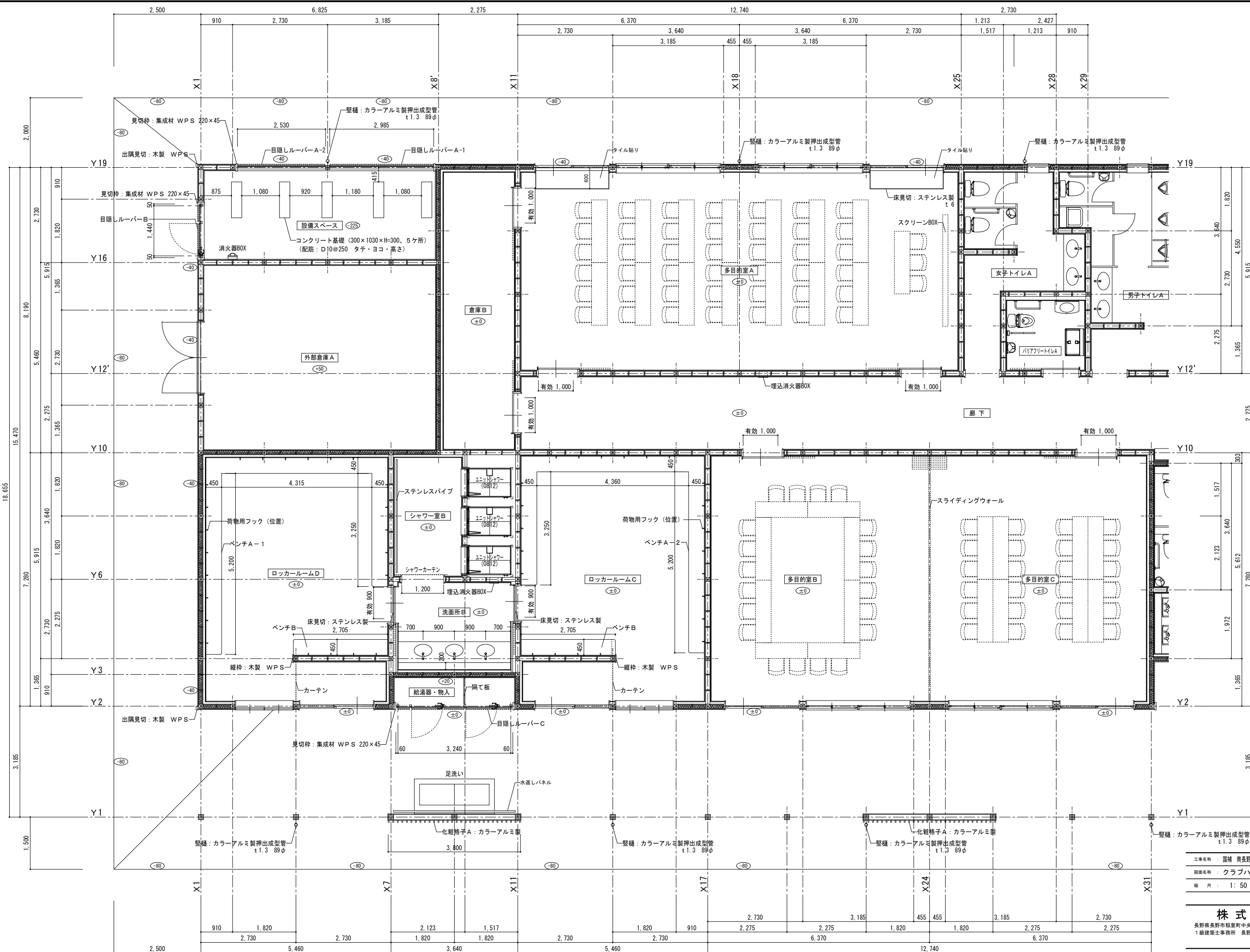












工事名称： 国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事

図面名称： クラブハウス 平面詳細図（１）

縮 尺： １： 50（A3～1： 100） 図面番号： A-115

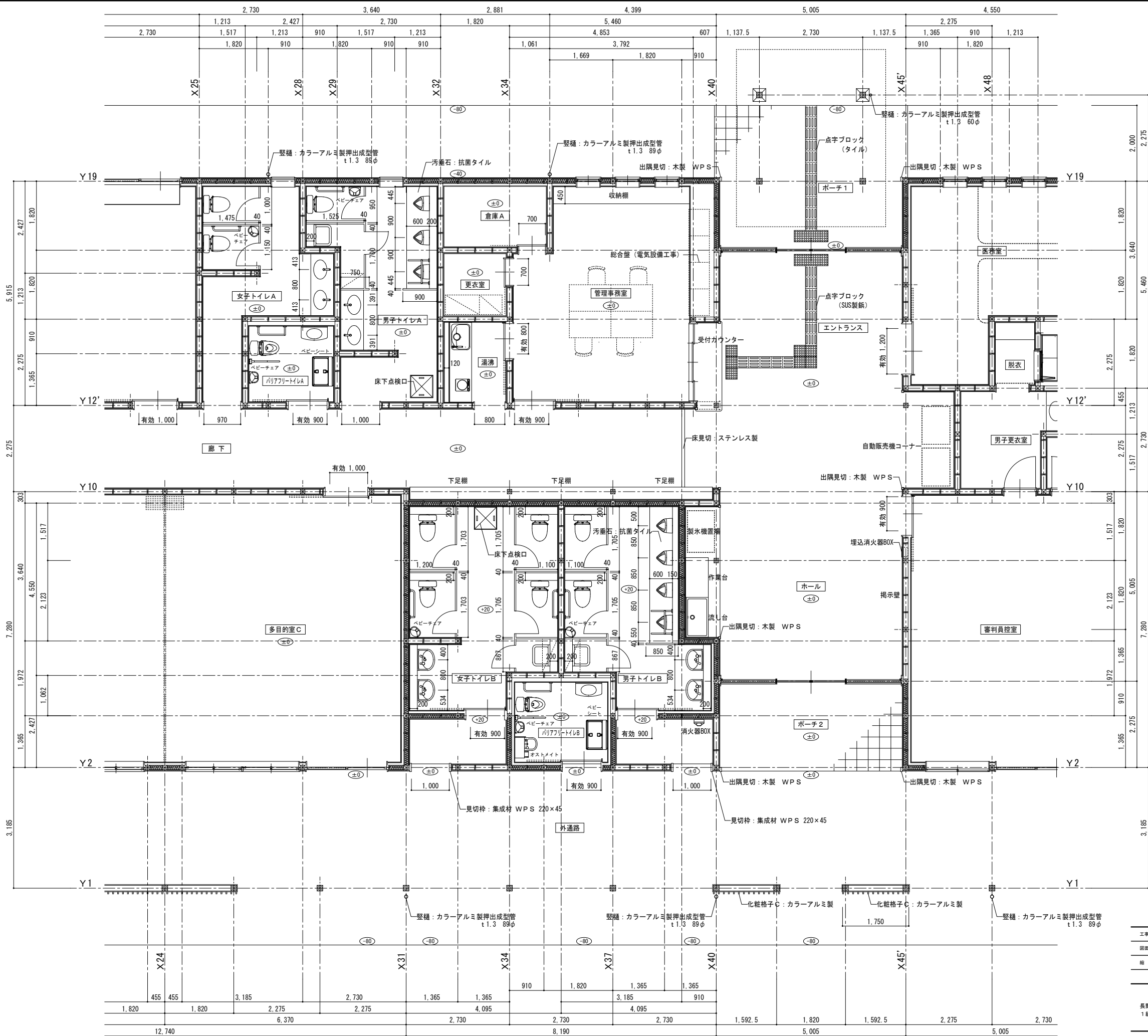
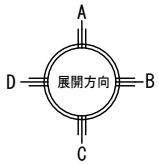
DATE： _____

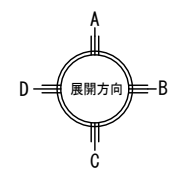
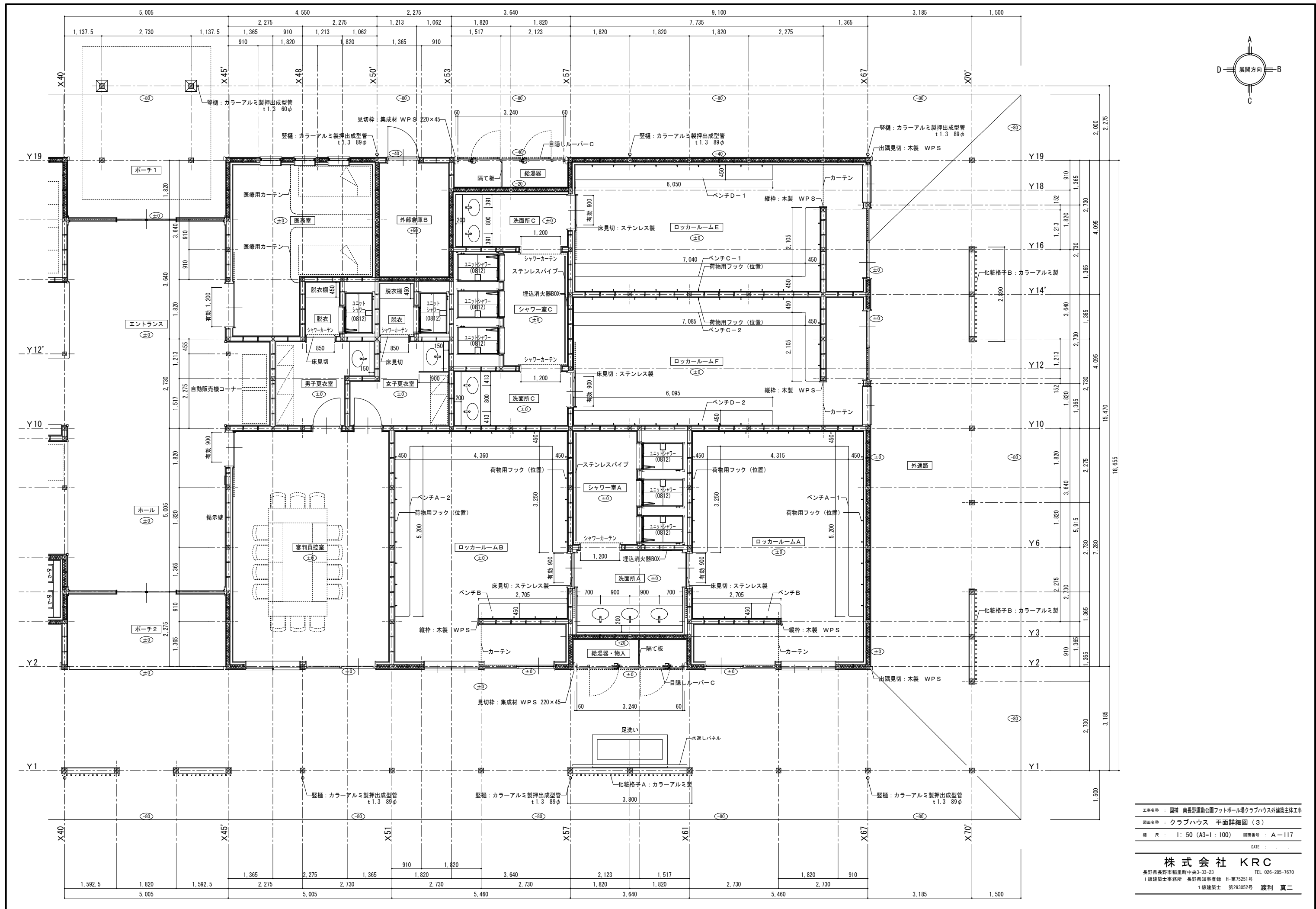
株 式 会 社 K R C

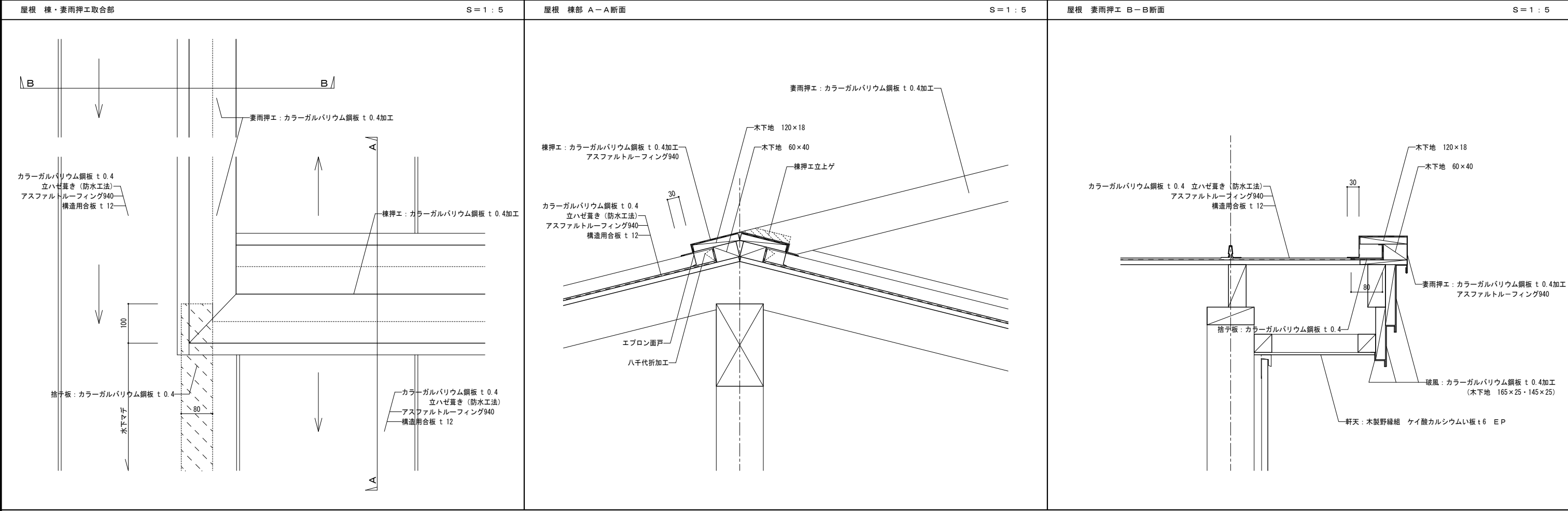
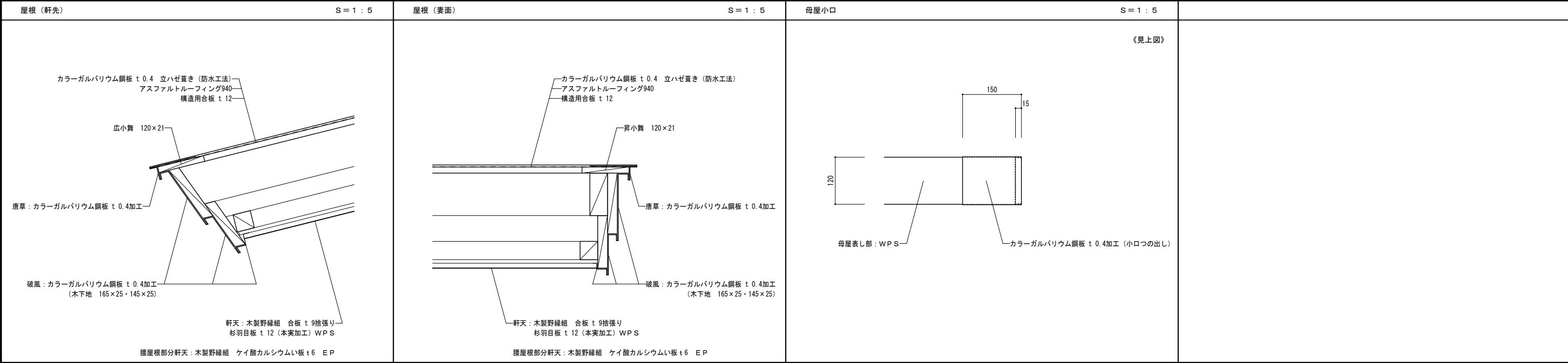
長野県長野市福田町中3-33-23 TEL 026-285-7670

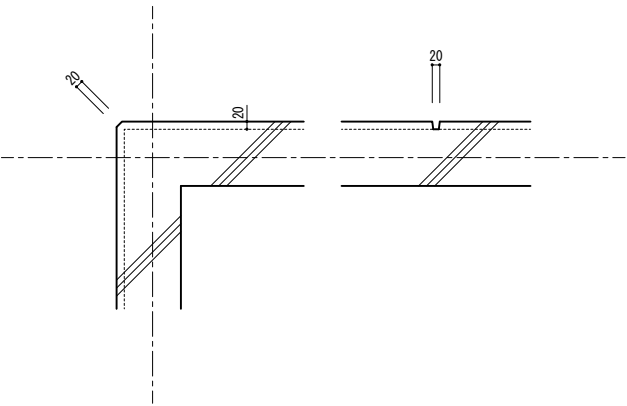
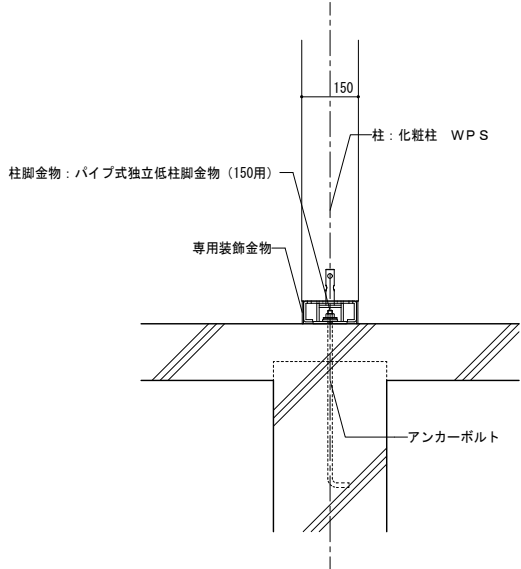
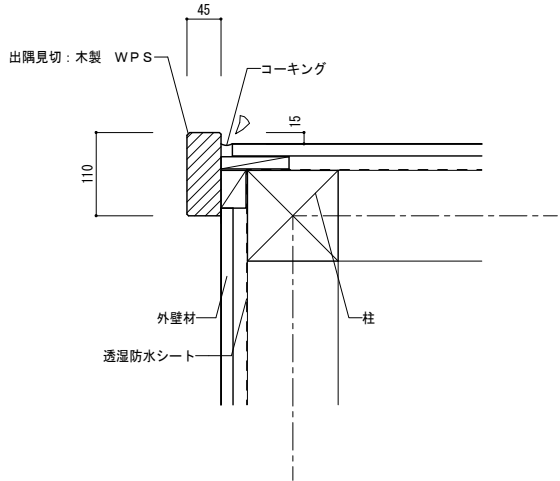
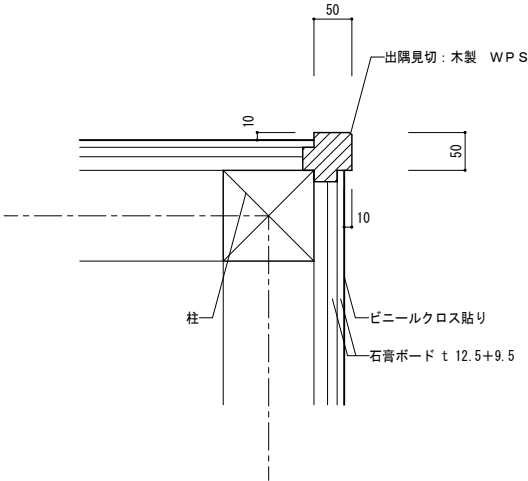
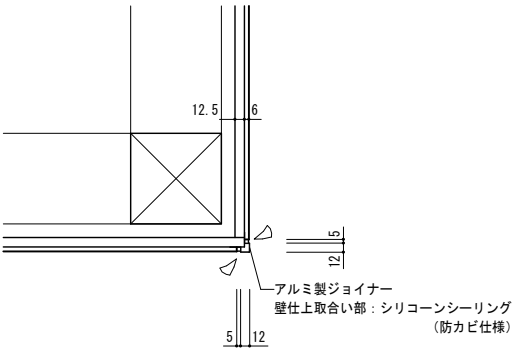
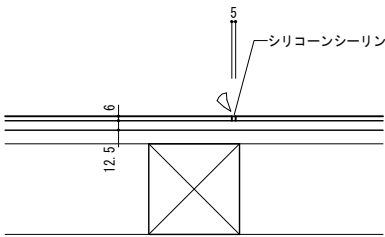
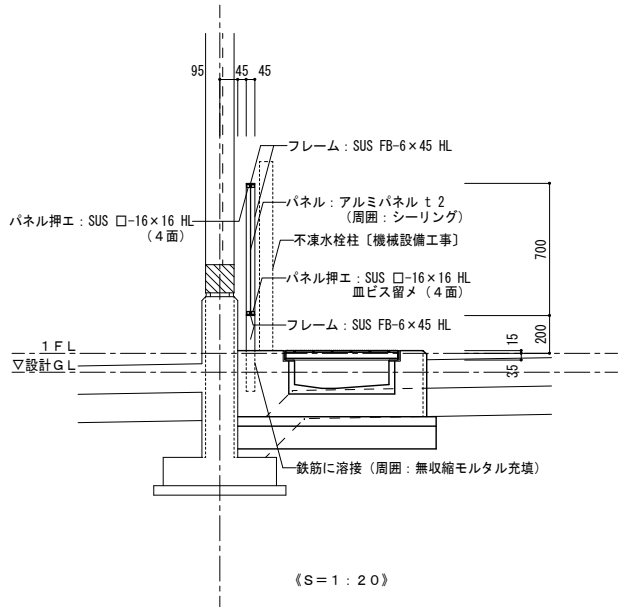
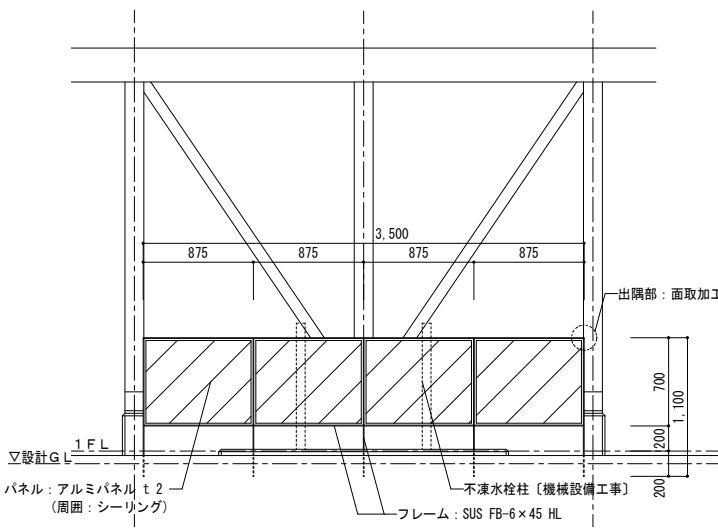
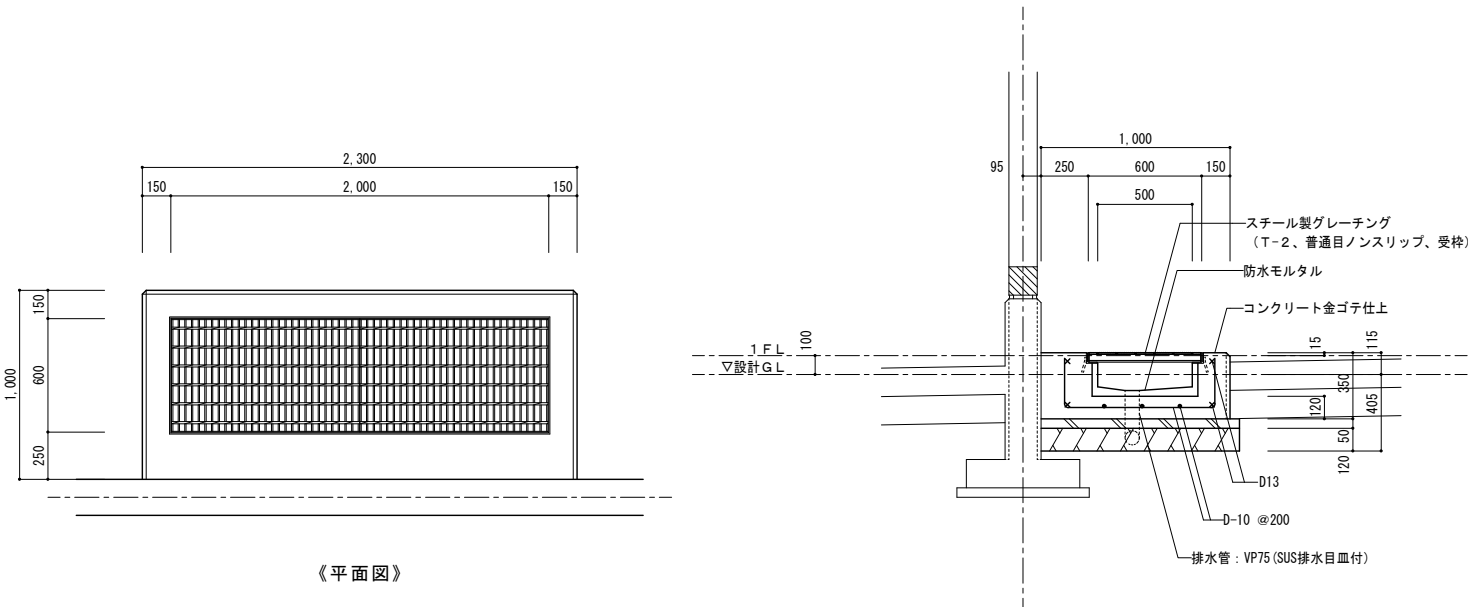
1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号

1級建築士 第293052号 渡利 真二

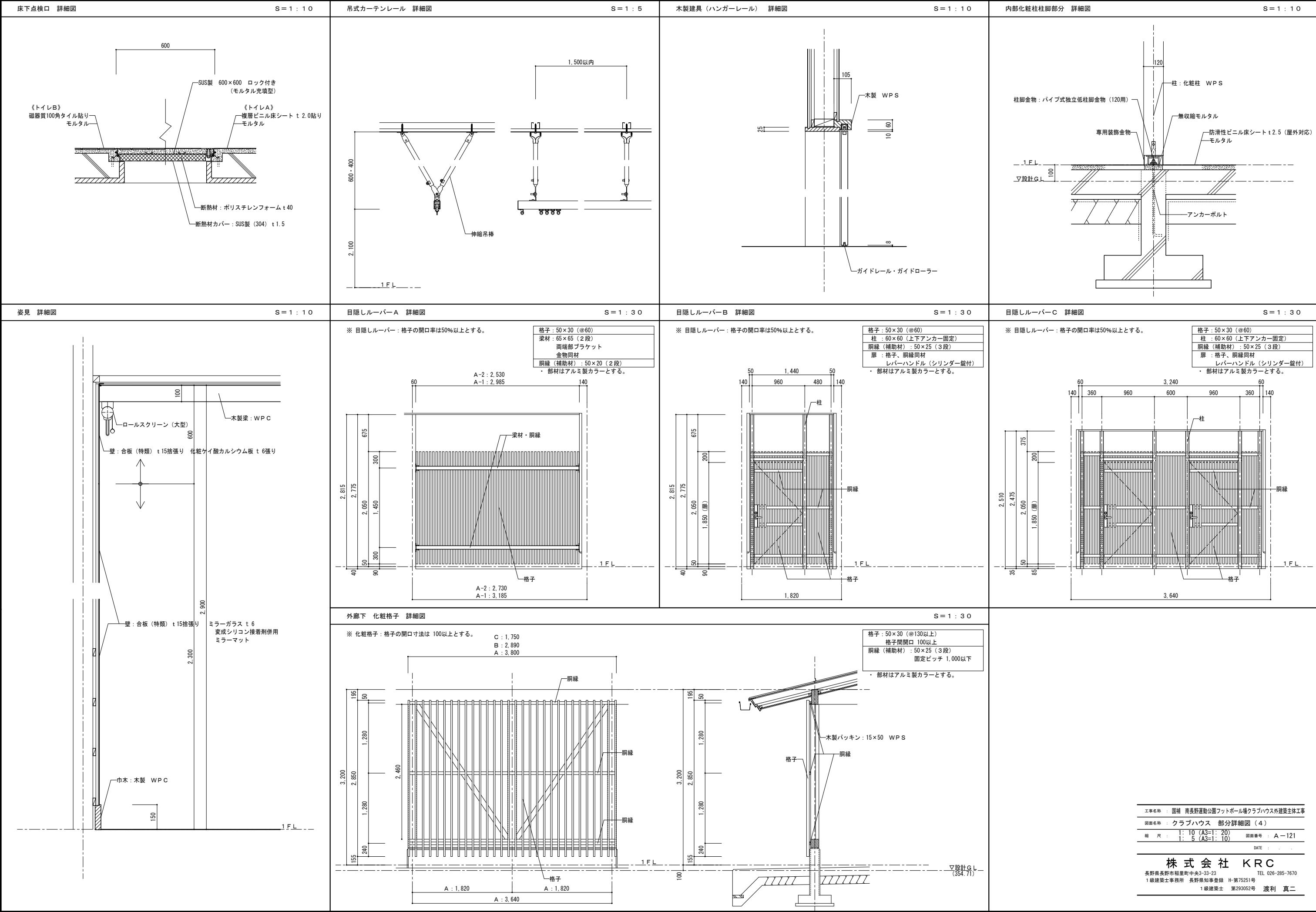


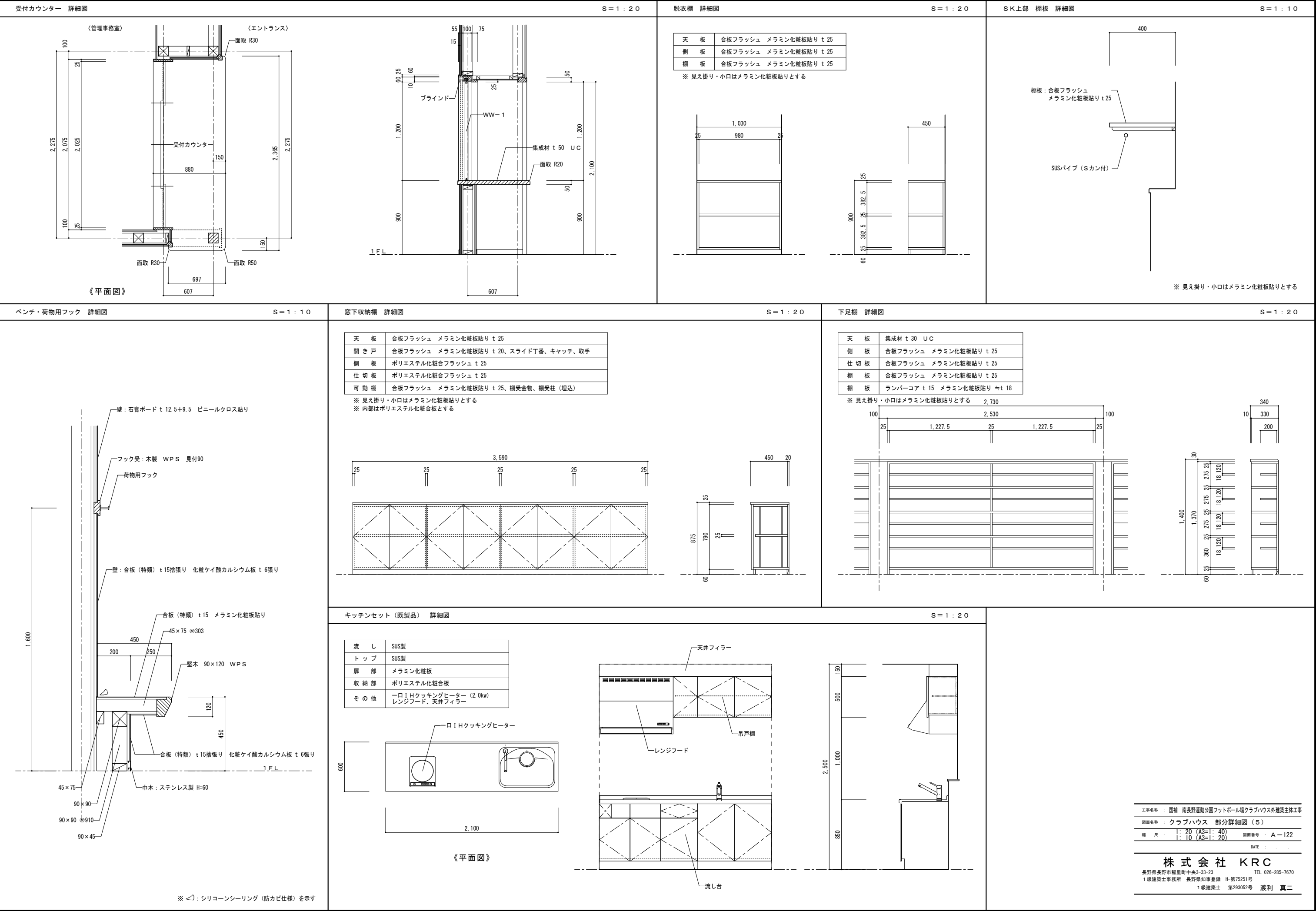


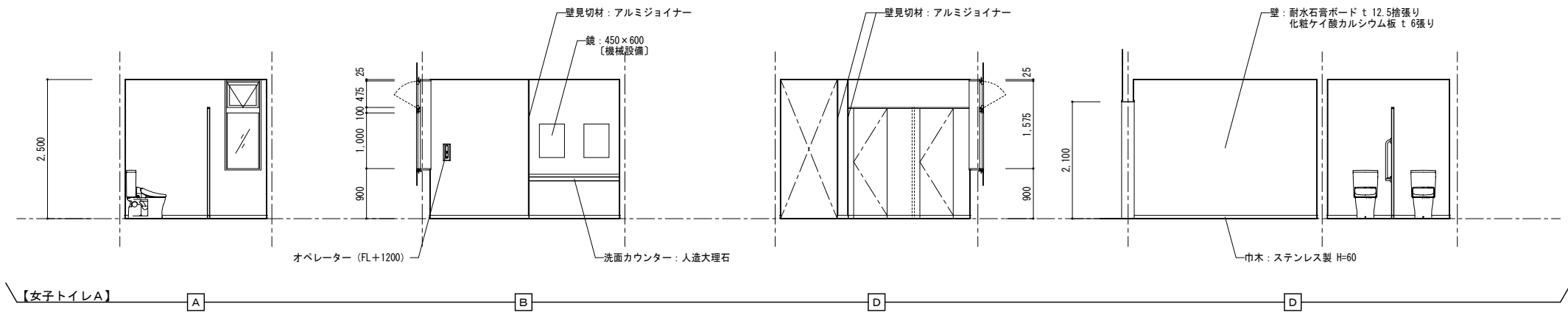
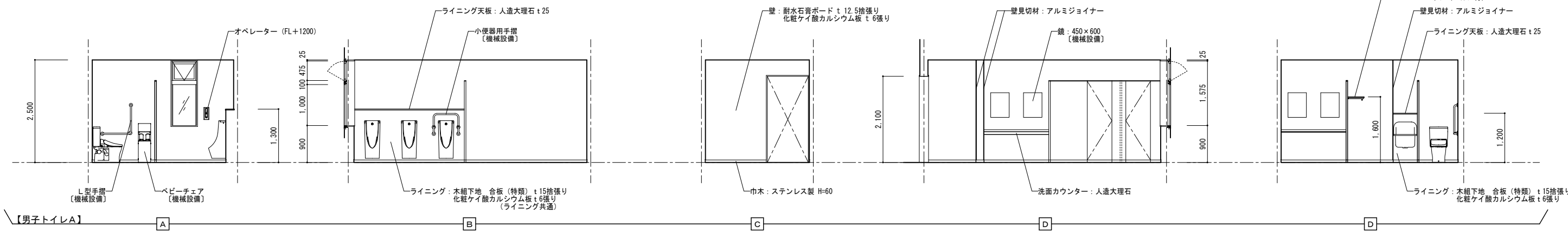
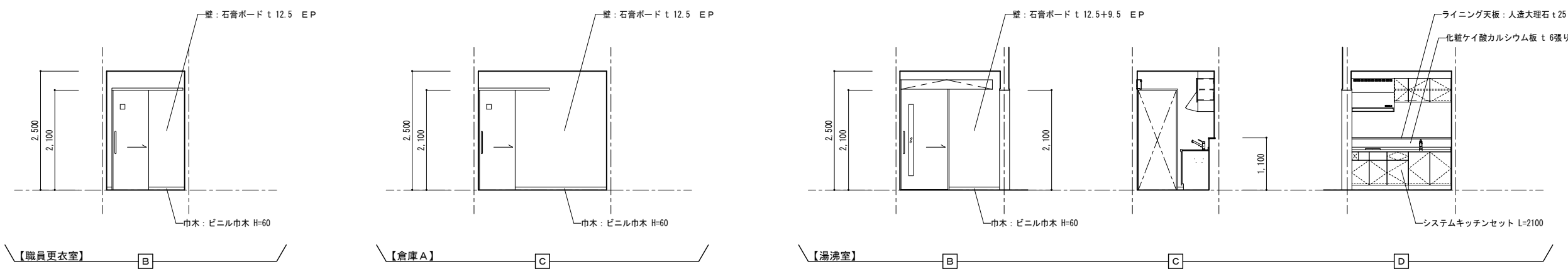
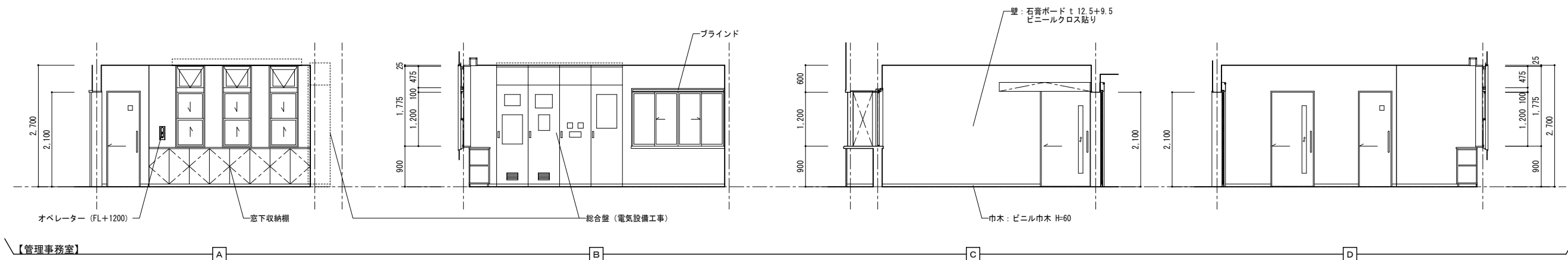


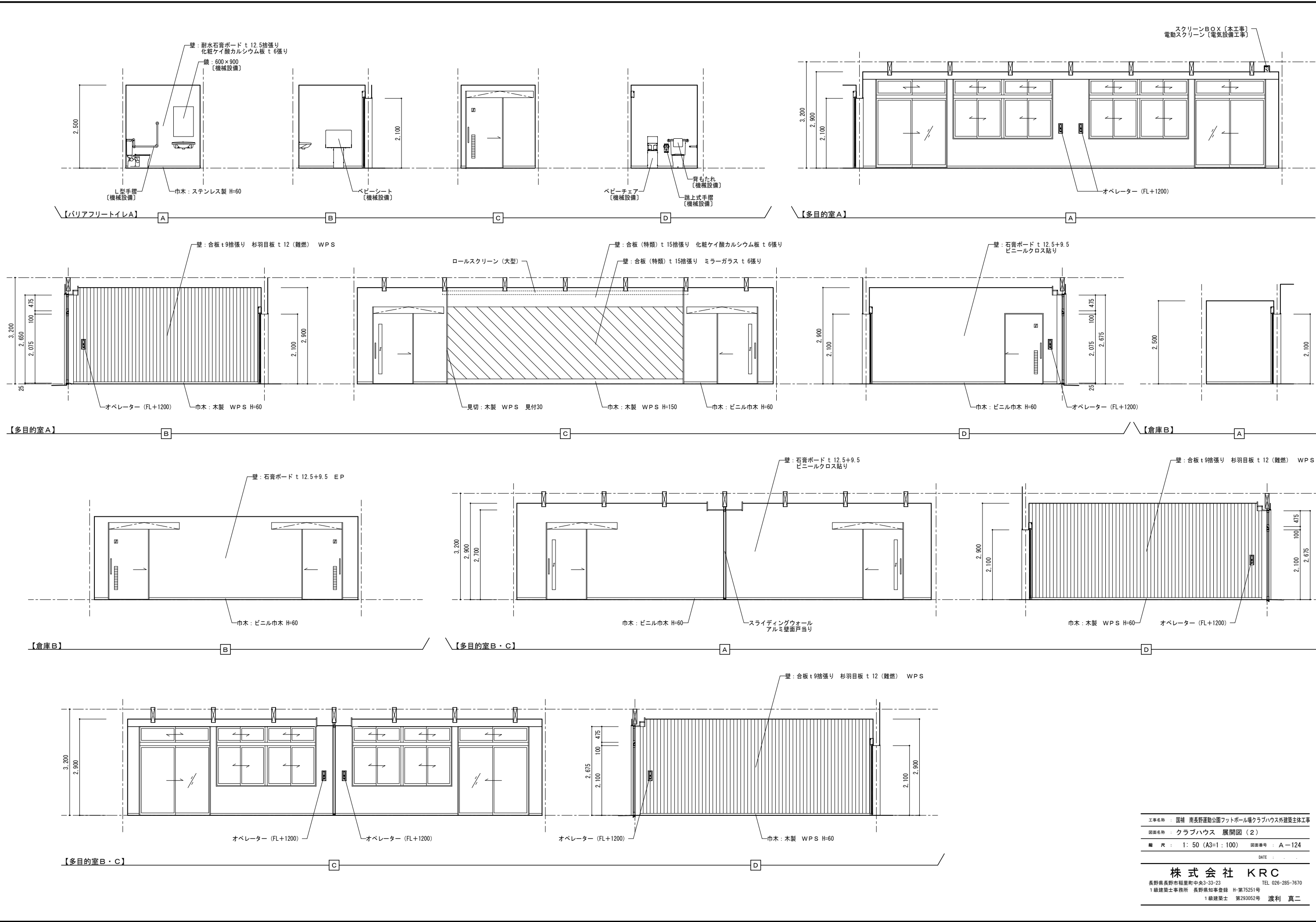
RC壁（出隅） S = 1 : 1 0 	外部化粧柱柱脚部分 詳細図 S = 1 : 1 0 	外壁出隅見切（木製） S = 1 : 5 	壁見切（出隅）：ボード面+木製見切（一般） S = 1 : 5 
壁見切：化粧ケイ酸カルシウム板出隅（トイレ） S = 1 : 5  ※  : シリコンシーリング（防カビ仕様）を示す	壁：化粧ケイ酸カルシウム板目地（トイレ） S = 1 : 5  ※  : シリコンシーリング（防カビ仕様）を示す	足洗場 水返しパネル 詳細図 S = 1 : 2 0, S = 1 : 3 0  《S = 1 : 2 0》	 《S = 1 : 3 0》
足洗い 詳細図 S = 1 : 2 0  《平面図》			工事名称：国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事 図面名称：クラブハウス 部分詳細図（2） 縮尺：1:10 (A3=1:20) 1:5 (A3=1:10) 図面番号：A-119 DATE：- 株式会社 KRC 長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670 1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号 1級建築士 第293052号 渡利 真二

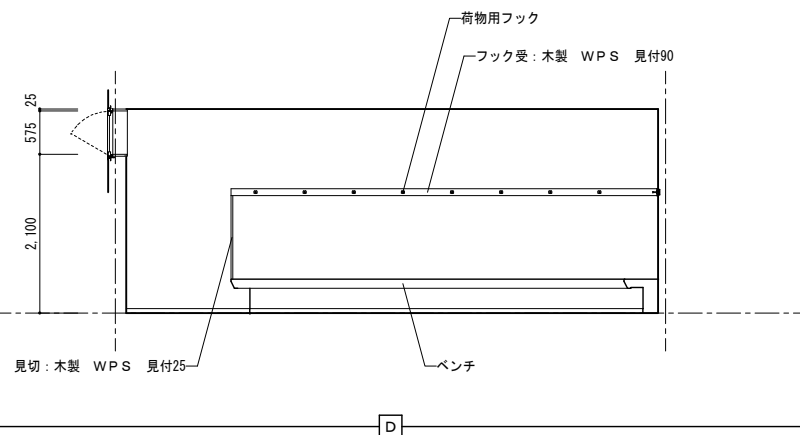
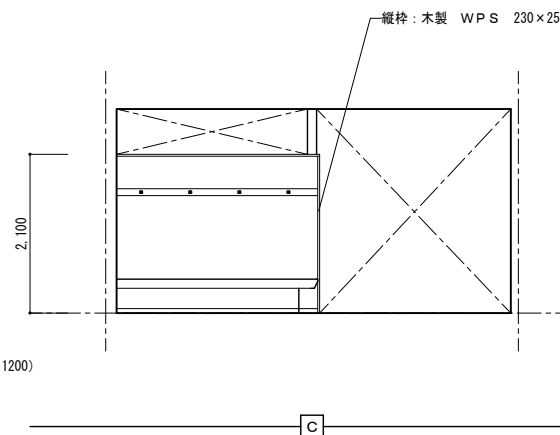
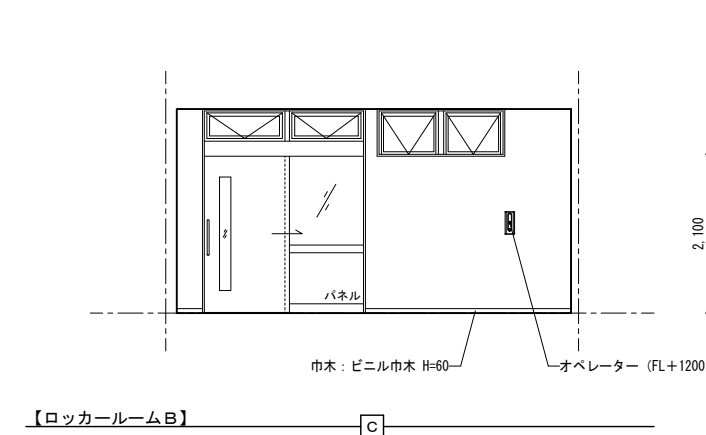
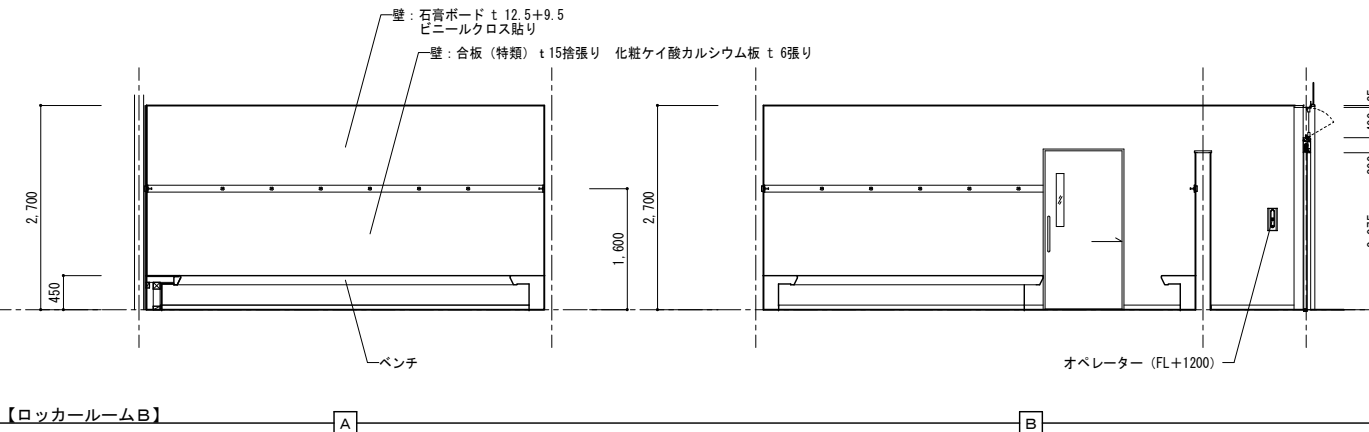
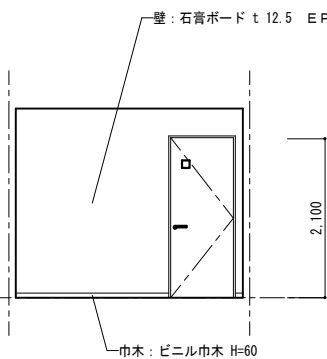
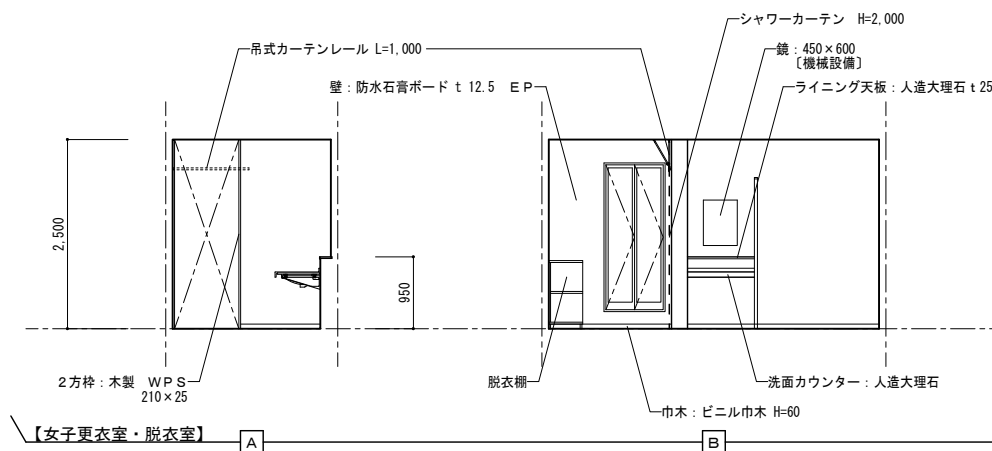
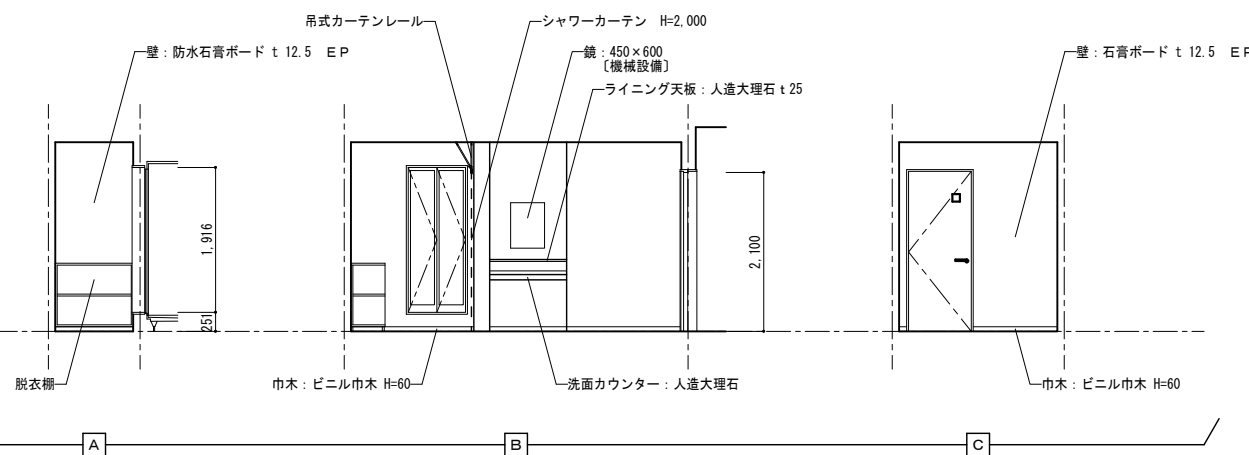
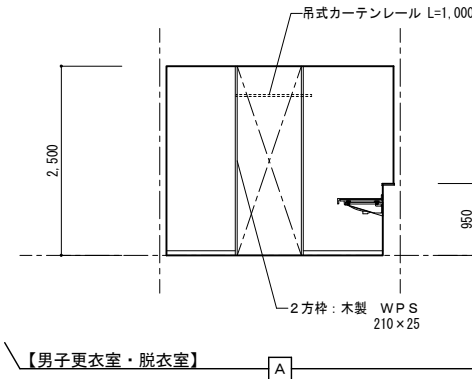
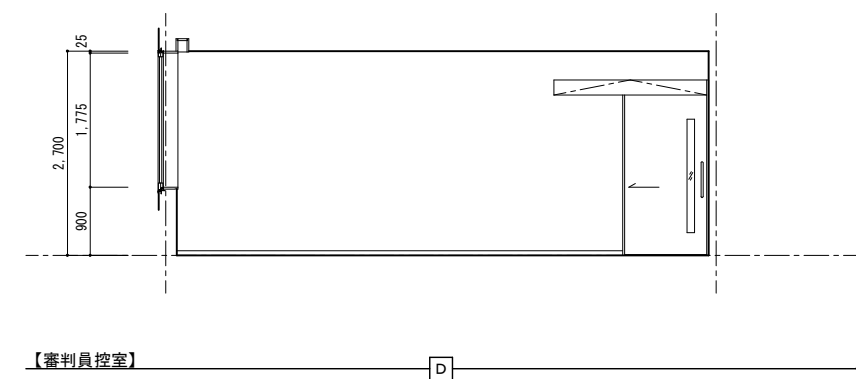
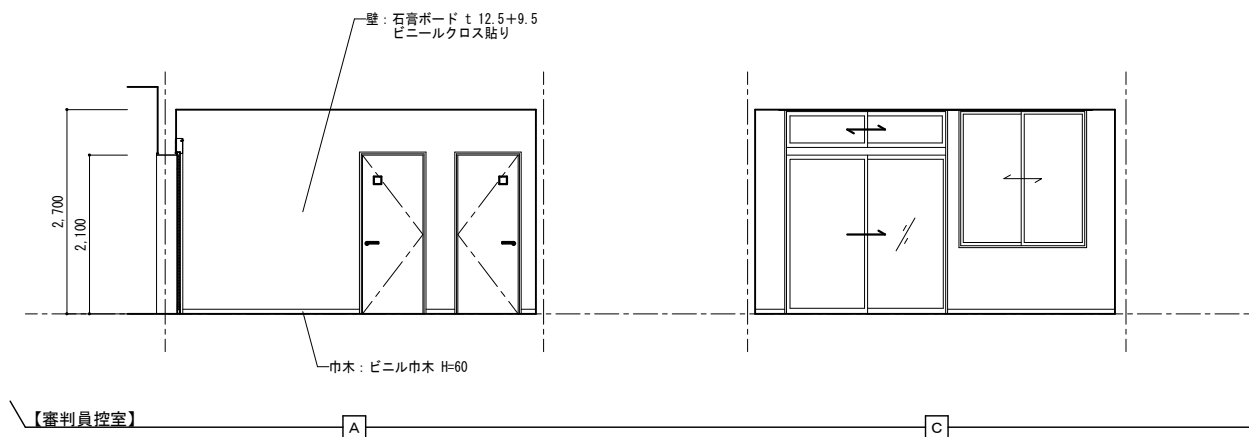
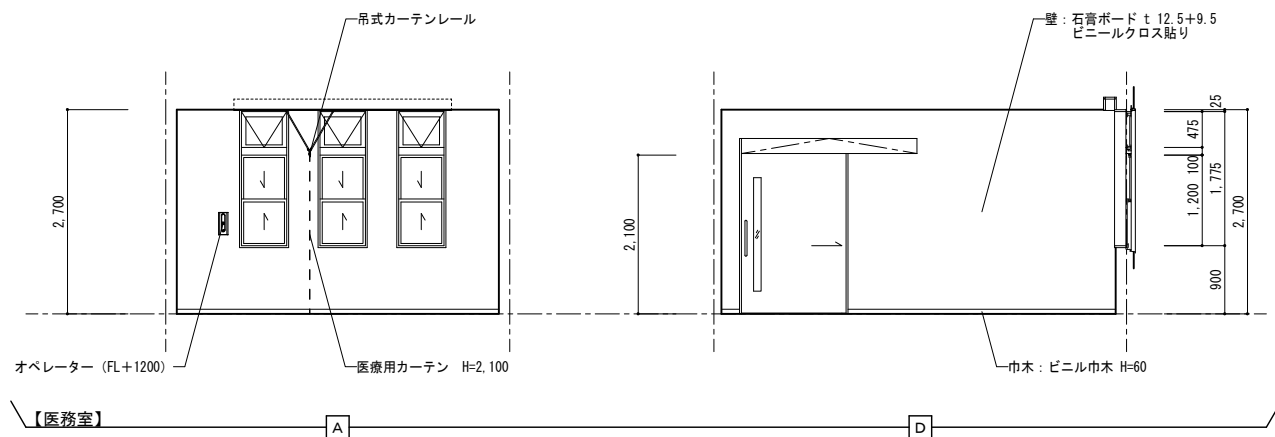
壁～床：化粧ケイ酸カルシウム板+SUS巾木（トイレA 外壁面） S = 1 : 5	壁～床：化粧ケイ酸カルシウム板+SUS巾木（トイレA 内部壁） S = 1 : 5	トイレ ライニング（トイレA） S = 1 : 1 0	壁～床：ボード（一般部） ビニル巾木、上部木製見切 S = 1 : 5
壁～床：化粧ケイ酸カルシウム板+タイル（トイレB 外壁面） S = 1 : 5 《拡大図》 《見切材（アルミ製）参考形状》	壁～床：化粧ケイ酸カルシウム板+タイル（トイレB 内部壁） S = 1 : 5	トイレ ライニング（トイレB） S = 1 : 1 0	壁見切：RC立上り/ケイ酸カルシウム板+木製見切（外部倉庫） S = 1 : 5
スクリーンBOX 詳細図 S = 1 : 1 0、S = 1 : 2 0	スライディングウォール受金物 詳細図 S = 1 : 1 0	工事名称：国補 南長野運動公園フットボールクラブハウス外建築主体工事 図面名称：クラブハウス 部分詳細図（3） 縮尺：1:10 (A3=1:20) 1:5 (A3=1:10) 図面番号：A-120 DATE：- 株式会社 KRC 長野県長野市稲垣町中央3-33-23 TEL 026-285-7670 1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号 1級建築士 第293052号 渡利 真二	

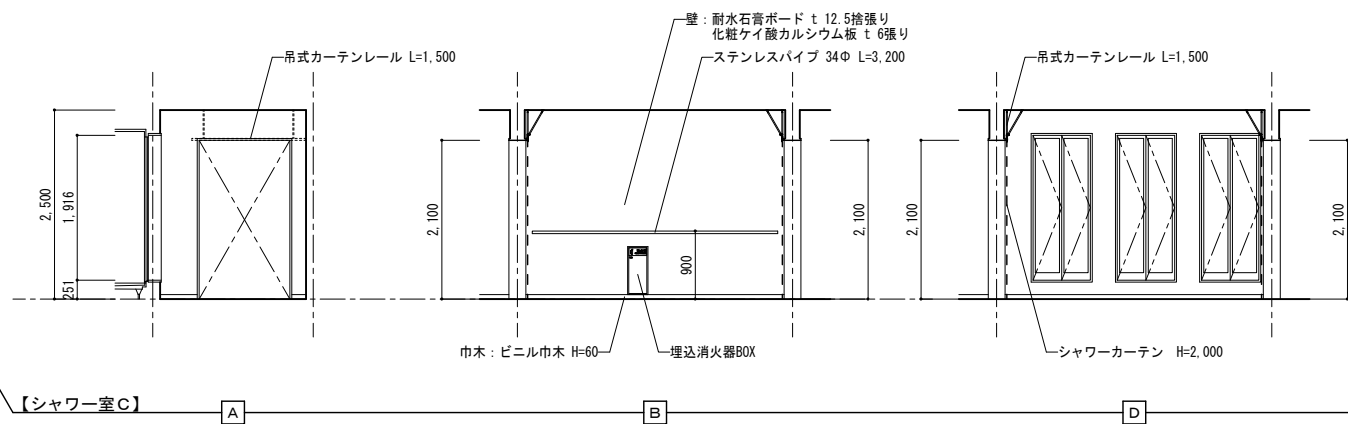
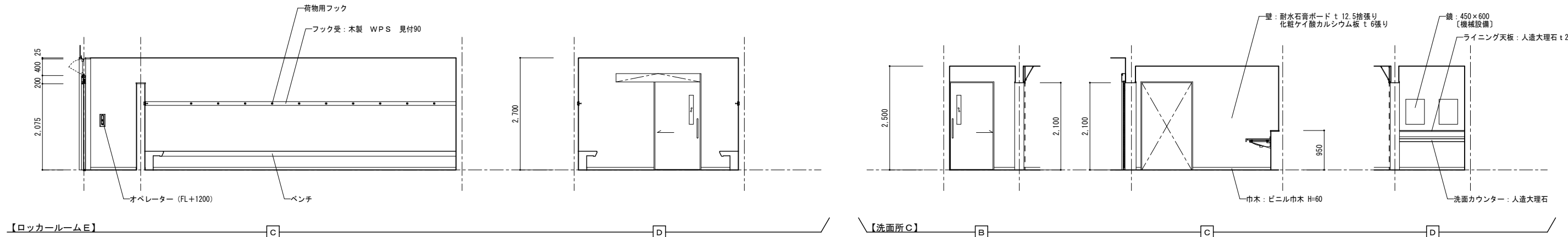
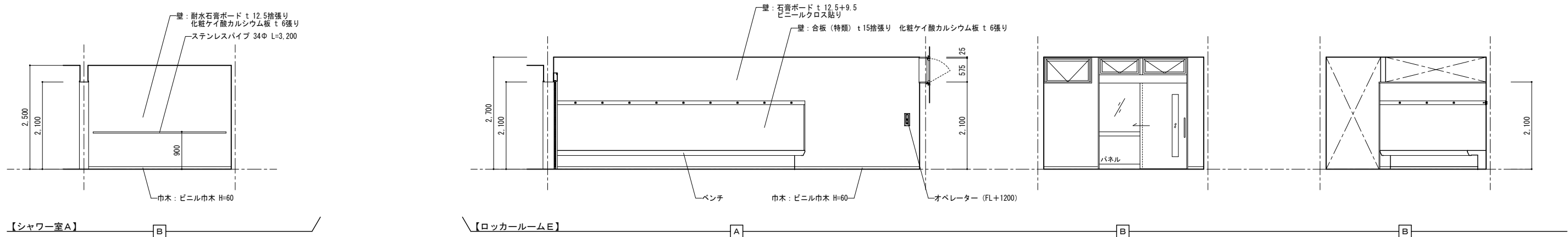
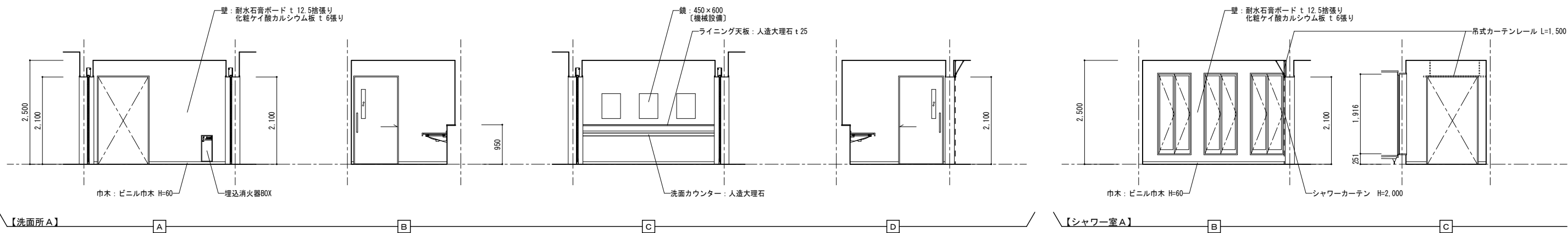


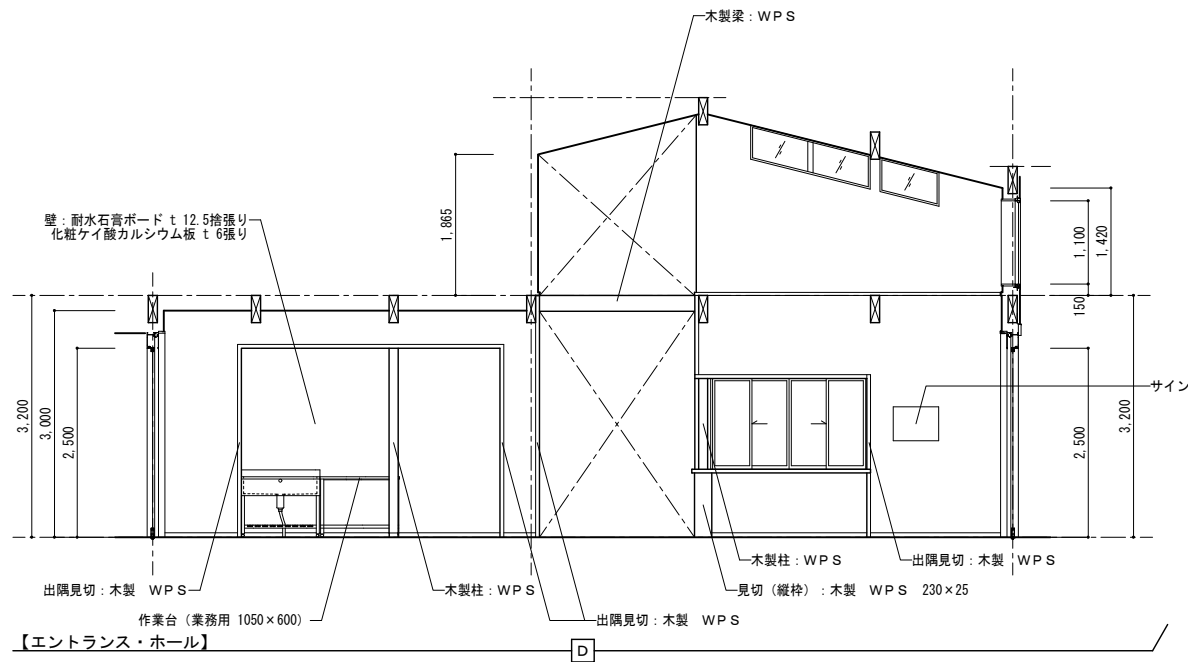
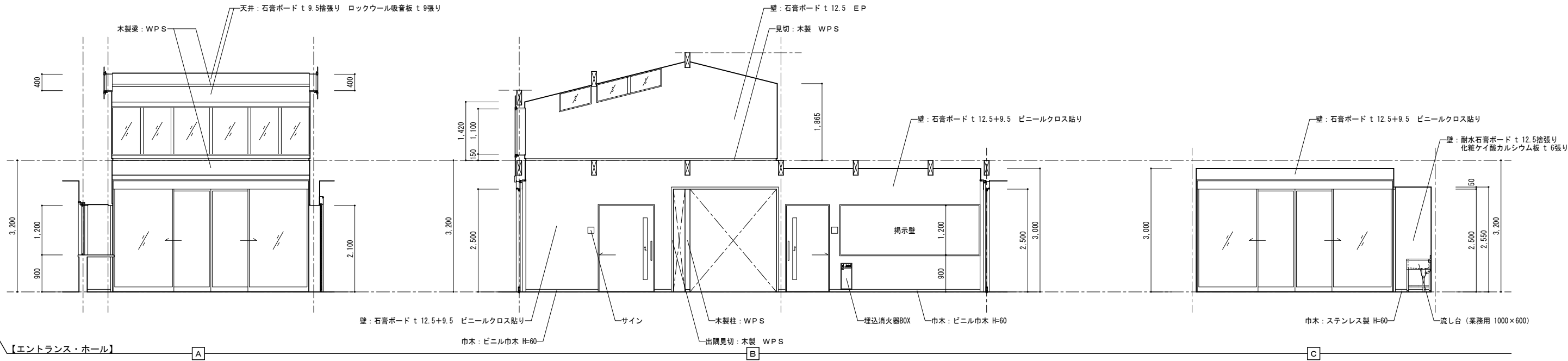












工事名称：国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事

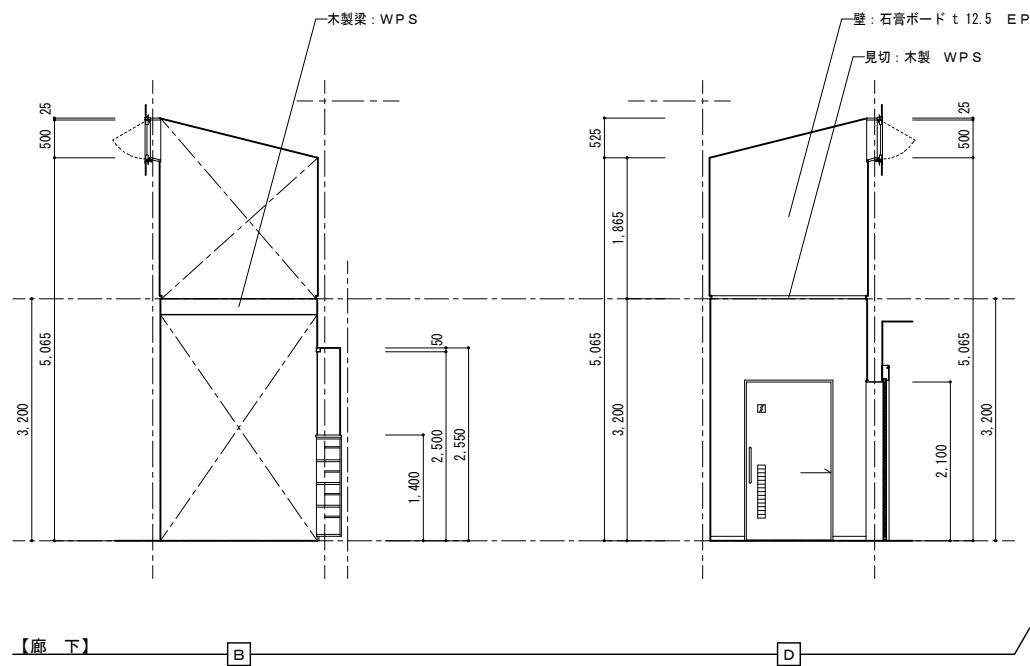
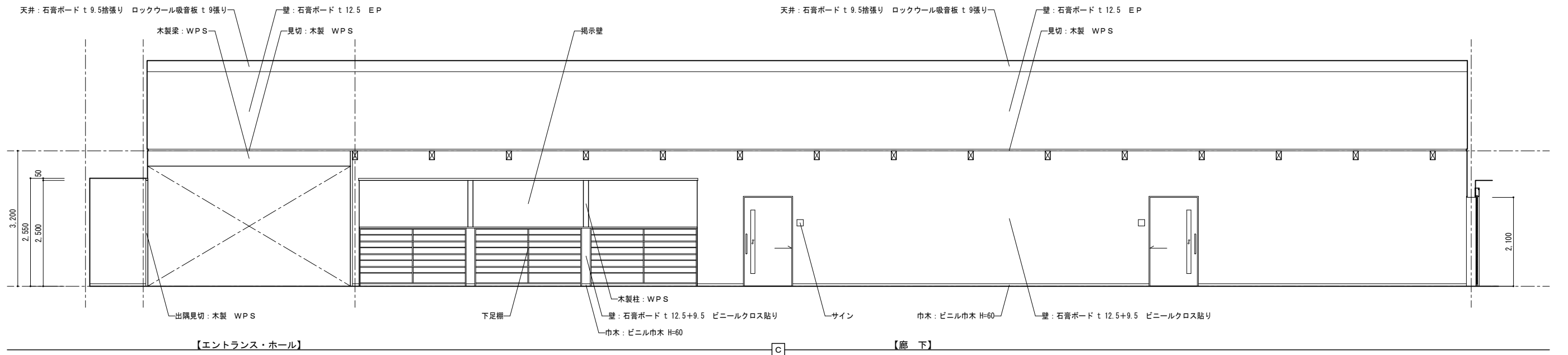
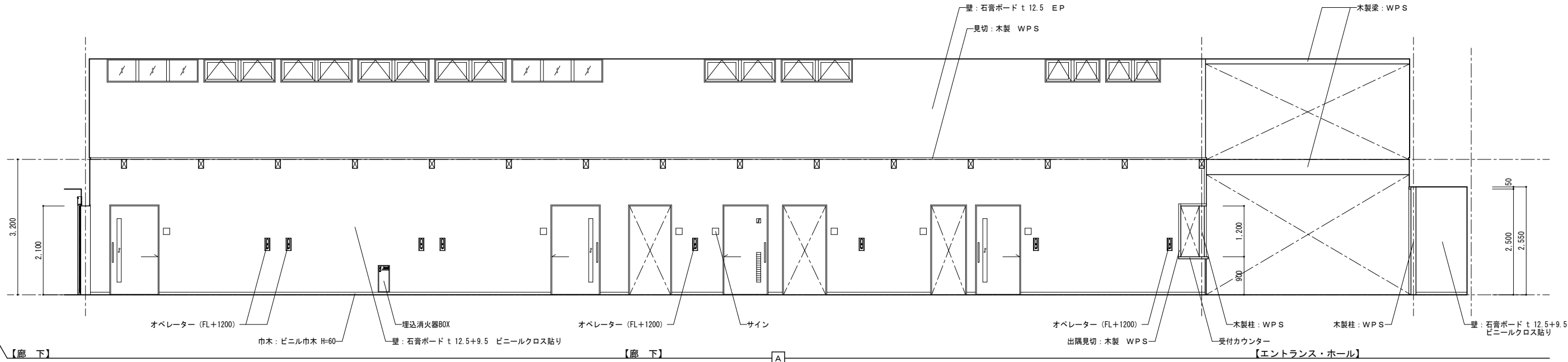
図面名称：クラブハウス 展開図（6）

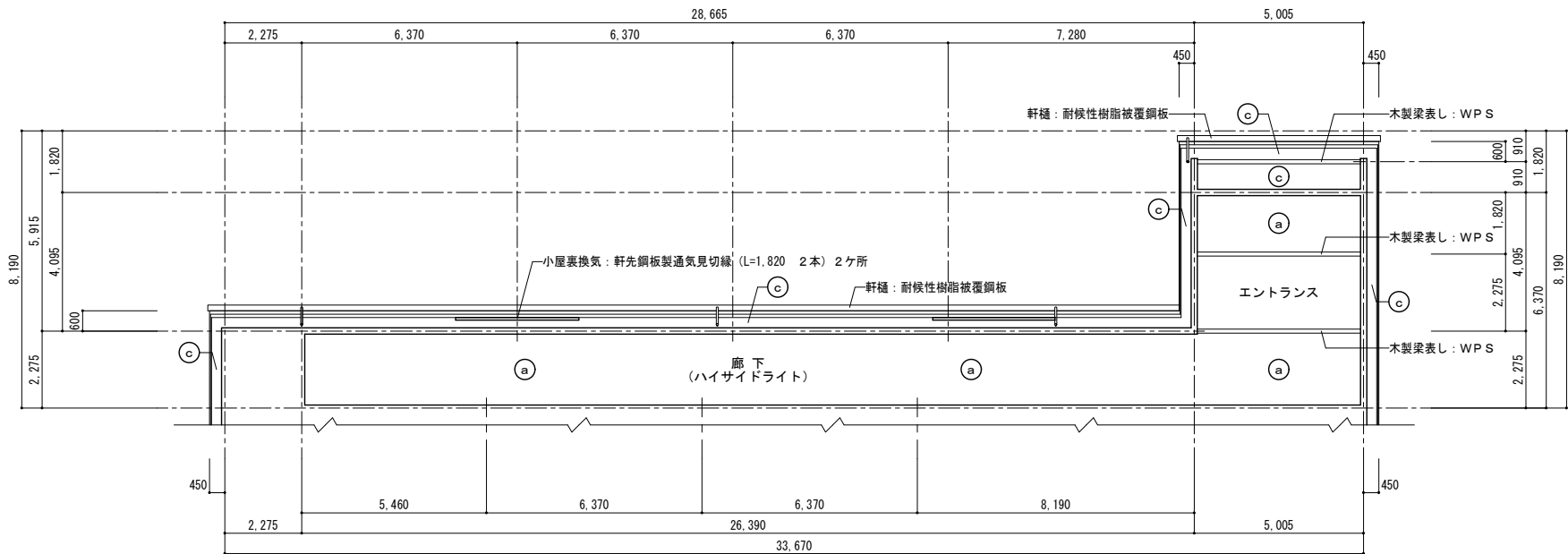
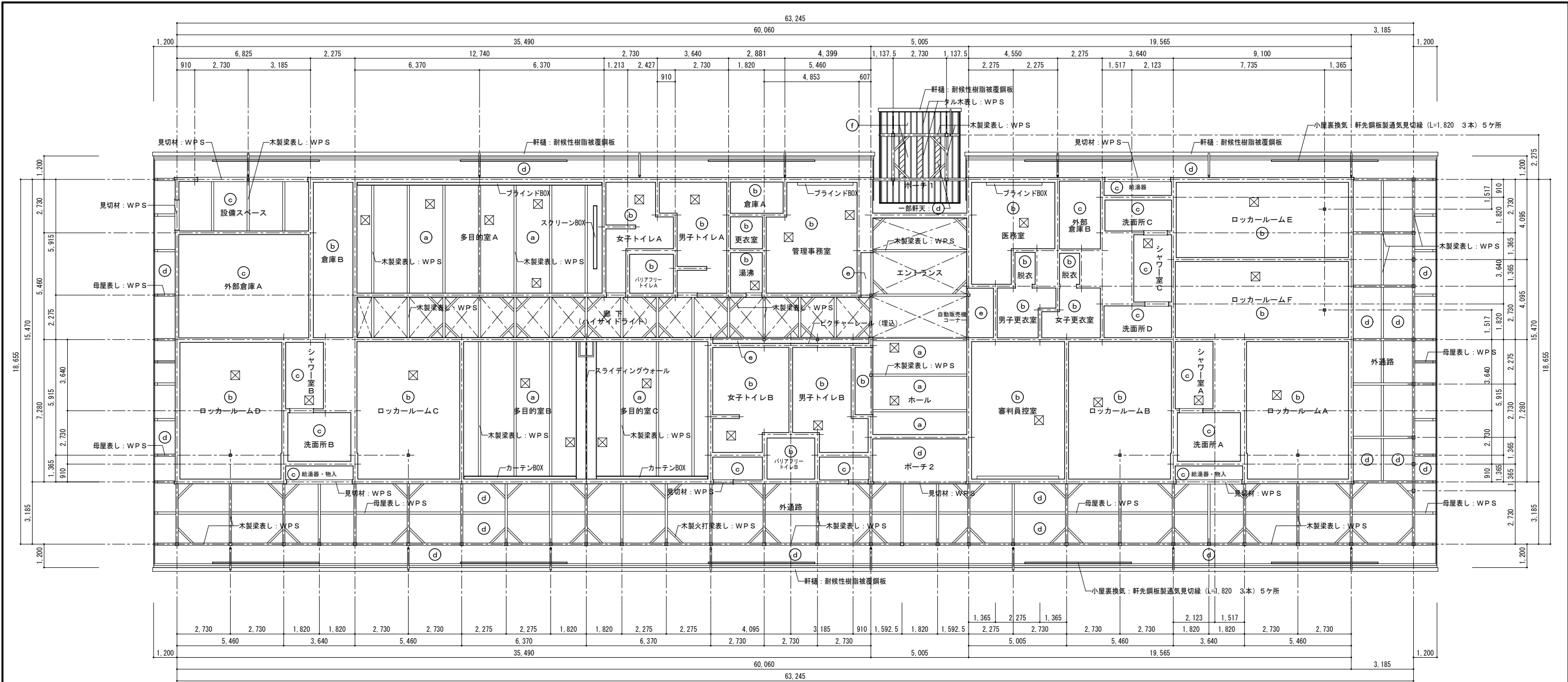
縮尺：1：50（A3=1：100） 図面番号：A-128

DATE： . .

株式会社 KRC

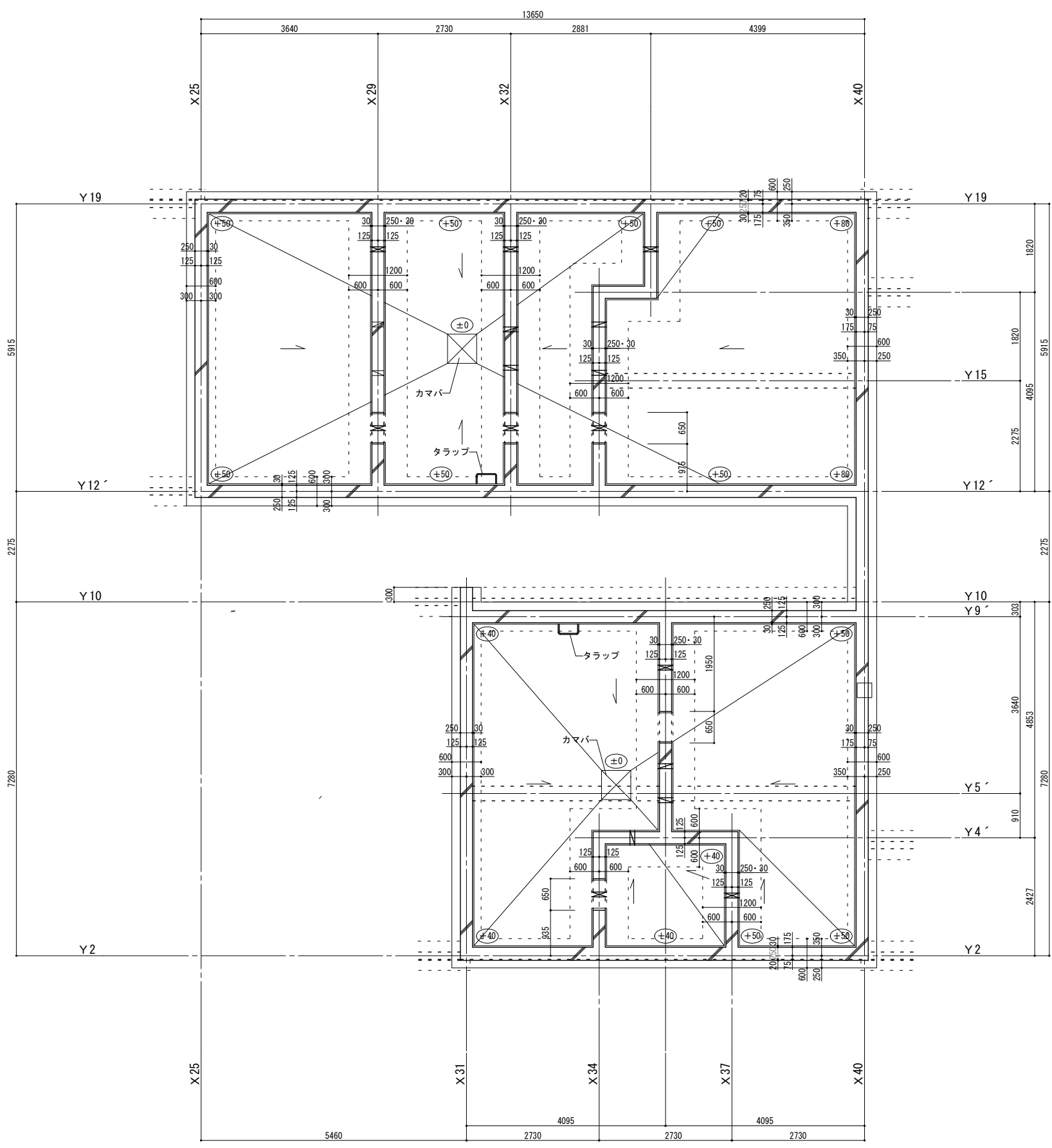
長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670
1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号
1級建築士 第293052号 渡利 真二



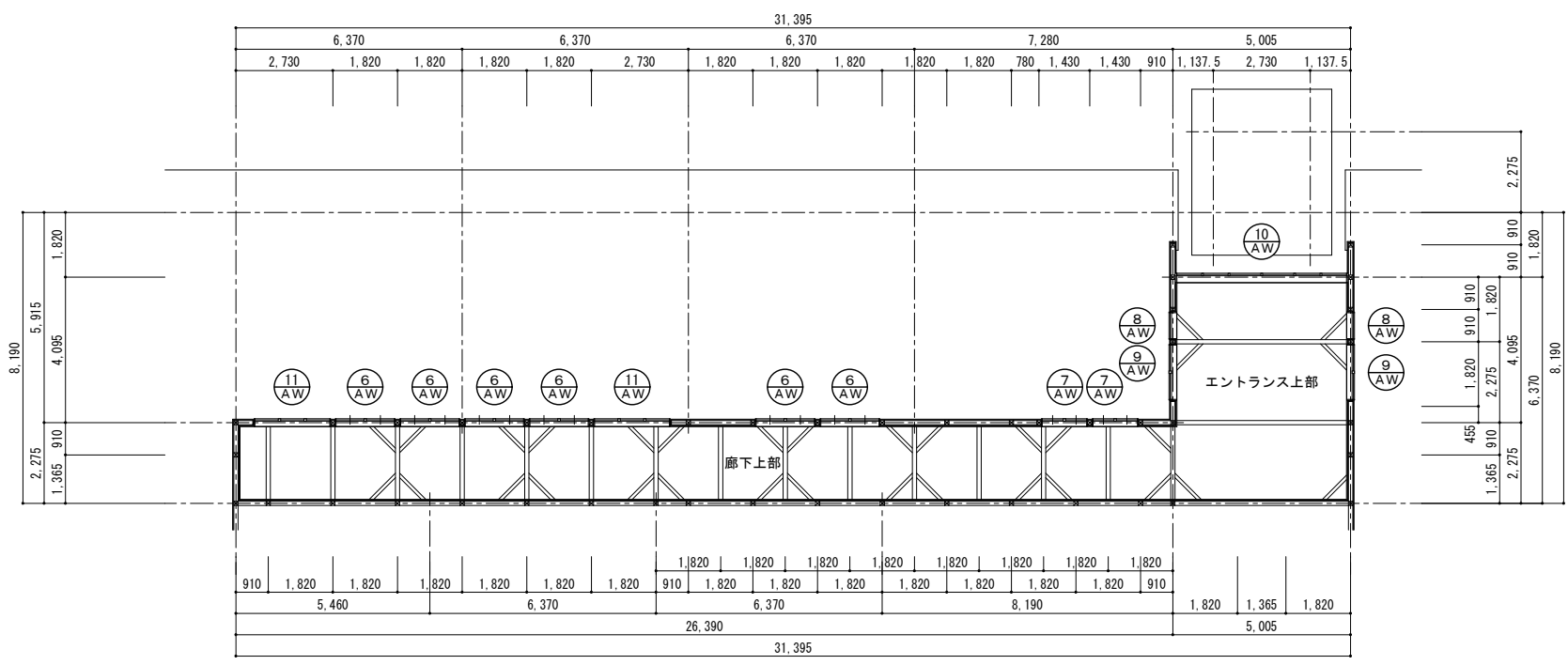
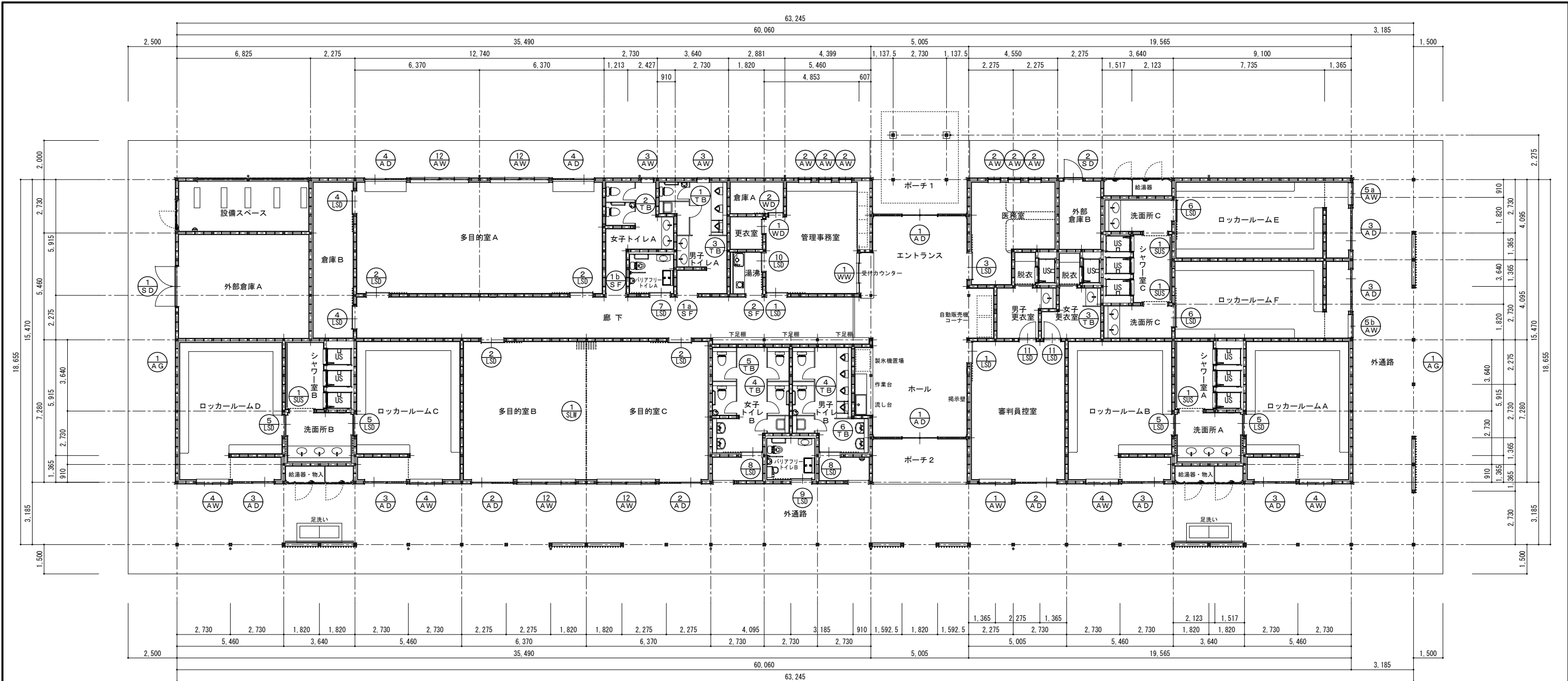


《天井仕上凡例》	
(a)	木野縁組下地 石膏ボード t 9.5 捨張り ロックウール吸音板 t 9
(b)	木野縁組下地 化粧石膏ボード t 9.5
(c)	木野縁組下地 ケイ酸カルシウム板 t 6 目透シ張り EP
(d)	木野縁組下地 合板 t 9 捨張り 杉羽目板 t 12 WPS
(e)	木野縁組下地 石膏ボード t 9.5 ビニールクロス貼り
(f)	杉羽目板 t 15 WPS
☒	天井点検口：アルミ製 450角 (細枠) 2 9ヶ所

《 上部 天井伏図 》



《ビット凡例》	
	カマ場：600×600×H450
	タラップ：ステンレス製 22φ W=400 3段
	水勾配 (1/100)
	通気管：VP100 (9ヶ所)
	通水管：VP100 半割 (7ヶ所)



《 上部 平面図 》

《消防法無窓階の検討》				(単位: m ²)
必 要 面 積	908.63 × 1/30 = 30.29			
	AD-1	1.80 × 2.50	× 2 =	9.00
	AD-2	0.92 × 2.10	× 5 =	9.66
	AD-3	0.92 × 2.07	× 6 =	11.42
	AW-12	1.44 × 1.20 × 2 × 4 =		13.82
	AW-1	1.64 × 1.77	× 1 =	2.90
	(有効面積の計)			46.80
判 定	30.29 < 46.80			○ K

建 具 表 S=1:50

記 号	① AW	審判員控室	② AW	管理事務室、医務室	③ AW	男子トイレA、女子トイレA	④ AW	ロッカールームA～D	⑤ AW	ロッカールームE・F	⑥ AW	廊下上部	
姿 図													
	種 類	引違い窓	半外付枠	上ゲ下ゲ窓＋外倒シ窓		ハメ殺シ窓＋外倒シ窓	半外付枠	2連外倒シ窓	半外付枠	外倒シ窓	半外付枠	2連突出シ窓	半外付枠
	口 数	1		6		2		4		2		6	
	見 込	70		70		70		70		70		70	
	材 種	アルミ カラー		アルミ カラー		アルミ カラー		アルミ カラー		アルミ カラー		アルミ カラー	
	金 物	クレセント、アングルピース 他付属金物一式		クレセント、オペレーター（60°）、アングルピース アルミ顔縁（外部三方）、他付属金物一式		オペレーター（60°）、アングルピース 他付属金物一式		オペレーター（60°）、アングルピース 他付属金物一式		オペレーター（60°）、アングルピース 他付属金物一式		オペレーター（60°）、アングルピース 他付属金物一式	
硝 子	複層ガラス（フロートt5＋A6＋フロートt5）		複層ガラス（フロートt3＋A6＋フロートt3）		複層ガラス（型板t4＋A6＋フロートt3）		複層ガラス（型板t4＋A6＋フロートt3）		複層ガラス（型板t4＋A6＋フロートt3）		複層ガラス（型板t4＋A6＋フロートt3）		
備 考	網戸		網戸		網戸		網戸		網戸		網戸		
記 号	⑦ AW	廊下上部	⑧ AW	エントランス上部	⑨ AW	エントランス上部	⑩ AW	エントランス上部	⑪ AW	廊下上部			
姿 図													
	種 類	2連突出シ窓	半外付枠	ハメ殺シ窓	半外付枠	2連ハメ殺シ窓	半外付枠	6連ハメ殺シ窓	半外付枠	3連ハメ殺シ窓	半外付枠		
	口 数	2		2		2		1		2			
	見 込	70		70		70		70		70			
	材 種	アルミ カラー		アルミ カラー		アルミ カラー		アルミ カラー		アルミ カラー			
	金 物	オペレーター（60°）、アングルピース 他付属金物一式		アングルピース 他付属金物一式		アングルピース 他付属金物一式		アングルピース 他付属金物一式		アングルピース 他付属金物一式			
硝 子	複層ガラス（型板t4＋A6＋フロートt3）		複層ガラス（型板t4＋A6＋フロートt3）		複層ガラス（型板t4＋A6＋フロートt3）		複層ガラス（フロートt5＋A6＋フロートt5）		複層ガラス（型板t4＋A6＋フロートt3）				
備 考	網戸												
記 号	⑫ AW	多目的室A・B・C	⑬ AG	表面外壁上部（小屋裏換気）	⑭ AB	エントランス、ホール							
姿 図													
	種 類	2連引違い窓 引違いランマ付		ガラリ	半外付枠	引分ケ自動ドア 防護スクリーン付							
	口 数	4		2		2							
	見 込	70		70		150							
	材 種	アルミ カラー		アルミ カラー		アルミ カラー							
	金 物	クレセント、オペレーター、アングルピース アルミ顔縁（外部三方）、他付属金物一式				自動ドア開閉装置（エンジン内蔵）、近赤外線反射式センサー、補助光電センサー シリンドラ錠（サムターン付）、コーナーゴム、アングルピース、他付属金物一式							
硝 子	複層ガラス（フロートt5＋A6＋フロートt5） ランマ：複層ガラス（フロートt3＋A6＋フロートt3）			ステンレス防虫網	複層ガラス（強化ガラスt5＋A6＋強化ガラスt5）								
備 考	網戸				衝突防止シール、自動ドア表示ステッカー、案内表示・戸袋警告用ラベル								

＜共通事項＞

1. 寸法は参考寸法とする。

2. 特記なき金物はステンレス製とする。

3. ガラス押工は、原則としてシーリング押工とする。

4. 出入り口部分の下枠及び水切は、原則としてステンレスとする。

5. サッシ廻りのコーキングは、原則として変成シリコン系とする。

6. 必要なヶ所は、戸当り付とする。

7. ドア下床見切は、ステンレス製とする。

8. 原則として外廻りのサッシは、結露受付とする。

9. 網戸は、合成樹脂製とする。

10. クレセント・ハンドルは、抗菌・抗ウイルス仕様とする。

工事名称：国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工

図面名称：クラブハウス 建具表（1）

縮 尺：1：50（A3=1：100） 図面番号：A－133

- 〈共通事項〉

 1. 寸法は参考寸法とする。
 2. 特記なき金物はステンレス製とする。
 3. ガラス押エは、原則としてシーリング押エとする。
 4. 出入り口部分の下枠及び水切は、原則としてステンレスとする。
 5. サッシ廻りのコーキングは、原則として変成シリコン系とする。
 6. 必要なヶ所は、戸当り付とする。
 7. ドア下床見切は、ステンレス製とする。
8. 原則として外廻りのサッシは、結露受付とする。
 9. 網戸は、合成樹脂製とする。
 10. クレセント・ハンドルは、抗菌・抗ウイルス仕様とする。

記 号	② A/D	多目的室B・C、審判員控室	④ A/D	多目的室A	③ A/D	ロッカールームA～F	① S/D	外部倉庫A	② S/D	外部倉庫B	① S/F	男子トイレA、女子トイレA
姿 図												
種 類	片引き戸 引違イランマ付 (A D-3: 下枠フラット仕様・A D-4: 下枠一般仕様)		片袖 額付片引きハンガー戸 (自閉式) 外側シランマ付		両開キ戸		片開キ戸		片開キ戸		三方枠	
口 数	A D-2: 3、A D-4: 2		6		1		1		1		1a: 1、1b: 1	
見 込	70		100		枠: 100 扉: 40		枠: 100 扉: 40		枠: 100 扉: 40		2 2 5 見付25	
材 種	アルミ カラー		アルミ カラー		スチール D P		スチール D P		スチール D P		スチール SOP	
金 物	召シ合せ錠、オペレーター、アングルピース、A D-4のみ: ステンレス下翻縁 (内部) 引棒、アルミ翻縁 (外部三方)、他付属金物一式		ハンガーレール (自閉装置、点検カバー)、引棒、召シ合せ錠、オペレーター (60°)、アングルピース アルミ翻縁 (外部三方)、他付属金物一式		レバーハンドル、シリンダー錠、丁番、D C ステンレス下枠、スチール三方枠、他付属金物一式		レバーハンドル、シリンダー錠、丁番、D C ステンレス下枠、スチール三方枠、他付属金物一式		レバーハンドル、シリンダー錠、丁番、D C ステンレス下枠、スチール三方枠、他付属金物一式			
硝 子	複層ガラス (強化ガラス t5+A6+強化ガラス t5) ランマ: 複層ガラス (フロート t 3+A6+フロート t 3)		複層ガラス (型板 t 4+A6+フロート t 5) ランマ: 複層ガラス (型板 t 4+A6+フロート t 3)		複層ガラス (型板 t 4+A6+フロート t 5) ランマ: 複層ガラス (型板 t 4+A6+フロート t 3)		複層ガラス (型板 t 4+A6+フロート t 5) ランマ: 複層ガラス (型板 t 4+A6+フロート t 3)		複層ガラス (型板 t 4+A6+フロート t 5) ランマ: 複層ガラス (型板 t 4+A6+フロート t 3)		複層ガラス (型板 t 4+A6+フロート t 5) ランマ: 複層ガラス (型板 t 4+A6+フロート t 3)	
備 考	衝突防止シール、網戸		網戸、パネル (アルミ樹脂複合板 t 3)		網戸、パネル (アルミ樹脂複合板 t 3)		網戸、パネル (アルミ樹脂複合板 t 3)		網戸、パネル (アルミ樹脂複合板 t 3)		網戸、パネル (アルミ樹脂複合板 t 3)	
記 号	② S/F	湯沸室	① S/S	シャワー室A～C	① T/S	管理事務室、審判員控室	② T/S	多目的室A・B・C	③ T/S	医務室	④ T/S	倉庫B
姿 図												
種 類	三方枠		三方枠		軽量額付片引きハンガー戸		軽量額付片引きハンガー戸		軽量額付片引きハンガー戸		軽量額付片引きハンガー戸 ガラリ付	
口 数	1		4		2		4		1		2	
見 込	210 見付25		225 見付25		100		100		100		100	
材 種	スチール SOP		ステンレス HL		スチール 焼付塗装		スチール 焼付塗装		スチール 焼付塗装		スチール 焼付塗装	
金 物					ハンガーレール (自閉装置、点検カバー)、引棒 (抗菌仕様) シリンダー錠 (サムターン付)、スチール三方枠、他付属金物一式		ハンガーレール (自閉装置、点検カバー)、引棒 (抗菌仕様) シリンダー錠 (サムターン付)、スチール三方枠、他付属金物一式		ハンガーレール (自閉装置、点検カバー)、引棒 (抗菌仕様) シリンダー錠 (サムターン付)、スチール三方枠、他付属金物一式		ハンガーレール (自閉装置、点検カバー)、引棒 (抗菌仕様)、シリンダー錠 スチール三方枠、他付属金物一式	
硝 子					型板強化ガラス t4		型板強化ガラス t4		型板強化ガラス t4		型板強化ガラス t4	
備 考												
記 号	⑤ T/S	洗面所A～D	⑥ T/S	洗面所E・F	⑦ T/S	バリアフリートイレA	⑧ T/S	男子トイレB、女子トイレB	〈共通事項〉 1. 寸法は参考寸法とする。 2. 特記なき金物はステンレス製とする。 3. ガラス押工は、原則としてシーリング押工とする。 4. 出入り口部分の下枠及び水切は、原則としてステンレスとする。 5. サッシ廻りのコーキングは、原則として変成シリコン系とする。 6. 必要なヶ所は、戸当り付とする。 7. ドア下床見切は、ステンレス製とする。 8. 原則として外廻りのサッシは、結露受付とする。 9. 網戸は、合成樹脂製とする。 10. クレセント・ハンドルは、抗菌・抗ウイルス仕様とする。			
姿 図												
種 類	軽量額付片引きハンガー戸 (壁収納タイプ)		軽量額付片引きハンガー戸		軽量額付片引きハンガー戸 ガラリ付		軽量額付片引きハンガー戸 ガラリ付					
口 数	4		2		1		2					
見 込	100		100		100		100					
材 種	スチール 焼付塗装		スチール 焼付塗装		スチール 焼付塗装		スチール 焼付塗装					
金 物	ハンガーレール (自閉装置、点検カバー)、引棒 (抗菌仕様) スチール三方枠、他付属金物一式		ハンガーレール (自閉装置、点検カバー)、引棒 (抗菌仕様) スチール三方枠、他付属金物一式		ハンガーレール (自閉装置、点検カバー)、引棒 (抗菌仕様)、シリンダー錠 表示錠 (非常時開錠装置付)、スチール三方枠、他付属金物一式		ハンガーレール (自閉装置、点検カバー)、引棒 (抗菌仕様)、シリンダー錠 表示錠 (非常時開錠装置付)、スチール三方枠、他付属金物一式					
硝 子	型板強化ガラス t4		型板強化ガラス t4		型板強化ガラス t4		型板強化ガラス t4					
備 考							屋外仕様、ステンレス巾木、ガラリ防虫網					

工事名称 : 国補 南長野運動公園フットボールクラブハウス外建築主体工

図面名称 : クラブハウス 建具表 (2)

縮 尺 : 1: 50 (A3=1: 100) 図面番号 : A-134

- 《共通事項》
1. 寸法は参考寸法とする。

2. 特記なき金物はステンレス製とする。

3. ガラス押エは、原則としてシーリング押エとする。

4. 出入り口部分の下枠及び水切は、原則としてステンレスとする。

5. サッシ廻りのコーキングは、原則として変成シリコン系とする。

6. 必要なヶ所は、戸当り付とする。

7. ドア下床見切は、ステンレス製とする。

8. 原則として外廻りのサッシは、結露受付とする。

9. 網戸は、合成樹脂製とする。

10. クレセント・ハンドルは、抗菌・抗ウイルス仕様とする。

記 号	9 T30	10 T30	11 T30	1 SW	1 WD
	バリアフリートイレB	湯沸室	男子更衣室、女子更衣室	多目的室B・C	職員更衣室
姿 図					
種 類	軽量額付片引きハンガー戸 ガラリ付	軽量額付片引きハンガー戸	額付片開キフラッシュ戸	スライディングウォール	額付片引きフラッシュ戸 ガラリ付 (ハンガー式)
口 数	1	1	2	1	1
見 込	1 0 0	1 0 0	9 0	5 0タイプ	
材 種	スチール 焼付塗装	スチール 焼付塗装	スチール 焼付塗装	石膏ボード+ビニールクロス貼り	メラミン化粧板張り
金 物	ハンガーレール (自閉装置、点検カバー)、引棒 (抗菌仕様)、シリンダー錠 表示錠 (非常時間錠装置付)、スチール三方棒、他付属金物一式	ハンガーレール (自閉装置、点検カバー)、引棒 (抗菌仕様) スチール三方棒、他付属金物一式	レバーハンドル、表示錠 (サムターン・非常時間錠装置付)、丁番、DC ステンレス番指、スチール三方棒、他付属金物一式	ハンガーレール、キャリアー、丸落シ・受ツボ、接床タイプ 他付属金物一式	引棒、表示錠 (非常時間錠装置付) 埋込ハンガーレール、ガイドローラー、他付属金物一式
硝 子	型板ガラス t4	型板強化ガラス t4	型板ガラス t4		型板ガラス t4
備 考	屋外仕様、ステンレス巾木、ガラリ防虫網				
記 号	2 WD	1 WW	1 TB	2 TB	3 TB
	倉庫A	管理事務室	男子トイレA	女子トイレA	男子トイレA、女子更衣室
姿 図					
種 類	額付片引きフラッシュ戸 ガラリ付 (ハンガー式)	引分け窓 (ハンガー式)	トイレブース	トイレブース	トイレブース
口 数	1	1	1	1	2
見 込		3 5	4 0	4 0	4 0
材 種	メラミン化粧板張り	木製 木材保護塗装 (屋内仕様)	高圧メラミン化粧板 (堅牢仕様)	高圧メラミン化粧板 (堅牢仕様)	高圧メラミン化粧板 (堅牢仕様)
金 物	引棒、シリンダー錠錠 埋込ハンガーレール、ガイドローラー、他付属金物一式	引手、クレセント 埋込ハンガーレール、ガイドローラー、他付属金物一式	頭つなぎ、ステンレス巾木、Rドアエッジ (指はさみ防止構造) グレビティヒンジ、表示付スライドボルト (非常時間錠装置付)、戸当り帽子掛、他付属金物一式	頭つなぎ、ステンレス巾木、Rドアエッジ (指はさみ防止構造) グレビティヒンジ、表示付スライドボルト (非常時間錠装置付)、戸当り帽子掛、他付属金物一式	頭つなぎ、ステンレス巾木 他付属金物一式
硝 子	型板ガラス t4	強化ガラス t5			
備 考					
記 号	4 TB	5 TB	6 TB		
	男子トイレB、女子トイレB	女子トイレB	男子トイレB		
姿 図					
種 類	トイレブース	トイレブース	トイレブース		
口 数	2	1	1		
見 込	4 0	4 0	4 0		
材 種	高圧メラミン化粧板 (堅牢仕様)	高圧メラミン化粧板 (堅牢仕様)	高圧メラミン化粧板 (堅牢仕様)		
金 物	頭つなぎ、ステンレス巾木、Rドアエッジ (指はさみ防止構造) グレビティヒンジ、表示付スライドボルト (非常時間錠装置付)、戸当り帽子掛、他付属金物一式	頭つなぎ、ステンレス巾木、Rドアエッジ (指はさみ防止構造) グレビティヒンジ、表示付スライドボルト (非常時間錠装置付)、戸当り帽子掛、他付属金物一式	頭つなぎ、ステンレス巾木 他付属金物一式		
硝 子					
備 考					

- 《共通事項》
1. 寸法は参考寸法とする。

2. 特記なき金物はステンレス製とする。

3. ガラス押エは、原則としてシーリング押エとする。

4. 出入り口部分の下枠及び水切は、原則としてステンレスとする。

5. サッシ廻りのコーキングは、原則として変成シリコン系とする。

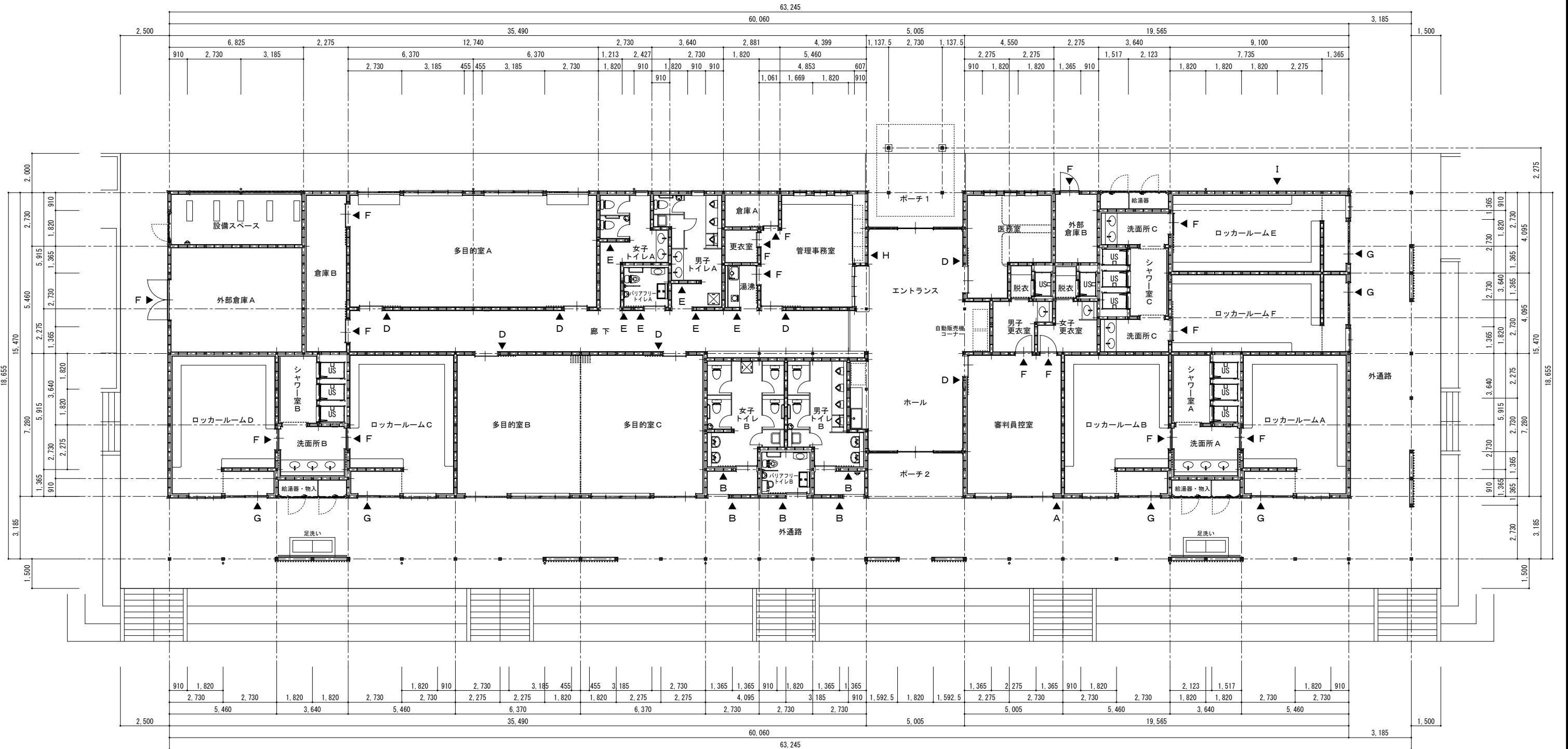
6. 必要なヶ所は、戸当り付とする。

7. ドア下床見切は、ステンレス製とする。

8. 原則として外廻りのサッシは、結露受付とする。

9. 網戸は、合成樹脂製とする。

10. クレセント・ハンドルは、抗菌・抗ウイルス仕様とする。



サインA：室名札（壁面・平付 アルミ+シート）NON

サイン仕様

壁面取付	150×150 アルミ複合板 t3（裏面捨張り t3） インクジェットシート貼り（小口巻込み） ※ ベース色：白、文字：カラー	1ヶ所
------	--	-----

裏面捨張り

3

サインB：ピクト（壁面・平付 アルミ+シート）NON

サイン仕様

※絵文字柄は参考とする。

壁面取付	150×150 アルミ複合板 t3（裏面捨張り t3） インクジェットシート貼り（小口巻込み） ※ ベース色：カラー、マーク：白	5ヶ所
------	---	-----

裏面捨張り

3

【男子トイレB：B1】

【女子トイレB：B2】

どなたでも
ご自由に
お使い下さい

【バリアフリートイレB：B3】

サインD：室名札（壁面・平付 アクリル）NON

サイン仕様

※絵文字柄は参考とする。

壁面取付	150×150	7ヶ所
------	---------	-----

化粧ビス止め

アクリル板（透明） t5
裏面：カッティングシート貼り
（壁近似色）

面取 t2 小口磨き

文字：カッティングシート貼り

150

150

42

サインE：ピクト（壁面・平付 アクリル）NON

サイン仕様

※絵文字柄は参考とする。

壁面取付	150×150	6ヶ所
------	---------	-----

化粧ビス止め

アクリル板（透明） t5
裏面：カッティングシート貼り
（壁近似色）

面取 t2 小口磨き

カッティングシート貼り

150

42

【ピクトサイン参考図】

【男子トイレ】

【女子トイレ】

どなたでも
ご自由に
お使い下さい

【バリアフリートイレ】

【オストメイト設置トイレ】

非常呼出しの
作動時は多目的
トイレの確認に
ご協力下さい。
緊急連絡先
〇〇〇〇-〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

【呼出装置対応】

工事名称：国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事

図面名称：クラブハウス サイン詳細図（1）

縮尺：NON 図面番号：A-137

DATE：. . .

株式会社 KRC

長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670
1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号
1級建築士 第293052号 渡利 真二

サインF：室名札（建具面・シート）

NON

サイン仕様

※絵文字柄は参考とする。

建具面取付	図示 カッティングシート貼り	15ヶ所
-------	-------------------	------

文字：カッティングシート貼り

50

外部倉庫A

外部倉庫B

室名	職員更衣室、倉庫A、湯沸室、倉庫B×2、男子更衣室、女子更衣室、洗面所A×2、洗面所B×2、洗面所C×2、外部倉庫A、外部倉庫B
----	--

サインG：室名札+番号（建具面・シート）

NON

サイン仕様

※絵文字柄は参考とする。

建具面取付	図示 カッティングシート貼り 番号文字：500×500	6ヶ所
-------	-----------------------------------	-----

文字：カッティングシート貼り

70

ロッカールーム

A

サインH：館内案内板

NON

サイン仕様

※絵文字柄は参考とする。

壁面取付	600×450	1ヶ所
------	---------	-----

化粧ビス止め

アクリル板（透明）t5 600×450
インクジェットシート貼り
カッティングシート貼り

面取t2 小口磨き

サインI：館銘板（外壁面 平付）

NON

サイン仕様

※絵文字柄は参考とする。

外壁面取付	図示 SUS製箱文字 焼付塗装 300×300	1ヶ所
-------	----------------------------	-----

南長野運動公園フットボール場

館名文字：SUS製箱文字 焼付塗装 300×300

【ピクトサイン参考図】

男子トイレ

女子トイレ

バリアフリートイレ

オストメイト設置トイレ

非常呼出しの作動時は多目的トイレの確認にご協力下さい。
緊急連絡先
0000-00-0000

工事名称：国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事

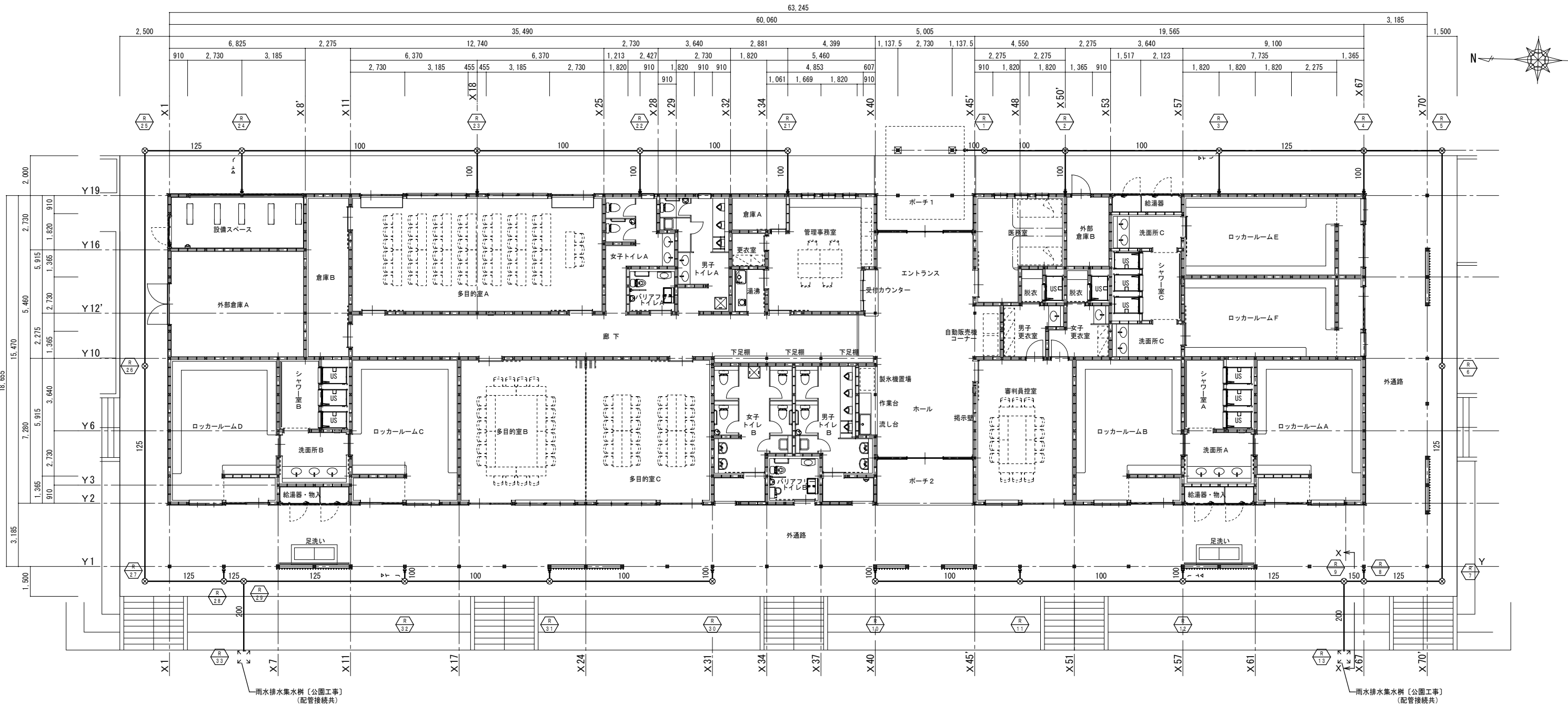
図面名称：クラブハウス サイン詳細図（2）

縮尺：NON 図面番号：A-138

DATE：.

株式会社 KRC

長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670
1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号
1級建築士 第293052号 渡利 真二



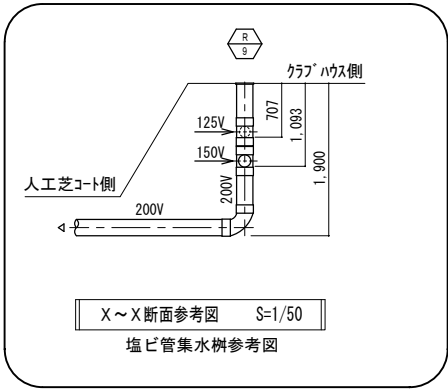
雨水樹リスト

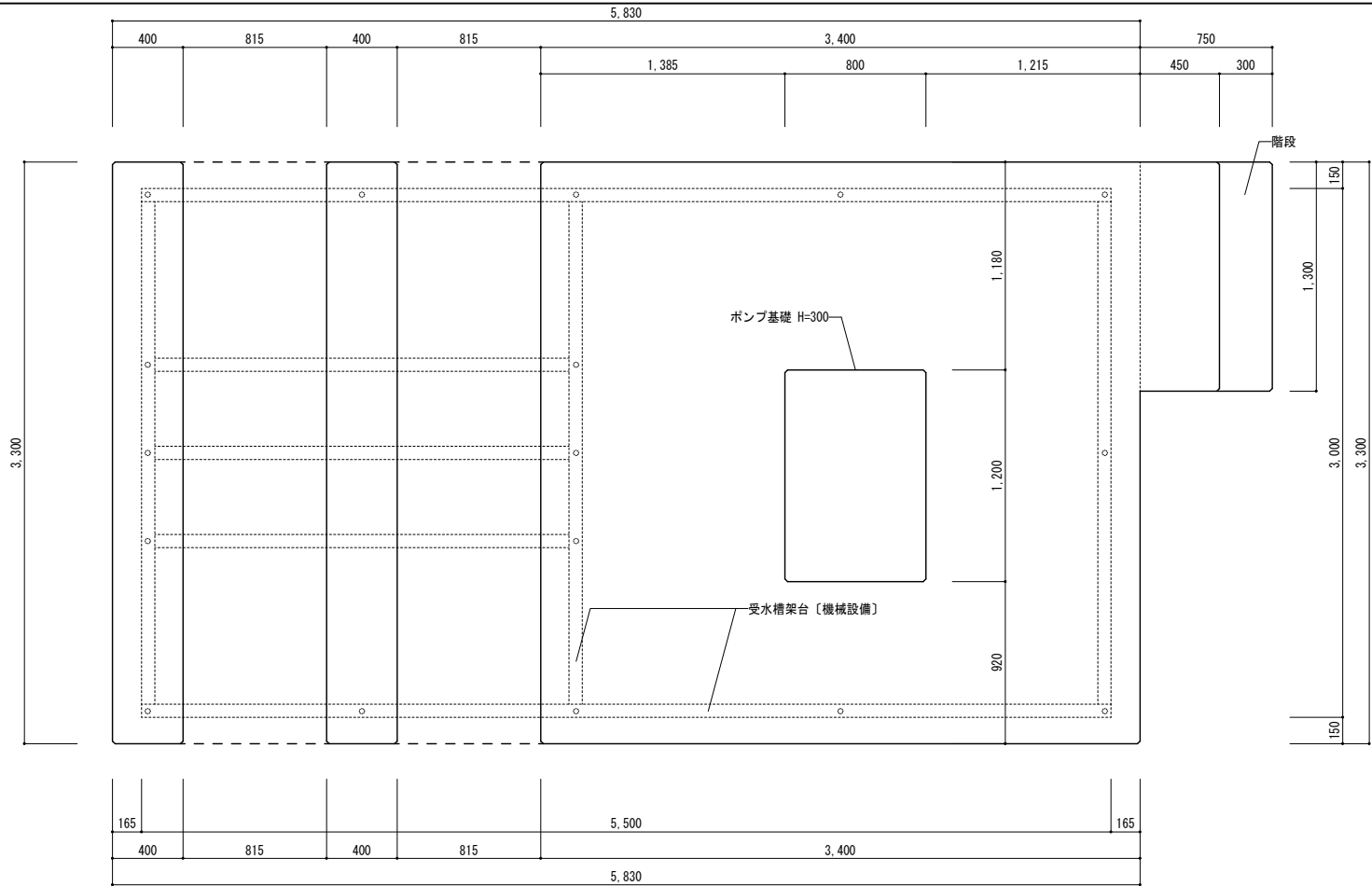
樹リストの数値は参考とする。 樹深さは設計GL(354.71)を基準とする。

NO.	樹 の 名 称	樹口径	主管口径	枝管口径	樹深さ	蓋	距離(m)	勾配
R-21	塩ビ製小口径雨水 90° 曲点樹	150	100		400	鑄鉄製	7.4	13.0 %
R-22	塩ビ製小口径雨水 90° 合流樹	150	100	100	496	鑄鉄製	8.2	
R-23	塩ビ製小口径雨水 90° 合流樹	150	100	100	603	鑄鉄製	11.8	
R-24	塩ビ製小口径雨水 90° 45° 2本合流樹	150	100	100, 75	756	鑄鉄製	4.9	
R-25	塩ビ製小口径雨水 90° 曲点樹	200	125		820	鑄鉄製	10.8	
R-26	塩ビ製小口径雨水中間樹	200	125		970	鑄鉄製	10.8	
R-27	塩ビ製小口径雨水 90° 曲点樹	200	125		1,120	鑄鉄製	4.0	
R-28	塩ビ製小口径雨水 90° 合流樹	200	125	100	1,172	鑄鉄製	1.0	
R-29	塩ビ管集水樹 (右参考図参照)	200	200	125, 125	1,185 1,900	鑄鉄製 1,093	3.4	
R-33	雨水排水集水樹 (公園工事)				500			
R-30	塩ビ製小口径雨水 90° 曲点樹	150	100		400	鑄鉄製	8.2	
R-31	塩ビ製小口径雨水 90° 合流樹	150	100	100	507	鑄鉄製	7.3	
R-32	塩ビ製小口径雨水 90° 45° 2本合流樹	150	100	100, 75	602	鑄鉄製	8.1	
R-29	塩ビ管集水樹 (参考図参照)	200	200	125, 125	707			

雨水樹は泥溜り(H=150以上)、バケット付とする。

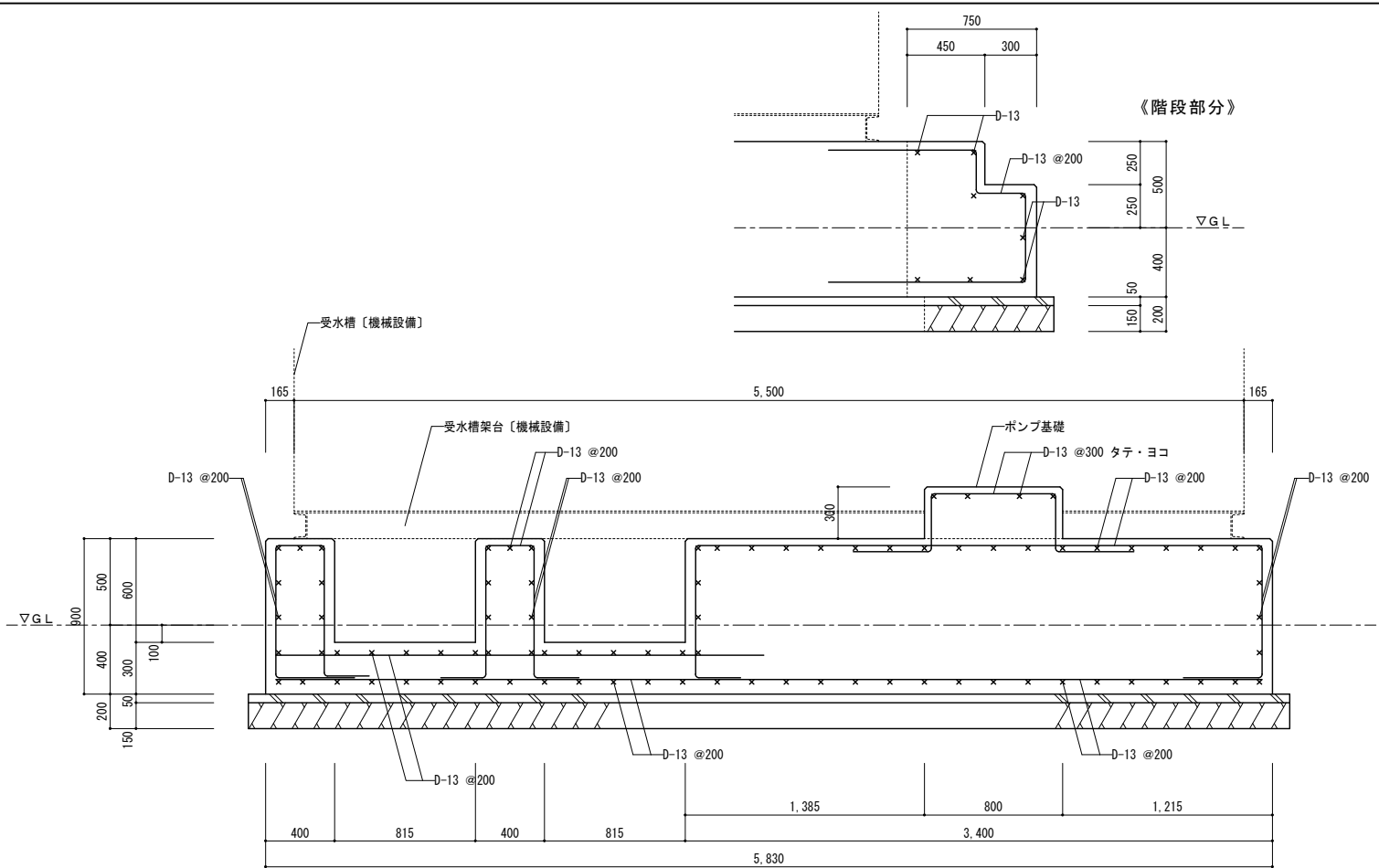
NO.	樹 の 名 称	樹口径	主管口径	枝管口径	樹深さ	蓋	距離(m)	勾配
R-1	塩ビ製小口径雨水中間樹	150	100		400	鑄鉄製	4.1	13.0 %
R-2	塩ビ製小口径雨水 90° 合流樹	150	100	100	460	鑄鉄製	7.7	
R-3	塩ビ製小口径雨水 90° 45° 2本合流樹	150	100	100, 75	568	鑄鉄製	7.3	
R-4	塩ビ製小口径雨水 90° 合流樹	200	125	100	670	鑄鉄製	3.9	
R-5	塩ビ製小口径雨水 90° 曲点樹	200	125		725	鑄鉄製	10.8	
R-6	塩ビ製小口径雨水中間樹	200	125		875	鑄鉄製	10.8	
R-7	塩ビ製小口径雨水 90° 曲点樹	200	125		1,025	鑄鉄製	3.9	
R-8	塩ビ製小口径雨水 90° 合流樹	200	150	100	1,080	鑄鉄製	1.0	
R-9	塩ビ管集水樹 (右参考図参照)	200	200	150, 125	1,093 1,900	鑄鉄製 1,093	3.4	
R-13	雨水排水集水樹 (公園工事)				500			
R-10	塩ビ製小口径雨水 90° 曲点樹	150	100		400	鑄鉄製	7.3	
R-11	塩ビ製小口径雨水 90° 合流樹	150	100	100	495	鑄鉄製	8.2	
R-12	塩ビ製小口径雨水 90° 45° 2本合流樹	150	100	100, 75	602	鑄鉄製	8.1	
R-9	塩ビ管集水樹 (参考図参照)	200	200	125, 125	707			



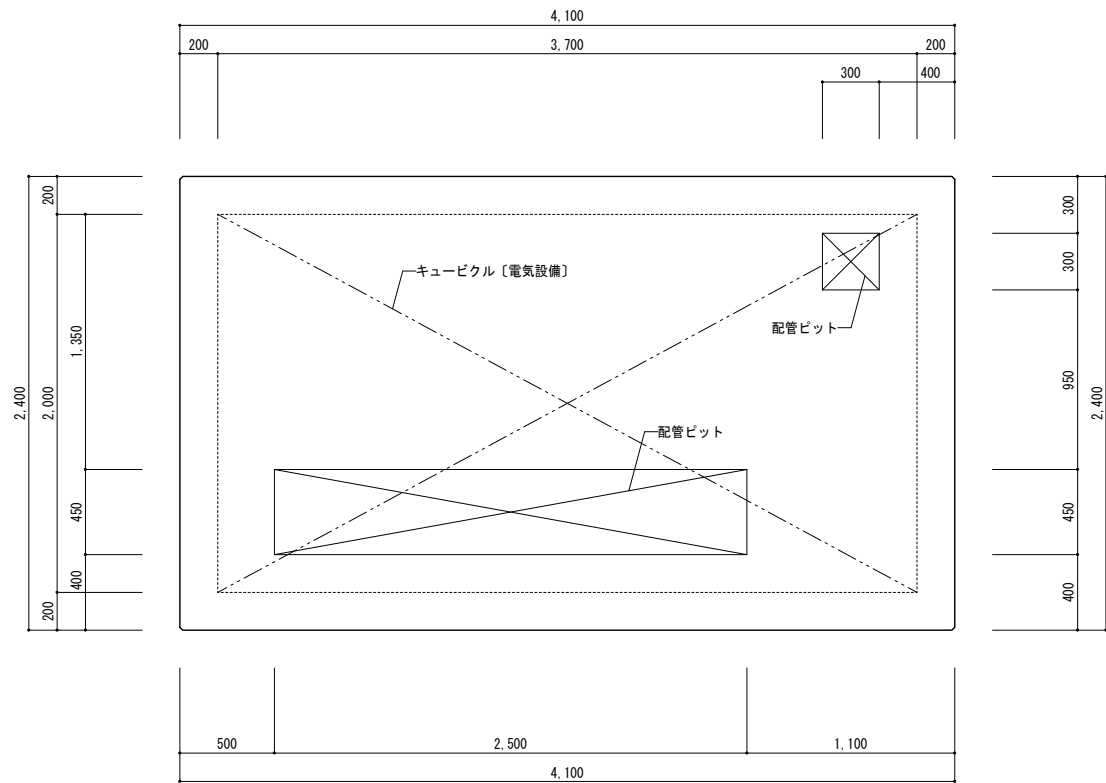


《平面図》

※コンクリートの出隅部分は、面木を使用すること。

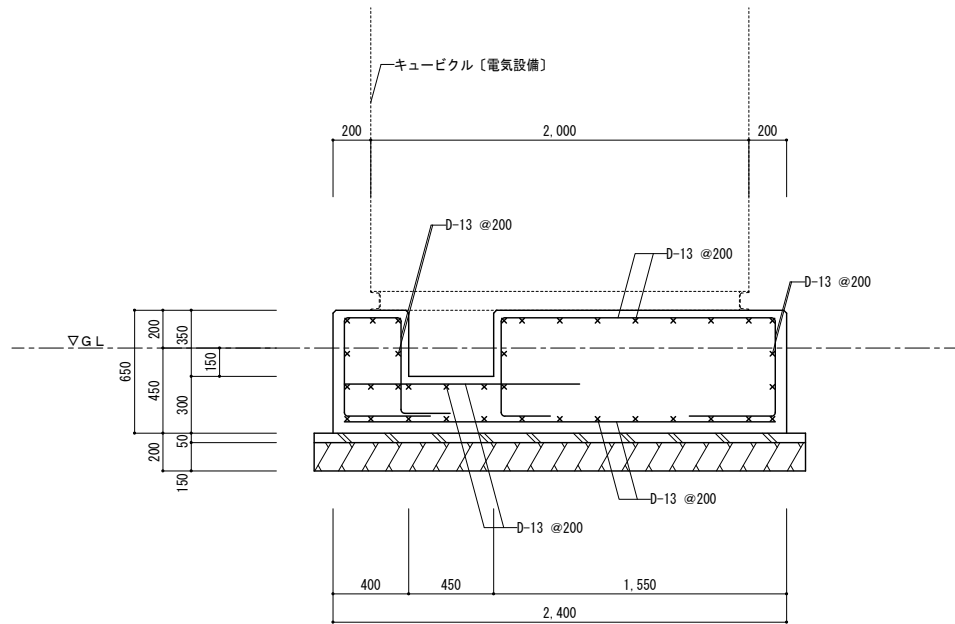


※基礎底面において、地耐力30KN/m²(長期)以上を確認すること。
なお、基準値を下回る場合は、基礎形状および地盤改良について監督員と協議すること。



《平面図》

※コンクリートの出隅部分は、面木を使用すること。



※基礎底面において、地耐力20KN/m²(長期)以上を確認すること。
なお、基準値を下回る場合は、基礎形状および地盤改良について監督員と協議すること。

室内（天井）に面する部分の木の検討			
室内の天井面積＝880.06㎡			
880.06/10＝88.00㎡			
【天井面の木製梁の表面積】			
多目的室A	：	$(0.12+0.10 \times 2) \times 5.510 \times 7$	= 12.35
多目的室B・C	：	$(0.12+0.10 \times 2) \times 6.875 \times 7$	= 15.40
エントランス	：	$(0.12+0.14 \times 2) \times 4.805 \times 1$	= 1.93
	：	$(0.12+0.05+0.02) \times 4.805 \times 1$	= 0.92
ホール	：	$(0.12+0.16 \times 2) \times 4.805 \times 2$	= 4.23
	：	$(0.12+0.16+0.36) \times 4.805 \times 1$	= 3.08
		計	37.91㎡ < 88.00㎡
			・・・OK

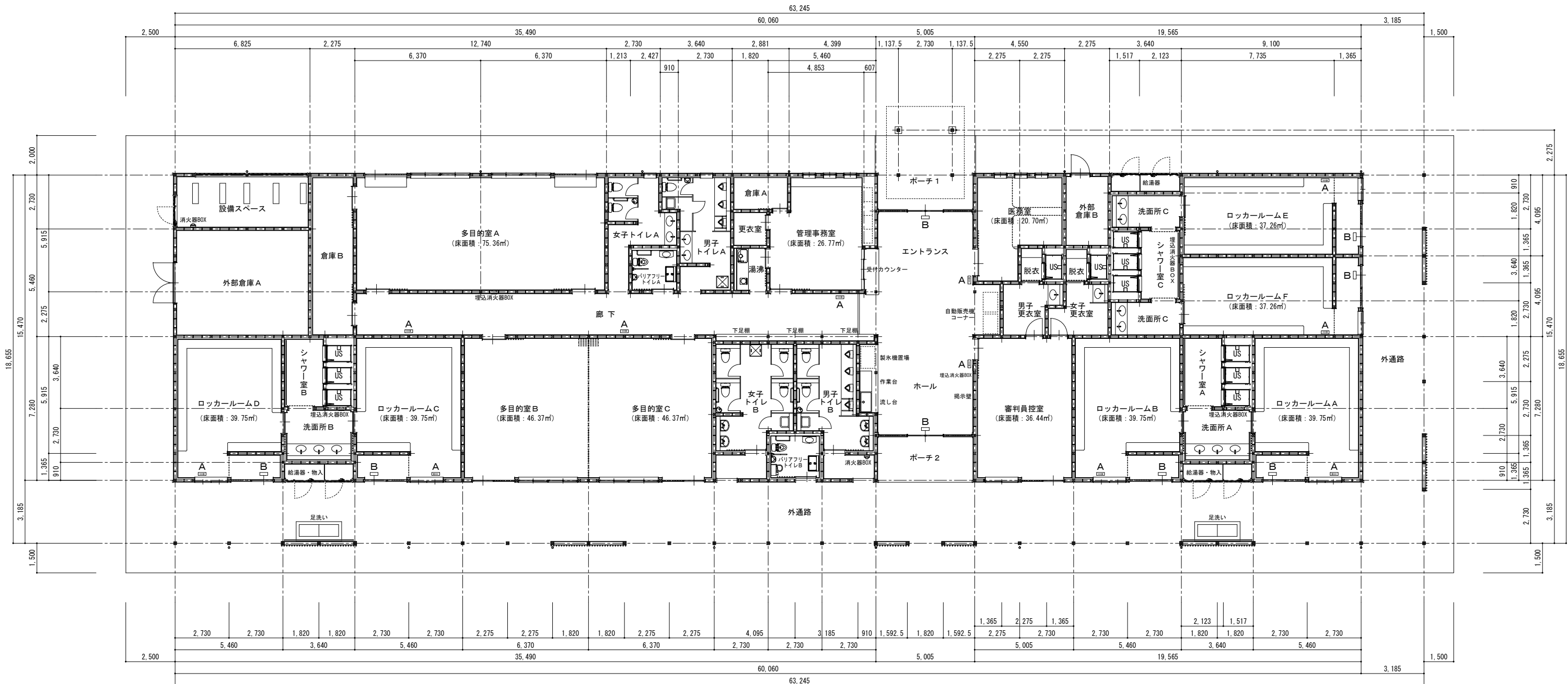
令第116条の2第1項第1号 【無窓居室の検討】		法第28条第2項 【換気気の検討】		令第116条の2第1項第2号 【無窓居室の検討】	
管理事務室（採光の検討）		管理事務室（換気の検討）		管理事務室（採暖の検討）	
A（床面積）＝ 26.77㎡		A（床面積）＝ 26.77㎡		A（床面積）＝ 26.77㎡	
A × 1/20（必要開口面積）＝ 1.339㎡		A × 1/20（必要開口面積）＝ 1.339㎡		A × 1/50（必要開口面積）＝ 0.535㎡	
S（有効開口面積）		S（有効開口面積）		S（有効開口面積）	
AW-2 0.60 × 1.20 × 3 = 2.160		AW-2 0.60 × 0.55 × 3 = 0.990		AW-2 0.60 × 0.475 × 3 = 0.855	
AW-2 0.60 × 0.475 × 3 = 0.855		AW-2 0.60 × 0.475 × 3 = 0.855			
計 3.015㎡ ∴ OK		計 1.845㎡ ∴ OK		計 0.855㎡ ∴ OK	

令第116条の2第1項第1号 【無窓居室の検討】		法第28条第2項 【換気の検討】		令第116条の2第1項第2号 【無窓居室の検討】	
医務室（採光の検討）		医務室（換気の検討）		医務室（採光の検討）	
A（床面積）＝ 20.70㎡		A（床面積）＝ 20.70㎡		A（床面積）＝ 20.70㎡	
A × 1/20（必要開口面積）＝ 1.035㎡		A × 1/20（必要開口面積）＝ 1.035㎡		A × 1/50（必要開口面積）＝ 0.414㎡	
S（有効開口面積）		S（有効開口面積）		S（有効開口面積）	
AW-2 0.60 × 20 × 3 = 2.160		AW-2 0.60 × 0.55 × 3 = 0.990		AW-2 0.60 × 0.475 × 3 = 0.855	
AW-2 0.60 × 0.475 × 3 = 0.855		AW-2 0.60 × 0.475 × 3 = 0.855			
計 3.015㎡ ∴ ○ K		計 1.845㎡ ∴ ○ K		計 0.855㎡ ∴ ○ K	

誘導標識（消防認定品）

A  : 通路誘導標識（１１ヶ所）

B  : 避難口誘導標識（８ヶ所）



令第116条の2第1項第1号 【無窓居室の検討】		法第28条第2項 【換気の検討】		令第116条の2第1項第2号 【無窓居室の検討】	
審判員控室（採光の検討）		審判員控室（換気の検討）		審判員控室（採暖の検討）	
A（床面積）= 36.44㎡		A（床面積）= 36.44㎡		A（床面積）= 36.44㎡	
A × 1/20（必要開口面積）= 1.822㎡		A × 1/20（必要開口面積）= 1.822㎡		A × 1/50（必要開口面積）= 0.729㎡	
S（有効開口面積）		S（有効開口面積）		S（有効開口面積）	
AW-1 1.640 × 1.175 × 1 = 2.91		AW-1 0.815 × 1.175 × 1 = 1.45		AW-1 0.822 × 0.775 × 1 = 0.63	
AD-2 2.105 × 2.10 × 1 = 4.42		AD-2 0.920 × 2.10 × 1 = 1.93		AD-2 1.052 × 0.475 × 1 = 0.49	
AD-2 2.105 × 0.475 × 1 = 0.99		AD-2 1.052 × 0.475 × 1 = 0.49			
計 8.32㎡ ∴ ○ K		計 3.87㎡ ∴ ○ K		計 1.12㎡ ∴ ○ K	

令第116条の2第1項第1号 【無意居室の検討】		法第28条第2項 【換気の検討】		令第116条の2第1項第2号 【無意居室の検討】	
ロカール～A～D (換気の検討)		ロカール～A～D (換気の検討)		ロカール～A～D (換気の検討)	
A (床面積) = 39.75㎡		A (床面積) = 39.75㎡		A (床面積) = 39.75㎡	
A × 1/20 (必要開口面積) = 1.988㎡		A × 1/20 (必要開口面積) = 1.988㎡		A × 1/50 (必要開口面積) = 0.795㎡	
S (有効開口面積)		S (有効開口面積)		S (有効開口面積)	
AW-4 0.785 × 0.375 × 2 = 0.90		AW-4 0.785 × 0.375 × 2 = 0.90		AW-4 0.785 × 0.375 × 2 = 0.90	
AD-3 0.98 × 1.175 × 1 = 1.15		AD-3 0.925 × 2.075 × 1 = 1.91		AD-3 2.045 × 0.40 × 1 = 0.81	
AD-3 2.045 × 0.40 × 1 = 0.81		AD-3 2.045 × 0.40 × 1 = 0.81			
計 2.86㎡ ∴ ○K		計 3.62㎡ ∴ ○K		計 1.71㎡ ∴ ○K	

※ 令第114条第3項の小屋裏隔壁については、ただし書き第2号による。
(各室、通路について室内に面する部分の仕上が燃焼材料)

工事名称 国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工
 図面名称 クラブハウス棟 法規チェック図
 縮尺 1:100 (A3-1:200) 図面番号 A-A-141
 DATE _____
 株式会社 KRC
 長野県長野市福田町中央3-33-23 TEL 026-285-7670
 1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号
 1級建築士 第293052号 渡利 真二

スラリー系機械攪拌式深層混合処理工法 特記仕様書（参考）

§ 1. 工法概要

本地業は、スラリー状のセメント系固化材を地中に注入しながら、工法専用共回り防止翼（十字型）を装着した攪拌装置を用いて、原地盤を機械的に混合攪拌し、固化材の化学反応により所要の強度を持つ改良体を築造する工法である。

§ 2. 特記事項

本工事工法は、攪拌能力・攪拌径・品質（変動係数）に対して「建築技術性能認証委員会」にて証明された技術性能証明取得工法とする。
性能証明番号は、「GBRC 性能証明 第08－06号 改4」である。
また、事前にその証明書を管理者に提出し、認証を得ることとする。

§ 3. 一般事項

・本地業は、本特記仕様書によるほか、
「改訂版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」
（平成14年11月30日 財団法人 日本建築センター、以下指針という）による。

＜1＞施工業者

本工事の施工業者は、地盤改良工法の施工技術及び計測装置の取扱いに精通したもので、工法協会に所属する指定施工会社とする。

＜2＞設計変更

コラム径、掘削深度（改良長+空堀長）、本数配置等は、設計図書による。ただし、コラムの径・長さ・本数・位置及びセメントスラリーの配合等について土質や地盤状況により変更した方が適切と判断される場合は、監督員の承認の上に変更することができる。

§ 4. コラム仕様

＜1＞設計基準強度

コラムの設計基準強度はFc= 1000 kN/㎡とする。

＜2＞固化材

固化材の配合は、原則として、改良部分の検査対象土を採取し、3種類以上の添加量にて室内配合試験を行い試験結果と配合強度を基に添加量を決定する。
※使用する固化材は、六価クロム等の土壌環境基準に適合することを確認する。

＜3＞配合強度

配合強度Xfは、設計基準強度Fcと変動係数・採取ヶ所数により割増係数αtを用いて、次式による。 $Xf = \alpha t \times Fc$

割増係数αtは、合格率80%とした下表による。

採取箇所数	N	1	2	3	4～6	7～8	9～
変動係数 V _c	25%	2.163	1.918	1.815	1.719	1.651	1.594
	30%	2.597	2.240	2.095	1.961	1.869	1.792
	35%	3.160	2.649	2.448	2.265	2.140	2.037

＜4＞室内配合強度

室内配合強度Xiは、配合強度Xfを現場/室内強度比αfiで除して、次式による。 $Xi = Xf / \alpha fi$ （αfi=0.7）

Xi 3339 kN/㎡

＜5＞固化材液の配合

固化材添加量	350	kg/㎡
水 / 固化材比	60	%

§ 5. 施工仕様

- ① 施工サイクル : 1サイクル
② 羽根切り回数 : 450回/㎡以上
③ 掘進、引き抜き速度 : 1㎡/分以下
④ 固化材スラリーの吐出量 : 固化材の配合、貫入速度、羽根切り回数
求まる値以上

§ 6. 品質管理

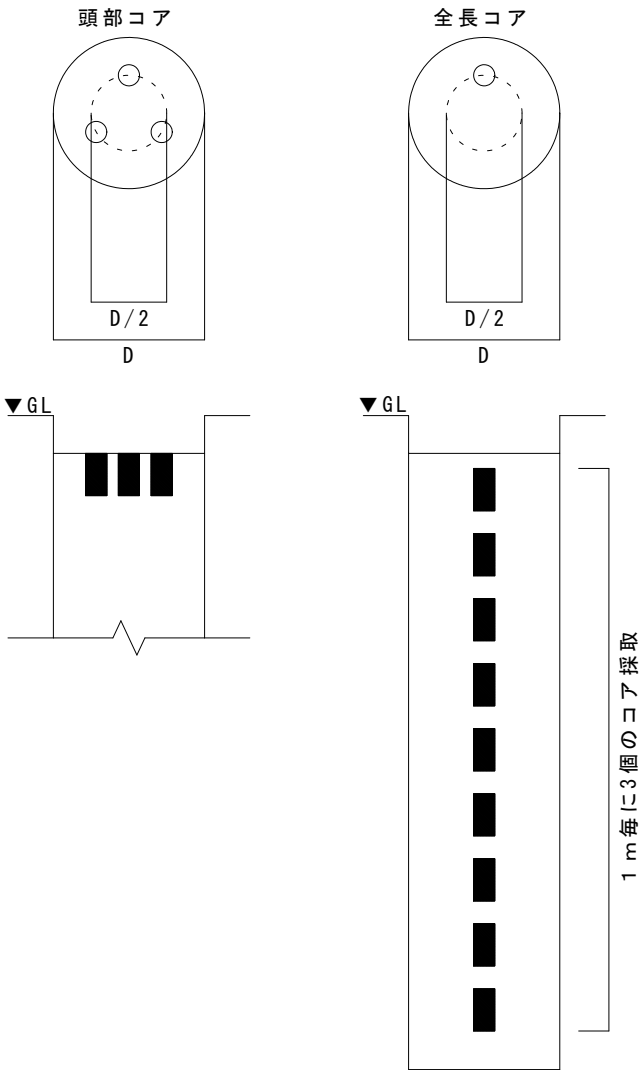
＜1＞調査ヶ所（検査対象層に対して）

- ① 検査対象層は（粘性土）であり設計対象層を（粘性土）とする。
② 検査手法は強度のバラツキを想定する場合は検査手法Aによる。
③ 調査ヶ所数（検査対象群に対して）

検査手法A	頭部コア試験	3	箇所
	全長コア試験	3	箇所

※頭部コアは、1箇所当たり3個のコア採取を標準とする。
※全長コアは、1㎡当たり3個のコアを採取を標準とする。

＜2＞採取位置



＜3＞ボーリングコア採取率（連続性の確認）

コア採取率は、全長に対して砂質土系で95%以上、粘性土系で90%以上とし、1㎡当りのコア採取率は、砂質土系で、90%以上、粘性土系で85%以上とする。（塩ビ管などを代用する場合もある）

＜4＞可否の判定

- ① 設計対象層についての抜取ヶ所をNとする。1箇所あたり3個の供試体を採取し、強度をその箇所の強度とする。
② 一軸圧縮試験は第三者で行うものとする。
③ 検査手法Aによる品質検査
可否の判定は設計対象層におけるNヶ所（抜取ヶ所数）の一軸圧縮試験結果が、下式を満足する場合を合格と判定する。

$$XN \geq XL = Fc + Ka \cdot \sigma d = Fc + Ka [Fc \cdot Vd / (1 - 1.3Vd)]$$

XN: Nヶ所の一軸圧縮強度の平均値

XL: 合格判定値

XL 1741 kN/㎡

Fc: 設計基準強度

Ka: 合格判定係数

σd: 標準偏差

Vd: 変動係数、品質確認書より想定する。

合格判定係数

抜取りヶ所数 N	1	2	3	4～6	7～8	9～
合格判定係数 Ka	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3

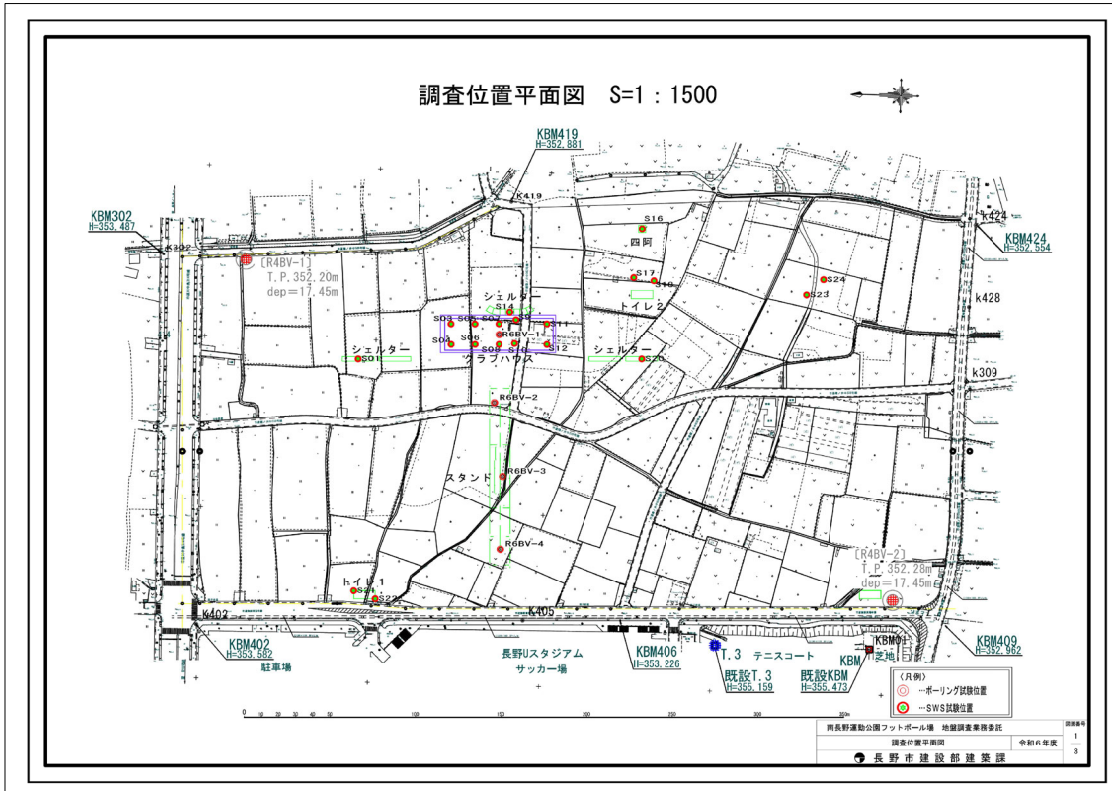
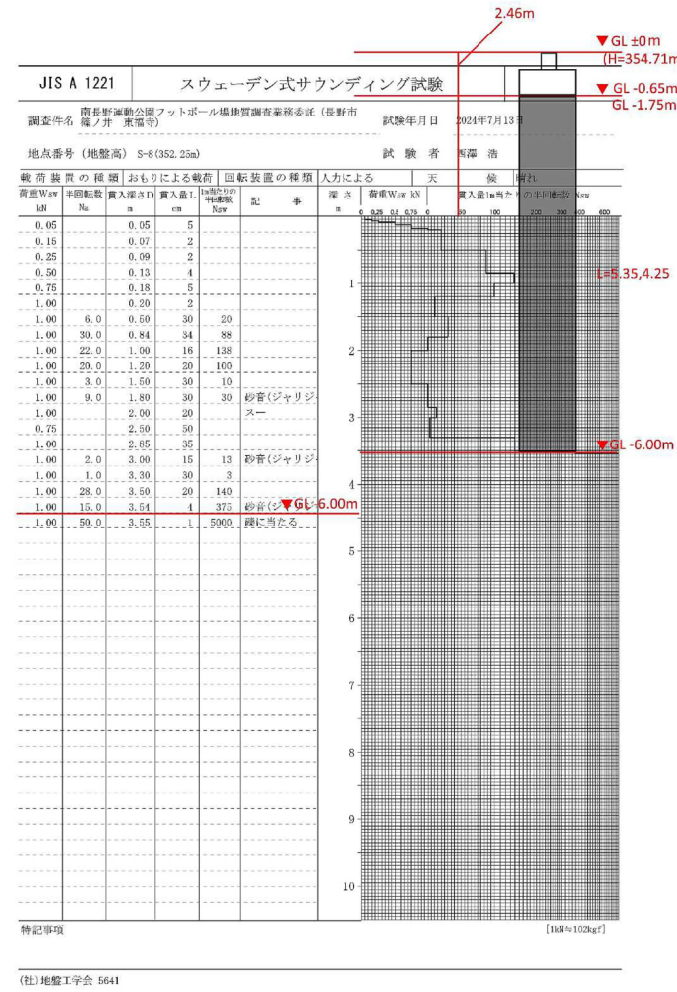
＜5＞未固化改良体の比抵抗測定

施工直後の改良体の攪拌混合状況を把握するために、比抵抗の深度方向の分布を測定する。
検査数量は、1検査対象層群毎に1箇所以上かつ、50コラム毎に1箇所以上とする。

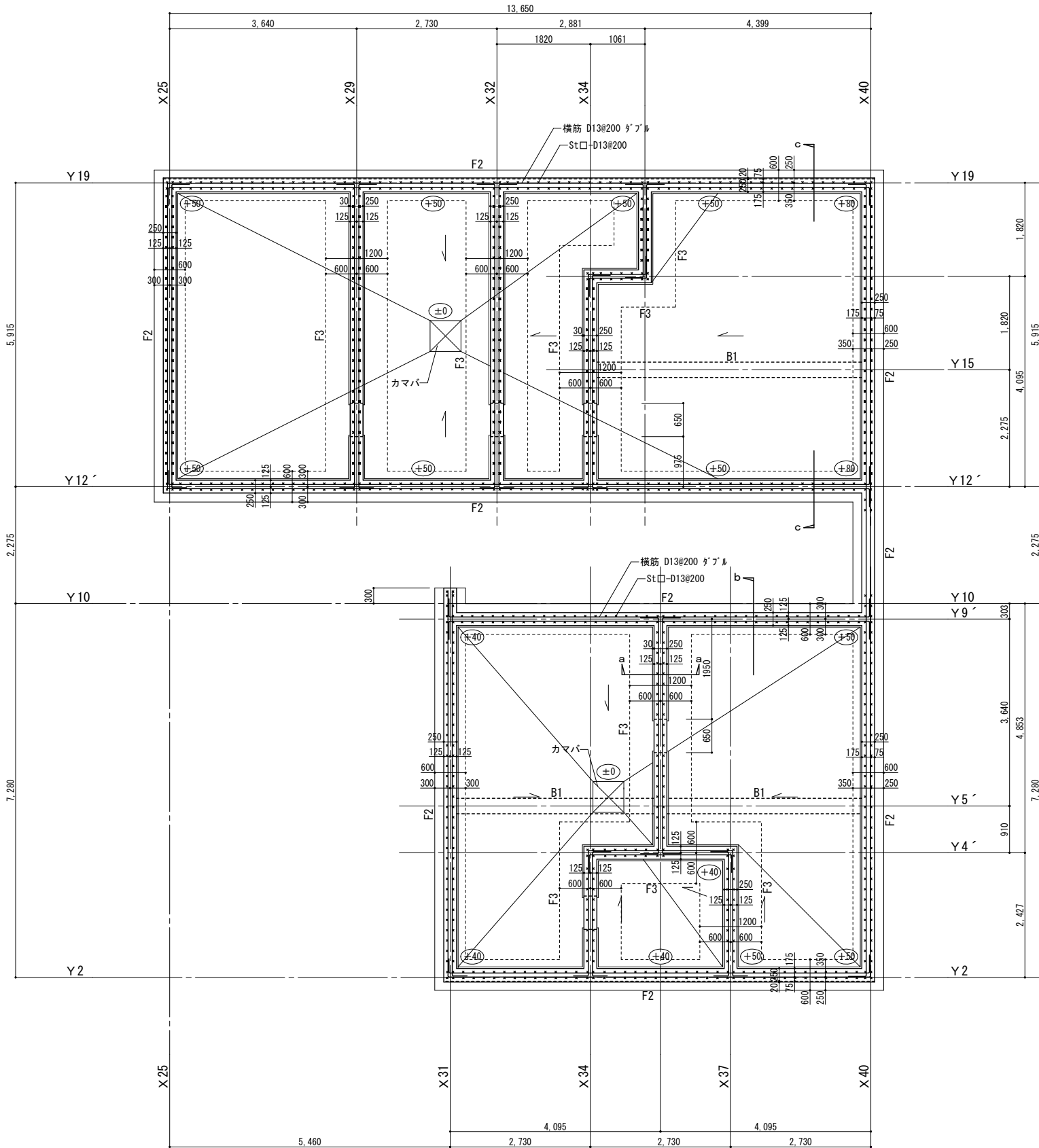
比抵抗測定 6 箇所

工法	スラリー系機械攪拌式深層混合処理工法			
設計基準強度	Fc= 1000 KN/㎡			
コラム径 (mm)	掘削長 (m)	改良長 (m)	空堀長 (m)	本数 (本)
600	6.00	5.35	0.65	221
600	6.00	4.15	1.85	81
合計				302

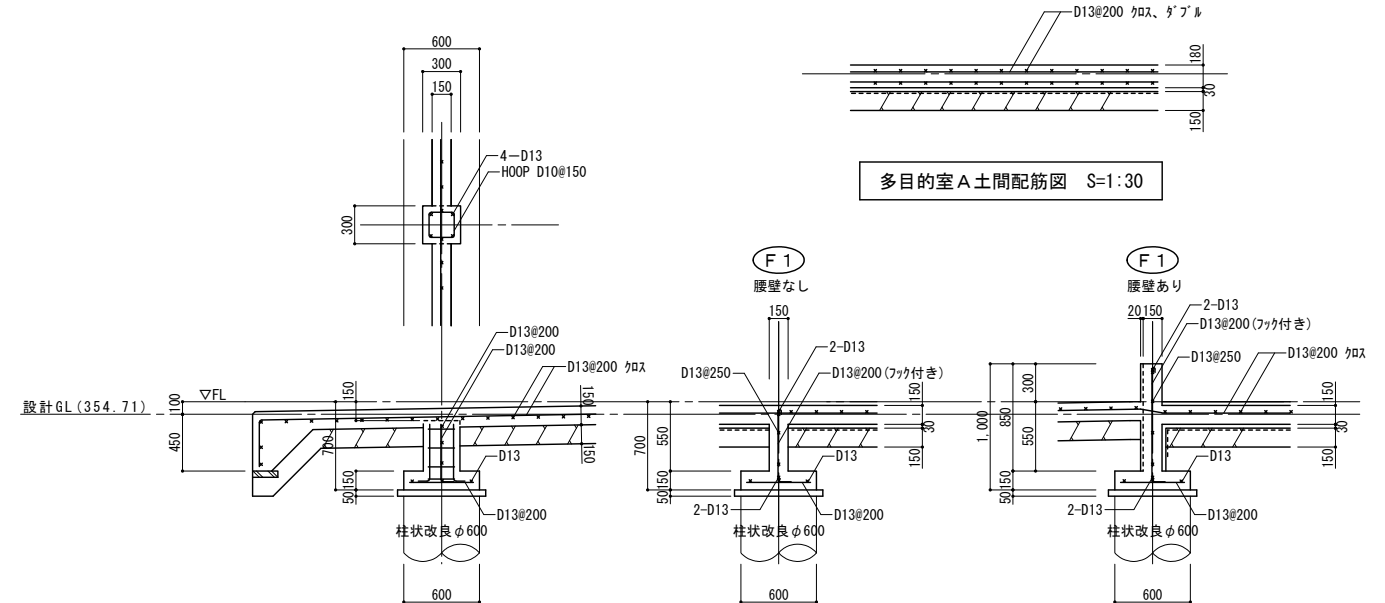
ボーリング柱状図

[illegible]

工事名称	国権 南長野運動公園フットボール場ハウス外建築工事体工事		
図面名称	クラブハウス 柱状図		
縮 尺	NON	図面番号	S-103
		DATE	
株 式 会 社 K R C			
長野県長野市稲垣町中央3-33-23		TEL 026-285-7670	
1級建築士事務所	長野県知事登録 1級建築士	計 画 75251号 第293052号	渡 利 真 二
構造設計 1級建築士	第258663号 第 1977号	山 崎 高 夫	



ピット平面配筋図 S=1:50

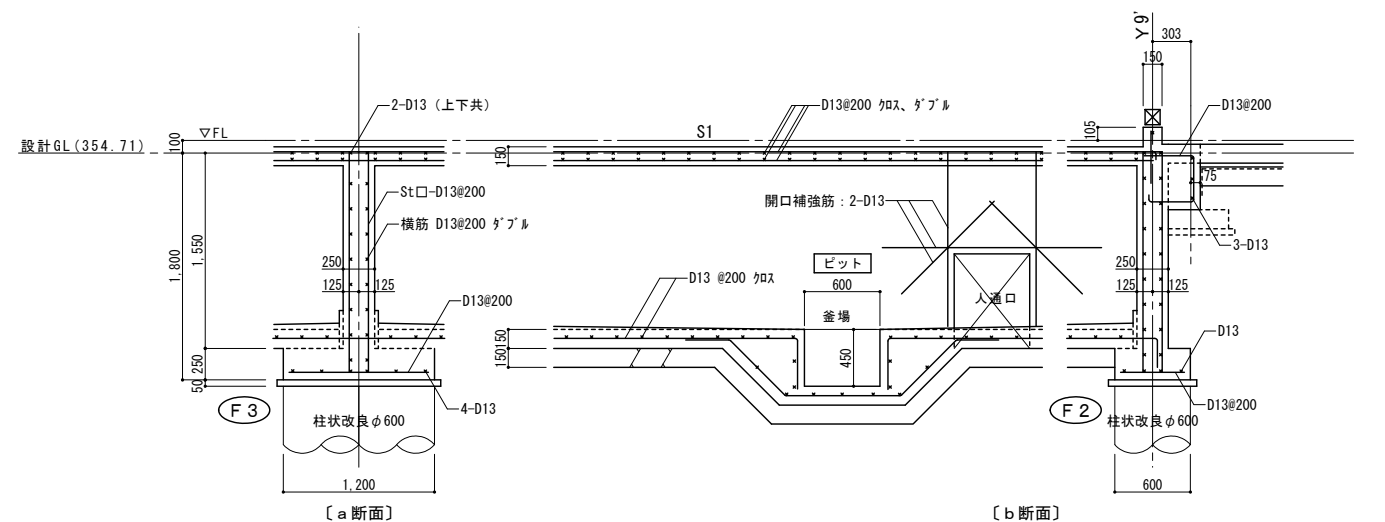


多目的室A土間配筋図 S=1:30

独立基礎配筋図 S=1:30

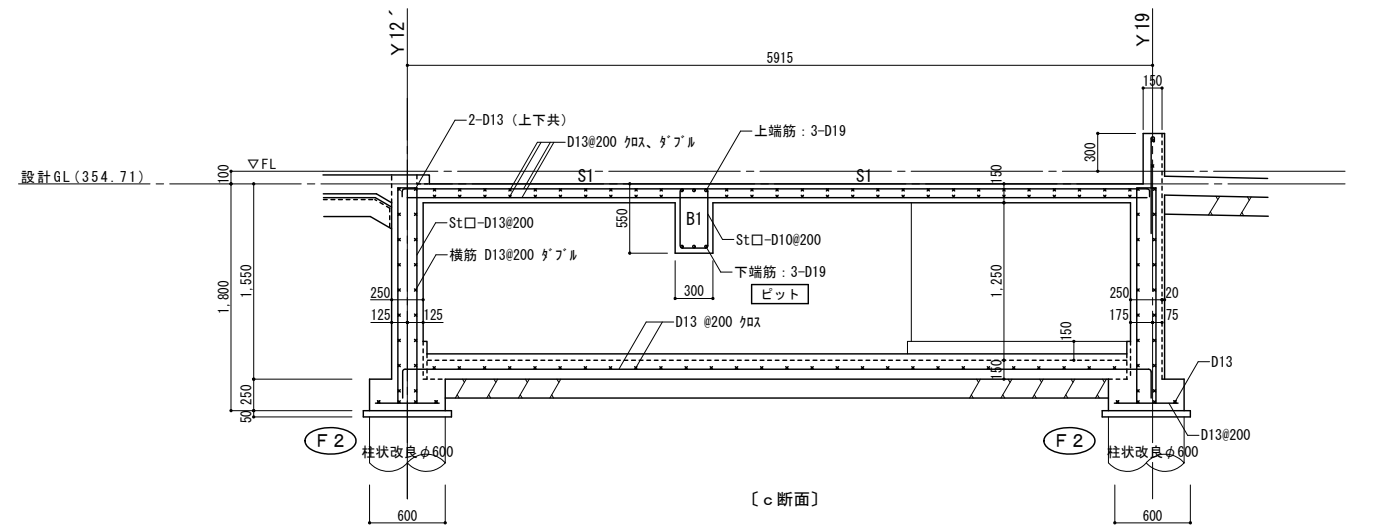
土間下布基礎配筋図 S=1:30

一般布基礎配筋図 S=1:30



【a断面】

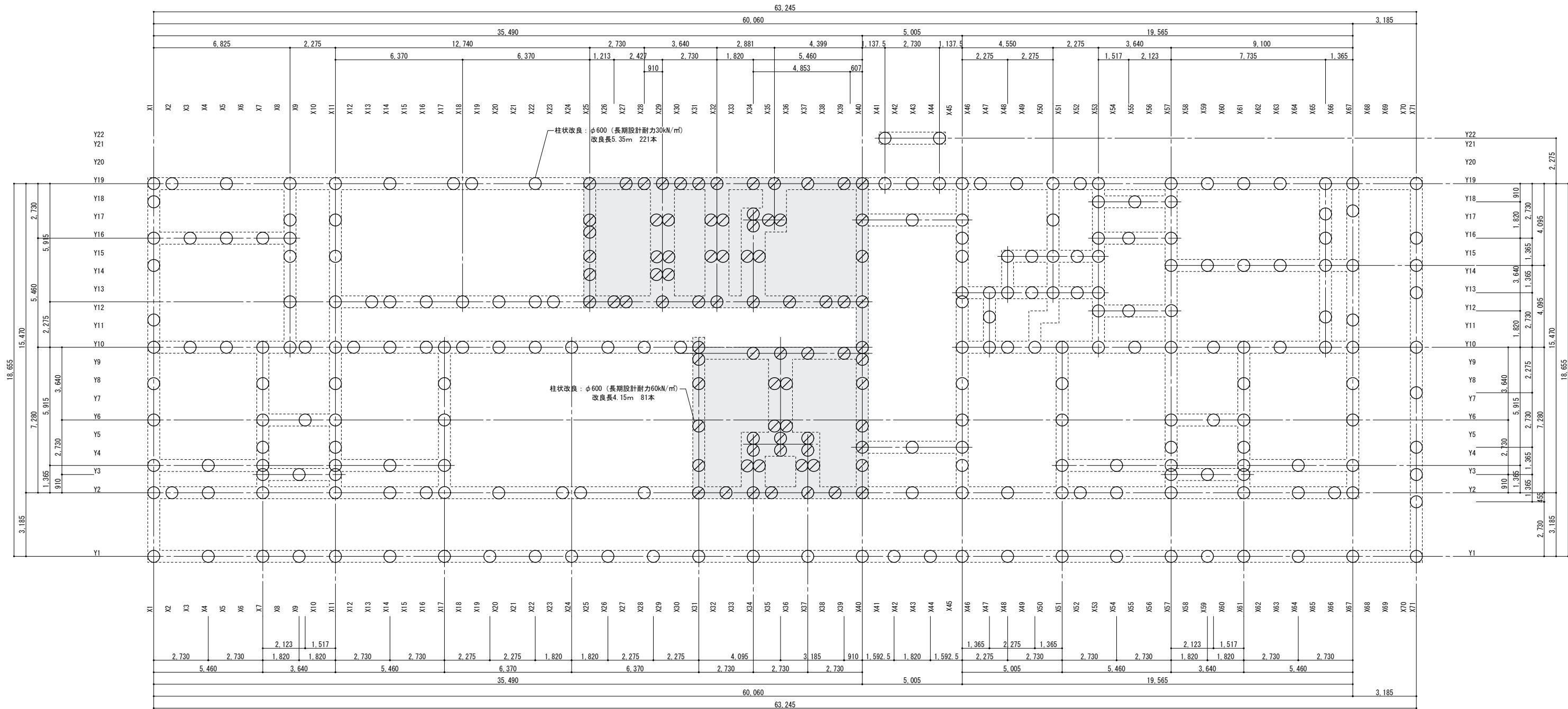
【b断面】

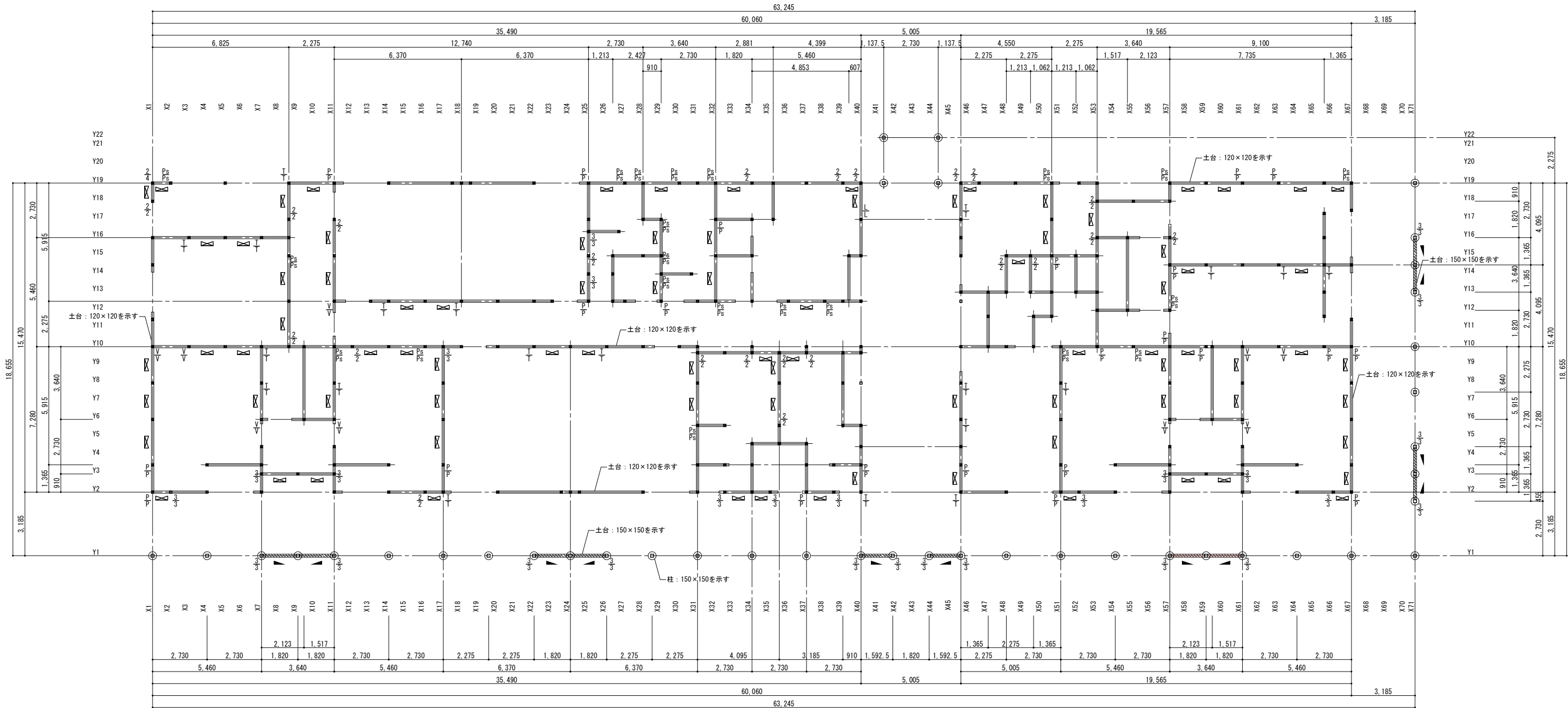


【c断面】

ピット配筋図 S=1:30

コンクリート : Fc=21
鉄筋 : SD295A



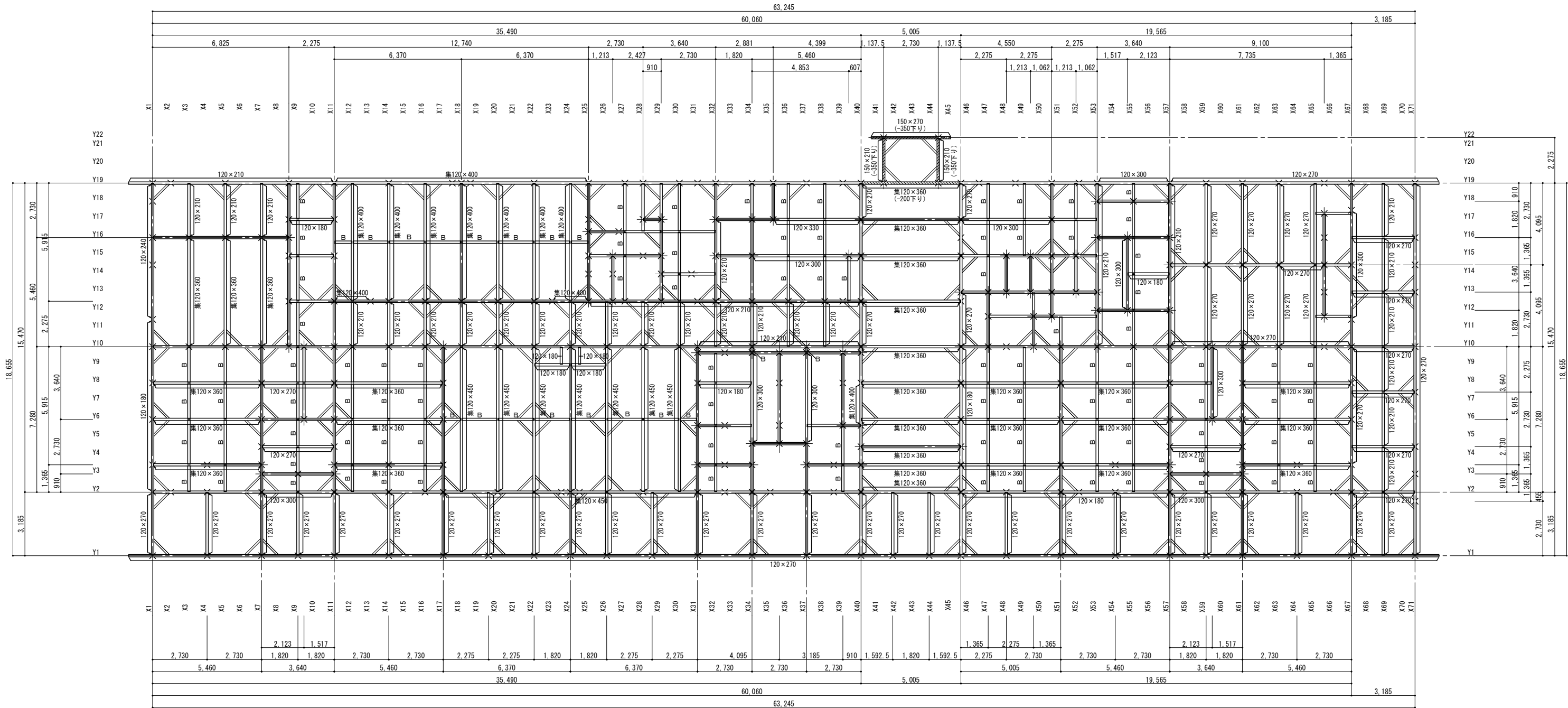


■凡例・特記事項

	柱 : 杉 120×120 (λ=75.06)
	柱 : 杉 150×150 (λ=60.04)
	土 台 : 檜 120×120
	土 台 : 檜 150×150
	筋違イ : 杉 90×45 たすき掛け (筋違プレート : BP-2 同等以上)
	筋違イ : 杉 90×90 シングル (ボルトφ12)
	柱頭・柱脚接合部金物記号 (上段 : 柱頭・下段 : 柱脚) ※仕様は金物表による
・木材はKD材とする。	
・間柱は杉とする。	

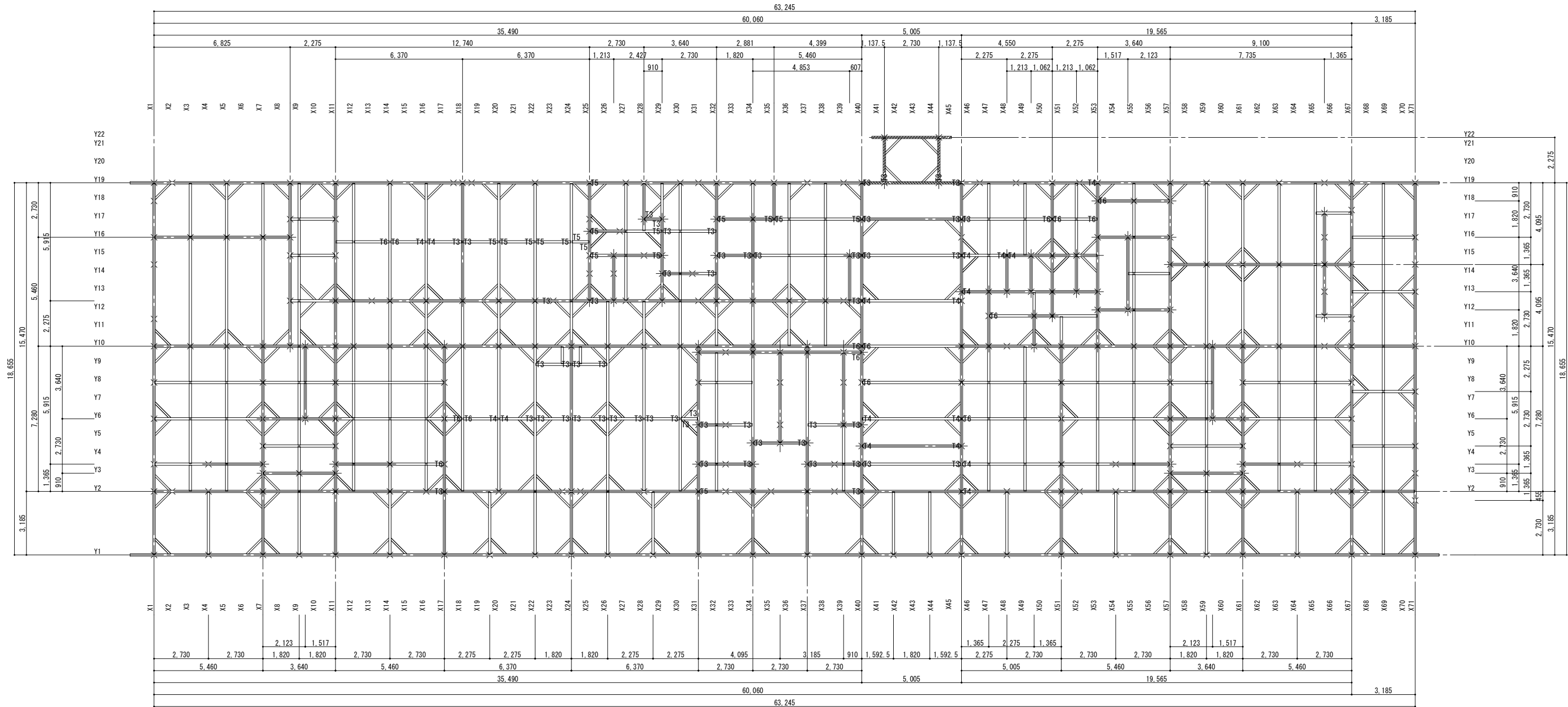
■柱頭・柱脚接合部金物表

記号	仕 様	倍率	Ta(kN)
L	C P - L	0.65	3.38
T	C P - T	1.00	5.07
V	山形プレート	1.00	5.88
P	羽子板ボルト	1.40	7.50
Ps	スクリュー釘併用羽子板ボルト	1.60	8.50
2	10kN 引き寄せ金物	1.80	10.00
3	15kN 引き寄せ金物	2.80	15.00
4	20kN 引き寄せ金物	3.70	20.00
・柱頭、柱脚金物は指定記号の耐力と同等以上の金物を取付とする。			
・独立柱は120口、150口用の柱脚金物（既製金物）を使用する。			



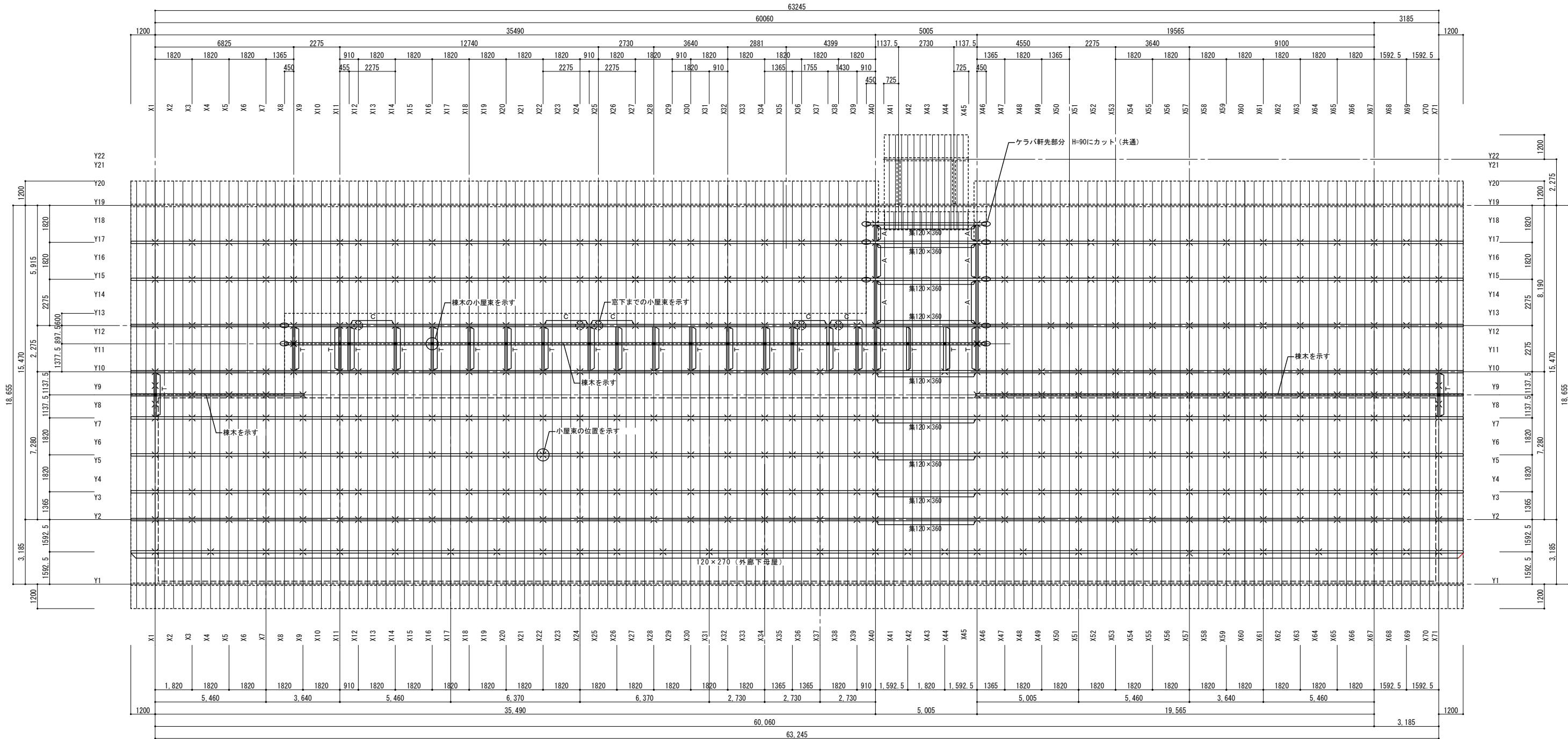
■凡例・特記事項

梁	：唐松 特記なき部材は [120×150] とする
	■材は [120×120] とする
	「集」表記の梁材は、米松集成材 (E135—F375) とする
火打梁	：唐松 90×90
○	：柱の位置を示す
	・木材はKD材とする。



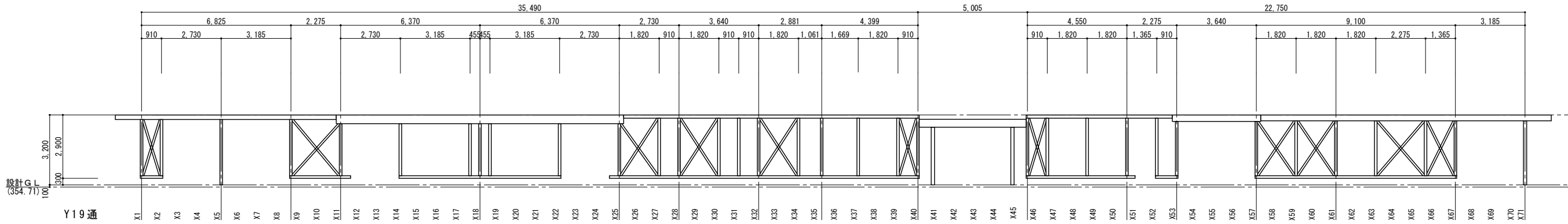
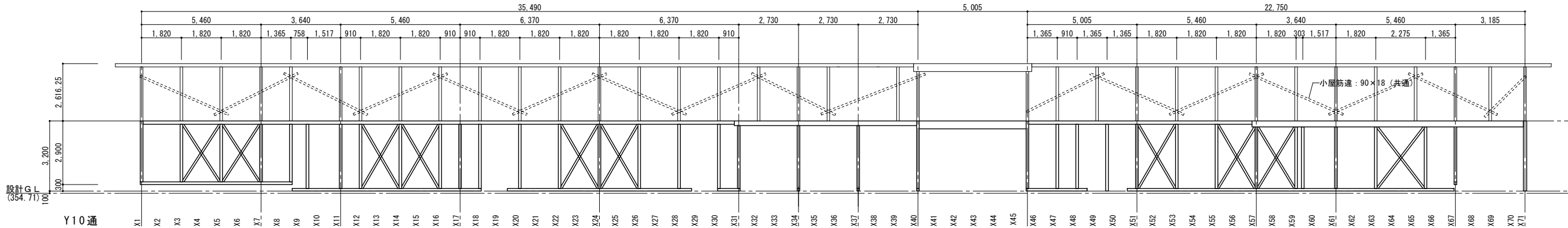
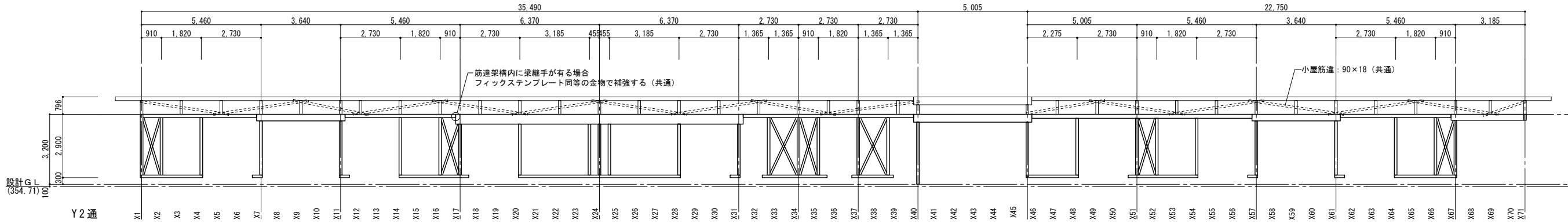
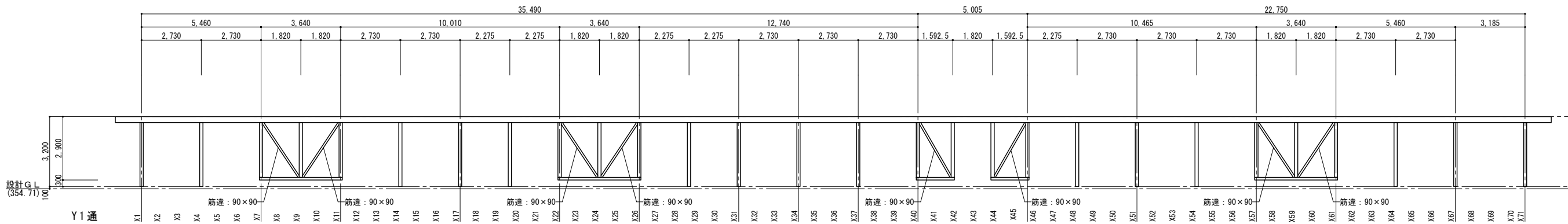
■横架材接合部仕様

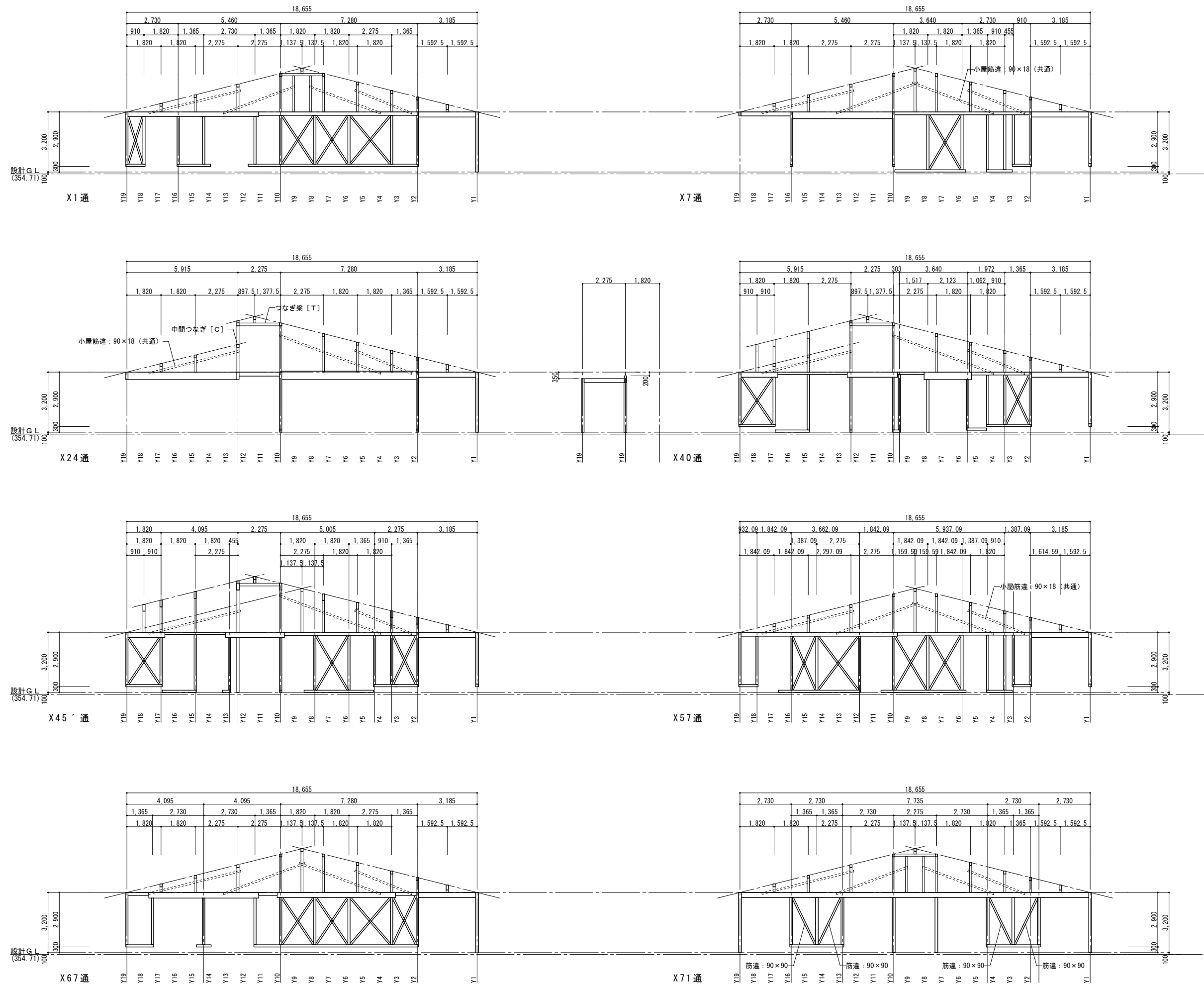
記号	仕 様	Ta (kN)
T1	かたぎ大入れ短ほぞ差し、かね折り金物 SAまたは羽子板ボルト	7.50
T3	かたぎ大入れ短ほぞ差し、15kN引き寄せ金物 HD-B15	15.00
T4	大入り蟻掛け、羽子板ボルト	10.10
T5	大入り蟻掛け、羽子板ボルト×2	15.90
T6	かたぎ大入れ短ほぞ差し、短冊金物S、スクリュー釘	8.50
・特記なき横架材接合部は、〔T1〕とする		
・横架材接合部は指定記号の耐力と同等以上の耐力の仕様・金物とする。		



■凡例・特記事項

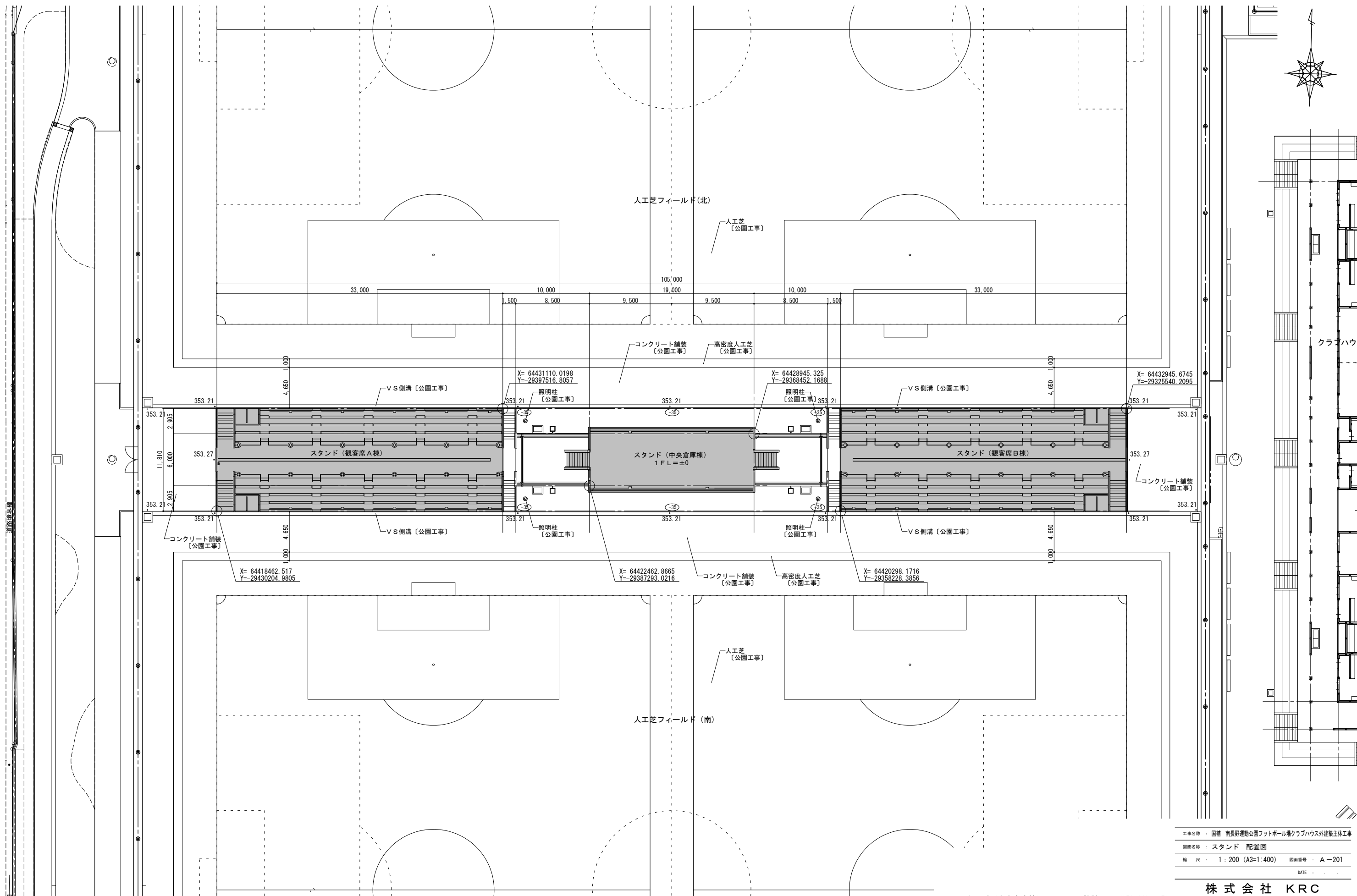
母 屋	: 唐松 120×150 (特記なき母屋 共通)
棟 木	: 唐松 120×150 (特記なき棟木 共通)
つなぎ梁	: 唐松 120×150 (〔T〕表記箇所)
頭つなぎ	: 唐松 120×150 (〔A〕表記箇所)
中間つなぎ	: 唐松 120×150 (〔C〕表記箇所)
小 屋 束	: 杉 120×120 (共通)
タ ル キ	: 唐松 105×105/2 @455
タ ル キ	: 唐松 105×105/2 @303 (ポーチ屋根)
⌈ ⌋	: 太陽光パネル設置可能範囲
・木材はKＤ材とする。	
・母屋の「集」表記は、米松集成材を表す。	
・タルキ間に転び止め (45×60程度) を取付とする。(ポーチ屋根を除く)	
・構造用合板は、N50 @150以下でタルキに留め付けとする。	





■特記事項

・特記なき筋違は、90×45 たすき掛けとする。

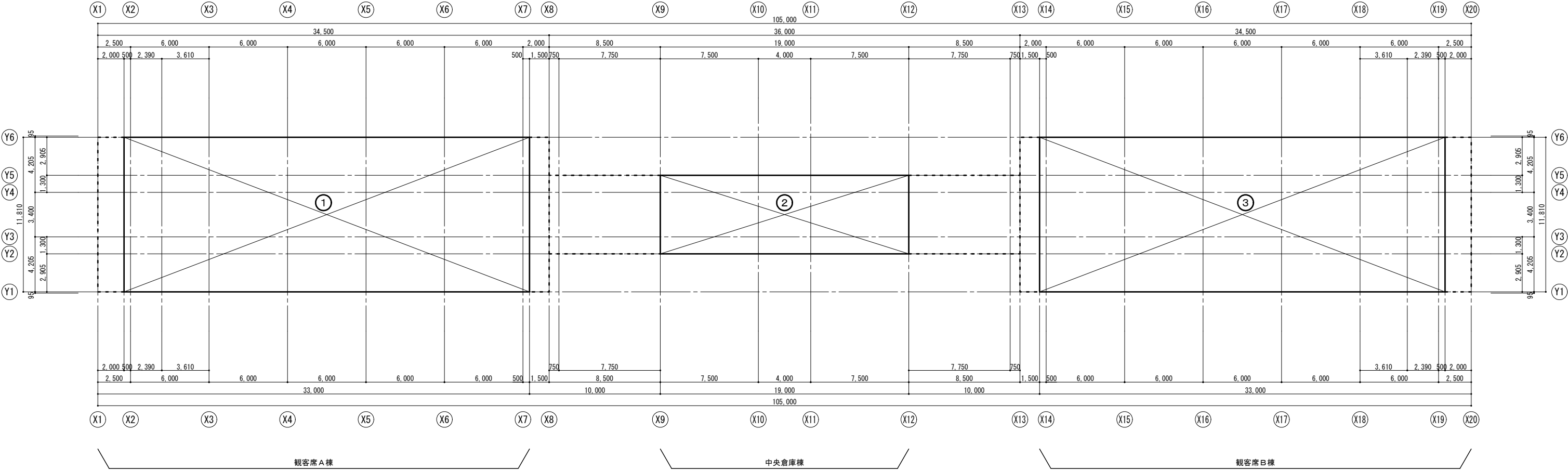


工事名称	国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事		
図面名称	スタンド 配置図		
縮 尺	1 : 200 (A3=1:400)	図面番号	A-201
DATE			

株 式 会 社 K R C

長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670
1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号
1級建築士 第293052号 渡利 真二

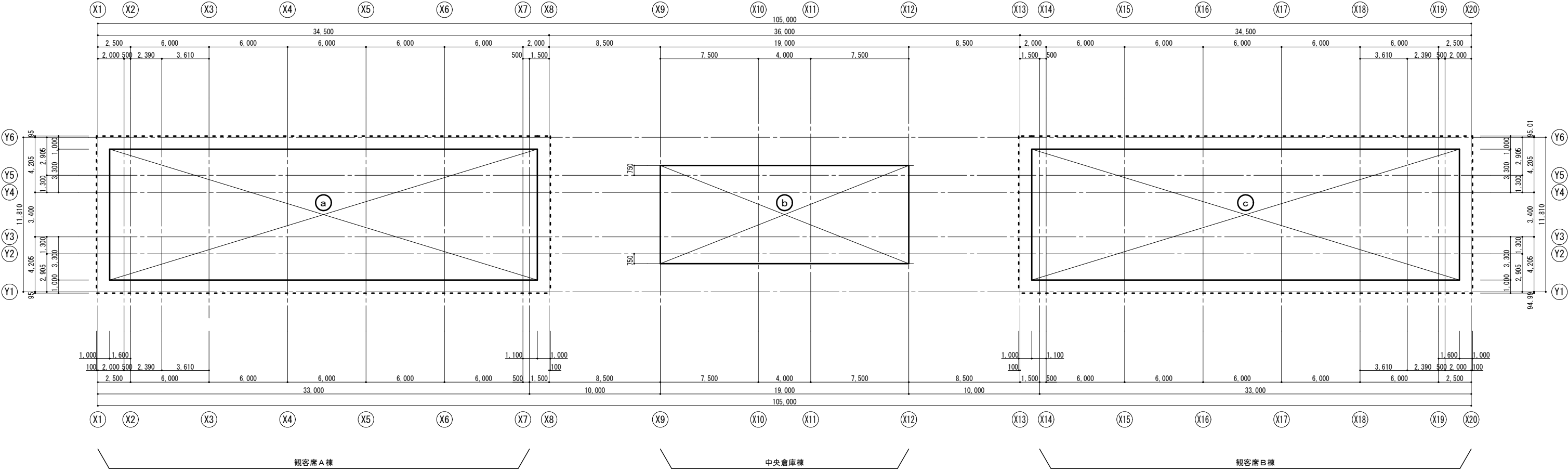
※スタンド (中央倉庫棟) 1 F L=設計G L (353.21) +50
※ ○内の数値は、1 F Lからのレベルを示す
※スタンド周囲の外構工事は全て公園工事とする



観客席A棟 1階床面積表			
	計 算 式 (㎡)		
①	31.000 × 11.810	=	366.11
1 階床面積			366.11

中央倉庫棟 1階床面積			
	計 算 式 (㎡)		
②	19.000 × 6.000	=	114.000
1 階床面積			114.00

観客席B棟 1階床面積表			
	計 算 式 (㎡)		
③	31.000 × 11.810	=	366.11
1 階床面積			366.11



観客席A棟 建築面積表			
	計 算 式 (㎡)		
(a)	32.700 × 10.000	=	327.00
	建築面積		327.00

中央倉庫棟 建築面積			
	計 算 式 (㎡)		
(b)	19.000 × 7.500	=	142.50
	建築面積		142.50

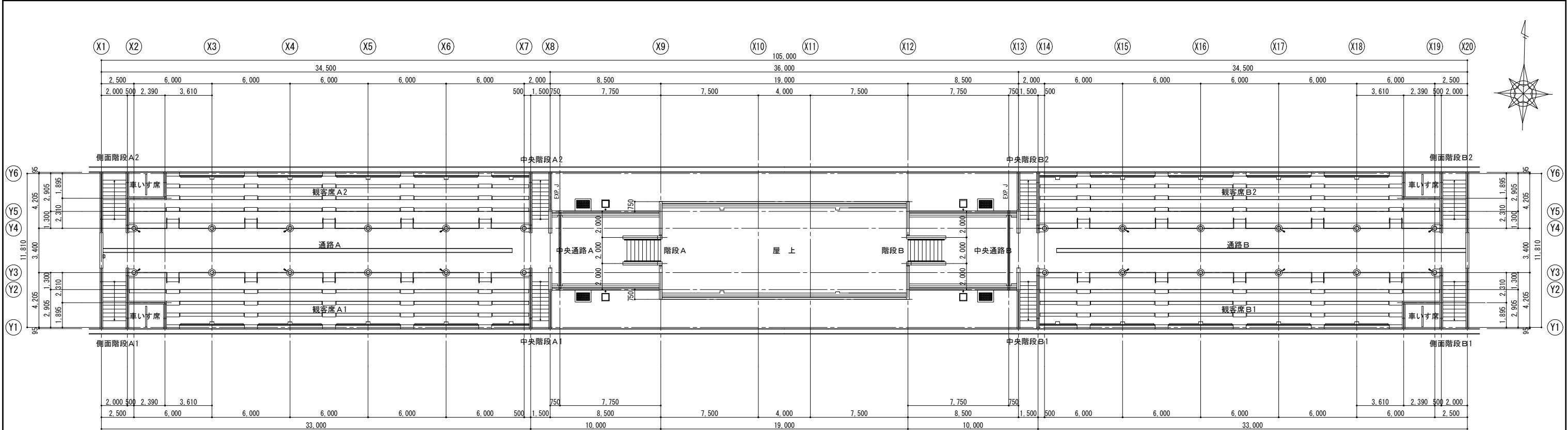
観客席B棟 建築面積表			
	計 算 式 (㎡)		
(c)	32.700 × 10.000	=	327.00
	建築面積		327.00

■ 外 部 仕 上 表			
屋 根	カラーガルバリウム鋼板 t 0.6 折板葺キ H=90 ハゼタイプ（裏貼りなし）	観客席 A・B	床 : コンクリート金ゴテ仕上 中通路: コンクリート金ゴテ 刷毛引き仕上 手摺壁: コンクリート打放シ（天端共）
軒 天	折版表し 梁型: 鉄骨表し 溶融亜鉛メッキ処理		手 摺: スチール製 溶融亜鉛メッキ処理 座 席: アルミ合金製
外 壁	コンクリート打放シ 光触媒防汚コート 一部天端: カラーアルミ製笠木 柱型: 鉄骨表し 溶融亜鉛メッキ処理	車いす席 A・B	床 : コンクリート金ゴテ仕上 白線引き 手摺壁: コンクリート打放シ（天端共）
建 具	スチール製建具 軽量スチールシャッター		手 摺: スチール製 溶融亜鉛メッキ処理
軒樋・竖樋	軒樋: 耐候性樹脂被覆鋼板 竖樋: アルミ押出成型管（カラー） メンテナンス用スライド管	通路 A・B	床 : コンクリート金ゴテ 刷毛引き仕上 柱型: 鉄骨表し 溶融亜鉛メッキ処理
屋 上	床 : コンクリート金ゴテ ウレタン塗膜防水（防滑仕様） 手摺取付部立上り: コンクリート打放シ ウレタン塗膜防水（天端共）		柱型根巻き: コンクリート打放シ（天端共） 手 摺: スチール製 溶融亜鉛メッキ処理
	手摺壁: コンクリート打放シ 光触媒防汚コート 天端: カラーアルミ製笠木 手 摺: スチール製 溶融亜鉛メッキ処理	側面階段 A・B	床 : コンクリート金ゴテ仕上 ノンスリップ目地 手摺壁: コンクリート打放シ（天端共） 一部天端: カラーアルミ製笠木
中央通路 A・B	床 : コンクリート金ゴテ 刷毛引き仕上 壁面: コンクリート打放シ 光触媒防汚コート		手摺壁（外側）: コンクリート打放シ 光触媒防汚コート（カラー） 手 摺: スチール製 溶融亜鉛メッキ処理
	手摺取付部立上り: コンクリート打放シ（天端共） 手 摺: スチール製 溶融亜鉛メッキ処理	中央階段 A・B	床 : コンクリート金ゴテ仕上 ノンスリップ目地 手摺壁: コンクリート打放シ（天端共） 一部天端: カラーアルミ製笠木
階段 A・B	床 : モルタル金ゴテ ウレタン塗膜防水（防滑仕様） 手摺壁: コンクリート打放シ 光触媒防汚コート 天端: カラーアルミ製笠木		手摺壁（外側）: コンクリート打放シ 光触媒防汚コート（カラー） 手 摺: スチール製 溶融亜鉛メッキ処理
	手 摺: スチール製 溶融亜鉛メッキ処理	土 間	コンクリート金ゴテ仕上

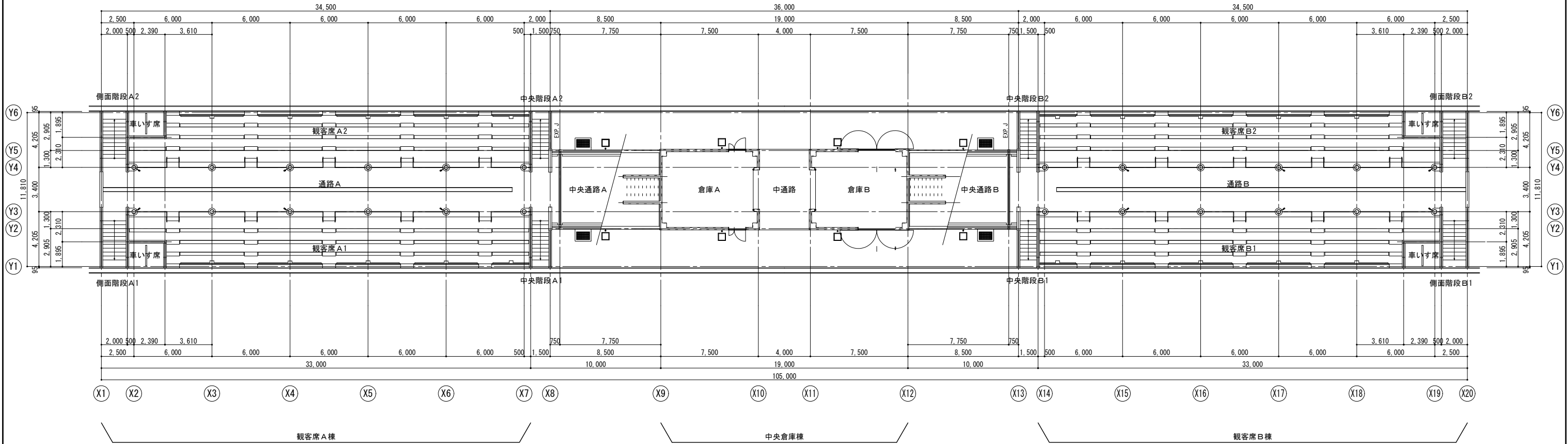
■ 特 記 仕 様	
1. コンクリート打増し	外部に面する部分は、特記なき限り打増し t =20とする。 コンクリートの出隅部分は、面木を使用とする。
2. 仕上仕様	ウレタン塗膜防水は指定色とする。 光触媒防汚コートは指定色とする。
3. 竖樋仕様	竖樋はバンドレス仕様とし、受金具は下記とする。 ・ R C 部: 高強度支持金具 ・ 鉄骨部: センターブラケット金具
4. EXP. J金物仕様	床 用: ステンレス製 クリアランス50用（既製品） 外壁用: アルミ製 クリアランス50用（既製品）
5. 多目的スリーブ仕様	室外側: ステンレス製 100φ用 キャップ: 室内側取外しタイプ 室内側: 樹脂製 100φ用
6. その他	消火器ボックスは、ステンレス製とし、屋外用・壁掛タイプとする。

■ 共 通 事 項	
1. 凡 例	カラーガルバリウム鋼板: ポリエステル樹脂塗装溶融溶融55%アルミニウムー亜鉛合金めっき鋼板 光触媒防汚コート: 無機質系全光型光触媒防汚コート

■ 内 部 仕 上 表												
室 名	床 高	床		巾 木		壁		天 井		廻り縁	天井高	備 考 ※〔 〕内は、機械設備工事を表す
		下 地	仕 上	仕 上	H	下 地	仕 上	下 地	仕 上			
倉庫 A	±0～+20	――	コンクリート金ゴテ 防塵塗床	床材立上げ	100	――	コンクリート打放シ	――	コンクリート打放シ	――	――	室名札
倉庫 B	±0～+20	――	コンクリート金ゴテ 防塵塗床	床材立上げ	100	――	コンクリート打放シ	――	コンクリート打放シ	――	――	多目的スリーブ 室名札
中通路	±0～+20	――	コンクリート金ゴテ仕上	――	――	――	コンクリート打放シ 光触媒防汚コート	――	コンクリート打放シ 光触媒防汚コート	――	――	

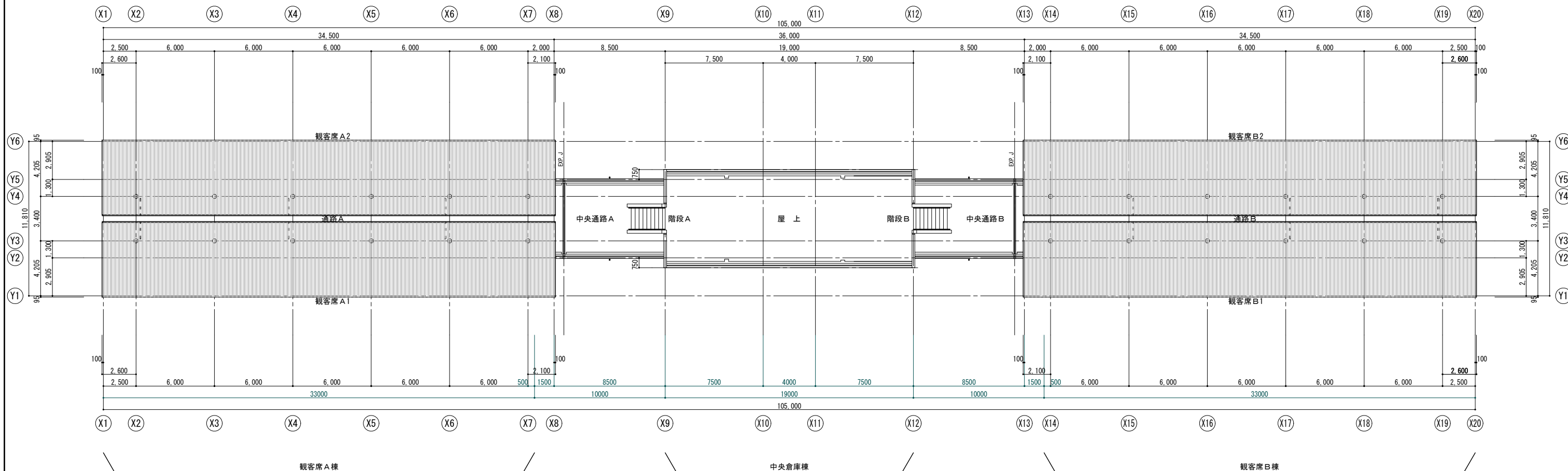
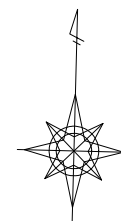


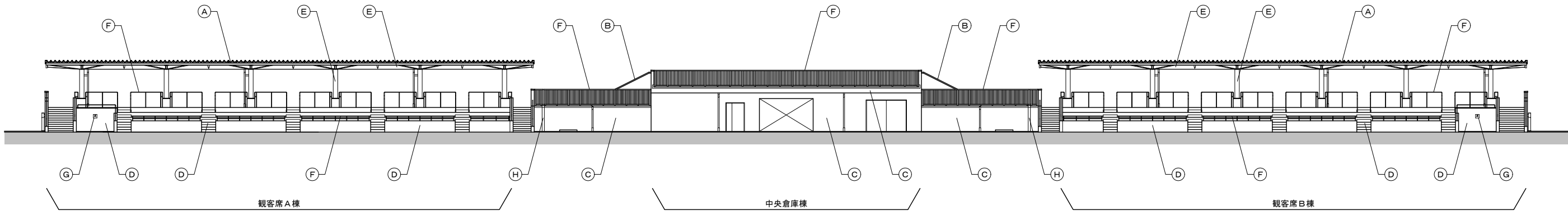
屋上平面図



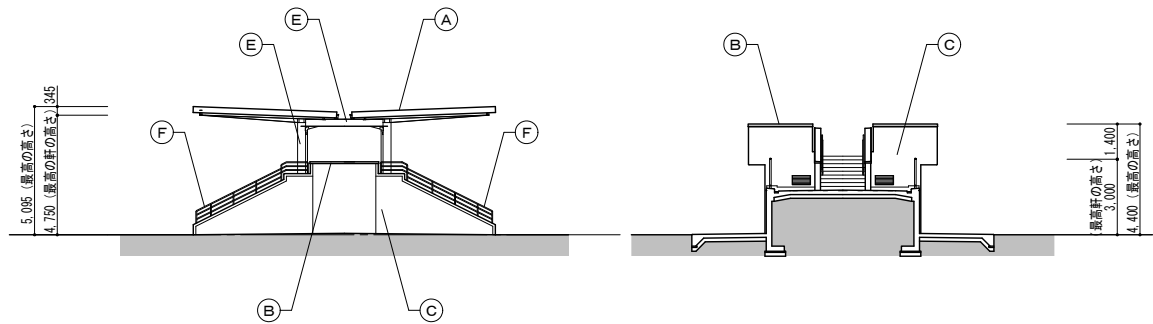
1 階平面図

※倉庫は危険物の貯蔵は行わない。
※観客席の使用建材は規制対象外の建材とする。





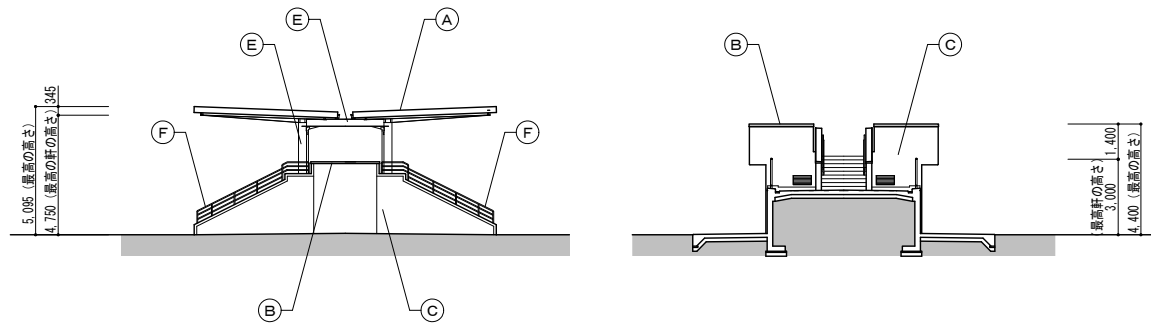
南側立面図



観客席B棟

中央倉庫棟

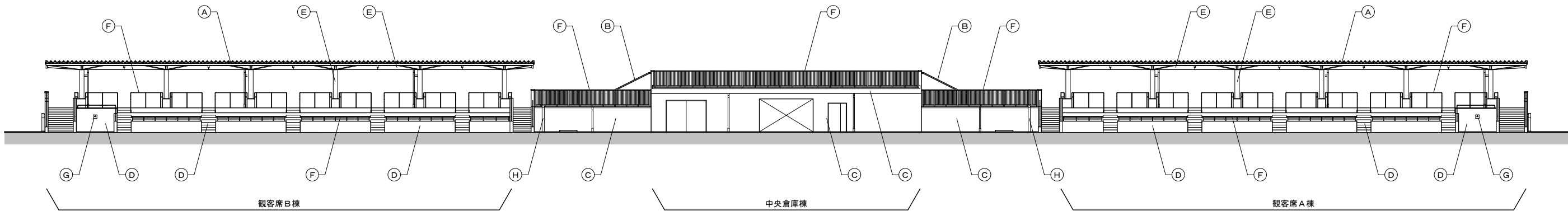
東側立面図



観客席A棟

中央倉庫棟

西側立面図



北側立面図

外部仕上凡例

(A)	カラーガルバリウム鋼板 t0.6 折板葺き H=90 ハゼタイプ (裏貼りなし)
(B)	カラーアルミ製笠木
(C)	コンクリート打放シ 光触媒防汚コート
(D)	コンクリート打放シ
(E)	鉄部表シ 溶融亜鉛メッキ処理
(F)	スチール製手摺
(G)	サイン表示 (部分詳細図 参照)
(H)	E X P. J 金物 : アルミ製

工事名称 : 国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事

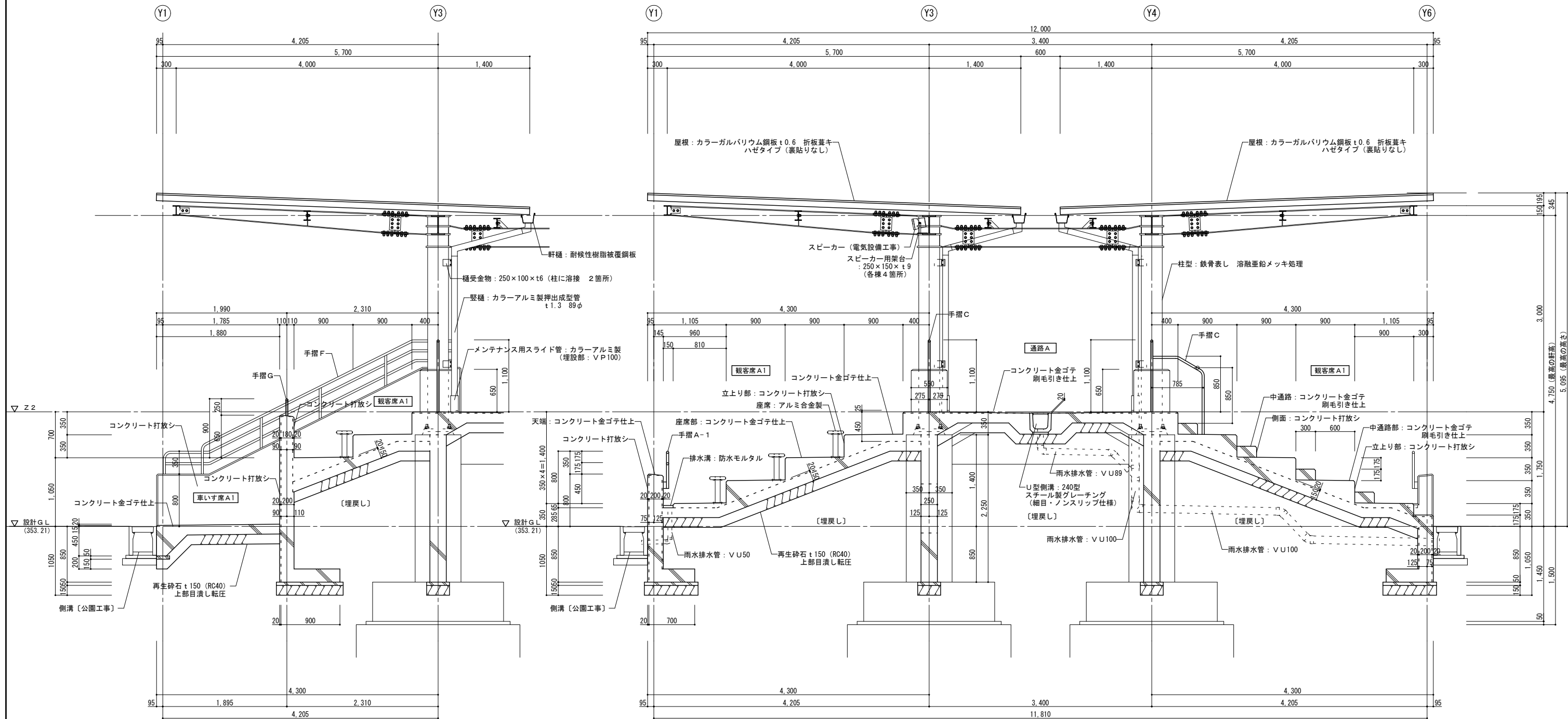
図面名称 : スタンド 立面図

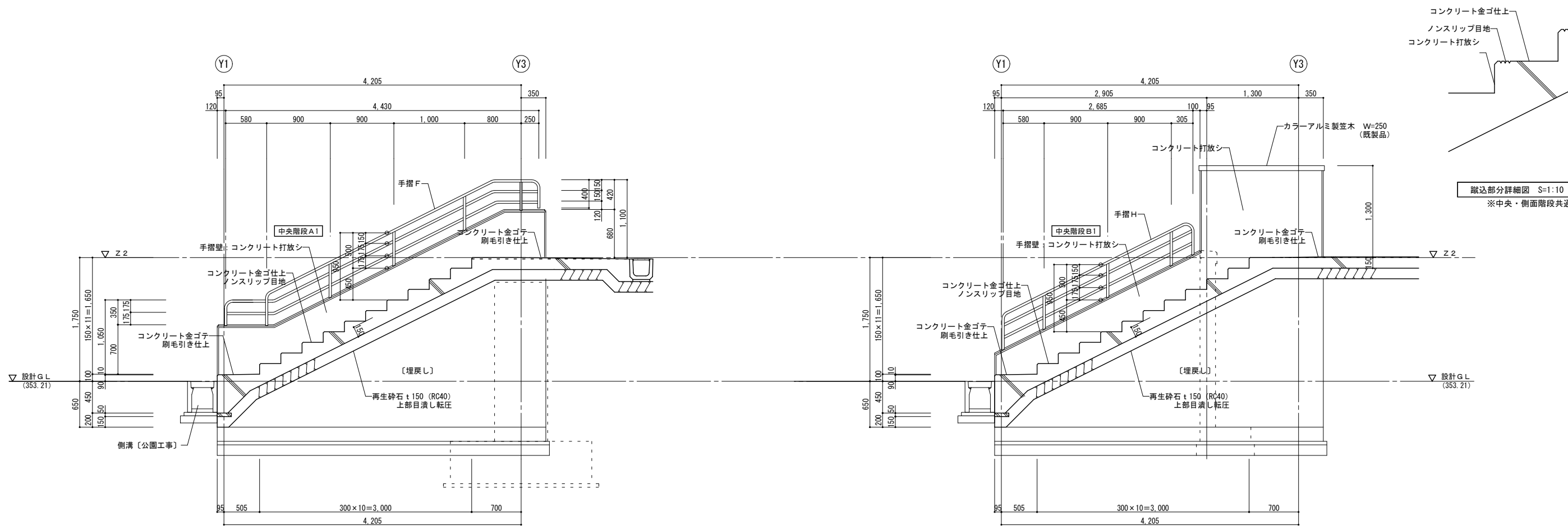
縮尺 : 1 : 150 (A3=1:300) 図面番号 : A-207

DATE : . . .

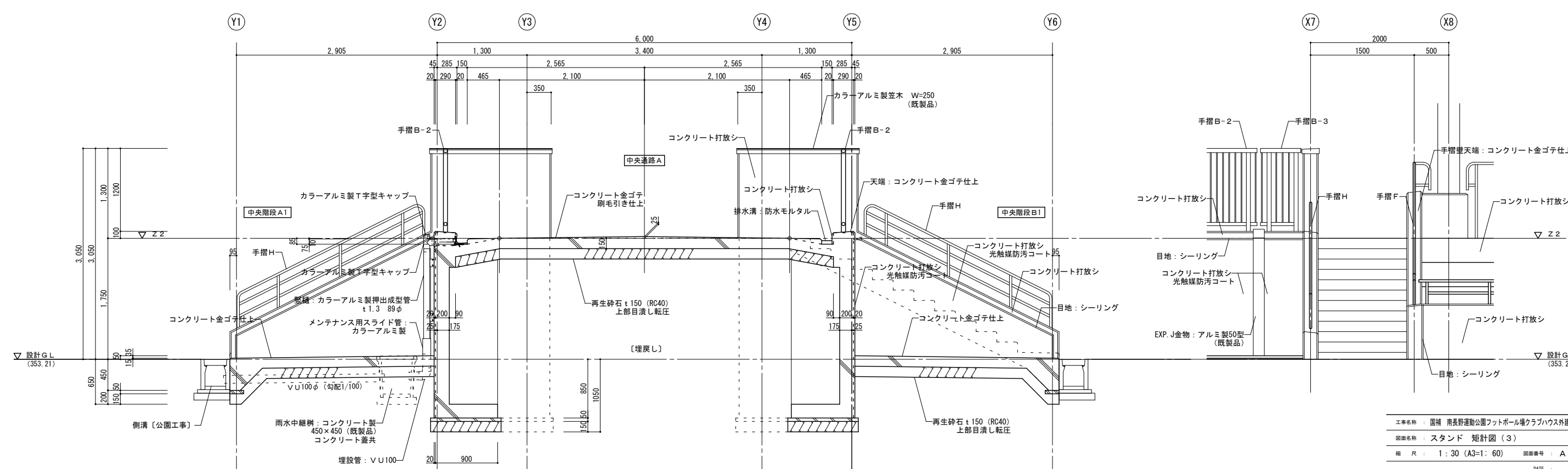
株式会社 KRC

長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670
1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号
1級建築士 第293052号 渡利 真二

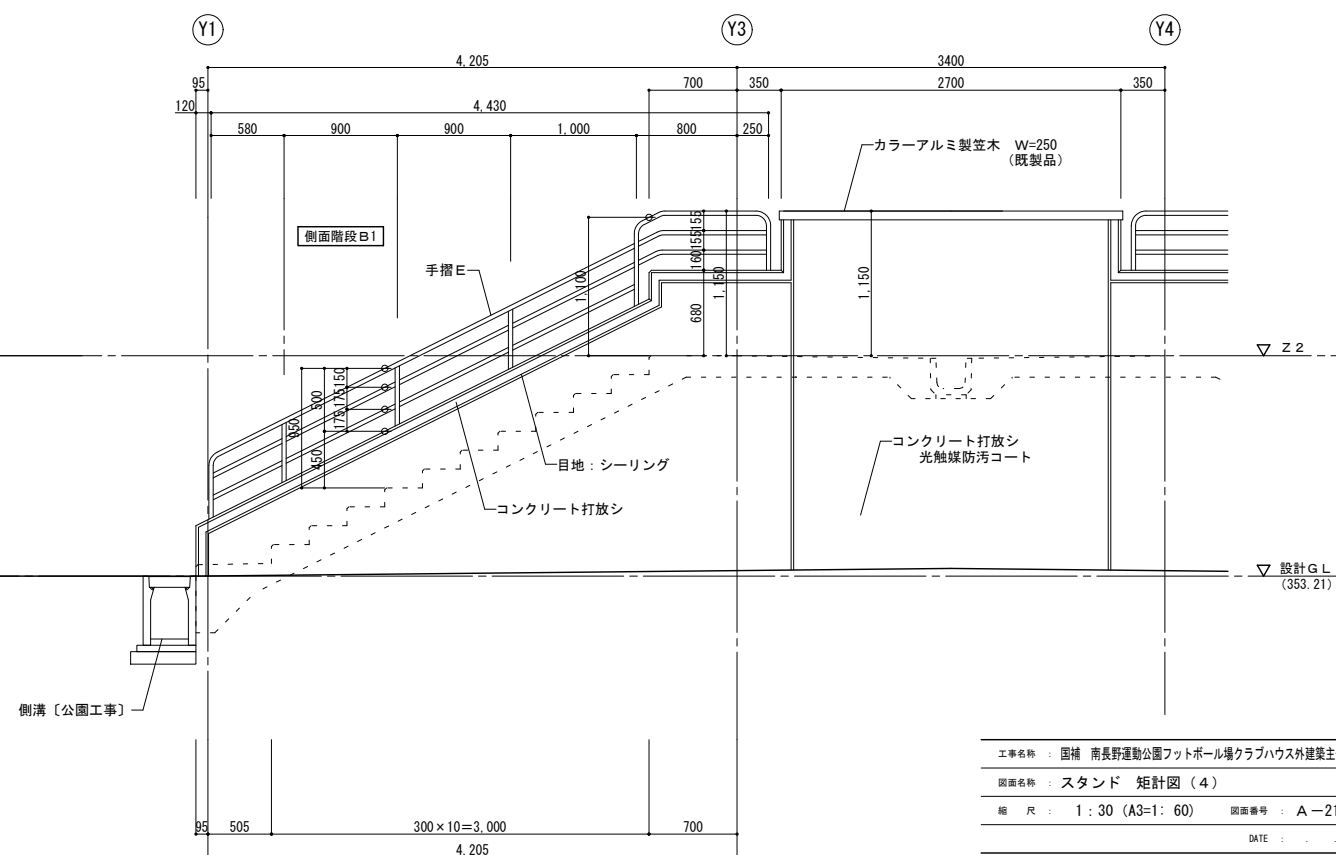
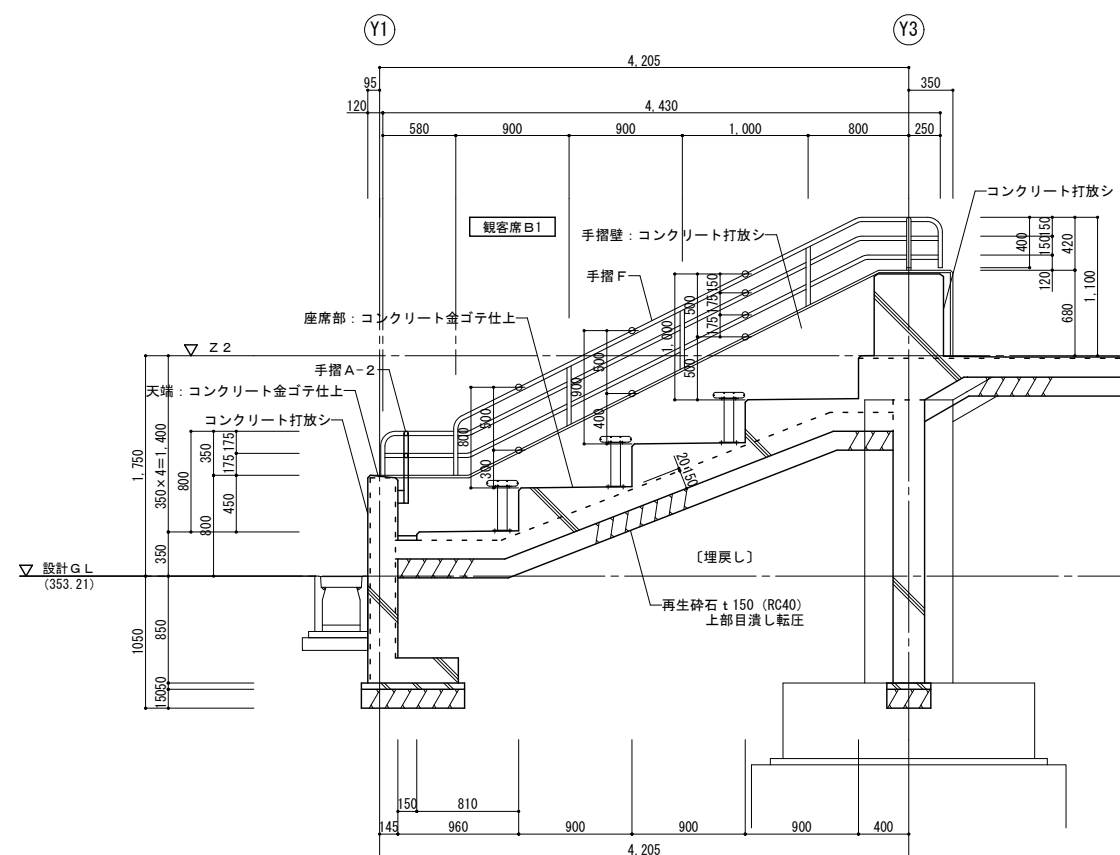
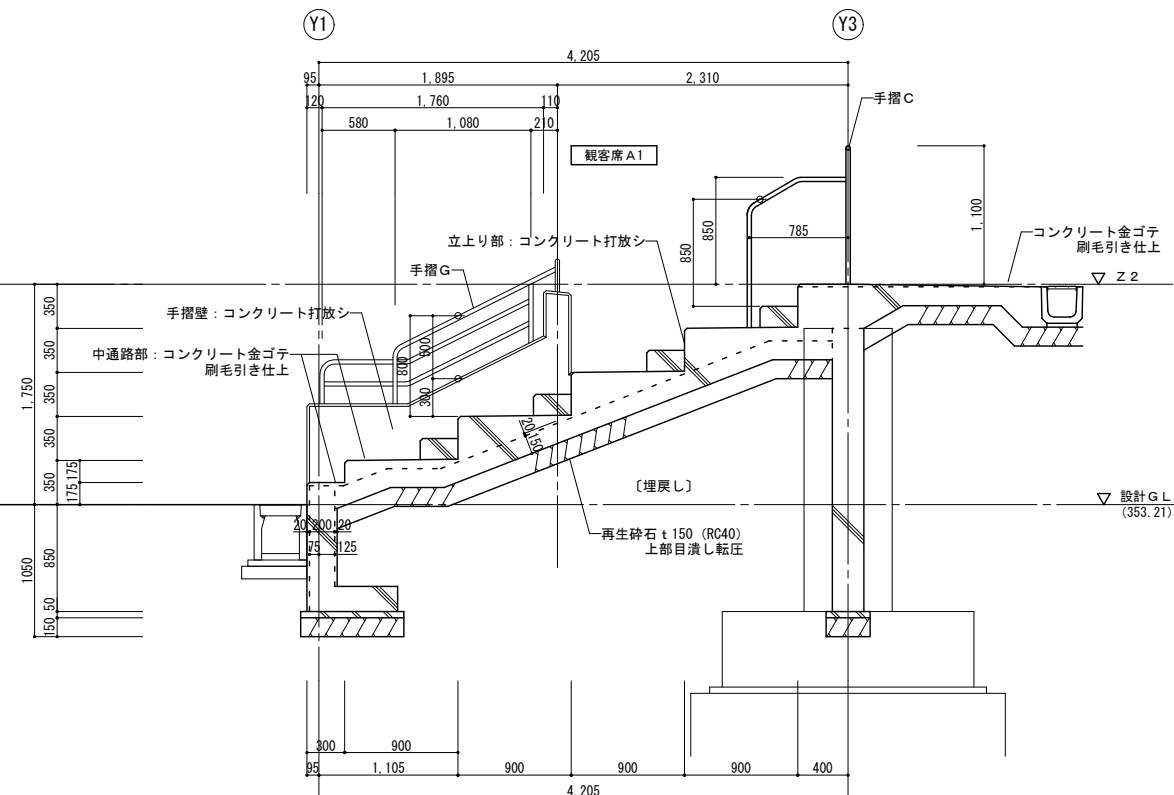
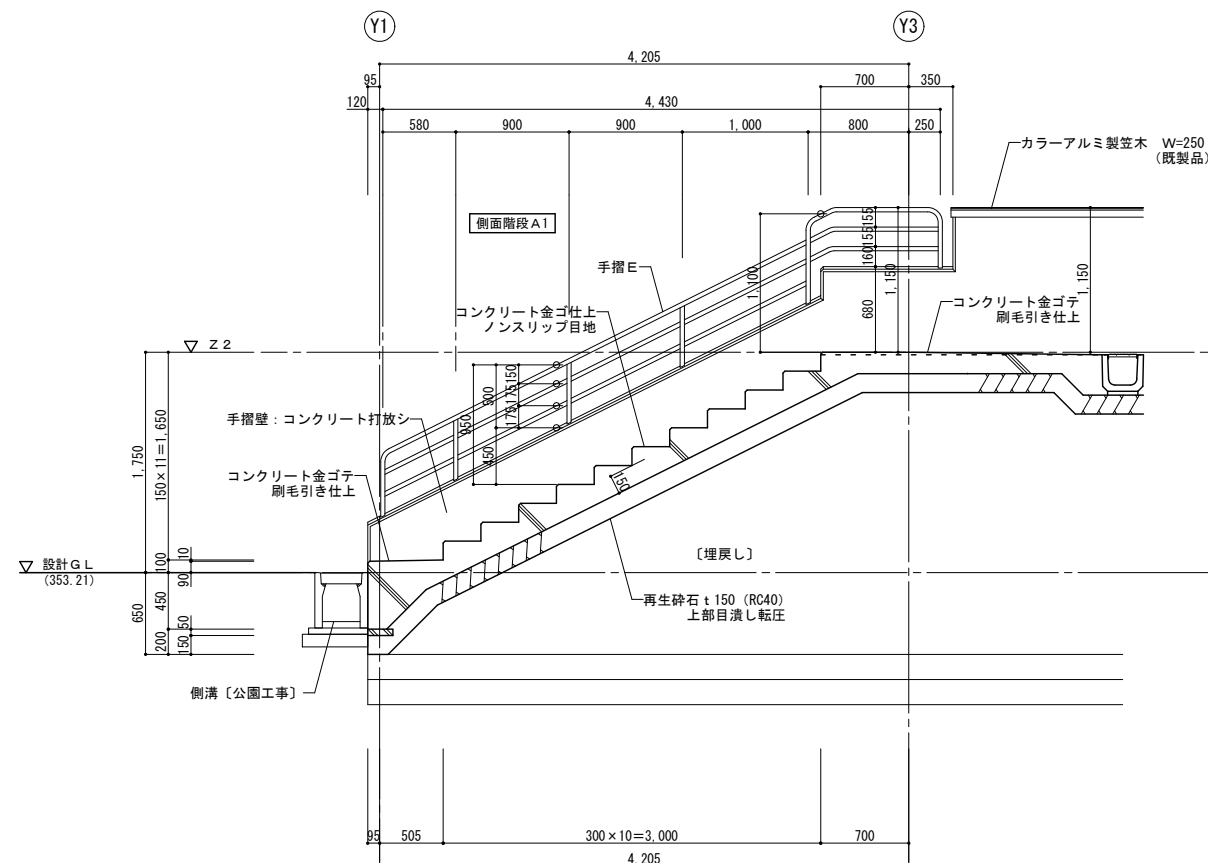


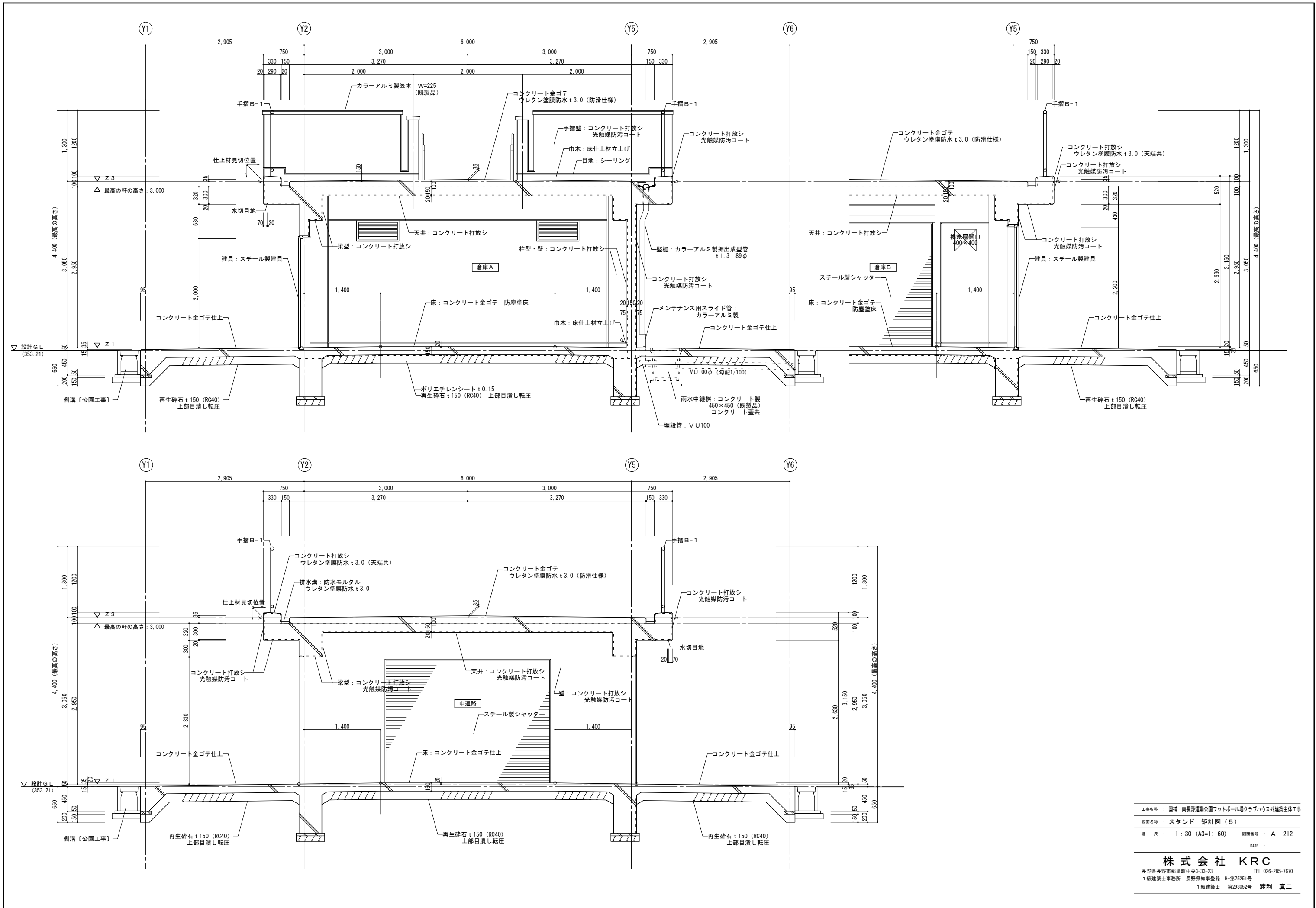


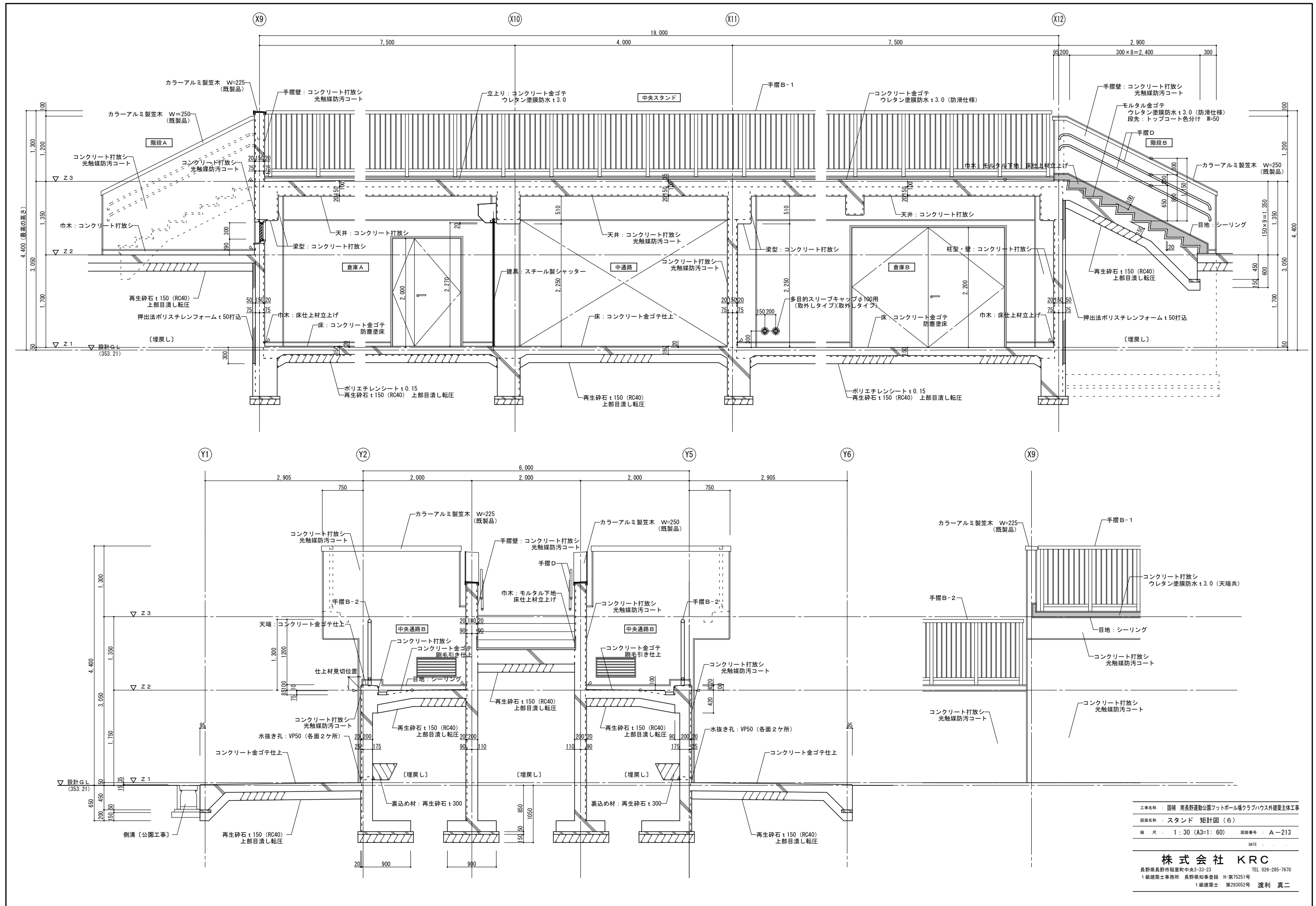
蹴込部分詳細図 S=1:10
※中央・側面階段共通

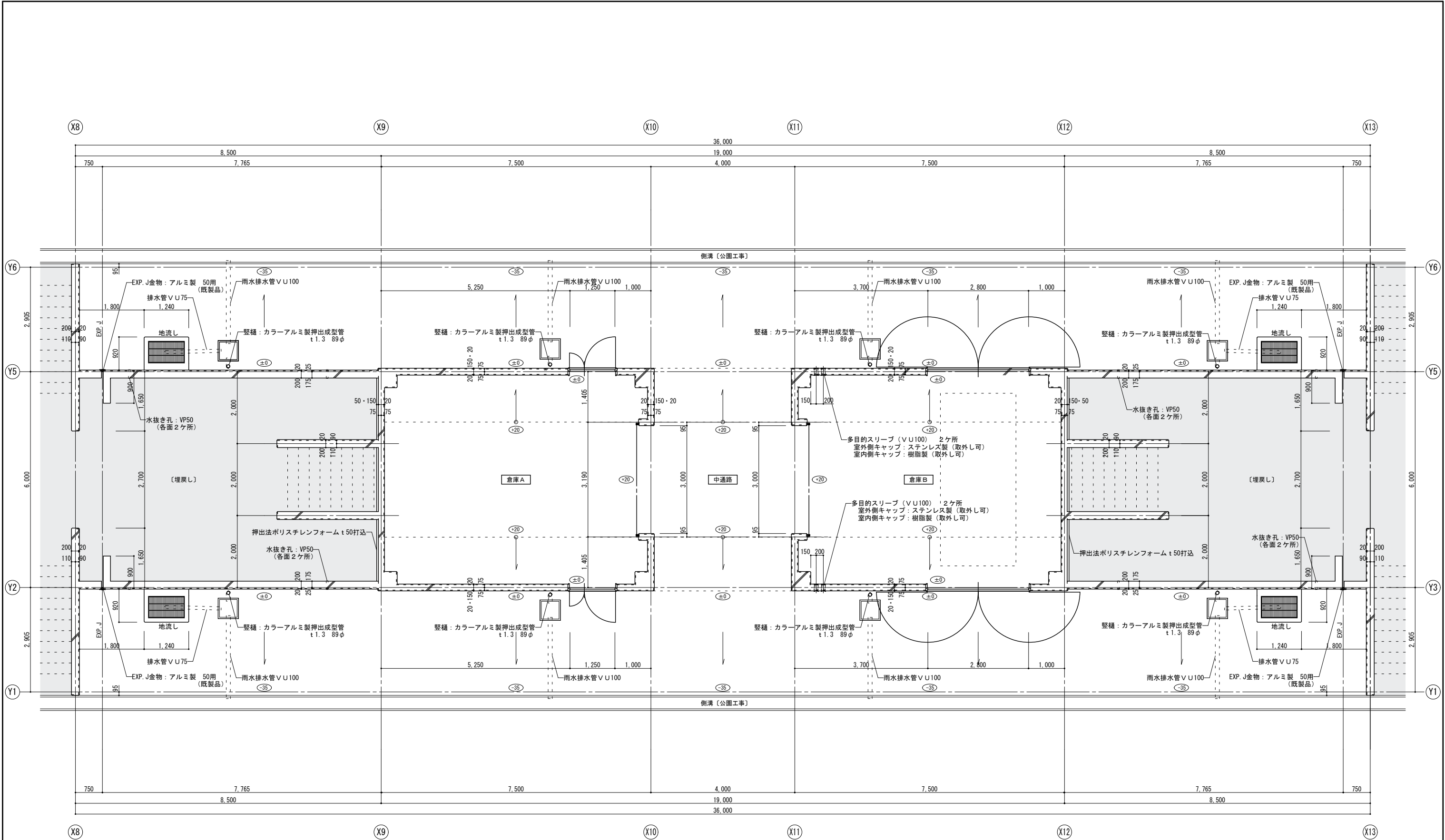


工事名称	国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事		
図面名称	スタンド 矩計図 (3)		
縮 尺	1 : 30 (A3=1: 60)	図面番号	A-210
DATE			
株 式 会 社 K R C			
長野県長野市稲里町中央3-33-23		TEL 026-285-7670	
1級建築士事務所 長野県知事登録		H-第75251号	
1級建築士 第293052号		渡利 真二	









雨水中継機

- ・コンクリート製 450×450 (既製品)
- ・コンクリート蓋付

○ 設計 G L + 50 (Z 1) からのレベルを示す

工事名称 : 国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事

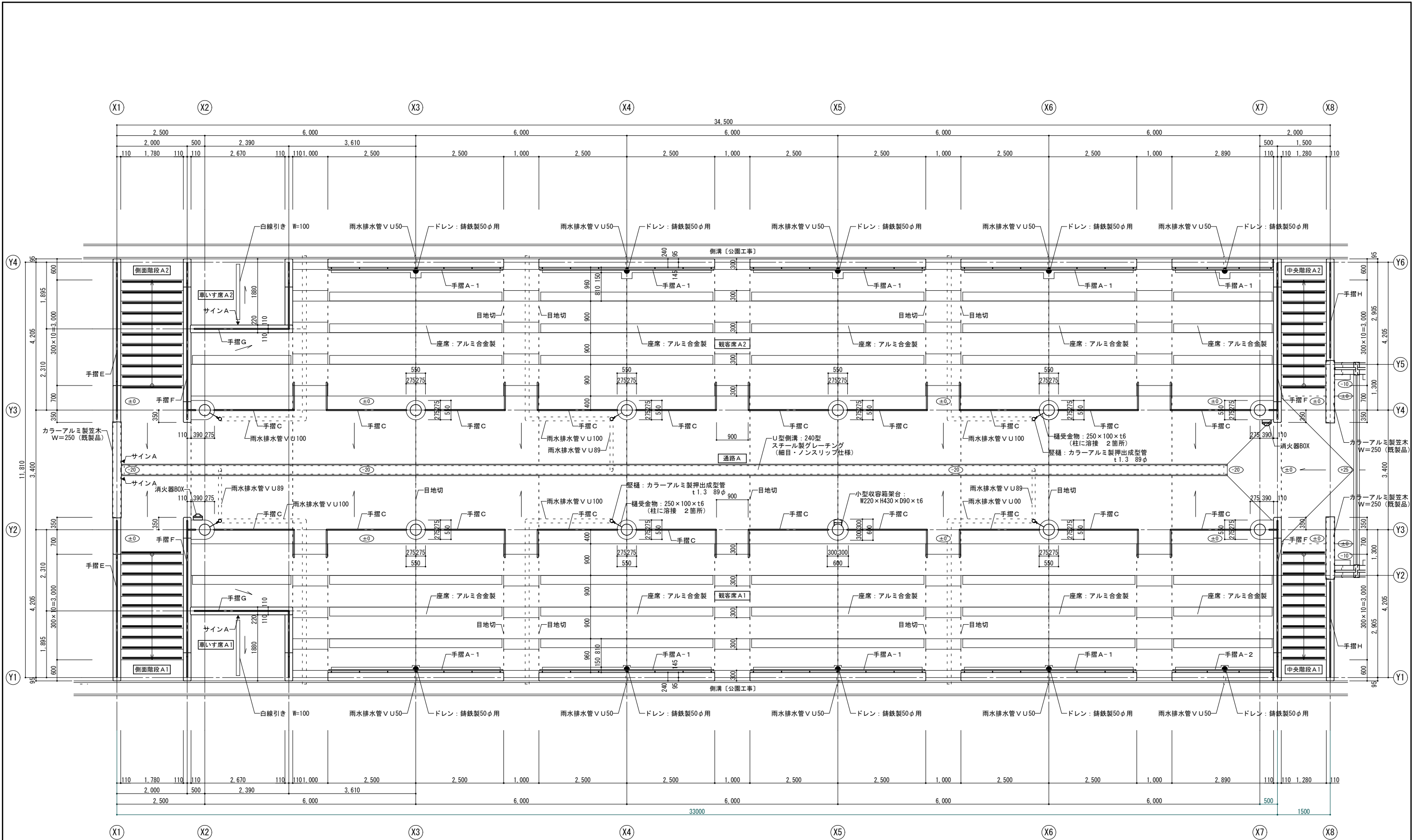
図面名称 : スタンド 平面詳細図 (1)

縮 尺 : 1 : 50 (A3=1:100) 図面番号 : A - 214

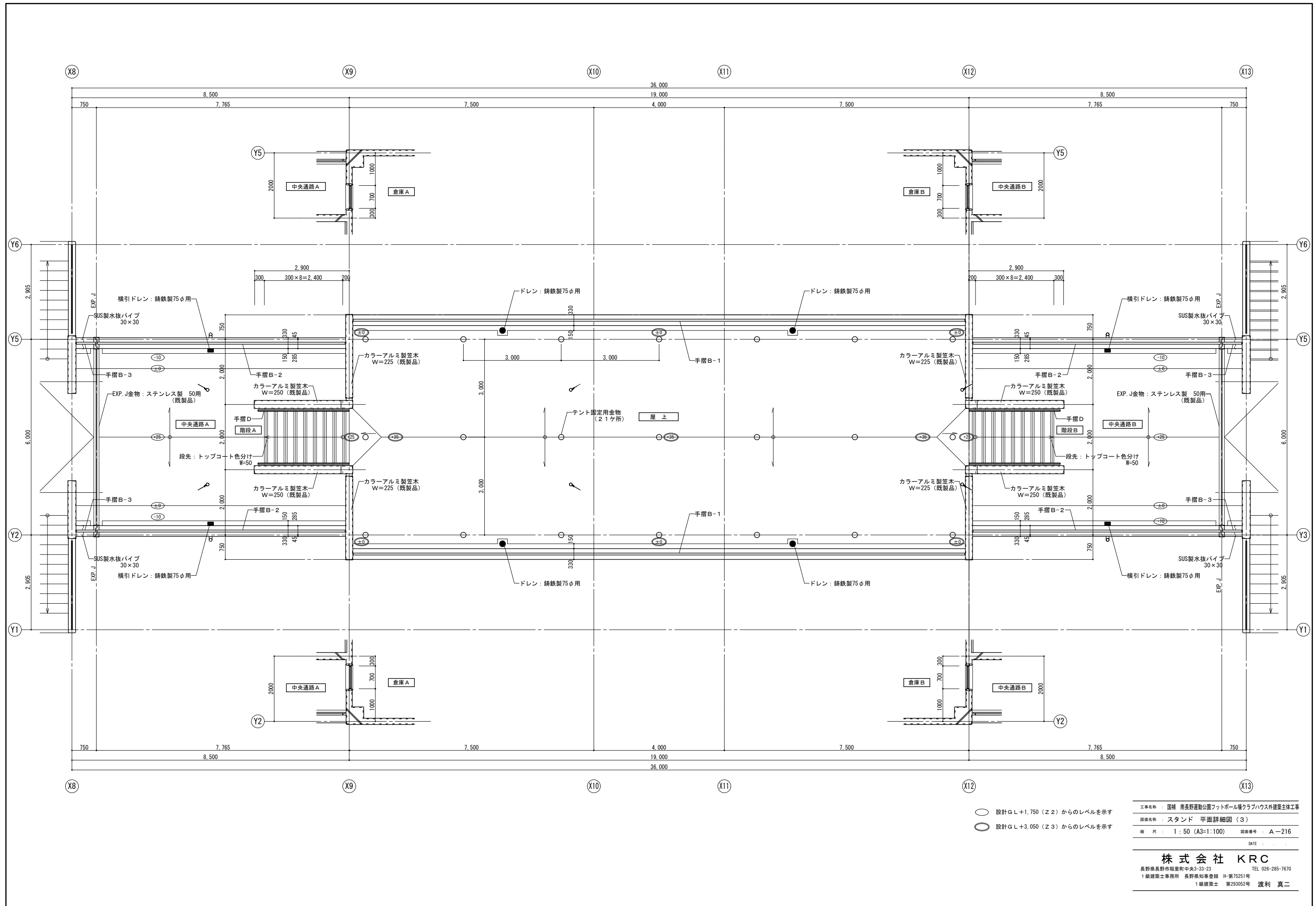
DATE : . . .

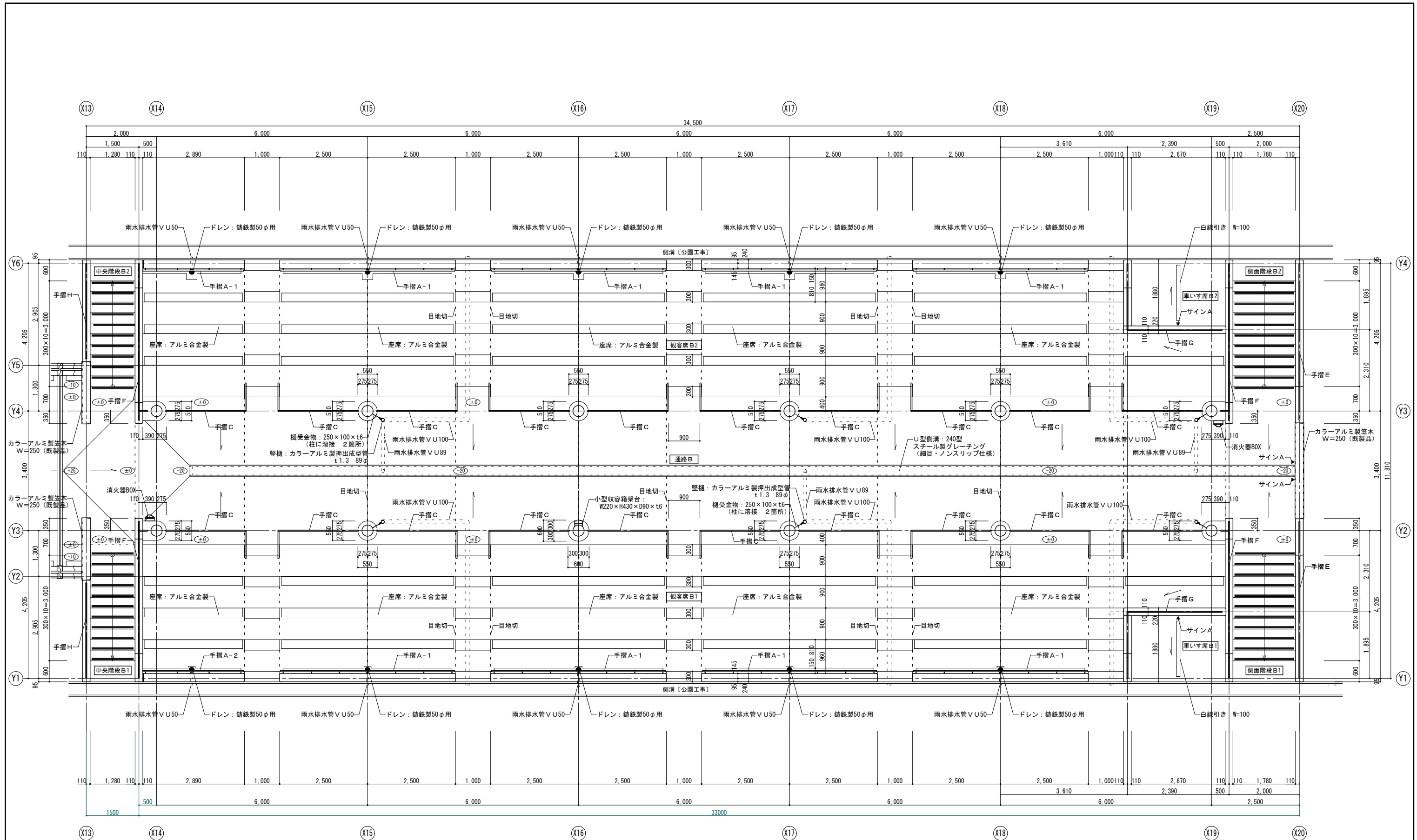
株 式 会 社 K R C

長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670
1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号
1級建築士 第293052号 渡利 真二



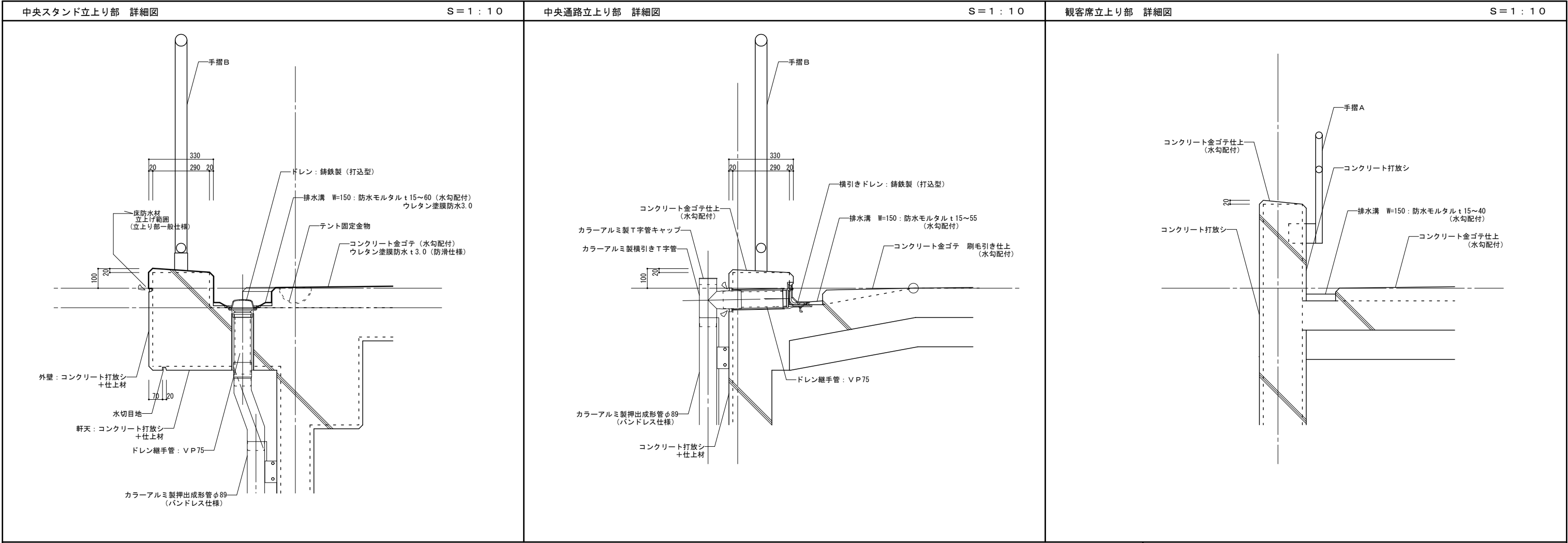
○ 設計G L +1.750 (Z 2) からのレベルを示す

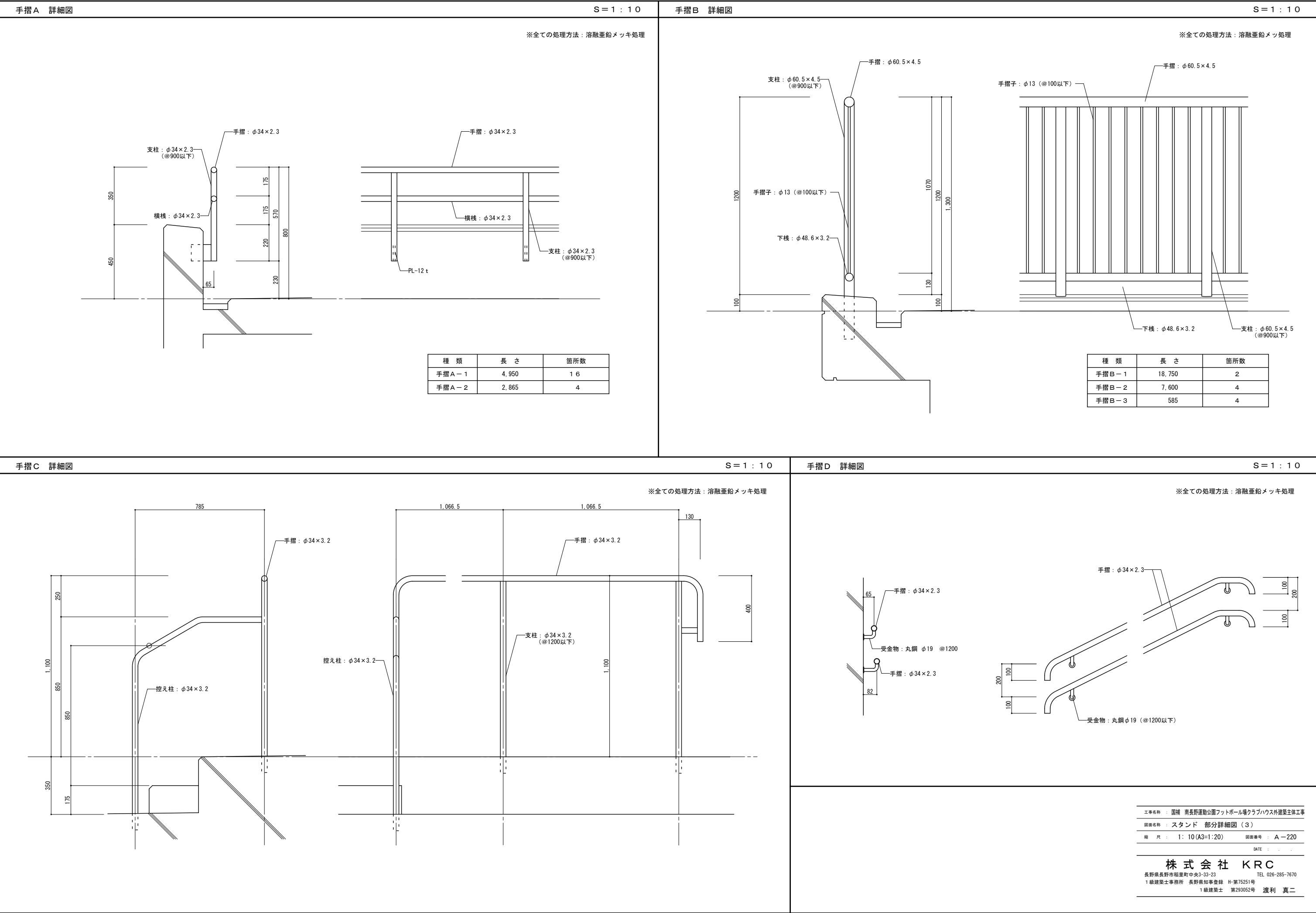




○ 設計G L+1.750 (Z 2) からのレベルを示す

R C壁面木・目地 詳細図	S = 1 : 1 0	観客席段床部 詳細図	S = 1 : 1 0	手摺壁（笠木付） 詳細図	S = 1 : 1 0	テント固定用金物 詳細図	S = 1 : 5																																														
手摺取合部 詳細図（自立・防水仕上材あり）	S = 1 : 5	手摺取合部 詳細図（壁付・防水仕上材なし）	S = 1 : 5	手摺取合部 詳細図（自立・防水仕上材なし）	S = 1 : 5	EXP. J金物（床） 詳細図	S = 1 : 5																																														
※中央通路は防水材なし																																																					
地流し 詳細図	S = 1 : 2 0	サインA 詳細図	NON	サインB 詳細図	NON																																																
		<table><tr><td colspan="2">サイン仕様</td><td>※絵文字柄は参考とする。</td></tr><tr><td>壁面取付</td><td>250×250 アルミ複合板 t3（裏面捨張り t3） インクジェットシート貼り（小口巻込み） ※ ベース色：カラー、マーク：白</td><td>8ヶ所</td></tr></table>	サイン仕様		※絵文字柄は参考とする。	壁面取付	250×250 アルミ複合板 t3（裏面捨張り t3） インクジェットシート貼り（小口巻込み） ※ ベース色：カラー、マーク：白	8ヶ所		<table><tr><td colspan="3">サイン仕様</td><td>※絵文字柄は参考とする。</td></tr><tr><td>建具取付</td><td>図示</td><td>カッティングシート貼り（黒）</td><td>4ヶ所</td></tr></table> 文字：カッティングシート貼り	サイン仕様			※絵文字柄は参考とする。	建具取付	図示	カッティングシート貼り（黒）	4ヶ所		<table><tr><td>工事名称</td><td colspan="3">国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事</td></tr><tr><td>図面名称</td><td colspan="3">スタンド 部分詳細図（1）</td></tr><tr><td>縮 尺</td><td>1:5・10・20 (A3=1:10・20・40)</td><td>図面番号</td><td>A-218</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>DATE</td><td>.. ..</td></tr><tr><td colspan="4">株 式 会 社 K R C</td></tr><tr><td colspan="4">長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670</td></tr><tr><td colspan="4">1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号</td></tr><tr><td colspan="4">1級建築士 第293052号 渡利 真二</td></tr></table>		工事名称	国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事			図面名称	スタンド 部分詳細図（1）			縮 尺	1:5・10・20 (A3=1:10・20・40)	図面番号	A-218			DATE		株 式 会 社 K R C				長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670				1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号				1級建築士 第293052号 渡利 真二			
サイン仕様		※絵文字柄は参考とする。																																																			
壁面取付	250×250 アルミ複合板 t3（裏面捨張り t3） インクジェットシート貼り（小口巻込み） ※ ベース色：カラー、マーク：白	8ヶ所																																																			
サイン仕様			※絵文字柄は参考とする。																																																		
建具取付	図示	カッティングシート貼り（黒）	4ヶ所																																																		
工事名称	国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事																																																				
図面名称	スタンド 部分詳細図（1）																																																				
縮 尺	1:5・10・20 (A3=1:10・20・40)	図面番号	A-218																																																		
		DATE																																																			
株 式 会 社 K R C																																																					
長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670																																																					
1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号																																																					
1級建築士 第293052号 渡利 真二																																																					

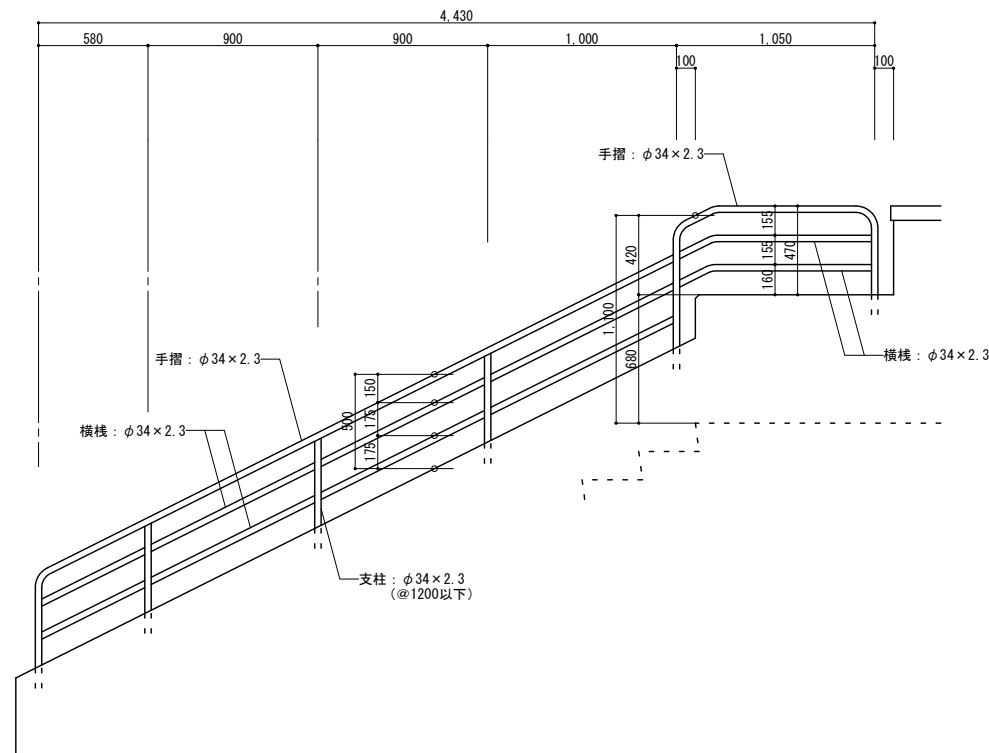




手摺 E 詳細図

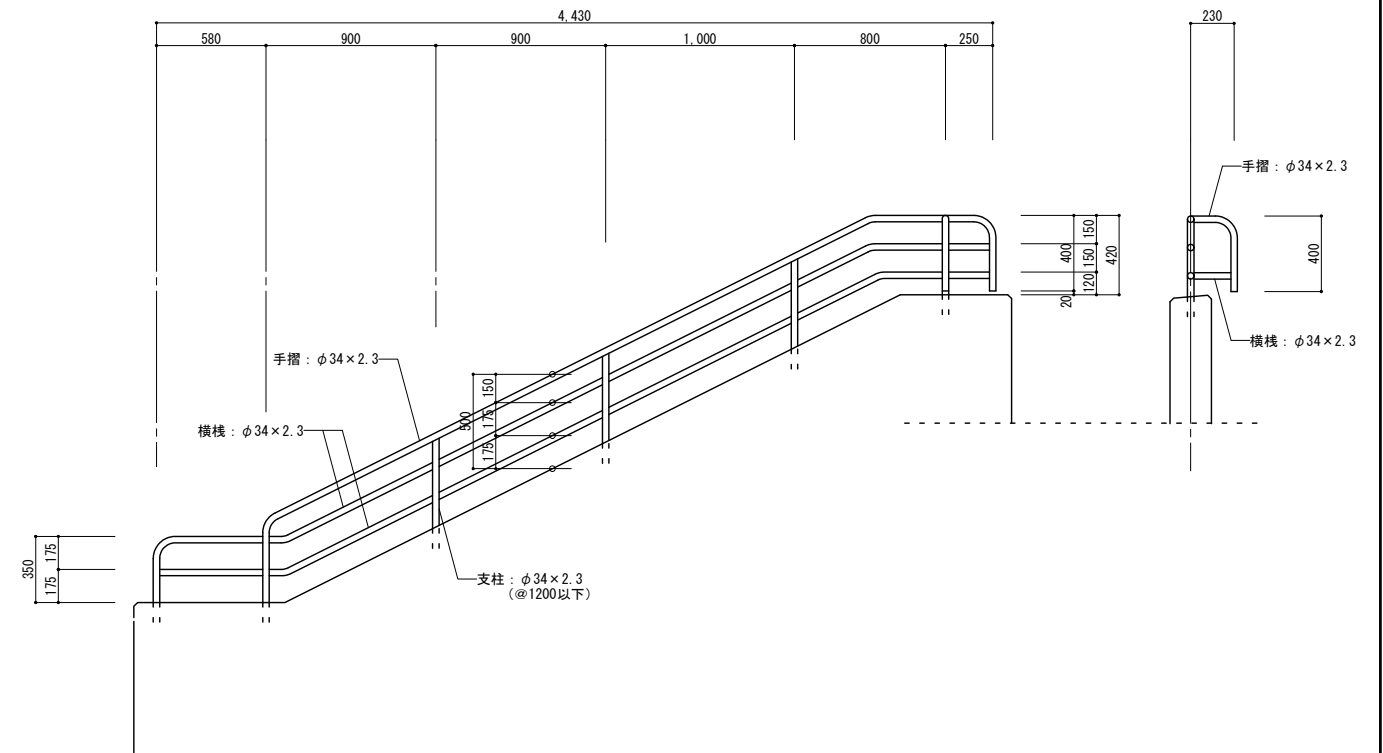
S = 1 : 20

※全ての処理方法：溶融亜鉛メッキ処理



手摺 F 詳細図

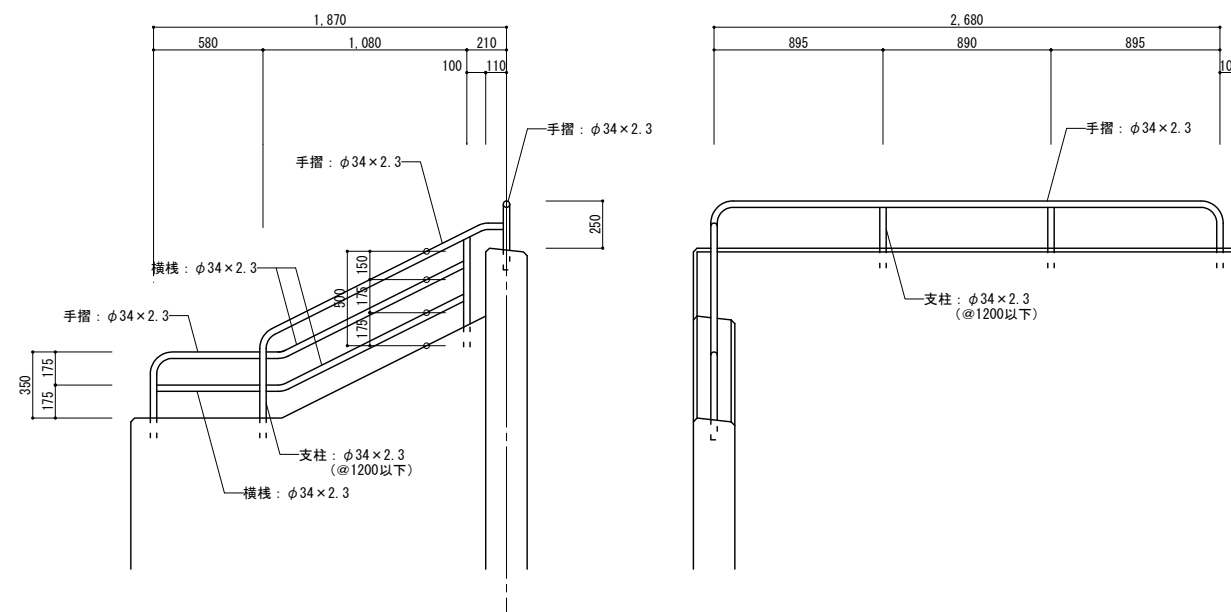
S = 1 : 20



手摺 G 詳細図

S = 1 : 20

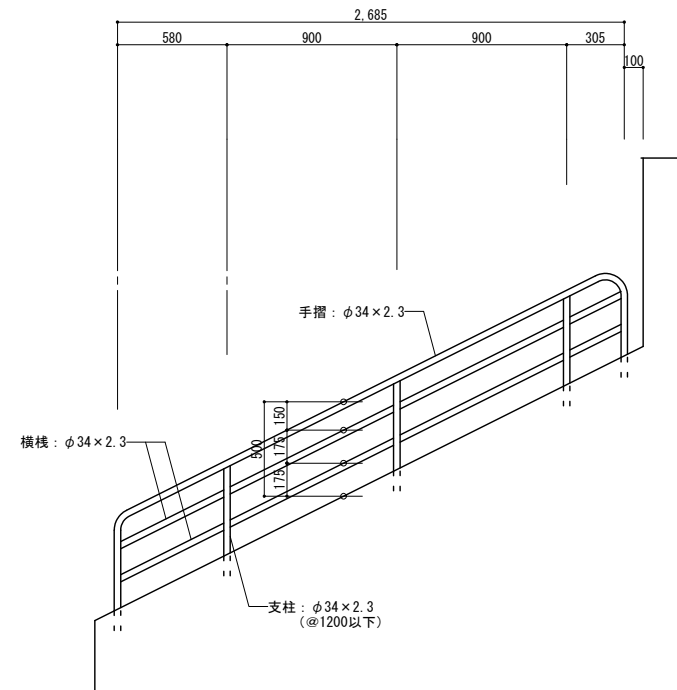
※全ての処理方法：溶融亜鉛メッキ処理



手摺H 詳細図

S = 1 : 20

※全ての処理方法：溶融亜鉛メッキ処理



工事名称 : 国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事

図面名称 : スタンド 部分詳細図 (4)

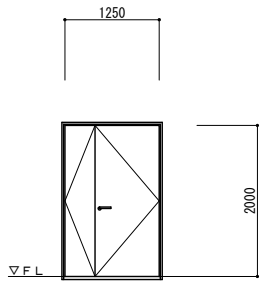
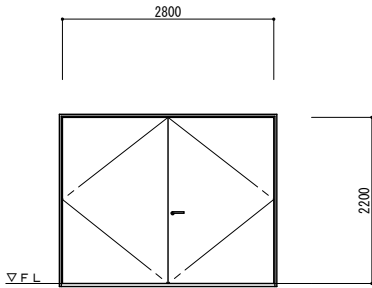
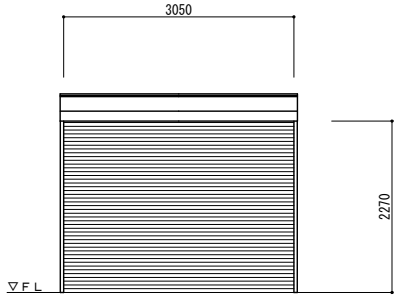
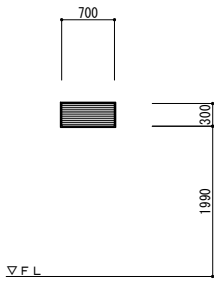
缩尺：1:20 (A3=1:40) 图面番号：A-221

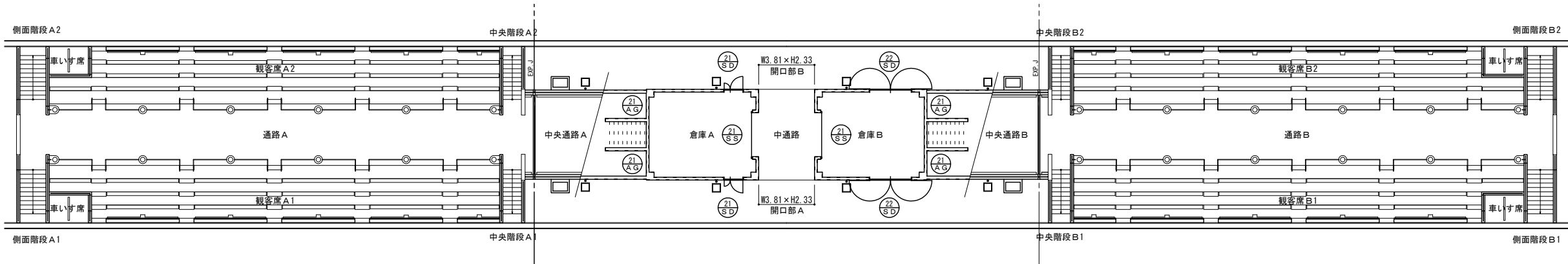
DATE : . . .

株式会社 KRC

長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670
1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号
1級建築士 第293052号 渡利 真二

建 具 表 S=1:50

記 号	倉庫 A	倉庫 B	倉庫 A・B	倉庫 A・B	
姿 図					
	※開き勝手は建具伏図による				
種 類	親子開キ戸	両開キ戸	軽量シャッター（手動式）	固定ガラリ	
口 数	2	2	2	4	
見 込	枠：100 扉：40	枠：100 扉：40		70	
材 種	スチール DP	スチール DP	スチール（カラー鋼板 スラットt0.5）	アルミ カラー	
金 物	レバーハンドル・シリンダー錠（サムターン付）・丁番・DC ステンレス下枠・スチール三方枠・他付属金物一式	レバーハンドル・シリンダー錠（サムターン付）・丁番・DC ステンレス下枠・スチール三方枠・他付属金物一式	ガイドレール・シャッターケース・SUS座板 他付属金物一式	付属金物一式	
硝 子					
備 考			水圧開錠装置付	ステンレス防虫網	



建 具 表 S=1:50

消防法無窓階の検討	
必要面積	114.00×1/30=3.80
有効面積	開口 A 3.81×2.33=8.87
	開口 B 3.81×2.33=8.87
判定	3.80 < 17.74 ○K

- 〈共通事項〉
1. 寸法は参考寸法とする。

2. 特記なき金物はステンレス製とする。

3. ガラス押エは、原則としてシーリング押エとする。

4. サッシ廻りのコーキングは、原則として
変成シリコーン系とする。

5. 出入り口部分の下枠及び水切は、原則として
ステンレスとする。

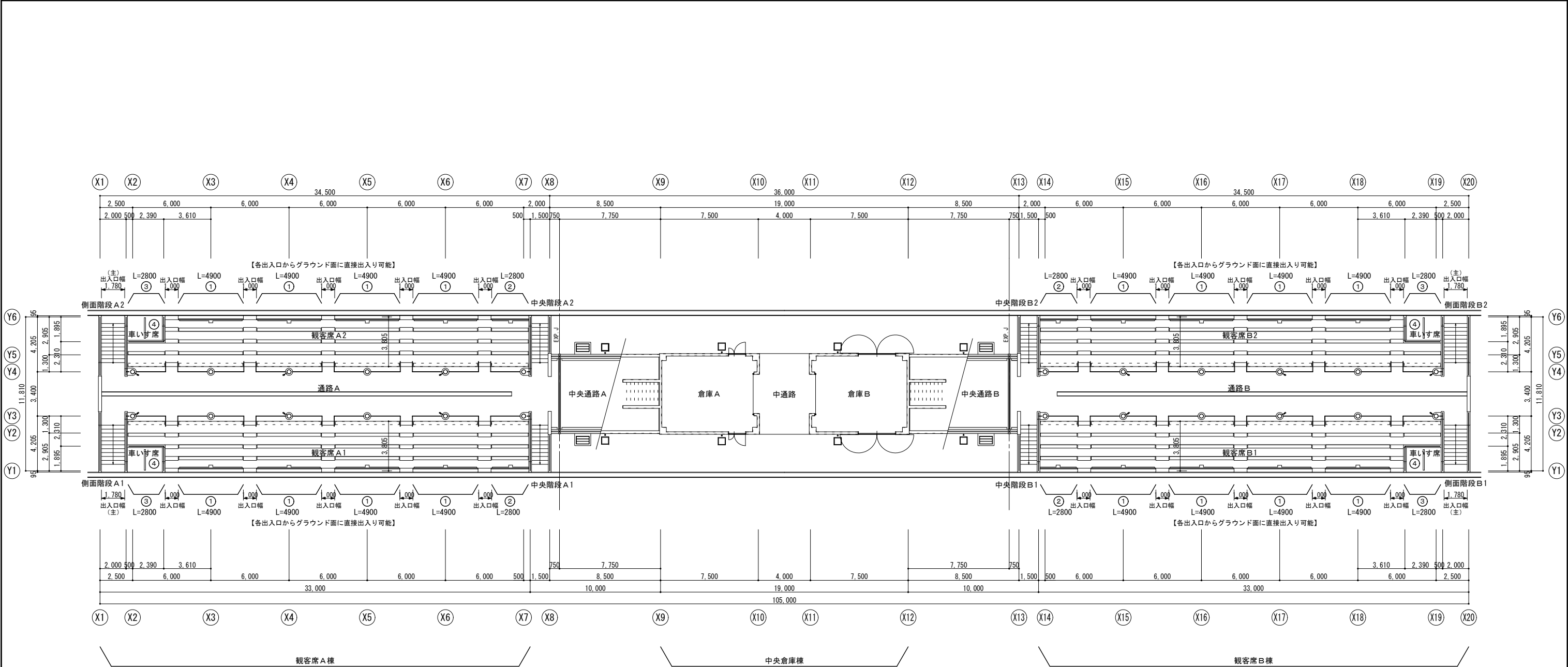
6. 必要なヶ所は、戸当り付とする。

7. DCは、原則としてストッパー付とする。

8. シリンダー錠は、原則としてサムターン付とする。

9. 原則として外廻りのサッシは、結露受付とする。

10. 網戸は、合成樹脂製とする。



■観客席A棟 出入口の幅（県条例第22条）										(m)		
①	4.900	/	0.400	= 12.250 →	13席 ×	3列 ×	8	=	312.00			
	4.900	/	0.400	= 12.250 →	13席 ×	1列 ×	8	=	104.00			
②	2.800	/	0.400	= 7.000 →	7席 ×	3列 ×	2	=	42.00			
	2.800	/	0.400	= 7.000 →	7席 ×	1列 ×	2	=	14.00			
③	2.800	/	0.400	= 7.000 →	7席 ×	1列 ×	2	=	14.00			
	2.800	/	0.400	= 7.000 →	7席 ×	1列 ×	2	=	14.00			
④	2席 × 2								=	4.00		
計										504.00		
客席の定員（人）										504		

【必要な出入口の幅】		504 × 10mm = 5040.00mm → 5040.00 / 1000 = 5.04m
【出入口の幅】		1.78 × 2 + 1.00 × 10 = 13.56
		13.56m > 5.04m・・・OK

■客席A棟 主要な出入口の前面空地（県条例第33条）		
【客席の床面積】		
31.00 × 3.805 = 117.955 → 117.96 × 2 = 235.92m ²		
【必要な空地の奥行】		
235.92 × 1/10 × 0.01 + 1.2m = 2.24m		
【必要な空地の長さ】		
5.04m		
空地（グラウンド）の大きさ：奥行（短辺方向） 86.25m・・・OK		
長さ（長辺方向） 122.20m・・・OK		

1階平面図

■道路の幅員・接道長さ（県条例第32条）	
【客席の床面積（観客席A棟+B棟）】	
31.00 × 3.805 = 117.955 → 117.96 × 4 = 471.84m ²	
【必要な道路の幅員】 6.00m以上	
【接する道路の幅員】 25.00m、7.00m、7.00m	
25.00m、7.00m、7.00m > 6.00m・・・OK	
【必要な道路の接道長さ】 5.04m × 2棟 = 10.08m 以上	
【道路の接道の長さ】 837m	
837m > 10.08m・・・OK	

■観客席B棟 出入口の幅（県条例第22条）										(m)	
①	4.900	/	0.400	= 12.250 →	13席 × 3列 × 8	=	312.00				
	4.900	/	0.400	= 12.250 →	13席 × 1列 × 8	=	104.00				
②	2.800	/	0.400	= 7.000 →	7席 × 3列 × 2	=	42.00				
	2.800	/	0.400	= 7.000 →	7席 × 1列 × 2	=	14.00				
③	2.800	/	0.400	= 7.000 →	7席 × 1列 × 2	=	14.00				
	2.800	/	0.400	= 7.000 →	7席 × 1列 × 2	=	14.00				
④	2席 × 2					=	4.00				
計								504.00			
					客席の定員（人）			504			

【必要な出入口の幅】		504 × 10mm = 5040.00mm → 5040.00 / 1000 = 5.04m
【出入口の幅】		1.78 × 2 + 1.00 × 10 = 13.56
		13.56m > 5.04m・・・OK

■客席B棟 主要な出入口の前面空地（県条例第33条）		
【客席の床面積】		
31.00 × 3.805 = 117.955 → 117.96 × 2 = 235.92m ²		
【必要な空地の奥行】		
235.92 × 1/10 × 0.01 + 1.2m = 2.24m		
【必要な空地の長さ】		
5.04m		
空地（グラウンド）の大きさ：奥行（短辺方向） 86.25m・・・OK		
長さ（長辺方向） 122.20m・・・OK		

適用は 印を記入する。

(1) 工事名称 国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
建築場所 長野市篠ノ井東福寺 南長野運動公園

- (2) 工事種別 ☒ 新築 ☐ 増築 ☐ 増改築 ☐ 改修

(3) 構造種別
☒ 木造 (M) ☐ 補強コンクリートブロック造 (SR)
☒ 鉄筋コンクリート造 (RC) ☐ 壁式鉄筋コンクリート造 (RRC) ☒ 鉄骨造 (S)
☐ 鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC) ☐ 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造 (PRC)
☐ プレキャスト鉄筋コンクリート造 (PRC) ☐ 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造 (WPRC)

(4) 階 数
 地下 0 階 地上 1 階 塔屋 0 階

(5) 主要用途 スタンド

(6) 屋上付属物
☐ 庇屋根 ☐ アンテナ ☐ 気象観測装置
☐ 太陽光パネル ☐ ハット小屋 ☐

(7) 増築計画 ☐ 有 ()

(8) 付帯工事
☐ 門扉 ☐ 擁壁 ☐ ☐ ☐

(9) 特別な荷重
☐ エレベーター ☐ 人乗 (ロ-プ式 油圧式) ☐ リフト ☐ ホイス
☐ 倉庫積載用 ☐ 風圧 ? ☐ 受水槽 ☐ kN ☐ kN

(10) 構造計算ルート X方ルート 1 - (1) Y方ルート

(1) コンクリート

適用箇所	種 類	設計基準強度 $f_{cd}/\text{N}/\text{mm}^2$	品質基準強度 $f_{cd}/\text{N}/\text{mm}^2$	スランプ cm	備 考
捨コンクリート、ラップ	■ 普通	□ 13.5 □ 16 ■ 18	□ 13.5 □ 16 ■ 18	15	
土間コンクリート	■ 普通	□ 18 □ 21 ■ 24	□ 18 □ 21 ■ 24	18	
基礎、基礎床	■ 普通	□ 21 □ 24 □ 27	□ 21 ■ 24 □ 27	18	
柱、梁、床、壁	■ 普通、□ 軽量	□ 21 ■ 24 □ 27	□ 21 ■ 24 □ 27	18	
柱、梁、床、壁	□ 普通、□ 軽量	□ 21 □ 24 □ 27	□ 21 □ 24 □ 27		
デッキコンクリート	□ 普通、□ 軽量	□ 18 □ 21 □ 24	□ 18 □ 21 □ 24		
押えコンクリート	□ 普通、□ 軽量	□ 13.5 □ 16 □ 18	□ 13.5 □ 16 □ 18		

- (2) コンクリートブロック (8)
- ☐ A種 ☐ B種 ☐ C種 厚 ☐ 100、 ☐ 120、 ☐ 150、 ☐ 190、

- | (3) 鉄 筋 | | 種 類 | 径 | 使用箇所 | 継 手 工 法 |
|-----------|---|---------|---------|------|---|
| 異形鉄筋 |  | SD295A | D16以下 | 全て |  重ね継手
D16以下 |
| |  | SD295B | | | |
| |  | SD345 | D19～D25 | 全て |  ガス圧接続棒
D19以上 |
| |  | SD390 | D29～D32 | 全て | |
| 高強度せん断補強筋 |  | ウルボン | | |  重ね継手 |
| 溶接金網 |  | 150x150 | | |  特殊継手 () |

- | (4) | 鉄 骨 | 種 類 | 使用箇所 | 現場溶接 | 設計溶接強度 | 備 考 |
|-----|---|----------------------|---|--|--------|-----|
| 鋼 材 | ☒ SN400 ☒ SN400B ☐ SN400B
☒ SN490C ☐ SN490B
☐ BCR295
☒ STKN490B ☐ BCP325 | 小梁、大梁
柱
柱
柱 | ☒ 有 ☒ 無
☐ 有 ☒ 無
☐ 有 ☒ 無
☐ 有 ☒ 無 | ☐ 0.9F ☒ 1.0F
☐ 0.9F ☒ 1.0F
☐ 0.9F ☒ 1.0F
☐ 0.9F ☒ 1.0F | | |
| | ☐ STKR400 ☐ STKR490
☒ SNR400 ☐ SN490B
☒ SSC400 | 水平Br
嵩上材 | ☐ 有 ☒ 無
☐ 有 ☒ 無 | ☐ 0.9F ☒ 1.0F
☐ 0.9F ☒ 1.0F | | |

- (5) ボルト
- | | | | | |
|---|-------------------------------|---|-------------------------------|---|
| ☒ 高力ボルト | ☐ F10T | ☒ F8T | ☐ S10T | 認定品 (☐ M12、 ☒ M16、 ☒ M20、 ☐ M22) |
| ☐ 中ボルト φ = M12 | | φ = | | 高力ボルトすべり係数試験 ☐ 要 ☒ 否 |
| ☒ A B ハイペースneo用 | | ☐ | | |
| | | ☐ | | |
| ☐ 頭付スタッド | | φ = | L = mm | |
| | | φ = | L = mm | |

- (6) 屋根、床、壁
- | ●折 版 | 型 式 | H= | 厚 |
|------------------------------------|-----|----|---|
| ☐ デッキプレート | 型 式 | | 厚 |
| ☐ キーストンプレート | 型 式 | | 厚 |
| ☐ 特殊デッキプレート | | | |

(1) 地盤調査資料

☒ 有	(☒ 敷地内	☐ 近隣)	☒ ボーリング調査	☐ 平板載荷試験	☐ 水平地盤反力係数の測定
☐ 無	(調査予定	☐ 有	☐ 無)		☐

- (2) 地盤調査計画
- | | | | |
|----------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|
| ☐ ボーリング調査 | ☐ 静的貫入試験 | ☐ 標準貫入試験 | ☐ 水平地盤反力係数の測定 |
| ☐ 土質試験 | ☐ 物理探査 | ☐ 平板載荷試験 | ☐ |
- (3) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長・杭径・直接基礎の深さ・形状を変更する場合もある
■地盤図は、別図による。
- (4) ボーリング標準貫入値、土質

- (4) ボーリング標準貫入値、土質

[illegible]

(1) 直接基礎

- | | | | | | |
|--|------------------------------|---|------|----------------------------|----------------------------|
| ☐ ベタ基礎 | ☐ 布基礎 | ☐ 独立基礎 基礎下地盤改良
(※下地盤補強掘削式・叩打地盤改良工法) | 試験図 | ☐ 有 | ☐ 無 |
| 深さ6L- 3.80 m、支持層-砂層・シルト質砂 硬層 長期許容支持力 200 kN/m ² | | | 載荷試験 | ☐ 有 | ☐ 無 |
| ※ 最終的な支持地盤位置の決定は工事監理者と協議による。 | | | | (ヶ所) | |

- (2) 杭基礎 支持層-

杭 種	材 料	施 工 法	備 考
☐ RC ☐ PC ☐ 10S-CPRC ☐ 鋼管 ☐ 摩擦杭 ☐	PC (☐ A種 ☐ B種 ☐ C種) CPRC (☐ I種 ☐ II種 ☐ III種) 鋼 材 SS400 STK490 ☐	☐ 打込み ☐ 埋込み（セメントミルク工法） ☐	
☐ 爆発打ち コンクリート杭	コングリート= 24 セメント量 300 N/m ³ 鉄 筋 主 筋 SD 345 HOOP SD 295A	☐ オールケーシング ☐ 拡底杭 ☐ リバースサキュレーション ☐ アスドリル ☐ ミニアース ☐ BH ☐ 深礎 { ☐ 手掘 ☐ 機械掘	拡底杭 日本建築センター 認定 第 号 年 月 日

- 杭仕様 ☐ 施工計画書承認 ☐ 杭施工結果報告書
試験杭 (☐ 有・ ☐ 無) (☐ 打ち込み・ ☐ 載荷) 本

[illegible]

(1) コンクリート

- コンクリートはJIS認定工場製の製品と施工に関してはJASSによる。
- セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
- 調査計画は、工事開始前に工事管理者の承認を得ること。
- 寒中、雪中、その他特殊な工事現場での適用を要する場合には、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事管理者の承認を得ること。
- フレッシュコンクリートの塩化率測定は、原則として工事現場で（財）国土開発技術研究センターの技術指導をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定書の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（写真）を保管し承認を得る。
- 測定検査の回数は、通常の場合、1回以上とし、1回の検査における測定試験数、同一試料から取り分けて1回行い、その平均値を最終値とする。

- 構造体コンクリート現場の圧縮強度試験供試体（JASST-603）は、現場水中養生、または打ち封かき養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み区ごととする。また、打ち封かき150mmをこえる場合は150mmをこえる区と、その隣り区とに二回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいて3本の連続部からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当り6本以上とし、そのうち4適用に3本を用いる。

- ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ちコンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、コンクリートの練混ぜから打ち込まれたまでの時間の制限は、外気温が25℃以下の場合は30分、25℃を超える場合は60分を限度とする。

- (2) 鉄筋
- 鉄筋はJIS G3112の規格品を標準とする。
 - 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2)」による。

- D19未満は、すべて重ね継手とする。継手（D19以上）をガス圧接とする場合は、（社）日本継手協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。

- ガス圧接部の抜取試験は次による。
- | | | |
|----------|----------------------------------|------------------------------------|
| ・外観試験 | ： ● 有 ☐ 無 | 試験箇所数は、すべての圧接部とする。 |
| ・引張試験 | ： ☐ 有 ● 無 | 試験片の採取数は、1ロットに対して3本とする。 |
| ・超音波探傷試験 | ： ● 有 ☐ 無 | 試験箇所数は、1ロットに対して30箇所とし、無作為に抜き取りとする。 |

- ☒ 柱の帯筋 (HOOP) の加工方法は、
 ☒ H形 (タガ形)
 ☐ W-I形 (溶接形)
 ☐ SP形 (スパイラル形) とする。

- コンクリート及び鉄筋の試験は、工事監理者が指定する公的試験機関による

- (3) 型 棒

- ☒ 材料 合板厚 12 mmを標準とする。
 ☐ 打放し面のフカシ ☐ +10mm ☐ +15mm ☒ +20mm ☐ +25mm

- 型枠存置期間

種類 部位	せ き 板			支 柱		
	基礎、はり側、柱、壁			スラブ下		梁 下
セメント の 種類	早強ポルト ランドセメント	普通ポルト ランドセメント	高強セメント Ⅲ種	早強ポルト ランドセメント	普通ポルト ランドセメント	高強セメント Ⅲ種
存置期間 による気温	混合セメントの 確			混合セメント の確		左記のすべてのセメント
15℃以上	2	3	5	8	17	28
5℃以上	5	7	12	25		
0℃以上	5	8	10	15	28	
コンクリートの 強度による場合	2 圧強確度が5N/㎠以上となるまで。			圧強確度が15N/㎠以上又は 12N/㎠以上であり、かつ、施工その必要及び ひびく点について、構造計画により決定があること が認められるまで。		圧強確度が15N/㎠以上であり、かつ、施工その必要及び ひびく点について、構造計画により決定があること が認められるまで。

- 注) 1) 型枠の取外しとは、型枠の最小存置期間を経た後に行う。
- 注) 2) 型枠の最小存置期間は、主筋により、コンクリートの材料又はコンクリートの圧縮強度により定める。寒冷のため強度の発現が遅れると思われる場合は、圧縮強度により定める。
- なお、圧縮強度により定める場合は、コンクリートの試験結果及び安全を確認するための資料により、監督職員の承諾を受ける。
- 注) 3) 片持ち梁、ひさし、長大スパンの梁、大スラブ等の型枠を支持する支柱、又は土工構築物が著しく大きい面積の支柱等は、必要に応じて、存置期間を延長する。
- 注) 4) スラブ下及び梁下のせき板は、原則として、支柱を取り外したのちに取り外す。
- なお、支柱の盛上げは行わない。

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による

- (1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
- ☒ 日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
- ☐ 鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」
- (2) 工事監理者の承認を必要とするもの
- ☒ 製作工場 ☐ 製作要領書 ☒ 工作図 ☒ 施工計画書
- ☒ 国土交通省告示第1103号による認定工場 (大臣認定 H ○ R グレード)
- ☒ 材料規格証明書または試験成績書
- ☒ 鋼材 ☒ 高力ボルト ☐ 特殊ボルト ☐ スタッ ドボルト
- (3) 工事監理者が行う検査項目
- (☒ 印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること)
- ☒ 現寸検査 ☐ 組立・開先検査 ☒ 製品検査
- ☒ 建方検査 ☐ 高力ボルト受入検査 ☐
- (4) 接合部の溶接は下記によること
- ☒ 日本建築学会「溶接工作規準、同解説 I、II、III、IV、V、VI、VII、VIII、IX」
- ☒ 溶接技術者の技量付加試験 ☐ 行う ☒ 行わない
- (5) 接合部の検査
- ☒ 溶接部の検査 (検査結果は後日工事監理者に報告すること)

検 査 箇 所	検 査 方 法	検 査 事 又 は 検 査 数			備 考
		社 内	第 三 者	工事監理者	
☒ 突合せ溶接部 ☐ ☐	超音波探傷試験	100 %	30 %	個	
	外観（目視）検査	100 %	30 %	個	%
	マクロ試験・その他	個	個	個	
第三者検査機関名 第三者検査機関とは、建築士、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を 代行させるために自ら契約した検査会社という。					

- 注) 現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。

- 高力ボルトは「JIS B1186の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを摩擦面全面の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置で発生した、赤さび状態であること。ただし、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらさが50S以上である場合は、赤さびは発生しないまでによる。

- ☐ 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分に密着するよう注意して行う。また、締付けはマーキングによる2度締めとする。締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行なわれているか検査する。

- (6) 防錆塗装
- ☐ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めペイントは、JIS K 5674、2回塗りを標準とする。
- ☐ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調査は急に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し、2回塗りとする。

- ☐ MSDSシート（科学物質安全等データシート）を提出すること。
☒ 溶融亜鉛メッキ処理とする。

- (7) 耐火被覆の材料
☐

令第129条の2の3の事項 ※ 設計が該当する場合には、□にチェックを記入する。

- 建築物（改修を含む建築物）においては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。
 - 管設備（排水管を除く。）は、建築物の支持構造及び基礎杭は、腐食及び凍害のおそれがないものとする。
 - 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造及び建築物の構造耐力上安全なもの、支持構造は、建築物の構造耐力上安全なものに、緊密すること。
 - 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支持骨組によるものを、90 m以下とする。
 - 煙突又は厚さが25 mm以下の鉄筋コンクリート造、れんが造、石造もしくはコンクリートブロック造とする。
- 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、
 - 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とする。
 - 建築物の部分を通ずる場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
 - 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合には、伸縮継手又は可換継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
 - 管を支し、又は固定する場合においては、つじ金又は防錆ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
- 法第20 条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものについては、建設省告示第1389 号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。

- 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
- 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
- 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。
- 図面及び特記仕様に記載されていない事項（疑問が生じた場合を含む）は、全て国土交通省大臣官房庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（最新版）」

工事名称	国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事		
図面名称	スタンド 構造設計標準仕様		
規 尺	NON	図面番号	S-201
		DATE	
株 会 社 K R C			
長野県長野市堀田 中央3-33-23		TEL 026-285-7670	
1級建築士事務所 長野県知事登録		H-第75251号	
1級建築士		第293052号 渡利 真二	
1級建築士		第163891号	
構造設計 1級建築士		第 1981号 関田 政道	

スラリー系機械攪拌式ブロック状地盤改良工法 特記仕様書（参考）

1. 工法概要

本工法は、セメント系固化材液を用いて現地土を流動化処理することで、ブロック状の均質な地盤改良体を築造する工法である。

本工法は、(財)日本建築総合試験所の建築技術性能証明取得工法であり、性能証明番号は、「GBRC 性能証明 第10－23号 改3」である。

2. 一般事項

本地業は、本特記仕様書によるほか、

「2018年版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」による。

(一般財団法人 日本建築センター)

3. 特記事項

- 改良体の配置、形状、寸法等は、設計図書による。
- ただし、土質や地盤状況により、形状、寸法、配合等を変更した方が適切と判断される場合には、監督員の承認を得た上で変更することができる。
- 設計用地耐力 : $f_e = 200$ (kN/m²)
- 設計基準強度 : $F_c = 600$ (kN/m²)
- 固化材の種類 : ☐ 一般軟弱土用 ☒ 特殊土用 (六価クロム抑制型)
- 固化材の配合 : 事前に現地土による室内配合試験を実施の上決定する。
- 改良対象地盤 : ☐ 砂礫 ☐ 砂 ☒ 粘土・シルト ☐ ローム
- 本工法の施工 : 本工法は、工法協会の認定施工会社の責任施工とし、協会の施工管理技術資格認定教育修了者で構成された作業員で施工する。
- 攪拌混合装置 : 攪拌促進ブレード付攪拌混合装置 (バケットミキサー)

4. 施工計画

- 工事に先立ち、下記事項を記載した施工計画書を監督員に提出する。
- (1) 工事概要 (改良幅・改良長・設計基準強度・等)
 - (2) 工事組織表 (設計事務所・元請会社・施工会社・等)
 - (3) 施工手順 (施工フロー・等)
 - (4) 施工管理方法
 - (5) 品質管理方法
 - (6) 配合計画及び配合管理
 - (7) 施工機械及び機材
 - (8) 土質柱状図
 - (9) 設計図 (改良伏図・基礎リスト)
 - (10) 安全対策
 - (11) 建築技術性能証明書の写し

5. 配合計画

- 施工に先立ち、試掘により支持層を確認する。同時に対象土を採取し室内配合試験にて配合量を決定する。
- (1) 土質分析 (湿潤密度)
 - (2) 配合設計強度の設定
 - 現場目標強度 : q_{ud} (算定式 : 7. 品質管理 に記載)
 - 室内配合目標強度 : X_I (7日)、 X_I (28日)
 X_I (28日) = q_{ud} / α_{fl} α_{fl} : 現場室内強度比 (土質による)
材齢7日→28日強度の伸び率 : 土質による
 - (3) 配合 (固化材、添加量、W/C)
 - (4) 一軸圧縮試験結果に基づいて固化材添加量を決定する。
 - (5) 決定した配合の供試体を用いて六価クロムの溶出試験を行う。
 - (6) 室内配合試験結果報告書を監督員に提出する。

6. 施工管理

施工中に改良範囲や攪拌混合度をモニター画面で監視できる管理装置により施工管理を行う。

- (1) 施工管理項目
 - ① 形状・寸法
 - 施工位置 : 改良範囲の寸法を確認しマーキングする
 - 支持地盤 : 支持層の土質を目視確認
 - 改良範囲、掘削深度 : 検尺確認および管理装置で確認
 - ② 固化材料
 - 流量計と納入伝票による (計画値以上)
 - A type (プラントでブレミックスした固化材料を投入する方法)
 - B type (固化材と混練水を別々に投入する方法)
 - ③ 攪拌混合回数
 - 管理装置による
 - ☐ 羽根切回数 500回/m³以上 (砂質土地盤)
 - ☒ 羽根切回数 750回/m³以上 (粘性土を含む地盤)
 - ④ 電気比抵抗値
 - 管理装置による
 - ☒ 20Ω・m以下 (粘性土主体地盤)
 - ☐ 30Ω・m以下 (砂質土主体地盤)
 - ⑤ 供試体採取
 - 採取頻度は、100パス (1パス : 1施工ブロック) あたり9箇所以上とする。
 - 100パスを超えるものは、100パス毎に3箇所 (抜き取り個数n=9) 追加する。
 - 改良厚 0.7m～1.7m 改良体頭部から直接採取
 - 改良厚 1.7m～3.0m 未固化試料採取器で上中下の3深度で採取
 - 改良厚 3.0m～6.0m 未固化試料採取器で1m毎の深度で採取

- ⑤ 供試体採取
 - 材令7日 (σ_7) の一軸圧縮強度試験は、早期確認を目的として行う。
 - 材令28日 (σ_{28}) の一軸圧縮強度試験は、第三者機関で行う。
- ⑥ 改良天端レベルの確認
- (2) 施工時の立会い
- 元請会社の本工事担当者は、施工中立合うものとする。

7. 品質管理

要求性能を満足しているかを確認するために、下記の通り判定を行う。

品質管理基準は、「2018年版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」の深層混合処理工法の基準に準ずる。

合格判定 $X_N \geq X_L$

X_N : N箇所の一軸圧縮強度の平均値

X_L : 合格判定値

$$X_L = F_c + k \times \sigma$$

F_c : 設計基準強度

k : 合格判定係数

σ : 標準偏差 ($q_{ud} \times v$)

q_{ud} : 現場目標強度

$q_{ud} = F_c / (1 - m \times v) / (B/M)$ 比

m : F_c, q_{ud}, v を関連付ける係数 1.30

v : 変動係数 0.30

(B/M) 比 : ボーリングコア・モールドコア強度比 0.90

合格判定係数 k						
抜き取り箇所数 N	1	2	3	4～6	7～8	9～
抜き取り個数 n	3	6	9	12～18	21～24	27～
合格判定係数 k	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3

8. 施工報告

- 工事完了後、下記事項についてまとめた施工報告書を監督員に提出する。
- (1) 改良施工伏図 (施工パスNo)
 - (2) 施工記録 (施工日・改良範囲・改良厚・等施工管理項目)
 - (3) 施工管理記録
 - 出来形 (改良軌跡モニター)
 - 攪拌混合状態 (電気比抵抗モニター)
 - (4) 一軸圧縮強度試験結果
 - (5) 合格判定結果
 - (6) 固化材入荷伝票
 - (7) 工事写真

工事名称 : 国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事

図面名称 : スタンド 地盤改良工法仕様書

縮尺 : NON 図面番号 : S-202

DATE : . . .

株式会社 KRC

長野県長野市稲屋町中央3-33-23 TEL 026-285-7670

1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号

1級建築士 第293052号 渡利 真二

1級建築士 第163891号 第1981号 関田 政道

構造設計 1級建築士

ボーリング柱状図

調査 名 南長野運動公園フットボール場地盤調査委託長野市 麓ノ井 東福寺

ボーリングNo.

事業・工事名

R619=2/L

調査位置

長野市 麓ノ井 東福寺

シートNo.

ボーリング名

長野市建設部建築課

調査期間

令和 6 年 7 月 17 日 ~ 6 年 7 月 18 日

北 緯 36° 34' 48.88"

発注 機関

長野市建設部建築課

調査 試 験

YBM-1WA

東 経 138° 10' 19.11"

調査業者名

日本総合建設株式会社

主任技師

西澤 浩

現場代 理 人

西澤 浩

コ ン マ ー

西澤 浩

ボーリング責任者

牧野 剛

取口 口径 高

352.20m

角 度

220° 30'

方位

東 30° 00'

地盤 勾配

水平 0°

使用 機器

エンジン

YBM-1WA

ポンプ

落下用具

ボリ ング

ポン

総 掘 進 長

8.50m

度

下

方

向

東

30°

北

緯

36°

東

経

138°

10'

標 高

深 柱

土 色

相 相

記

区 密 硬

質 対

状

尺 高 厚 度

状

原 位

試 験

試 料

探 取

注

(m)

(m)

(m)

分

調 度

度

事

度

度

度

度

度

度

度

度

1

201.3m

1.00

1.00

砂

砂

砂

砂

砂

砂

砂

砂

砂

砂

ボーリング柱状図

調査名 南長野運動公園フットボール場地盤調査業務委託長野市 篠ノ井 東區中

ボーリング図

事業・工事名

R6BV-3孔

調査位置

長野市 篠ノ井 東區中

シートNo

ボーリング名

観音堂 令和 6年 7月 1日 ~ 6年 7月 8日

北緯 36° 34' 48.19"

発注機関

長野市建設建設課

東経 138° 30' 18.19"

調査業者名

日本総合建設株式会社

ボーリング責任者

電 号 (026-226-0381)

主任技師

牧野 剛

孔口標高

西澤 浩

代理 人

総掘深長

西澤 浩

試 験 機

352.718

コ ン

試 験 方 法

13.30m

定 義 者

MS-413

方位

YBM-1WA

ボ ン 浦

上 90°

地下 配

ポン プ

下 90°

地 盤 状 況

MS-413

向 90°

地 盤 状 況

MS-413

向 90°

地 盤 状 況

MS-413

向 90°

地 盤 状 況

MS-413

向 90°

地 盤 状 況

MS-413

向 90°

地 盤 状 況

MS-413

向 90°

地 盤 状 況

MS-413

向 90°

地 盤 状 況

MS-413

向 90°

地 盤 状 況

MS-413

向 90°

地 盤 状 況

MS-413

向 90°

地 盤 状 況

MS-413

向 90°

地 盤 状 況

MS-413

向 90°

地 盤 状 況

MS-413

向 90°

地 盤 状 況

MS-413

向 90°

地 盤 状 況

MS-413

向 90°

地 盤 状 況

MS-413

向 90°

地 盤 状 況

MS-413

向 90°

地 盤 状 況

MS-413

向 90°

地 盤 状 況

MS-413

向 90°

地 盤 状 況

ボーリング柱状図

調査・工事名

南長野運動公園フットボール場地調査に業務委託長野市 篠ノ井 東福寺

ボーリングNo

R56V-4孔

調査位置

長野市 篠ノ井 東福寺

シートNo

ボーリング名

調査位置

長野市 篠ノ井 東福寺

北 緯36° 34' 48.19"

発注機関

長野市建設部建築課

調査期間 令和 6年 7月 10日 ~ 6年 7月 12日

東 経138° 10' 16.18"

調査業者名

日本総合建設株式会社

主任技師

ボーリング責任者

孔口標高

352.89m

現代理人

後野 剛

総掘進長

12.23m

使用機器

半自動式貫入試験機

地質図

N5-413

コア鑑定者

YEM-IWA

地質図

N5-413

コア鑑定者

YEM-IWA

地質図

N5-413

コア鑑定者

YEM-IWA

地質図

N5-413

コア鑑定者

YEM-IWA

地質図

N5-413

コア鑑定者

YEM-IWA

地質図

N5-413

コア鑑定者

YEM-IWA

地質図

N5-413

コア鑑定者

YEM-IWA

地質図

N5-413

コア鑑定者

YEM-IWA

地質図

N5-413

コア鑑定者

YEM-IWA

地質図

N5-413

コア鑑定者

YEM-IWA

地質図

N5-413

コア鑑定者

YEM-IWA

地質図

N5-413

コア鑑定者

YEM-IWA

地質図

N5-413

コア鑑定者

YEM-IWA

地質図

N5-413

コア鑑定者

YEM-IWA

地質図

N5-413

コア鑑定者

YEM-IWA

地質図

N5-413

コア鑑定者

YEM-IWA

地質図

N5-413

コア鑑定者

YEM-IWA

地質図

N5-413

コア鑑定者

YEM-IWA

地質図

N5-413

コア鑑定者

YEM-IWA

地質図

N5-413

コア鑑定者

YEM-IWA

地質図

N5-413

コア鑑定者

YEM-IWA

地質図

N5-413

コア鑑定者

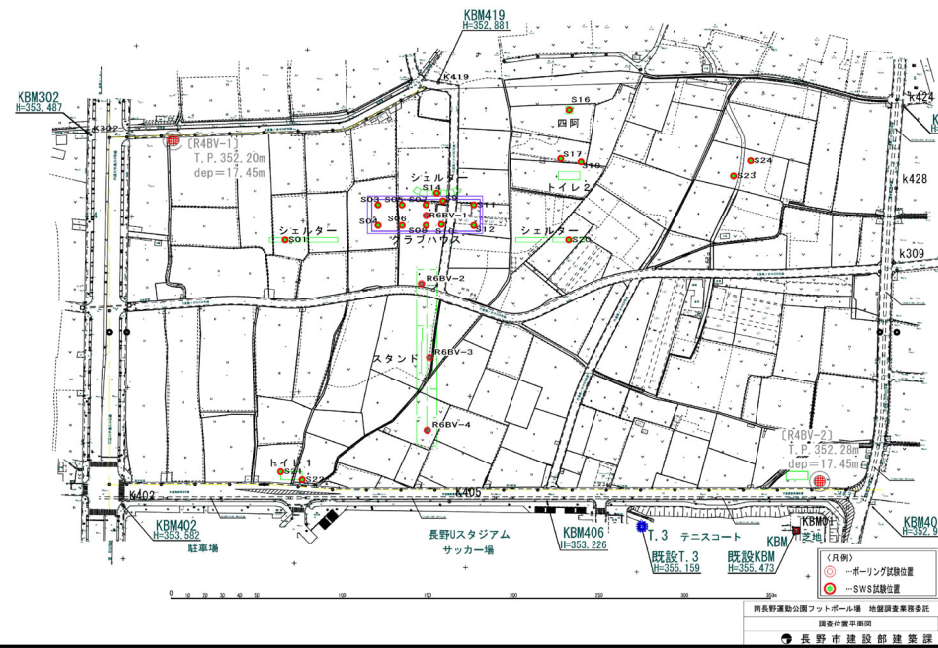
YEM-IWA

地質図

N5-413

コア鑑定者

調査位置平面図 S=1 : 1500



工事名称 : 国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事

図面名称 : スタンド 柱状図

縮 尺 : NON

図面番号 : S-203

DATE : _____

株式会社 KRC

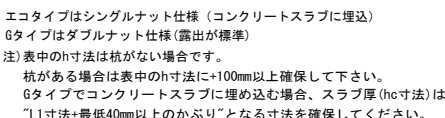
長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670

1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号
1級建築士 第293052号 渡利 直二

1 級建築士	第163801号	第一	増設
--------	----------	----	----

構造設計 1 級建築士 第 1981 号 関田 政道

2025/3



鉄筋はD13、D16(SD295、D19、D22)またはSD345、D29(SD390)をご採用下さい。表に無いサイズについても対応可能です。センクシアにお問い合わせ下さい。

注 1) I、II ソール材についてはハイメスNEO工法設計ハンドブックの各型式の耐力輪郭を参照して下さい。

注 2) 上表内の「中柱用」とは、方向から基礎が取り付くことを示す。この条件で取付けを行う場合は、「側・隅柱用」を御採用下さい。

注 3) 表裏の鉄筋は、基礎と土壌との間に十分な摩擦力を得るために、必要に応じて表面処理を施すことが望ましい。また、土壌の性質により土留りがある場合、独立基礎の場合は、やはりNEO工法設計ハンドブックに準じ、日本建築学会の規程 指針に基づき設計を行って下さい。

注 4) 中柱用の鉄筋量は、基礎梁の上ばり筋を $\phi 406$ 以下ではD10x250、 $\phi 450$ 以上はD13x250として算定して下さい。

注 5) あらゆる断面積がこれよりも小さくなる場合は側・隅柱用の鉄筋量として下さい。

注 6) 部品の質量はアンカーボルト部品と形板を含めた質量です。

本社	TEL	03-4214-1932	関東	TEL	027-322-9411
札幌	TEL	011-708-1177	中部	TEL	052-582-3356
東北	TEL	022-213-5595	北陸	TEL	076-233-5260

URL <https://www.senqcia.co.jp/>

関西 TEL 06-6395-2133
中四国 TEL 082-240-1630
九州 TEL 092-452-0341

工事名称 : 国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事

図面名称 : スタンド ハイペース標準図 (2)

縮尺 : NON 図面番号 : S-205

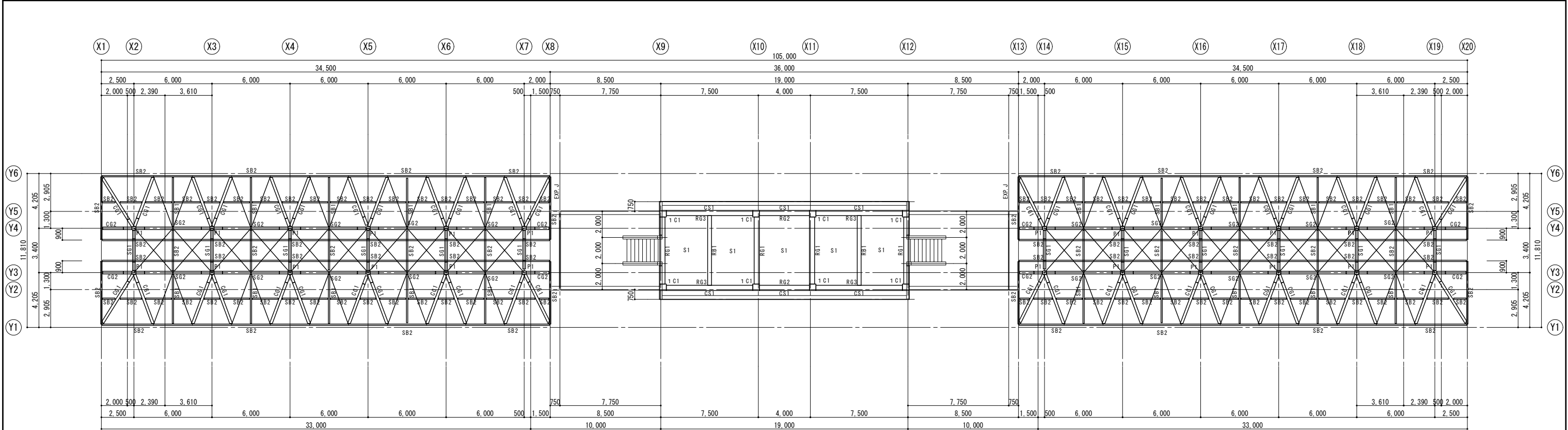
DATE :

株式会社 KRC

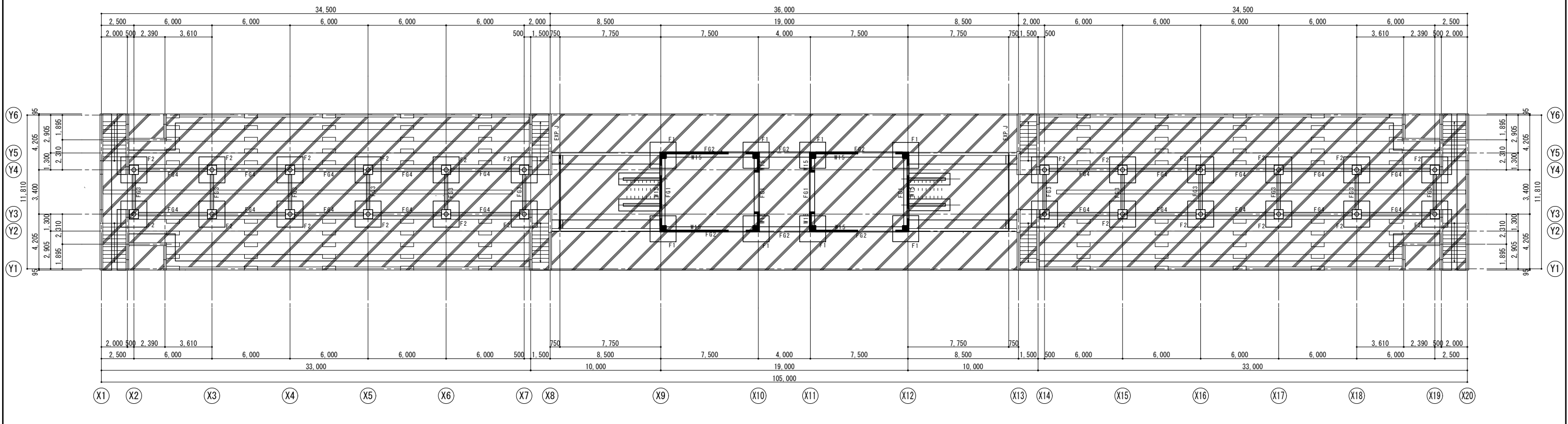
長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670

1 級建築士 第293052号 渡利 直一

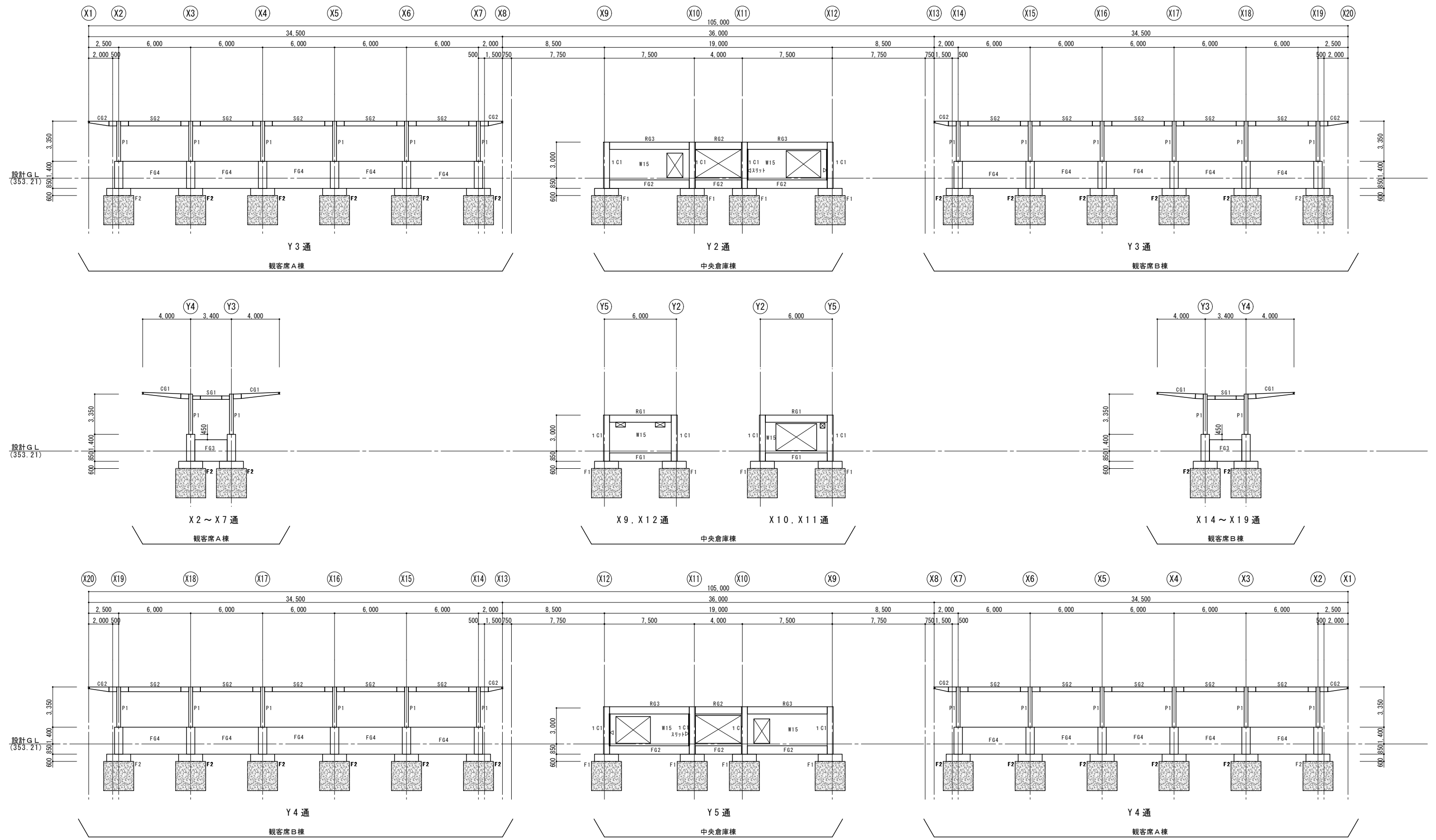
1 級建築士 第163891号 照一 西村

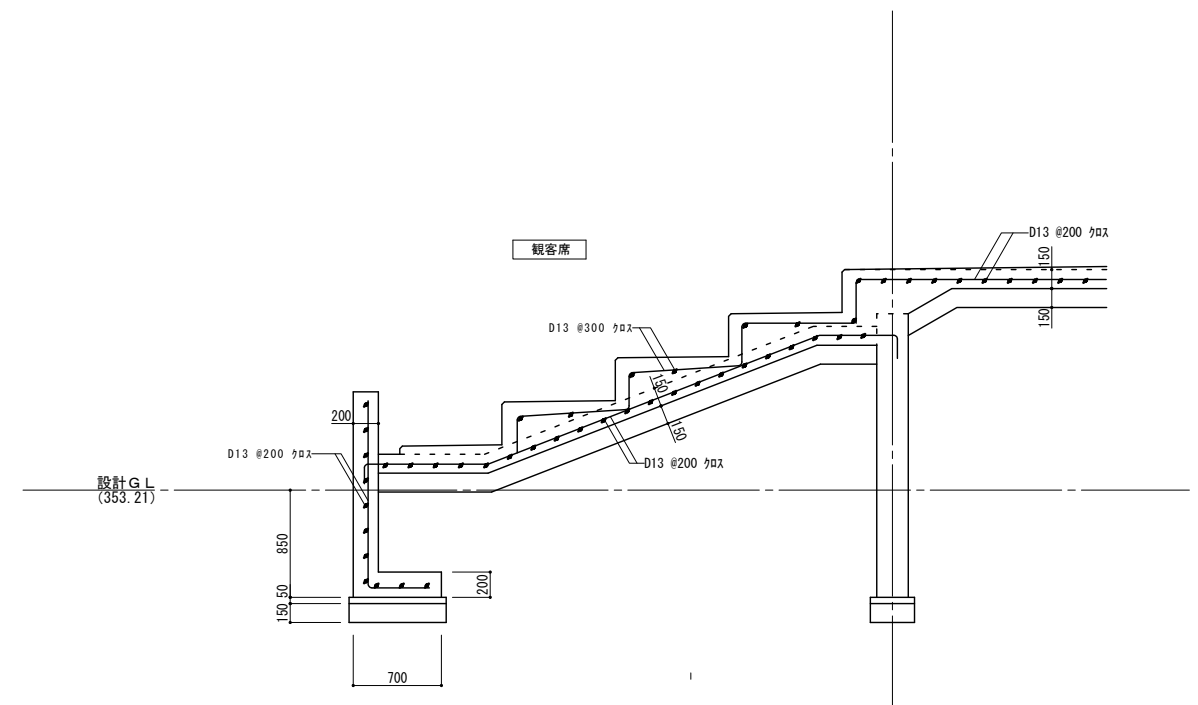
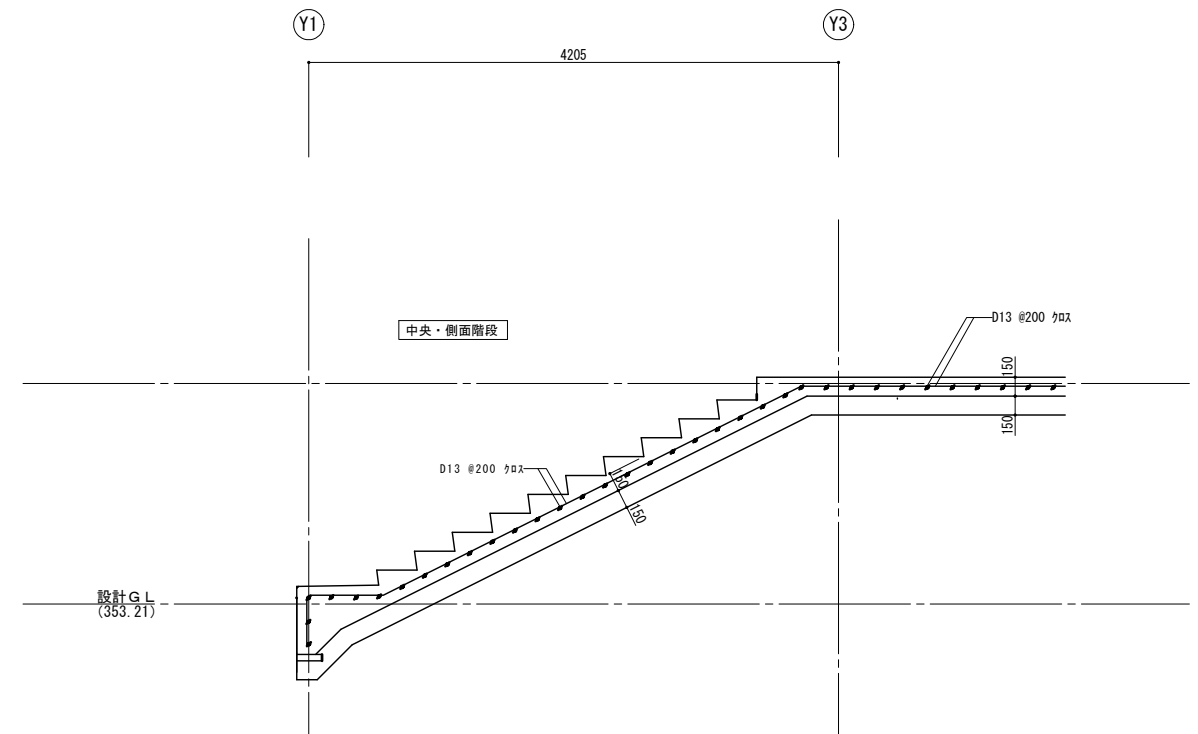


梁 伏 図



基礎伏図

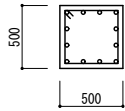




工事名称： 国体 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
 図面名称： スタンド R C配筋詳細図・雑配筋図
 縮 尺： 1：30 (A3=1：60) 図面番号： S-209
 DATE：

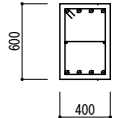
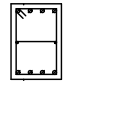
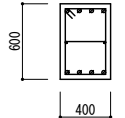
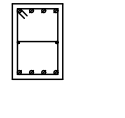
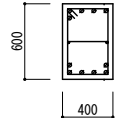
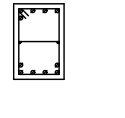
柱リスト1/30

特記無き限り下記に依る
フープ □-D10-#100 とする

階	符 号	1C1
1 F	断面	
	Bx×Dy	500x500
	主筋	12-D19
	フープ	
	備考	

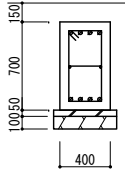
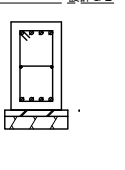
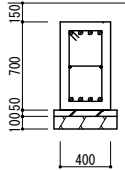
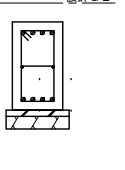
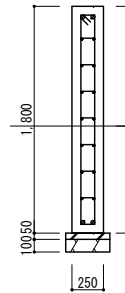
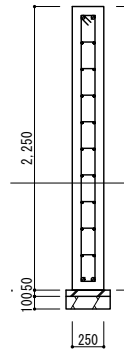
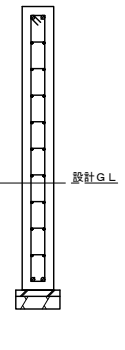
大梁リスト1/30

特記無き限り下記に依る
スターラップ □-D10-#200 とする
腹筋 2-D10 とする
幅止め筋 D10-#1000 とする

階	符 号	RG1		RG2		RG3	
		両端	中央	両端	中央	両端	中央
R F	位置						
	断面						
	B×D	400x600		400x600		400x600	
	主筋	上端筋	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	5-D22
		下端筋	4-D22	4-D22	4-D22	6-D22	6-D22
	スターラップ	□-D13-#200		□-D13-#200		□-D13-#200	
	腹筋						
	備考						

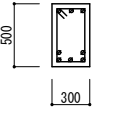
地中梁リスト1/30

特記無き限り下記に依る
スターラップ □-D10-#200 とする
腹筋 2-D10 とする
幅止め筋 D10-#1000 とする

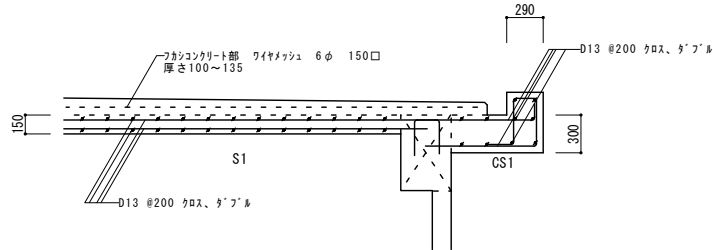
符 号	位置	FG1		FG2		FG3		FG4	
		両端	中央	両端	中央	両端	中央	両端	中央
断面	位置								
	断面								
	B×D	400x700		400x700		250x1,800		250x2,250	
	主筋	上端筋	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	2-D22	2-D22
		下端筋	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	2-D22	2-D22
	スターラップ	□-D13-#200		□-D13-#200		□-D13-#200		□-D13-#200	
	腹筋								
	備考								

小梁リスト1/30

特記無き限り下記に依る
スターラップ □-D10-#200 とする
腹筋 2-D10 とする
幅止め筋 D10-#1000 とする

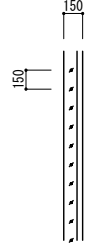
符 号	RB1
位置	全断面
断面	
B×D	300x500
主筋	上端筋 3-D19
	下端筋 5-D19
スターラップ	□-D10-#200
腹筋	
備考	

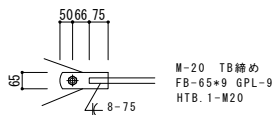
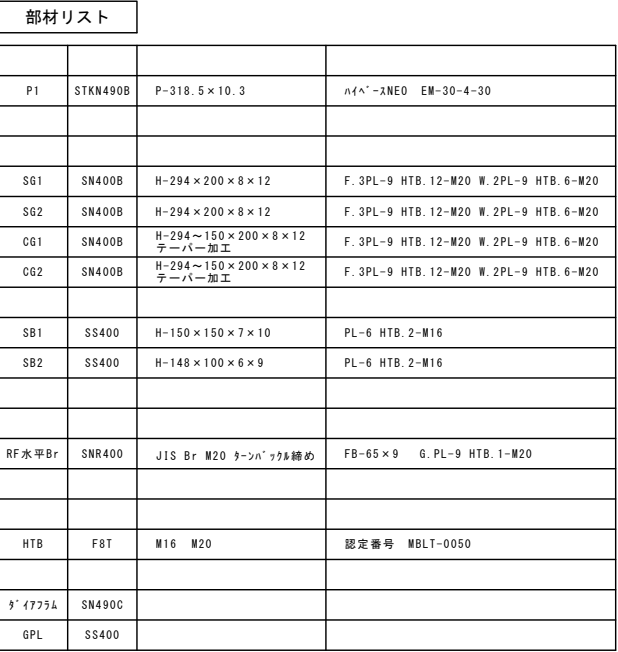
スラブリスト1/30



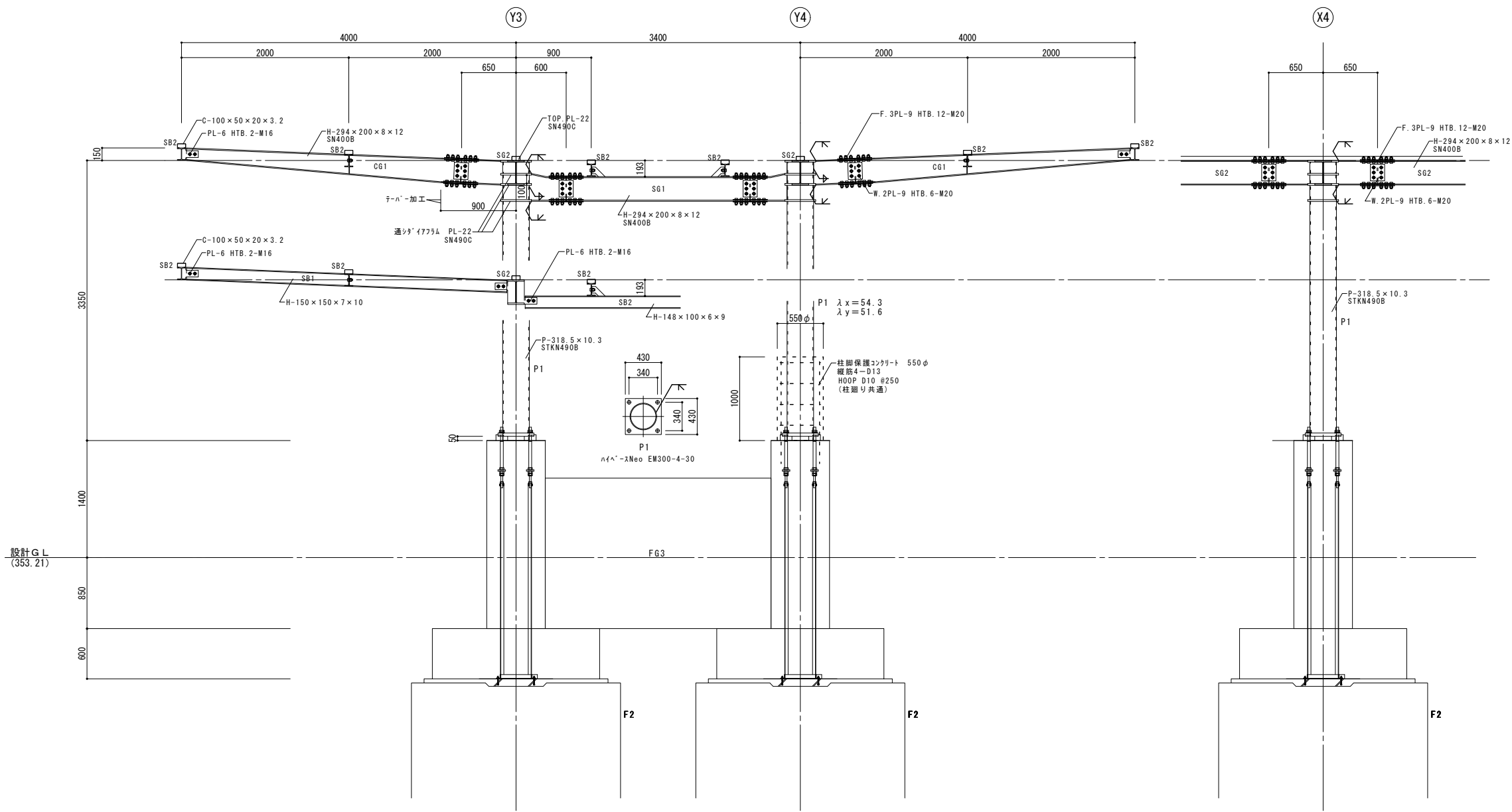
壁リスト1/30

特記無き限り下記に依る
幅止め筋 D10-#1000 とする

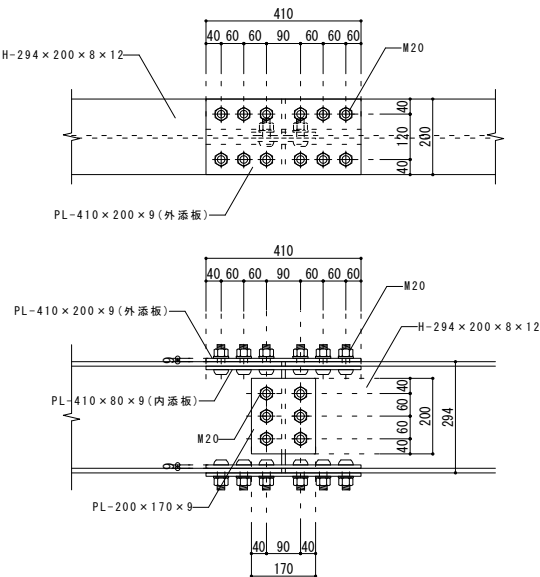
符 号	W15
断面	
壁厚	150
主筋	縦筋 D13-#150 (シングル)
	横筋 D13-#150 (シングル)
開口部	縦横筋 2-D13
	斜め筋 2-D13
幅止め筋	
備考	



水平 B r 詳細図



梁サイズ		H-294×200×8×12	
フランジ	外添板	PL-410×200×9 (2枚)	ボルトM20 (24本)
	内添板	PL-410×80×9 (4枚)	
ウェブ	添板	PL-200×170×9 (2枚)	ボルトM20 (6本)



工事名称 : 国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事

図面名称 : スタンド 鉄骨詳細図・部材リスト

縮尺：1:30 (A3=1:60) 図面番号：S-211

DATE _____

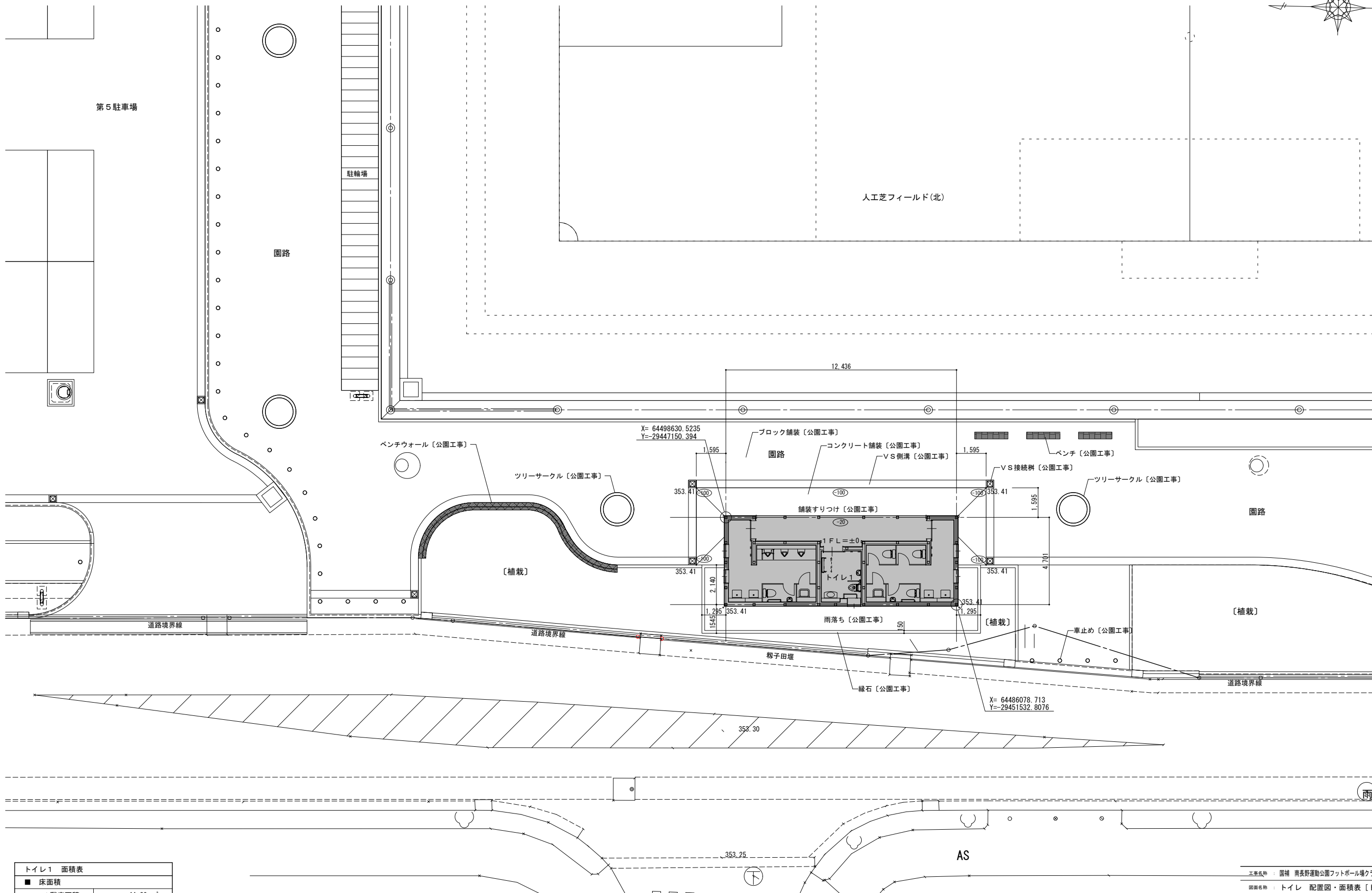
株式会社 KRC

長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670

1 級建築士 第293052号 渡利 直一

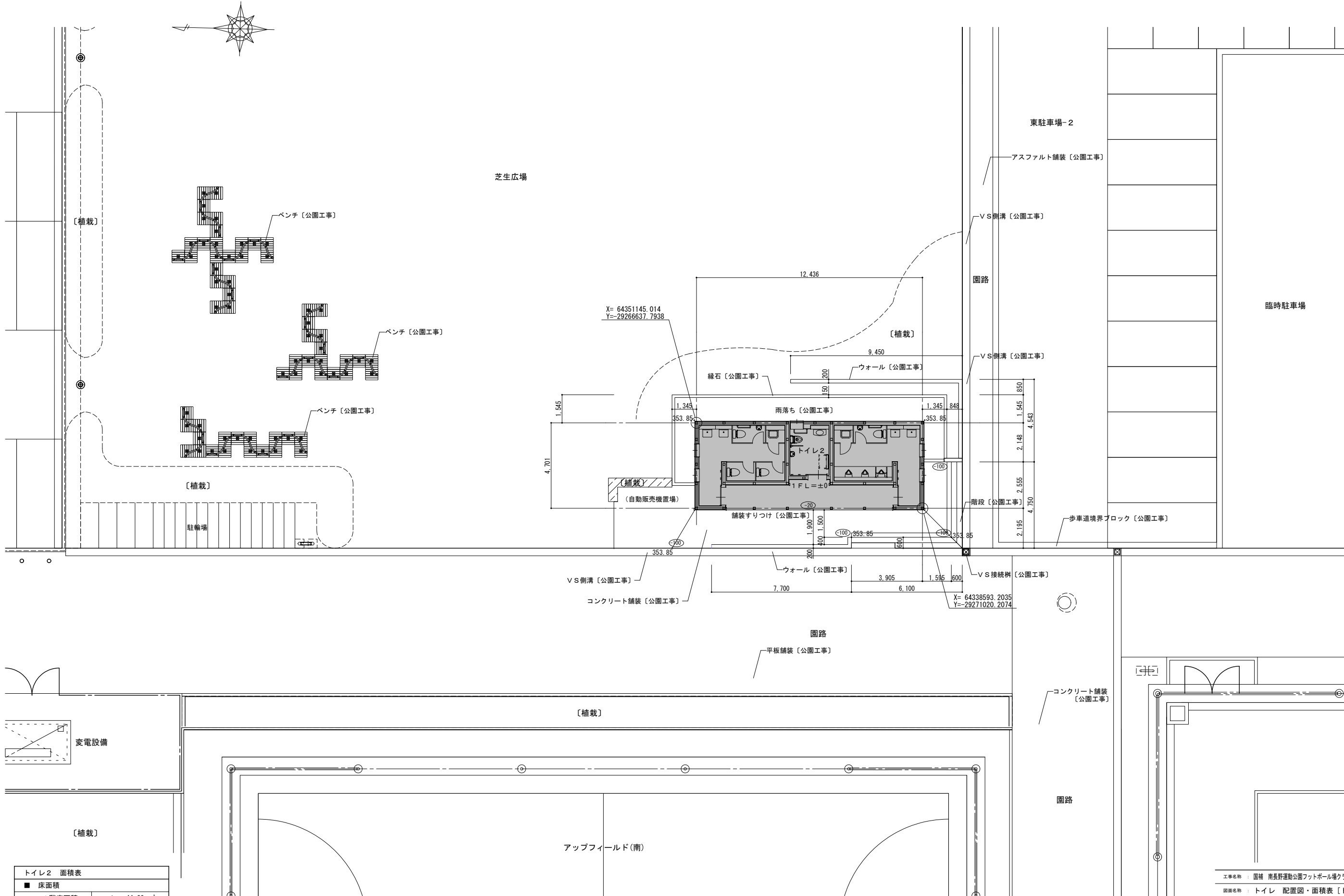
1級建築士 第163891号 関田 政道

1級建築士 第163891号
構造設計 1級建築士 第1981号 関田 政道



※トイレ 1 F L=設計 G L (353.41) +100
 ※○内の数値は、1 F Lからのレベルを示す
 ※トイレ 1 周囲の外構工事は全て公園工事とする

工事名称： 国体 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
 図面名称： トイレ 配置図・面積表〔トイレ1〕
 縮 尺： 1：100 (A3=1/200) 図面番号： A-301
 DATE：
 株 式 会 社 K R C
 長野県長野市堀里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670
 1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号
 1級建築士 第230526号 渡利 真二



トイレ2 面積表	
■ 床面積	
1階床面積	44.89 m ²
合 計	44.89 m ²
■ 建築面積	
	58.46 m ²

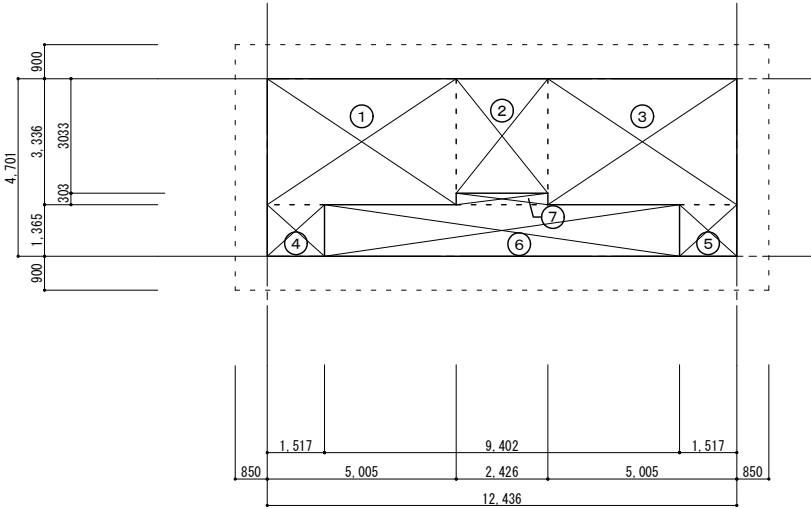
※トイレ2 1FL=設計GL (353.85) +100
※○内の数値は、1FLからのレベルを示す
※トイレ2周囲の外構工事は全て公園工事とする

■ 外 部 仕 上 表	
屋 根	カラーガルバリウム鋼板 t 0.4 立ハゼ葺キ（防水工法） 雪止メアングル：L-50×50×4（溶融亜鉛メッキ品） 下地：アスファルトルーフィング940+構造用合板 t 12
破 風	カラーガルバリウム鋼板 t 0.4加工（唐草、ケラバ 同材）
軒 天	木製野縁組 合板 t 9+杉羽目板 t 12 木材保護着色塗料
外 壁	窯業系サイディング t 16張り（金具工法） 下地：透湿防水シート+木製胴縁 一部：金属サイディング t 15張り（リブ調）
腰 壁	コンクリート打放シ 光触媒防汚コート（化粧目地切）
建 具	アルミサッシ（カラー） 軽量鋼製ハンガー引戸（屋外仕様）
通 路	床 ：磁器質150角タイル貼り 壁 ：杉羽目板 t 15（本実加工） 木材保護着色塗料 下地：透湿防水シート+木製胴縁 腰壁：コンクリート打放シ 光触媒防汚コート 天井：木製野縁組 合板 t 9+杉羽目板 t 12 木材保護着色塗料 柱、木枠・見切材：木材保護着色塗料

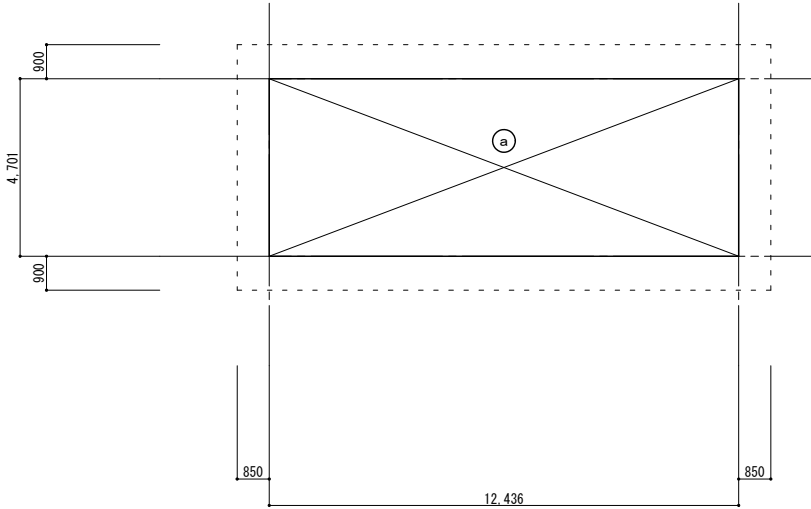
■ 特 記 仕 様	
1. 断熱材仕様	ビツスラブ下、側面：押出法ポリスチレンフォーム t 30打込 天井裏：高性能グラスウール t 50+50敷込み（24kg/m3） 外壁：高性能グラスウール t 100（24kg/m3）充填 外壁廻りの腰壁、外壁面から0.6mの範囲のRC面：現場発泡ウレタン t 25吹付 外部に面する部分、特記なき限り打増し t =20とする。 コンクリート躯体の出隅部分は、面木を使用とする。
2. コンクリート打増し	
3. 内部壁下地仕様	壁の下地は、縦胴縁45×40 @455、横胴縁18×45 @455とする。 （バリアフリートイレの一部は縦胴縁105×30 @455とする。）
4. 仕上仕様	化粧ケイ酸カルシウム板の目地コーキングは、シリコン系（防カビ仕様）とする。 化粧ケイ酸カルシウム板のジョイント目地は縦目地のみとして、水平目地は設けないこと。 サッシの額縁、見切等の木部は、WPS（木材保護着色塗料塗り）とする。 WPS（木材保護着色塗料塗り）は、屋外を3回塗り、屋内を2回塗りとする 汚垂石は、抗磨仕様のタイル製とする。
5. その他	内部で使用する塗料材料はF☆☆☆☆とする。 天井裏等の使用材料はF☆☆☆☆とする。 手摺等の設備機器の取付で下地補強が必要な場合は、建築工事とする。 外壁の水切材の出隅部分は、面取り加工又は、ガード材取付とする。

■ 共 通 事 項	
1. 凡 例	カラーガルバリウム鋼板：ポリエステル樹脂塗装溶融溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 WPS：木材保護着色塗料塗り SUS：ステンレス304 光触媒防汚コート：無機質系全光型光触媒防汚コート
2. 防火材料リスト	－

■ 内 部 仕 上 表												
室 名	床 高	床		巾 木		壁		天 井		廻り縁	天井高	備 考 ※〔 〕内は、機械設備工事を表す
		下 地	仕 上	仕 上	H	下 地	仕 上	下 地	仕 上			
男子トイレ	±0	モルタル	磁器質150角タイル貼り（水勾配付）	45－二丁掛タイル	100	木製胴縁	合板（特類） t12捨張り （目地：コーキング仕様） 化粧ケイ酸カルシウム板 t6張り 出隅部：アルミジョイナー取付	木野縁組	合板 t9捨張り 杉羽目板 t12 木材保護着色塗料（屋内仕様）	木 製	2500	ライニング、汚垂石、ビクトサイン、棚板、SUSパイプ（Sカン付）、床下点検口、天井点検口 〔鏡、手摺（小便器用、L型）、ペビーチェア、荷物掛け用フック〕
女子トイレ	±0	モルタル	磁器質150角タイル貼り（水勾配付）	45－二丁掛タイル	100	木製胴縁	合板（特類） t12捨張り （目地：コーキング仕様） 化粧ケイ酸カルシウム板 t6張り 出隅部：アルミジョイナー取付	木野縁組	合板 t9捨張り 杉羽目板 t12 木材保護着色塗料（屋内仕様）	木 製	2500	ライニング、ビクトサイン、棚板、SUSパイプ（Sカン付） 〔鏡、手摺（L型）、ペビーチェア〕
バリアフリートイレ	±0	モルタル	磁器質150角タイル貼り（水勾配付）	45－二丁掛タイル	100	木製胴縁	合板（特類） t12捨張り （目地：コーキング仕様） 化粧ケイ酸カルシウム板 t6張り 出隅部：アルミジョイナー取付	木野縁組	合板 t9捨張り 杉羽目板 t12 木材保護着色塗料（屋内仕様）	木 製	2500	ライニング、ビクトサイン 〔鏡、手摺（L型、跳上式）、ペビーシート、ペビーチェア〕



床面積 求積図 S=1:100



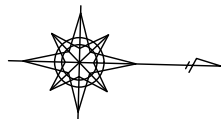
建築面積 求積図 S=1:100

面積表	
■ 床面積	44.89 m ²
■ 建築面積	58.46 m ²

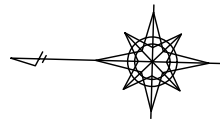
床面積表			
	計 算 式 (m ²)		
①	5.005 × 3.336	=	16.697
②	2.426 × 3.033	=	7.358
③	5.005 × 3.336	=	16.697
④	1.517 × 1.365	=	2.071
⑤	1.517 × 1.365	=	2.071
	床面積	=	44.894
⑥	9.402 × 1.365	=	12.834
⑦	2.426 × 0.303	=	0.735
	通路部分	=	13.569
	合 計	=	58.463

建築面積表			
	計 算 式 (m ²)		
①	12.436 × 4.701	=	58.461
		=	
		=	
	建築面積	=	58.461

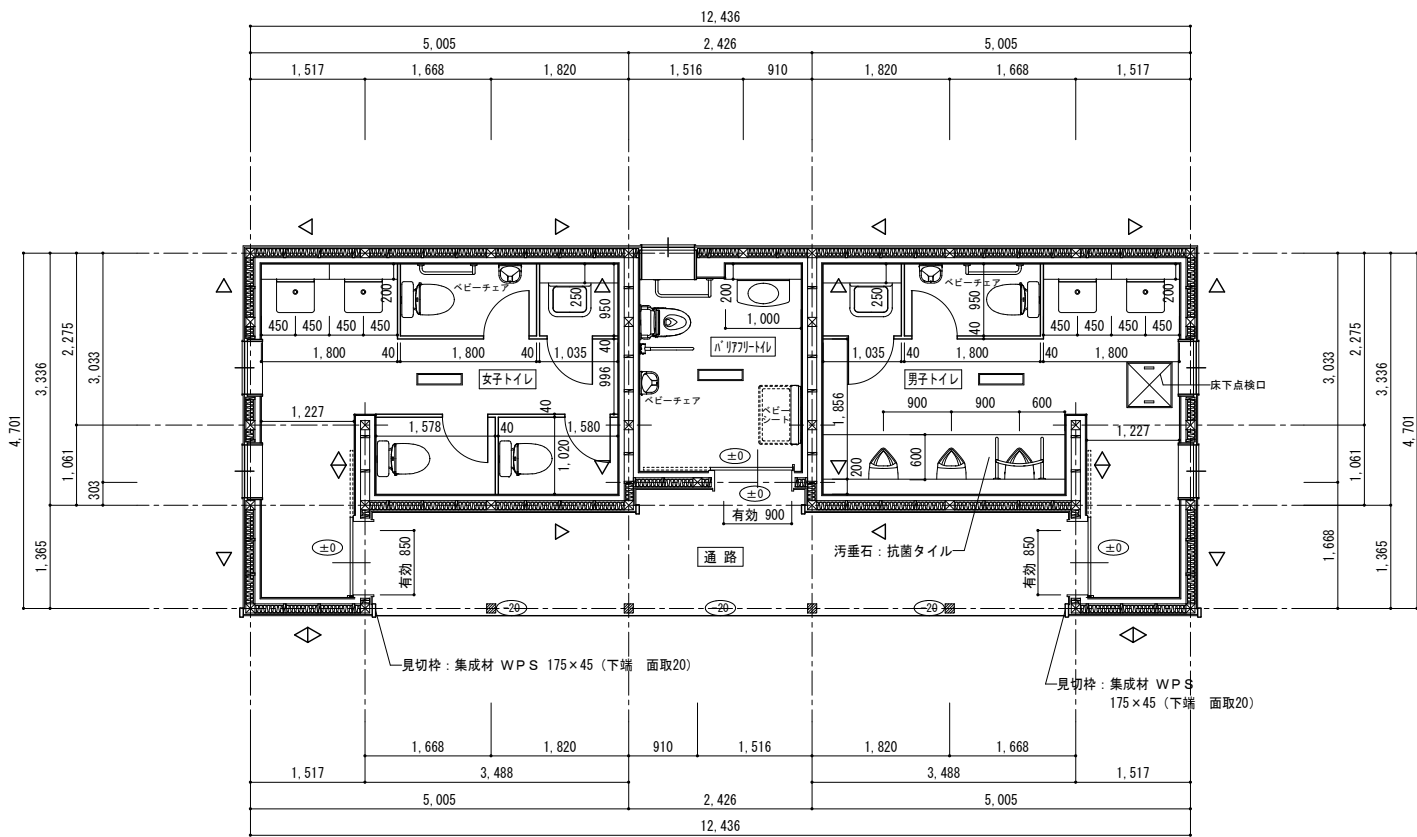
《凡 例》	
□	柱：120×120
■	間柱：120×30 @455
[桁] △ [±台]	筋カイ：45×90 シングル位置を示す
◇	筋カイ：45×90 ダブル(たすき掛け)位置を示す
■	柱：120×120 (化粧材)



【トイレ1】



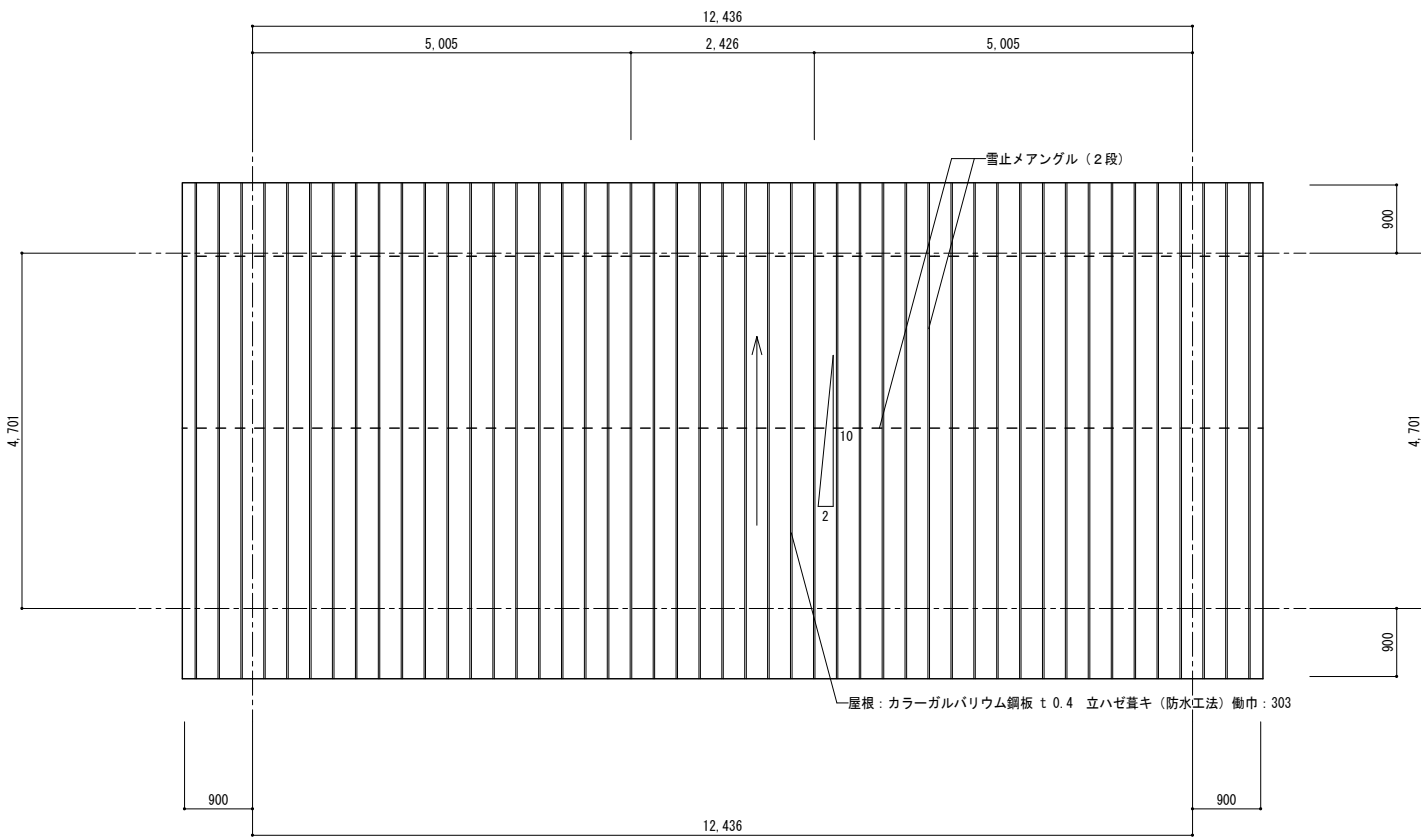
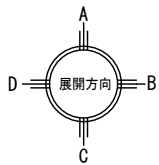
【トイレ2】



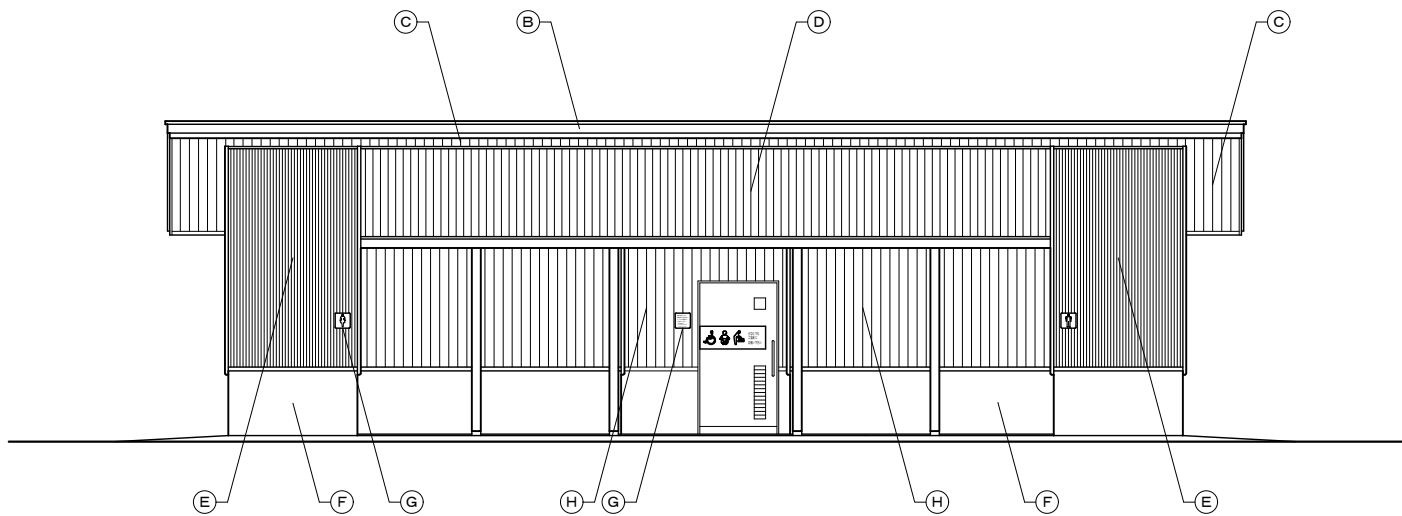
平面詳細図 S=1:50

※ 床排水ユニット〔機械設備工事〕を表す
(床排水ユニットに向けて排水勾配をとること)

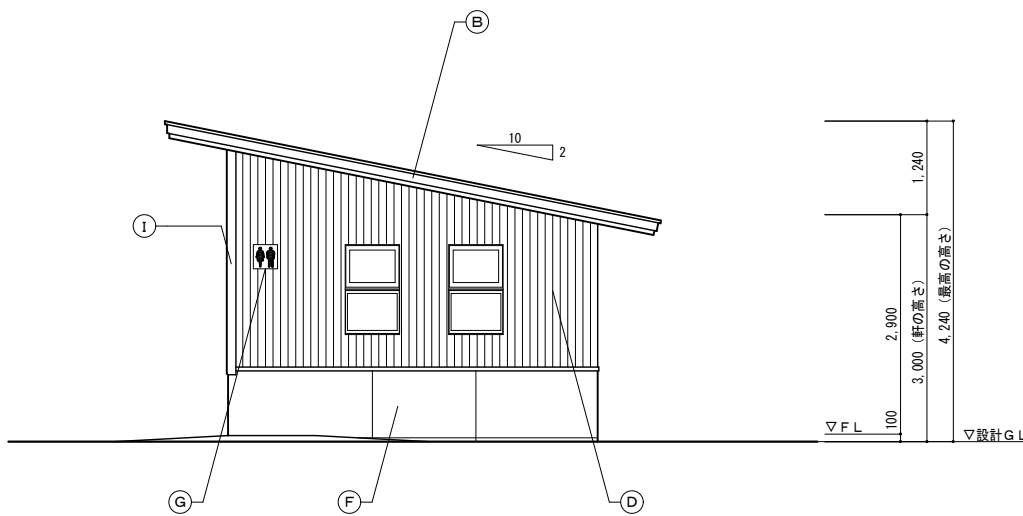
※ トイレ1：設計G L=353.41
トイレ2：設計G L=353.85



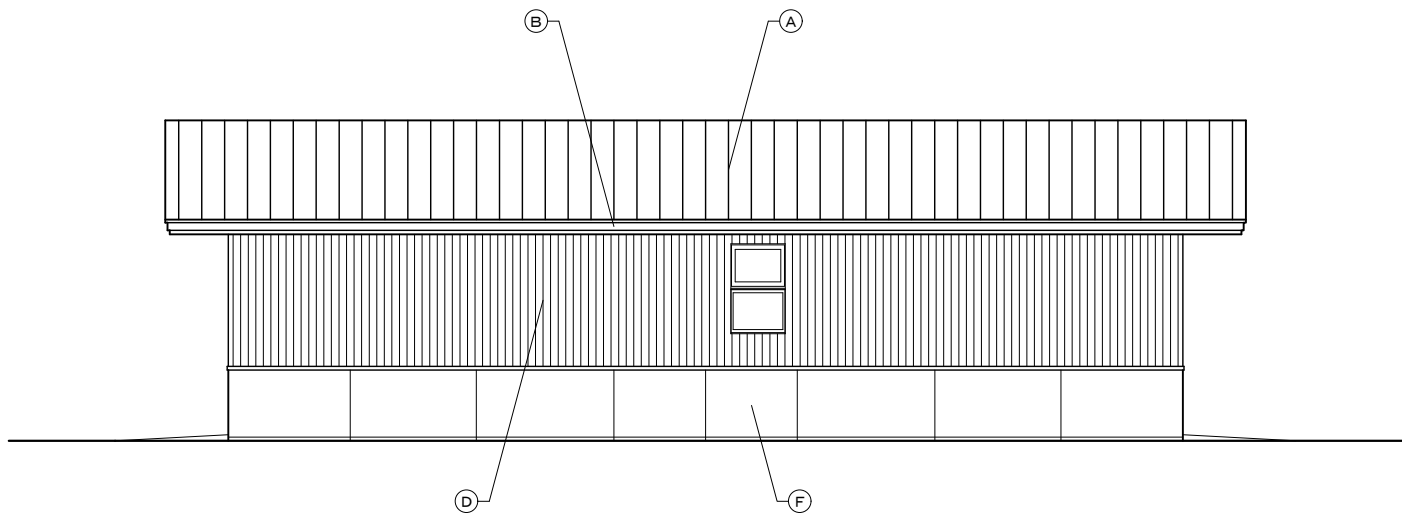
屋根伏図 S=1:50



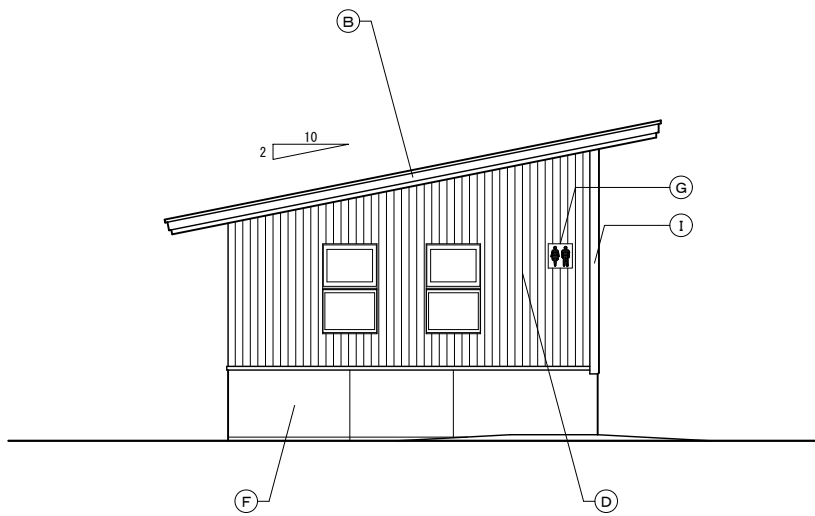
東側立面図



北側立面図



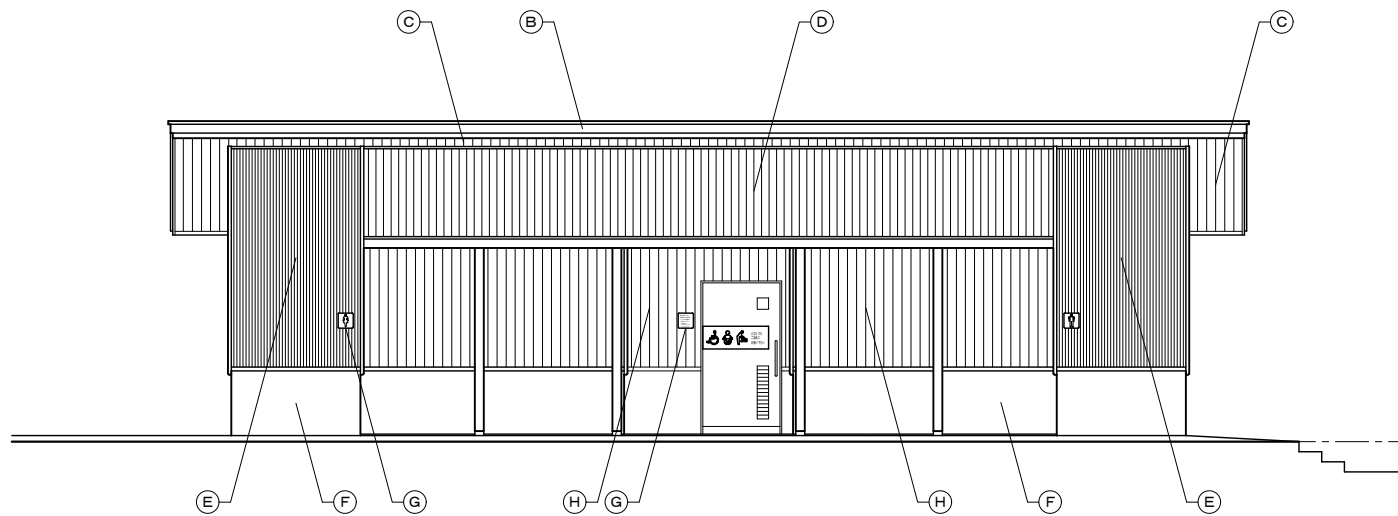
西側立面図



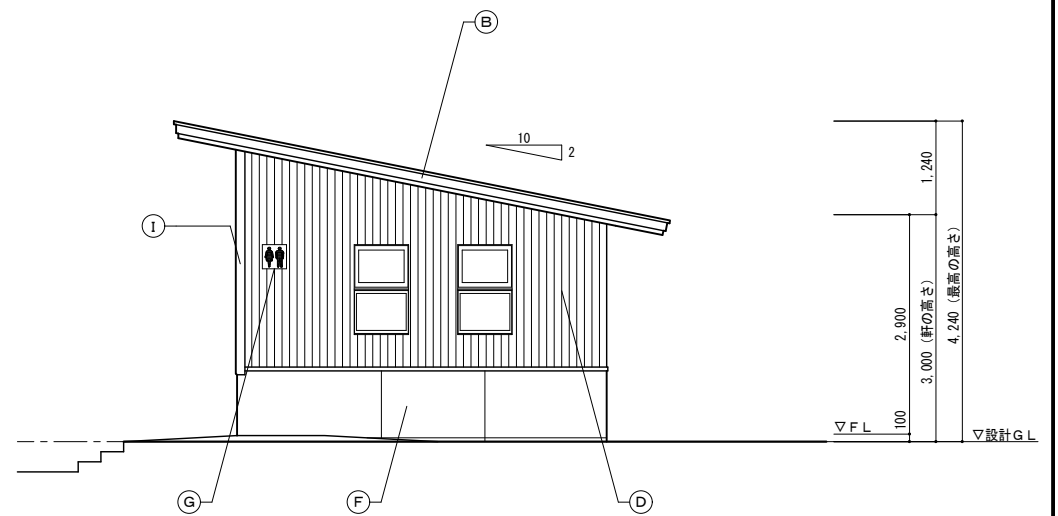
南側立面図

《外部仕上凡例》

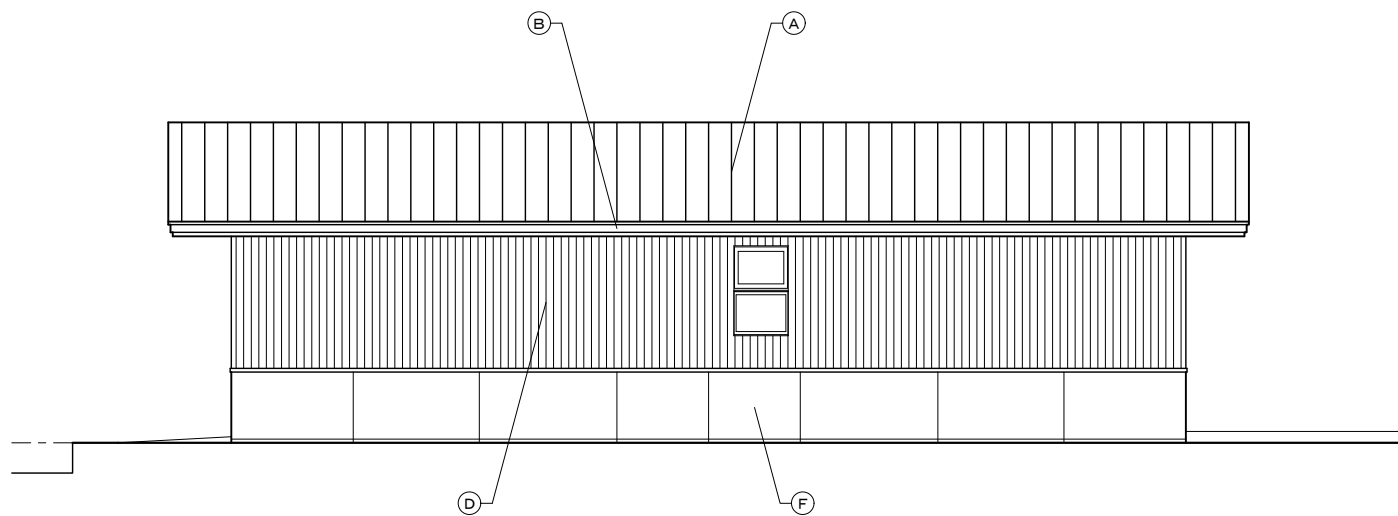
(A)	屋根：カラーガルバリウム鋼板 t 0.4 立ハゼ葺キ（防水工法） 働巾：303
(B)	破風：カラーガルバリウム鋼板 t 0.4加工（唐草、ケラバ 同材）
(C)	軒天：木製野縁組 合板 t 9+杉羽目板 t 12 WPS
(D)	外壁：窯業系サイディング t 16張り（金具工法）
(E)	外壁：金属サイディング t 15張り（リブ調）
(F)	腰壁：コンクリート打放シ 光触媒防汚コート（化粧目地切）
(G)	サイン表示（部分詳細図 参照）
(H)	壁：杉羽目板 t 15 WPS
(I)	出隅見切：集成材 WPS 120×45（下端 面取20）



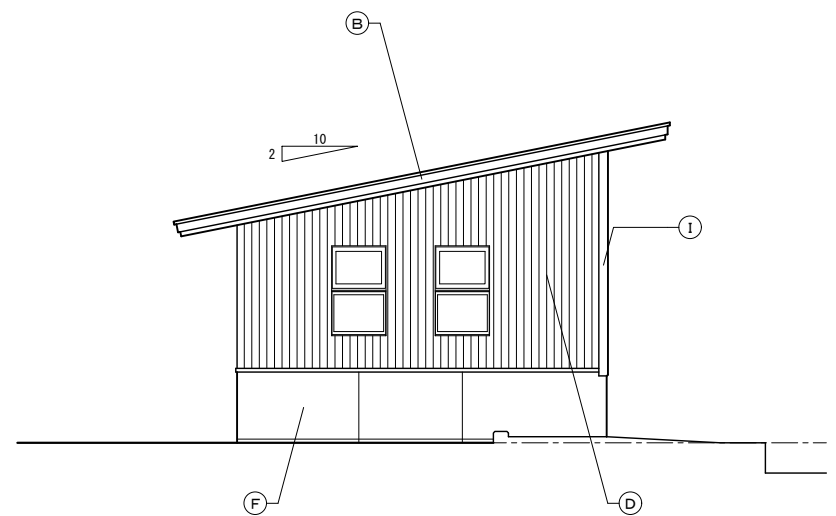
西側立面図



南側立面図



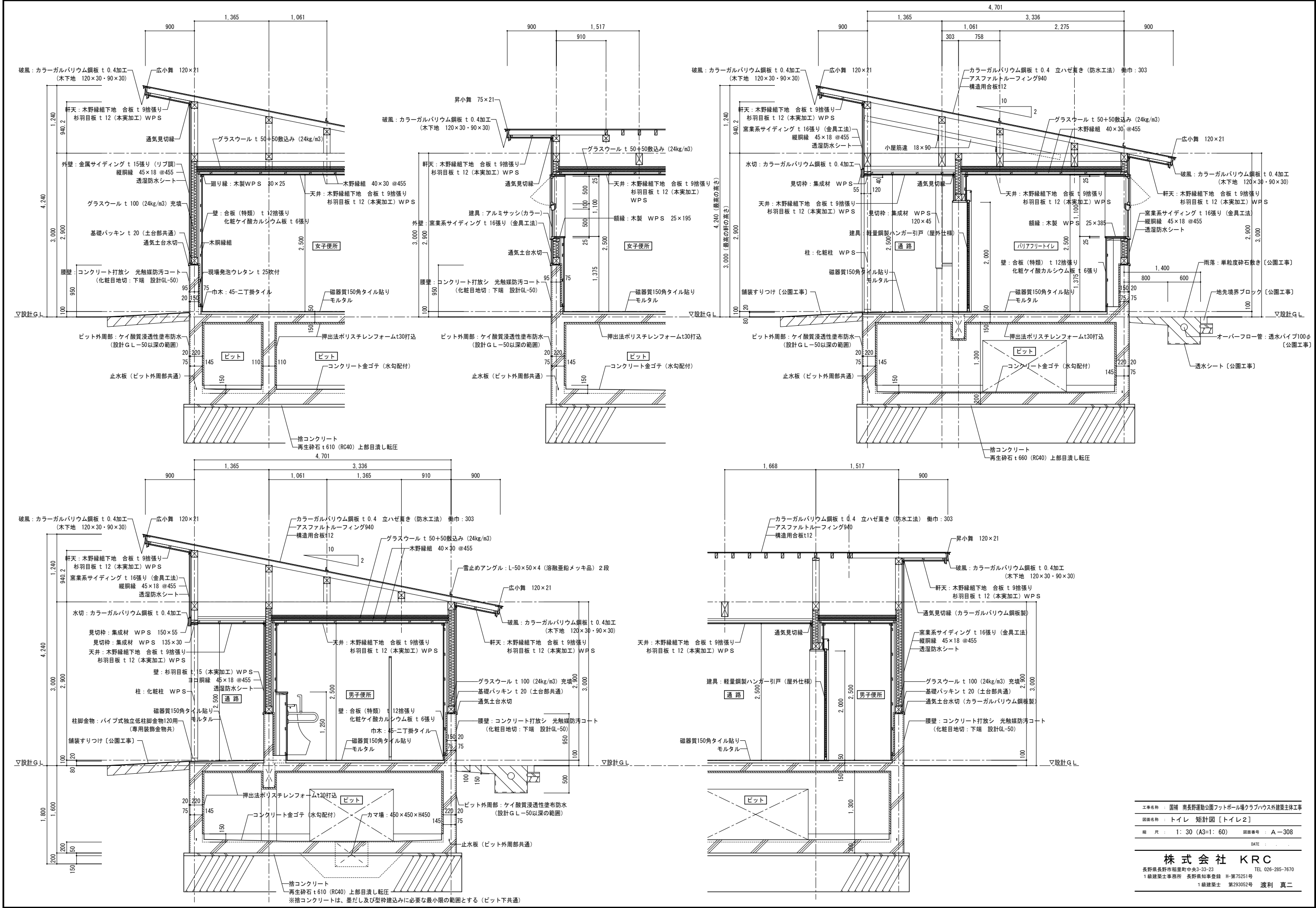
東側立面図

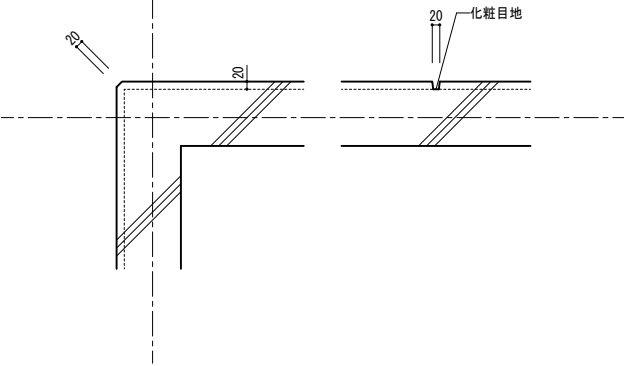
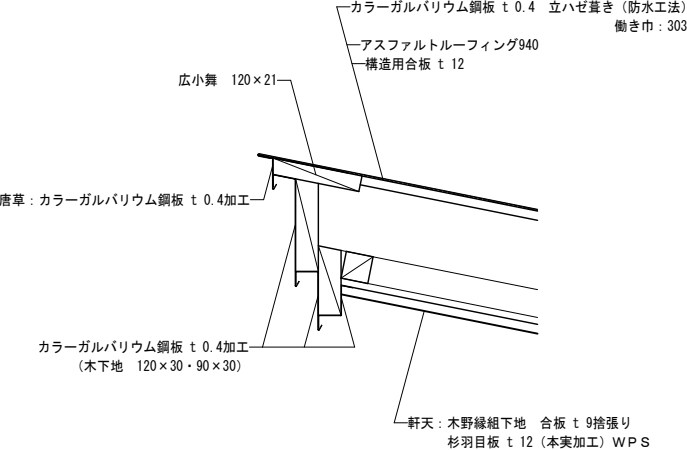
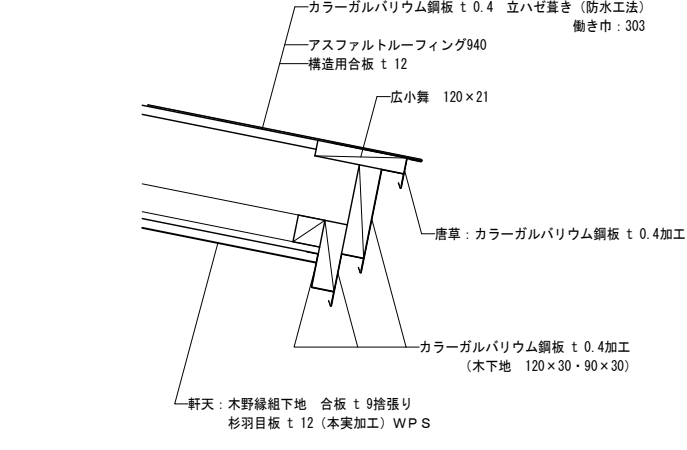
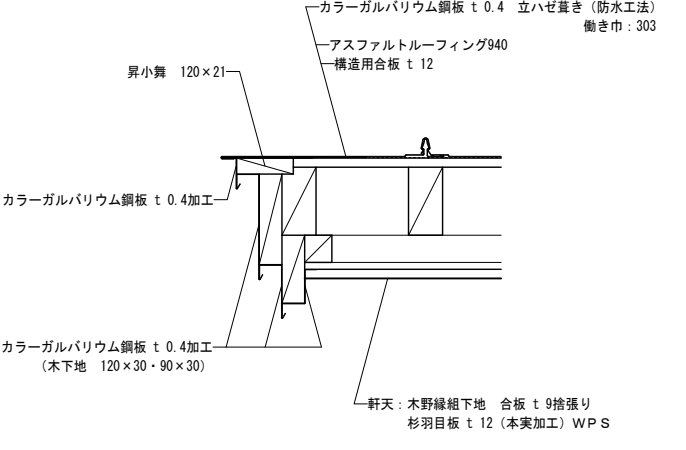
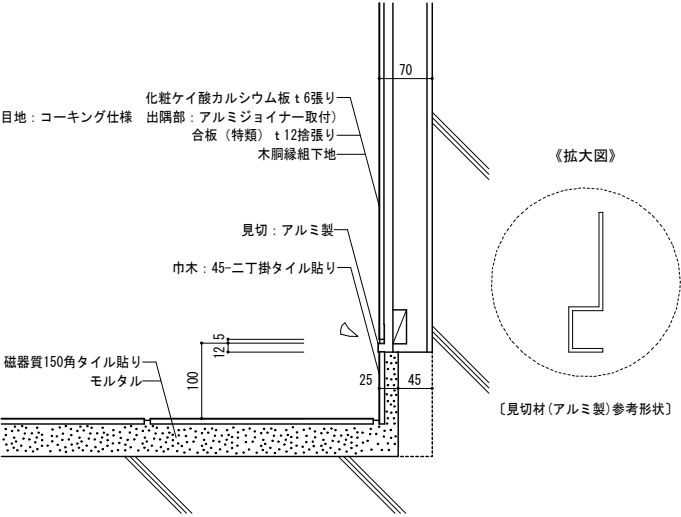
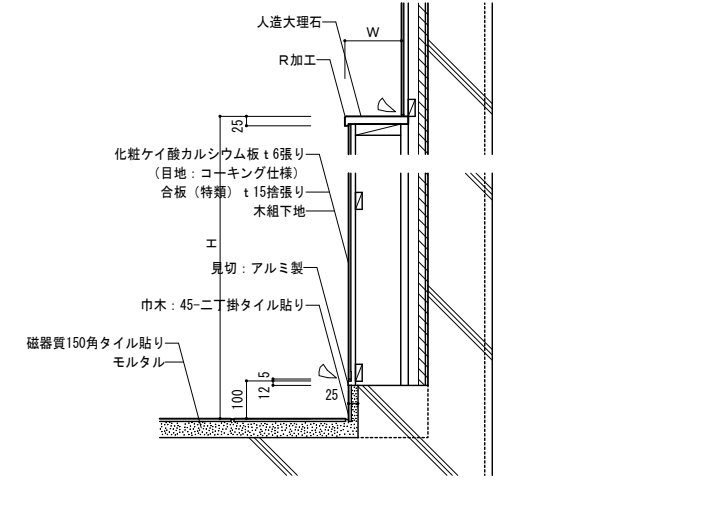
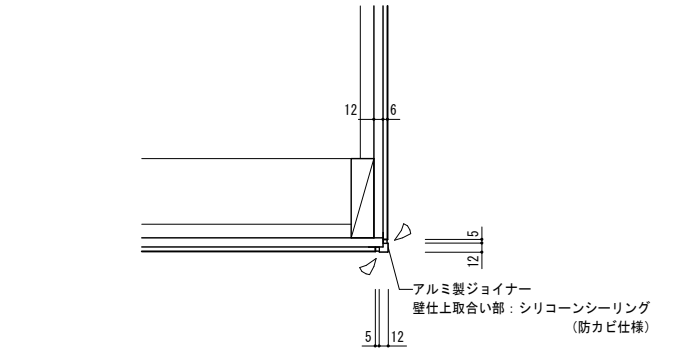
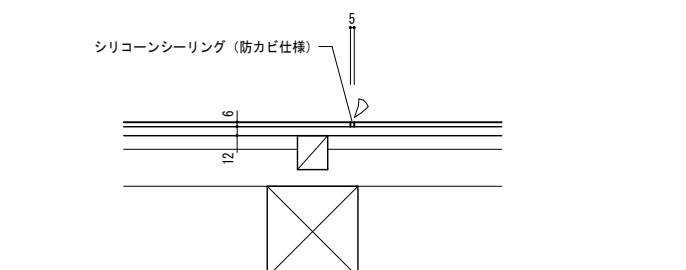
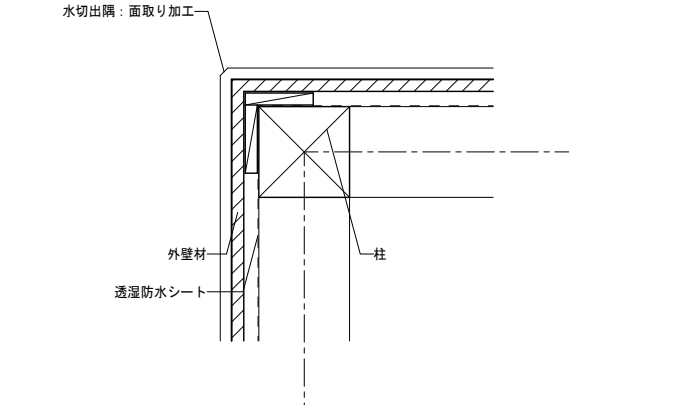
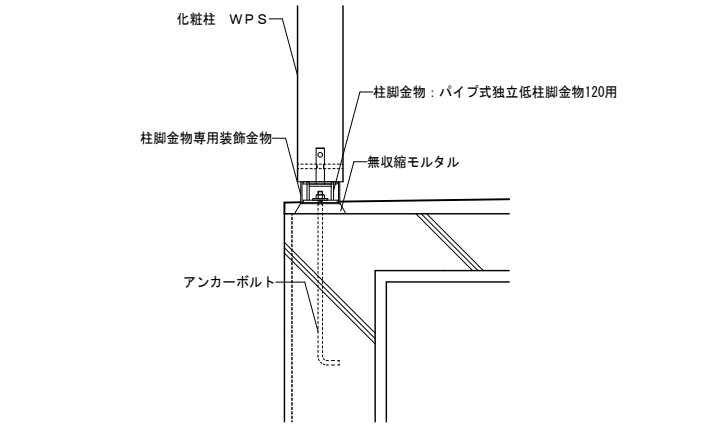


北側立面図

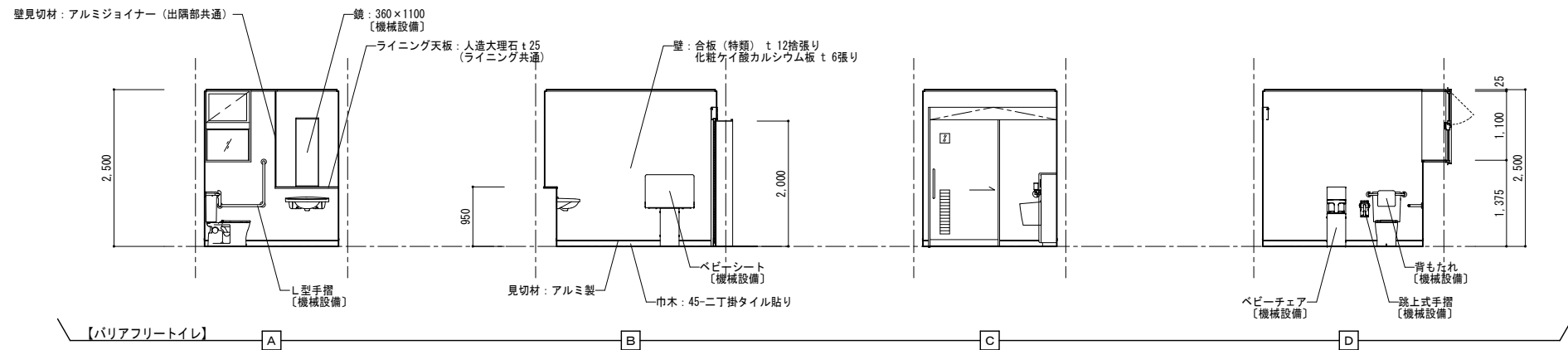
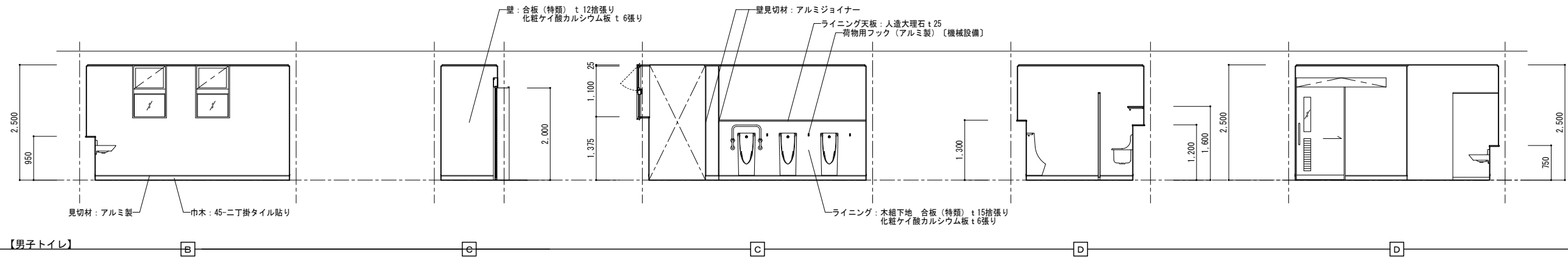
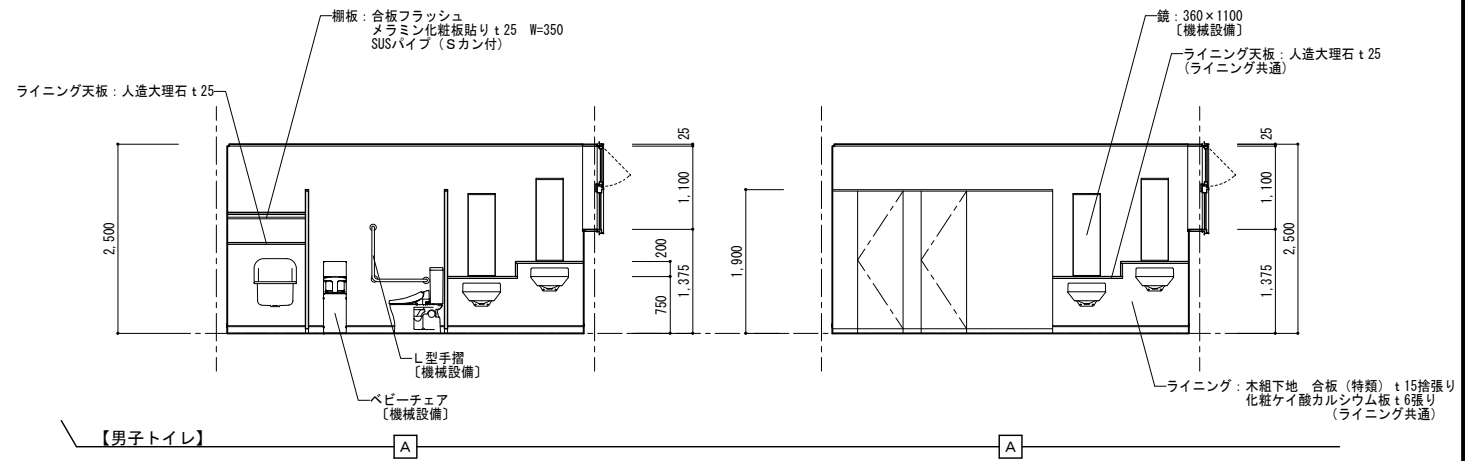
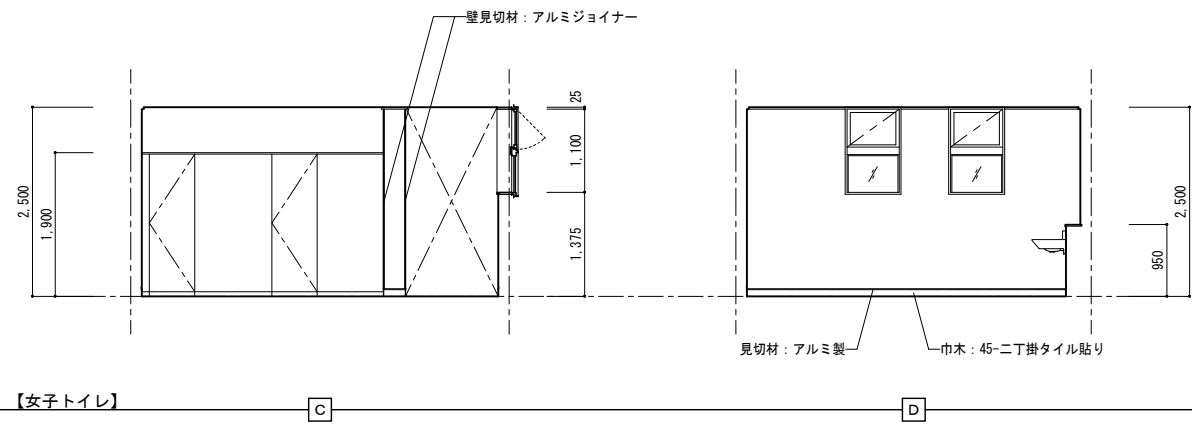
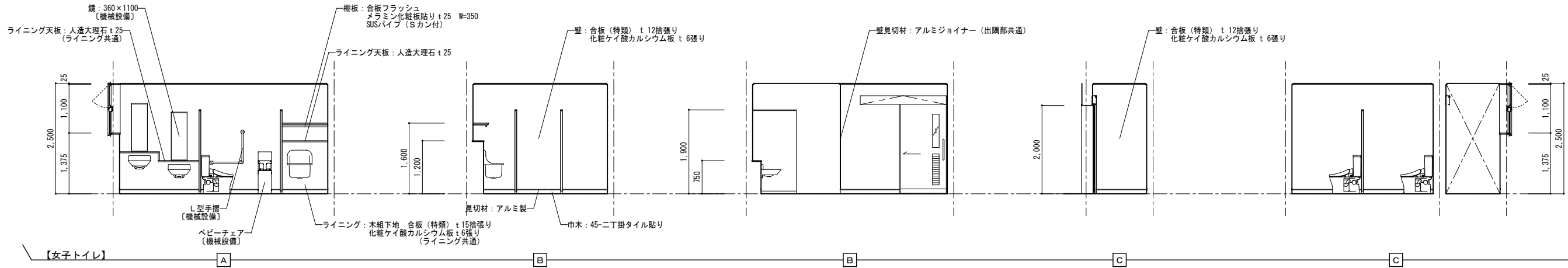
《外部仕上凡例》

(A)	屋根：カラーガルバリウム鋼板 t 0.4 立ハゼ葺キ（防水工法） 働巾：303
(B)	破風：カラーガルバリウム鋼板 t 0.4加工（唐草、ケラバ 同材）
(C)	軒天：木製野縁組 合板 t 9+杉羽目板 t 12 WPS
(D)	外壁：窯業系サイディング t 16張り（金具工法）
(E)	外壁：金属サイディング t 15張り（リブ調）
(F)	腰壁：コンクリート打放シ 光触媒防汚コート（化粧目地切）
(G)	サイン表示（部分詳細図 参照）
(H)	壁：杉羽目板 t 15 WPS
(I)	出隅見切：集成材 WPS 120×45（下端 面取20）



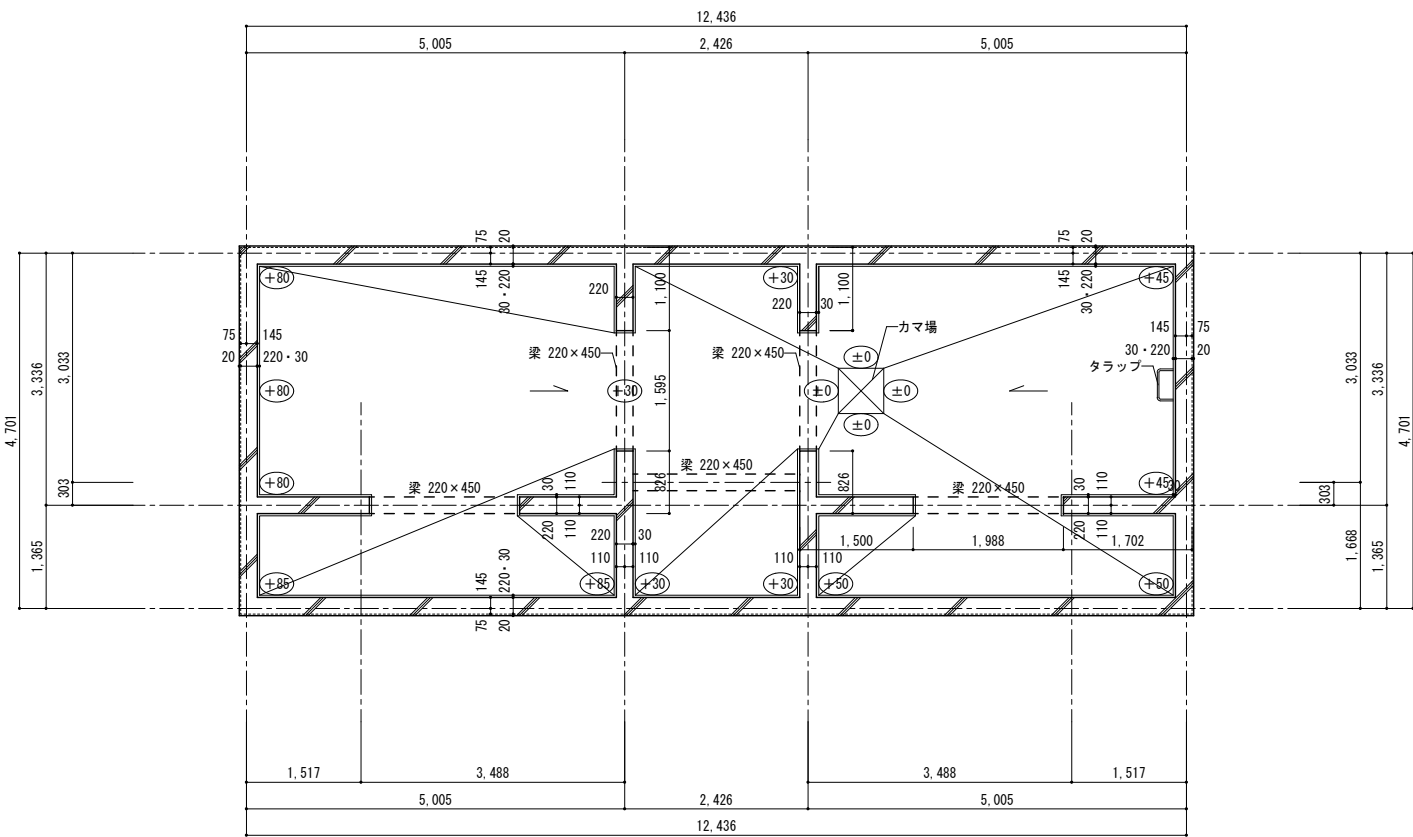
RC壁面木・目地 詳細図 S = 1 : 1 0 	屋根 詳細図 (軒先 水上) S = 1 : 5 	屋根 詳細図 (軒先 水下) S = 1 : 5 	屋根 詳細図 (軒先 ケラバ) S = 1 : 5 
壁～床 詳細図 (トイレ コンクリート面) S = 1 : 5 	ライニング 詳細図 S = 1 : 1 0 	化粧ケイ酸カルシウム板出隅部 詳細図 S = 1 : 5 	化粧ケイ酸カルシウム板縦目地部 詳細図 S = 1 : 5 
外壁下端水切出隅 詳細図 S = 1 : 5 	化粧柱 (独立柱) 柱脚金物 詳細図 S = 1 : 1 0 		

サインA 詳細図 [ピクトサイン：壁面 平付] NON サイン仕様 ※絵文字柄は参考とする。 <table><tr><td>壁面取付</td><td>250×250 アルミ複合板 t3 (裏面捨張り t3) インクジェットシート貼り (小口巻込み) ※ ベース色：カラー、マーク：白</td><td>各 1ヶ所</td></tr></table> 【男子トイレ：A 1】 【女子トイレ：A 2】 【♂ リアフリートイレ：A 3】 非常呼出しの 作動時は多目的 トイレの確認に ご協力下さい。 緊急連絡先 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 裏面捨張り 3	壁面取付	250×250 アルミ複合板 t3 (裏面捨張り t3) インクジェットシート貼り (小口巻込み) ※ ベース色：カラー、マーク：白	各 1ヶ所	サインB 詳細図 [ピクトサイン：建具LSD面 平付] NON サイン仕様 ※絵文字柄は参考とする。 <table><tr><td>建具取付</td><td>図示 カッティングシート貼り (黒) ※ ベース色：カラー、マーク：白</td><td>各 1ヶ所</td></tr></table> 【男子トイレ：B 1】 【女子トイレ：B 2】 【♂ リアフリートイレ：B 3】	建具取付	図示 カッティングシート貼り (黒) ※ ベース色：カラー、マーク：白	各 1ヶ所	
壁面取付	250×250 アルミ複合板 t3 (裏面捨張り t3) インクジェットシート貼り (小口巻込み) ※ ベース色：カラー、マーク：白	各 1ヶ所						
建具取付	図示 カッティングシート貼り (黒) ※ ベース色：カラー、マーク：白	各 1ヶ所						
サインC 詳細図 [ピクトサイン：壁面 平付] NON サイン仕様 ※絵文字柄は参考とする。 <table><tr><td>壁面取付</td><td>300×300 アルミ複合板 t3 (裏面捨張り t3) インクジェットシート貼り (小口巻込み) ※ ベース色：カラー、マーク：白</td><td>各種 各 1ヶ所</td></tr></table> 【男子トイレ：C 1】 【女子トイレ：C 2】 【♂ リアフリートイレ：C 3】 裏面捨張り 3	壁面取付	300×300 アルミ複合板 t3 (裏面捨張り t3) インクジェットシート貼り (小口巻込み) ※ ベース色：カラー、マーク：白	各種 各 1ヶ所	サインキープラン S=1:50				
壁面取付	300×300 アルミ複合板 t3 (裏面捨張り t3) インクジェットシート貼り (小口巻込み) ※ ベース色：カラー、マーク：白	各種 各 1ヶ所						

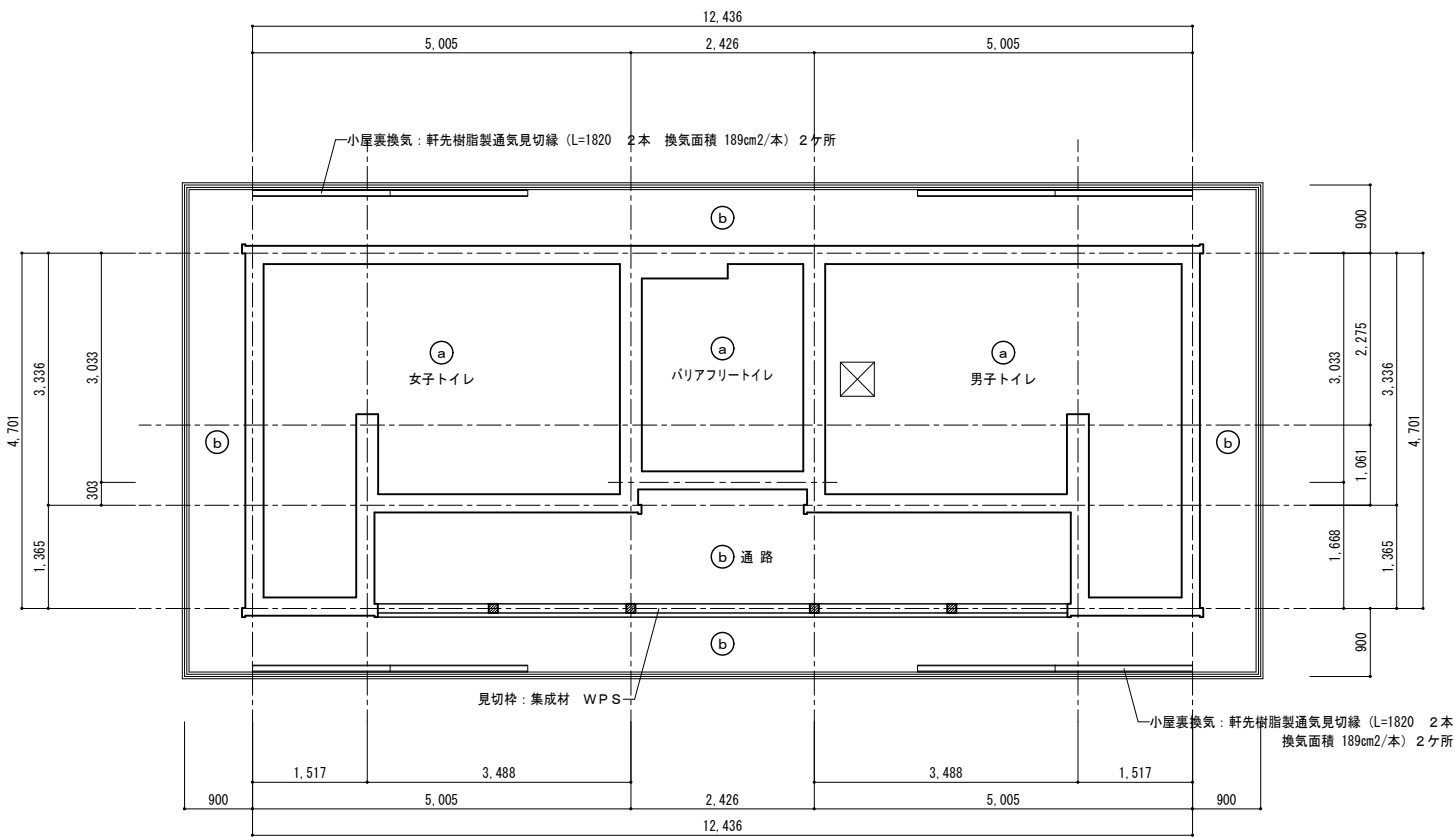


《ビット凡例》	
	カマ場 : 600×600×H450
	トラップ : ステンレス製 22φ W=400 3段
	水勾配 (1/100)

《天井仕上凡例》	
(a)	木野縁組下地 合板 t 9捨張り 杉羽目板 t 12 WPS (屋内仕様)
(b)	木野縁組下地 合板 t 9捨張り 杉羽目板 t 12 WPS
	天井点検口 : アルミ製 450角 1ヶ所



ビット図 S=1:50

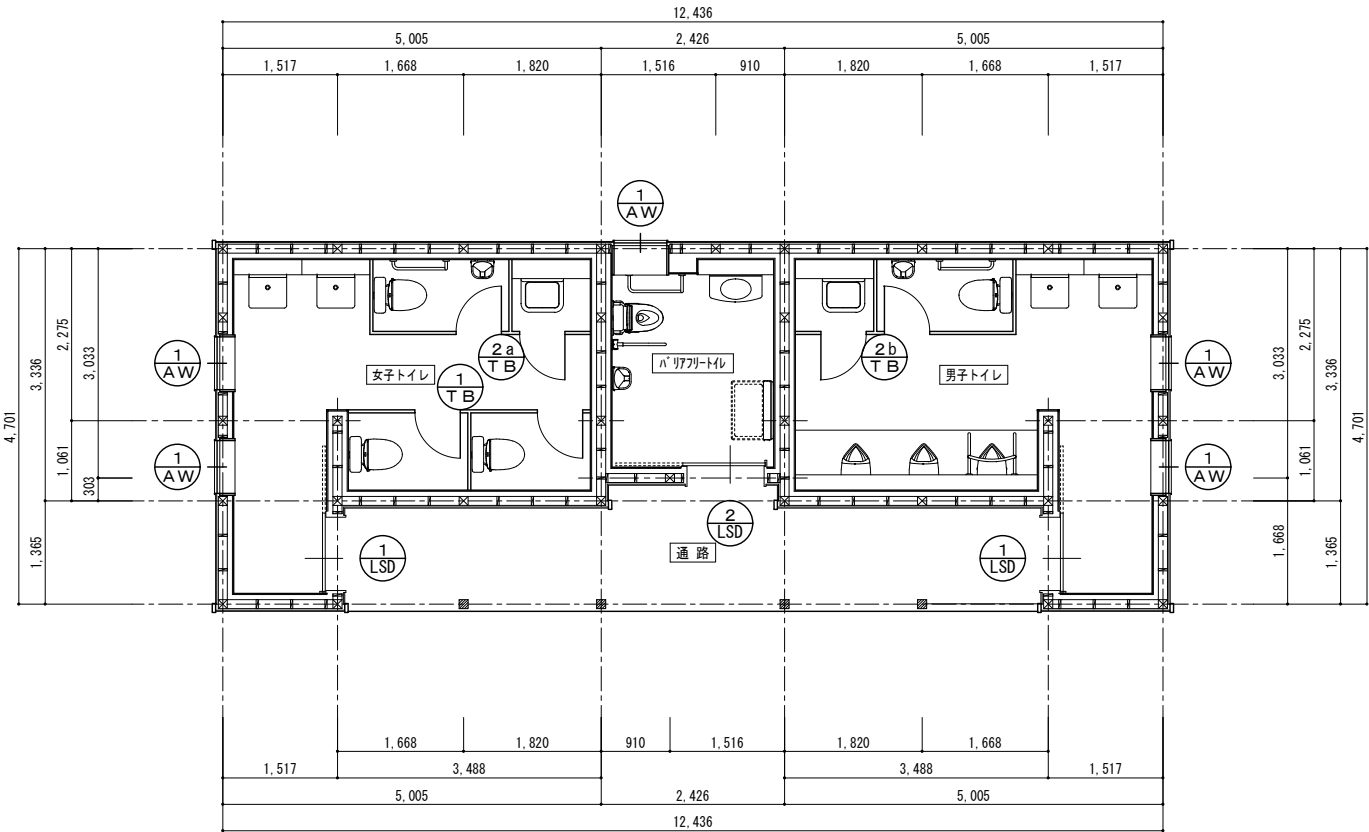


天井伏図 S=1:50

建 具 表 S=1:50

記 号	①AW女子トイレ・バリアフリートイレ・男子トイレ	
姿 図		
種 類	スベリ出し窓＋ハメ殺シ窓 住宅用	
口 数	5	
見 込	86	
材 種	アルミ（複合） カラー	
金 物	カムラッチハンドル・スベリ出しアーム 他付属金物一式	
硝 子	複層ガラス（型板 t4＋A6＋フロート t3）	
備 考	網戸	
記 号	①TSD女子トイレ・男子トイレ	②SDバリアフリートイレ
姿 図		
種 類	軽量額付片引キハングー戸 ガラリ付	軽量額付片引キハングー戸 ガラリ付
口 数	2	1
見 込	100	100
材 種	スチール 焼付塗装	スチール 焼付塗装
金 物	ハンガーレール（自閉装置、点検カバー）・引棒（抗菌仕様） シリンダー錠・スチール三方枠・他付属金物一式	ハンガーレール（自閉装置、点検カバー）・引棒（抗菌仕様）・シリンダー錠 表示錠（非常時間錠装置付）・スチール三方枠・他付属金物一式
硝 子	型板強化ガラス t4	型板ガラス t4
備 考	屋外仕様・ステンレス巾木・ガラリ防虫網	屋外仕様・ステンレス巾木・ガラリ防虫網
記 号	①TB女子トイレ	②TB女子トイレ・男子トイレ
姿 図		
種 類	トイレブース	トイレブース
口 数	1	2
見 込	40	40
材 種	高圧メラミン化粧合板（堅牢仕様）	高圧メラミン化粧合板（堅牢仕様）
金 物	頭つなぎ・ステンレス巾木・Rドアエッジ（指はさみ防止構造） グレビティヒンジ・表示付スライドボルト（非常時間錠装置付）・戸当り帽子掛 他付属金物一式	頭つなぎ・ステンレス巾木・Rドアエッジ（指はさみ防止構造） グレビティヒンジ・表示付スライドボルト（非常時間錠装置付）・戸当り帽子掛 他付属金物一式
硝 子		
備 考		姿図は2aを表す、2bは反転とする

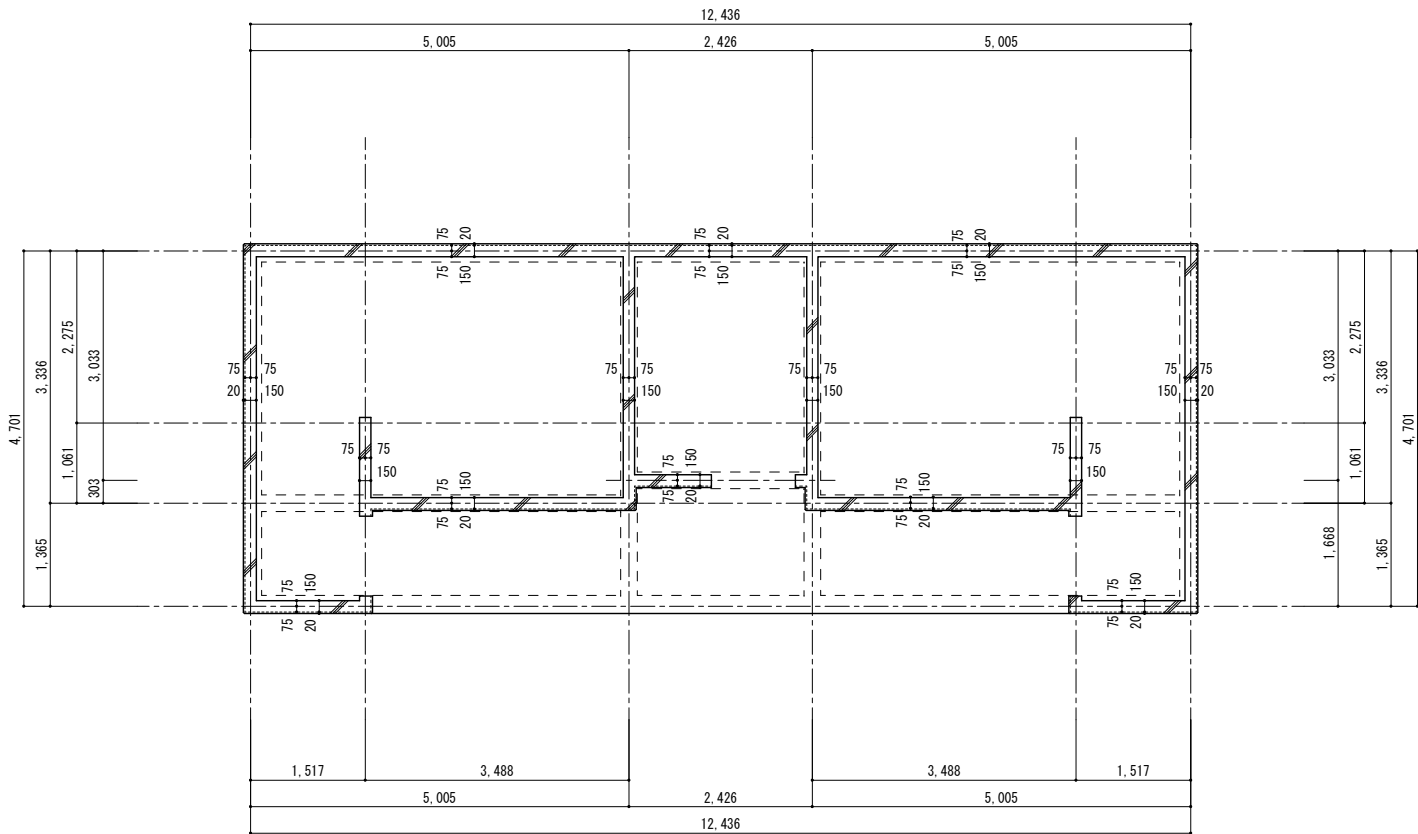
消防法無窓階の検討	
必要面積	58.46×1/30＝1.95
有効面積	LSD-1 0.85×2.00×2＝3.40
判定	1.95 < 3.40 ○K



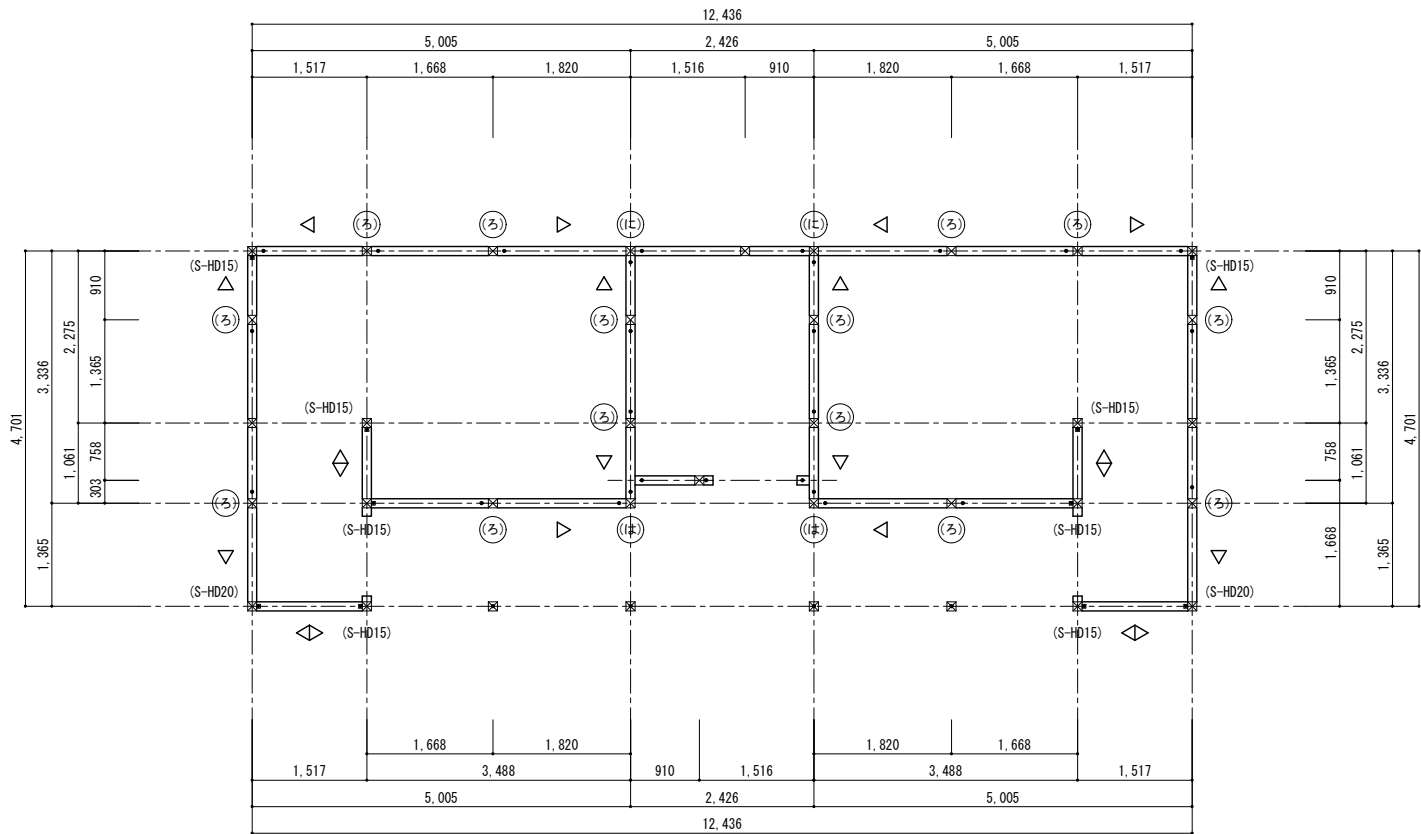
建 具 伏 図 S=1:50

〈共通事項〉

1. 寸法は参考寸法とする。
2. 特記なき金物はステンレス製とする。
3. ガラス押エは、原則としてシーリング押エとする。
4. サッシ廻りのコーキングは、原則として
変成シリコン系とする。
5. 必要なヶ所は、戸当り付とする。
6. ドア下床見切は、ステンレス製とする。
7. 原則として外廻りのサッシは、結露受付とする。
8. 網戸は、合成樹脂製とする。



床 伏 図 S=1:50



土台伏図 S=1:50

☒ 柱：120×120を示す

・ アンカーボルト：M12 L=450 フック付（位置は柱芯より150mmを基本、埋込み長さ250mm以上とする）

■ ホールダウン金物（S-HD15、S-HD20）

◁ 筋カイ：45×90 シングル位置を示す

◁ 筋カイ：45×90 ダブル（たすき掛け）位置を示す

設置方向：[桁] ◁ [土台]

土 台：防腐土台 120×120（基礎パッキンt20）

柱：杉（KD） 120×120

・ 木材は、KD材とする。

・ アンカーボルトの埋設位置は以下とする。但し、ホールダウン専用アンカーボルトが取り付けられた場合は、省略することができる。

① 筋違イを設けた耐力壁の両端の柱脚部

② 土台の継手、仕口箇所の上木端部および土台端部

③ 上記のほか、@2.7m以内となる位置

・ ホールダウン金物以外の柱脚部は、図中の告示記号(ろ) (は) (に)の金物取付とする。

・ 特記以外の柱脚部は、告示記号(い)以上の金物取付とする。

・ 筋違部には、筋違金物（壁倍率2.0倍用）取付とする。

・ その他接合部（継手、仕口等）は、告示平12建告第1460号による。

工事名称：南長野運動公園フットボール場 クラブハウス外 建築主体工事

図面名称：トイレ 床伏図・土台伏図 [共通]

縮 尺：1: 50 (A3=1:100) 図面番号：A-314

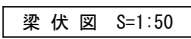
DATE：

株 式 会 社 K R C

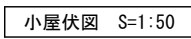
長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670

1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号

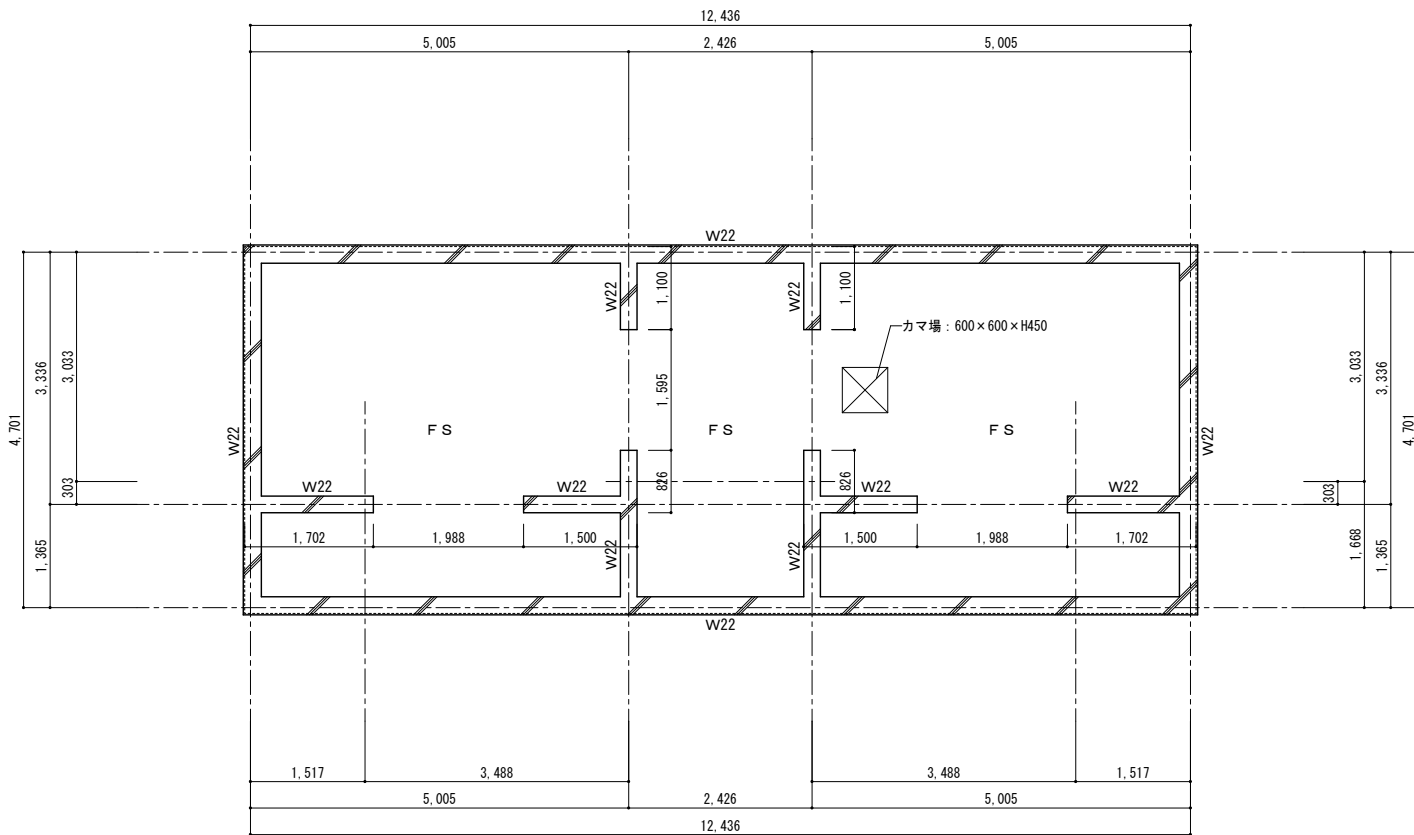
1級建築士 第293052号 渡利 真二



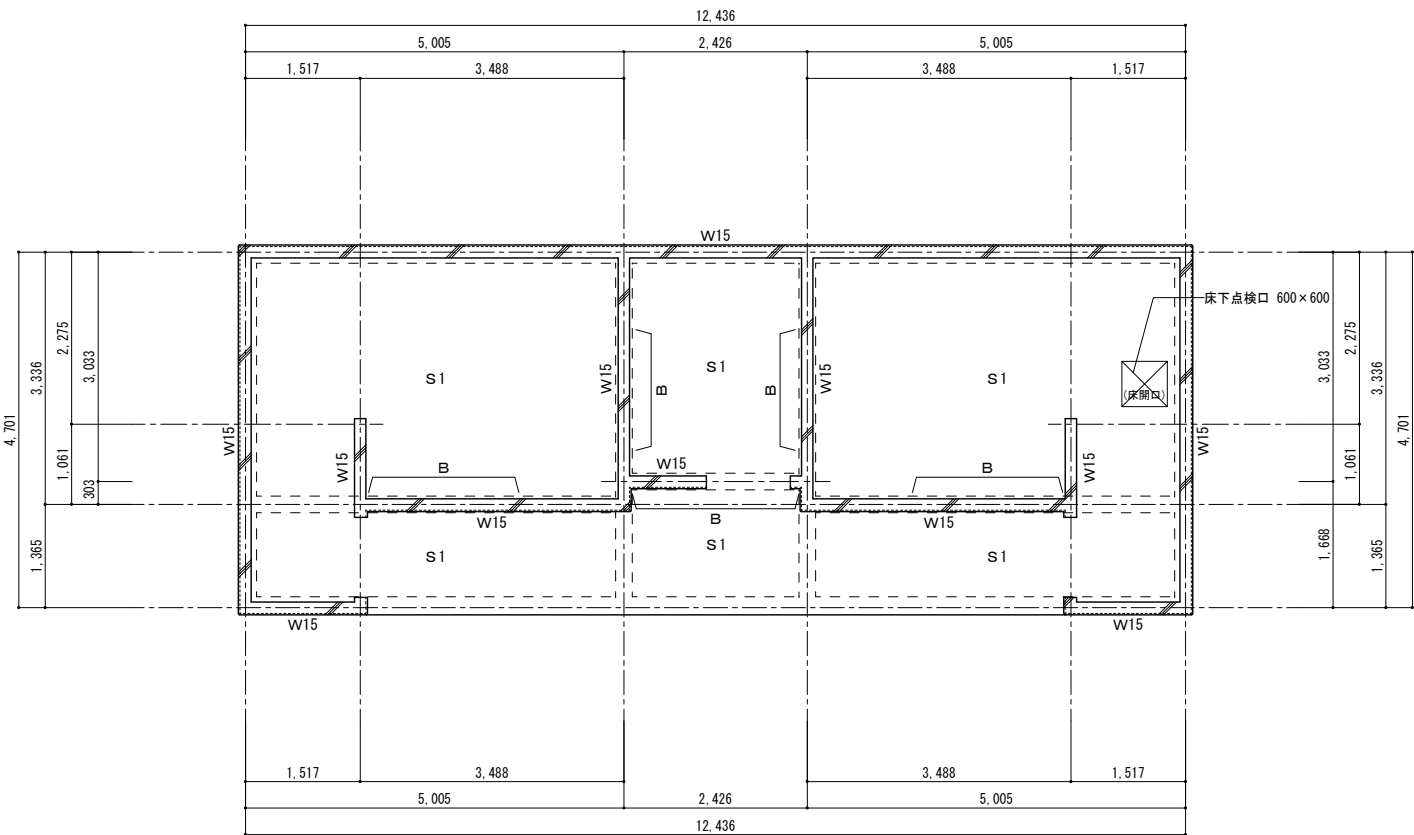
- ・ 木材は、K口材とする。
- ・ 梁接合部には、羽板ボルトを取付とする。
- ・ 火打梁には、六角ボルトを取付とする。
- ・ ホールダウン金物以外の柱頭部は、図中の告示記号(ろ)(は)(に)の金物取付とする。
- ・ 特記以外の柱頭部は、告示記号(い)以上の金物取付とする。
- ・ その他接合部(継手、仕口等)は、告示平12建告第146号による。



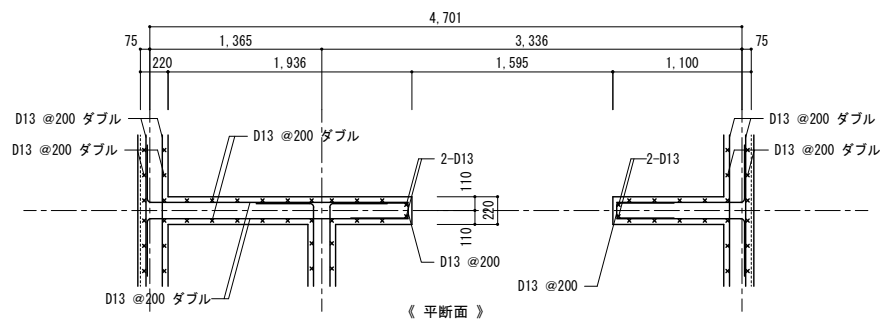
- ・ 木材は、K D材とする。
- ・ 母屋と垂木は、ひねり金物又は同等品にて接合とする。
- ・ 小屋束は、かすがいいにて接合とする。
- ・ その他接合部(継手、仕口等)は、告示第12建告第1460号による。



ビット底盤図 S=1:50



基礎伏図 S=1:50

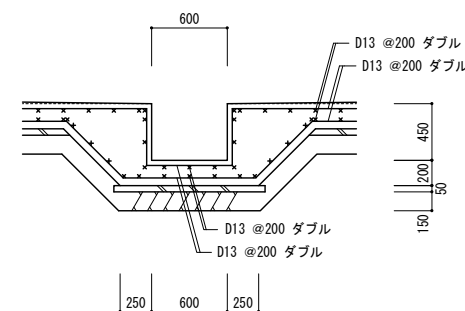


スラブリスト

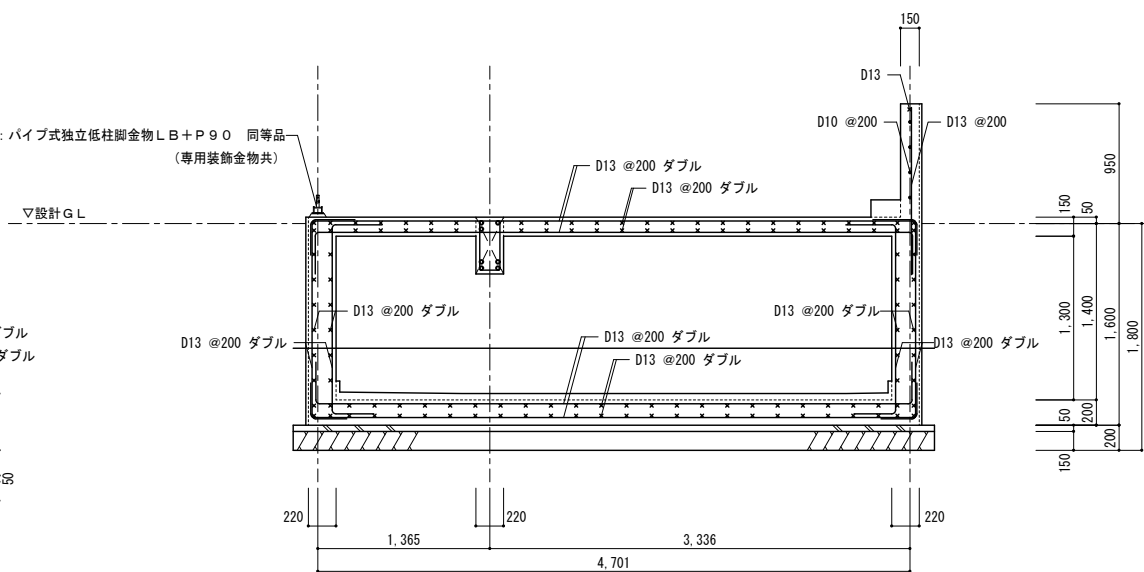
符 号	スラブ厚	短辺方向主筋	長辺方向主筋	備 考
F S	200	上	D13 @200	開口補強筋 縦・横・各2-D13 (上下) 斜め : 各2-D13 (上下間)
		下	D13 @200	
S 1	150	上	D13 @200	
		下	D13 @200	

壁 リ ス ト

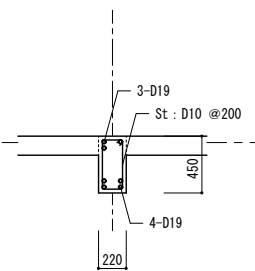
符 号	壁 厚	縦 筋	横 筋	備 考
W22	220	D13@200ダブル	D13@200ダブル	巾止め筋: D10@1000
W15	150	D13@200	D10@200 端部: D13	



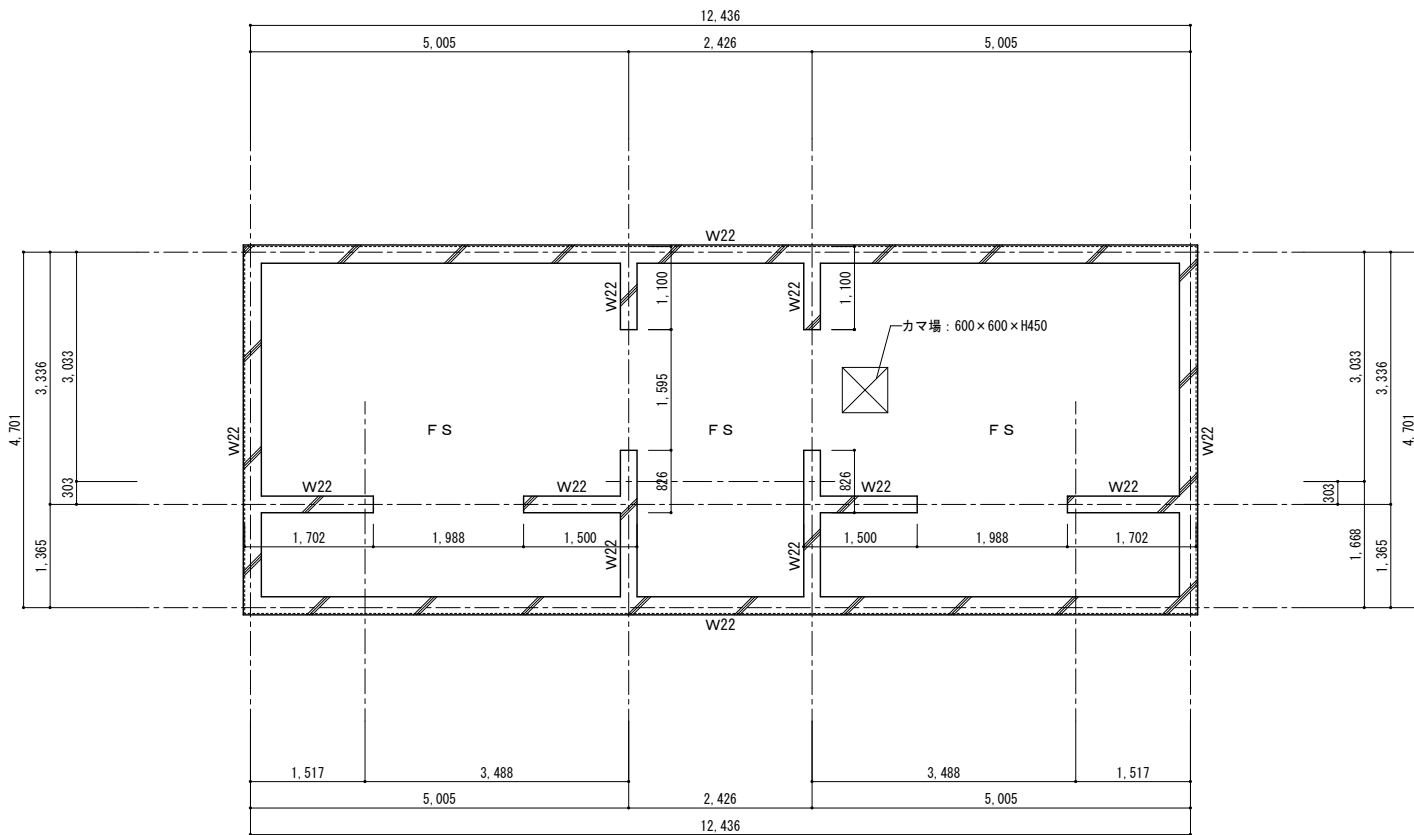
カメラ場 配筋図 S=1/30



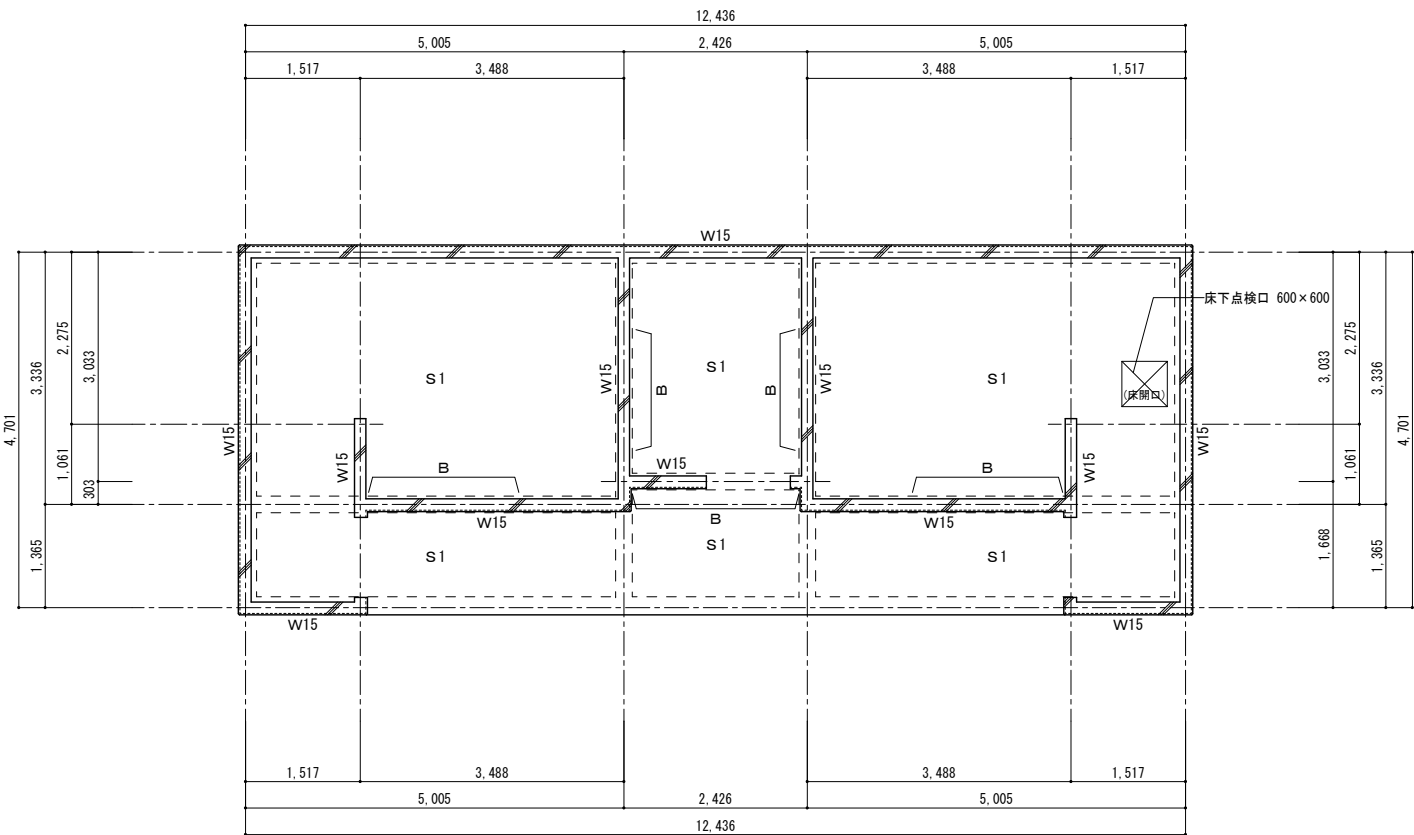
配筋要領図 S=1/30



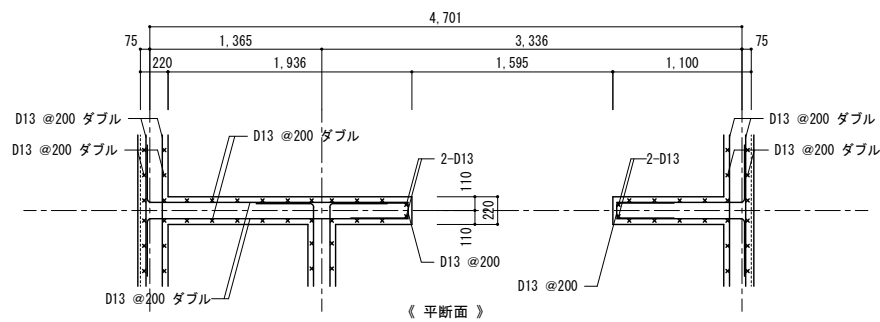
梁(B)配筋図 S=1/30



ビット底盤図 S=1:50



基礎伏図 S=1:50

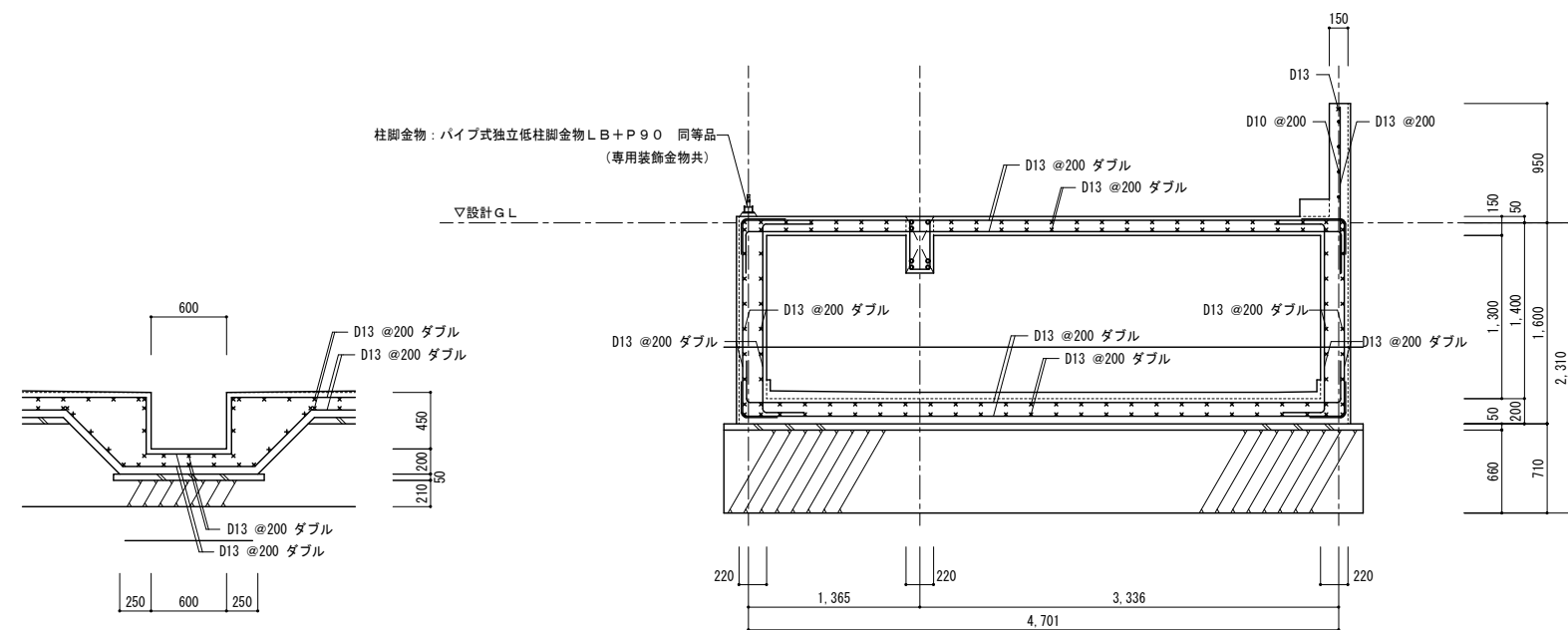


スラブリスト

符 号	スラブ厚	短辺方向主筋	長辺方向主筋	備 考
F S	200	上	D13 @200	開口補強筋 縦・横 : 各2-D13 (上下) 斜め : 各2-D13 (上下間)
		下	D13 @200	
S 1	150	上	D13 @200	
		下	D13 @200	

壁リスト

符 号	壁 厚	縦 筋	横 筋	備 考
W22	220	D13@200ダブル	D13@200ダブル	巾止め筋: D10@1000
W15	150	D13@200	D10@200 端部: D13	



カマ場 配筋図 S=1/30

配筋要領図 S=1/30

梁(B)配筋図 S=1/30

木 造 壁 量 計 算 表 (建築基準法施行令第46条)

《表 1》 設 計 壁 量 (倍率×単位壁長×ヶ所)

軸 組 の 種 類	倍 率	設 計 壁 量 (単位壁長 × ヶ所)			
		X 方 向		Y 方 向	
		2 階	1 階	2 階	1 階
(1) 土家壁又は本ずりその他これに類するものを柱及び間柱の片面に打ち付けた壁を設けた軸組	0.5				
(2) 本ずりその他これに類するものを柱及び間柱の両面に打ち付けた壁を設けた軸組	1.0				
(2) 厚さ1.5センチメートルで幅9センチメートルの木材もしくは径9ミリメートルの鉄筋又はこれらと同等以上の耐力を有する筋違を入れた軸組					
(3) 厚さ3センチメートルで幅9センチメートルの木材又はこれと同等以上の耐力を有する筋違を入れた軸組	1.5				
(4) 厚さ4.5センチメートルで幅9センチメートルの木材又はこれと同等以上の耐力を有する筋違を入れた軸組	2.0		151×2 182×4		91×4 106×2 136×2
(5) 9センチメートル角の木材又はこれと同等以上の耐力を有する筋違を入れた軸組	3.0				
(6) (2)から(4)までに掲げる筋違をたすき掛けに入れた軸組	(2)(3)(4) 倍率×2		151×2		106×2
(7) (5)に掲げる筋違をたすき掛けに入れた軸組	5.0				
(8) その他建設大臣が(1)～(7)までに掲げる軸組と同等以上の耐力を有するものと認めて定める軸組					
(9) (1)又は(2)に掲げる壁と(2)から(6)までに掲げる筋違を併用した軸組	(1)・(2) と (2)～(6) との合計				
設計壁量の合計 (cm)			3268		2544

※ 上の数値が必ず下の数値以上であること。

必 要 壁 量 (cm)	VII	VII	VII	VII
or : いづれか大きい数値	①or③	②or④	①or⑤	②or⑥

【 2 階平面必要壁量】

2階床面積 × 表2の数値 = 必要壁量 (cm) . . ①

【 1 階平面必要壁量】

1階床面積 × 表2の数値 = 必要壁量 (cm) . . ②

【 X 面立面必要壁量】

2階見付面積 × 表3の数値 = 必要壁量 (cm) . . ③

1階見付面積 × 表3の数値 = 必要壁量 (cm) . . ④

【 Y 面立面必要壁量】

2階見付面積 × 表3の数値 = 必要壁量 (cm) . . ⑤

1階見付面積 × 表3の数値 = 必要壁量 (cm) . . ⑥

《表 2》 荷重の実態によって定まる壁量

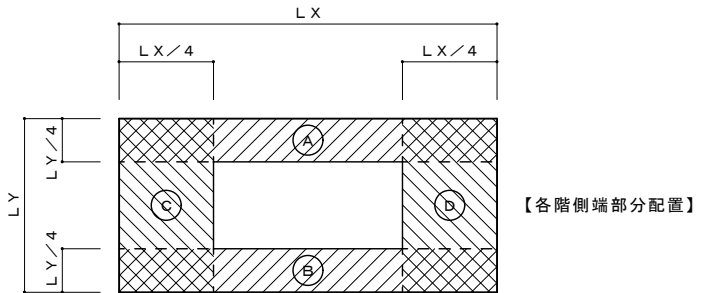
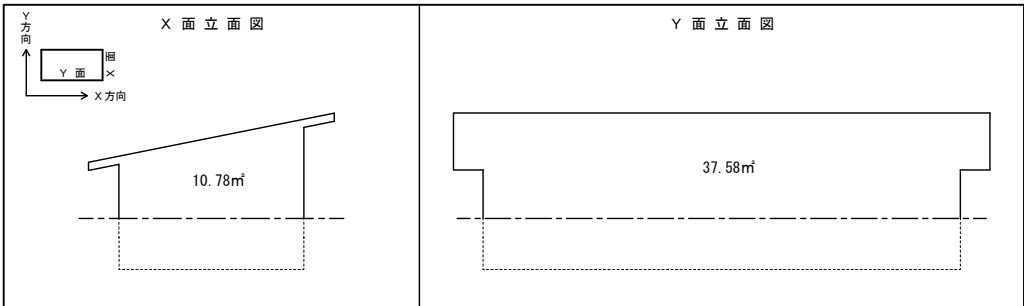
		単位床面積当たりの必要壁量Lw (単位 cm/m ²)		
		平 屋	2 階 建 て	
			1 階	2 階
○	早 見 表	1.4		
・	表計算ツール			

※ 早見表、及び表計算ツールは、(公財)日本住宅・木材技術センターの設計支援ツールを使用。

《表 3》 風圧力によって定まる壁量

		区 域	見付面積に乘ずる数値 (単位 cm/m ²)
・	(1)	特定行政庁がその地方における過去の風の記録を考慮してしばしば強い風が吹くと思つて規則で指定する区域	50を超え、75以下の範囲内において特定行政庁がその地方における風の状況に応じて規則で定める数値
○	(2)	(1)に掲げる区域以外の区域	50

(注) 床に敷着を用いる場合は柱との取付詳細図を添付し、床面の水平剛性はどのように考慮してあるか明記して下さい。



【 2 階側端部分壁量充足率】

《 X 方向》
A: 存在壁量 / 側端部分床面積 × 表2の数値 = 壁量充足率
B: 存在壁量 / 側端部分床面積 × 表2の数値 = 壁量充足率
C: 存在壁量 / 側端部分床面積 × 表2の数値 = 壁量充足率
D: 存在壁量 / 側端部分床面積 × 表2の数値 = 壁量充足率

【 1 階側端部分壁量充足率】

《 X 方向》
A: 存在壁量 / 側端部分床面積 × 表2の数値 = 壁量充足率
B: 存在壁量 / 側端部分床面積 × 表2の数値 = 壁量充足率
C: 存在壁量 / 側端部分床面積 × 表2の数値 = 壁量充足率
D: 存在壁量 / 側端部分床面積 × 表2の数値 = 壁量充足率

【 2 階耐力壁配置の検討】

X 方向 □ 両方の壁量充足率>1.0 □ 壁率比 ≥ 0.5
Y 方向 □ 両方の壁量充足率>1.0 □ 壁率比 ≥ 0.5
(※ 壁率比 : 壁量充足率の小さい数値/大きい数値)

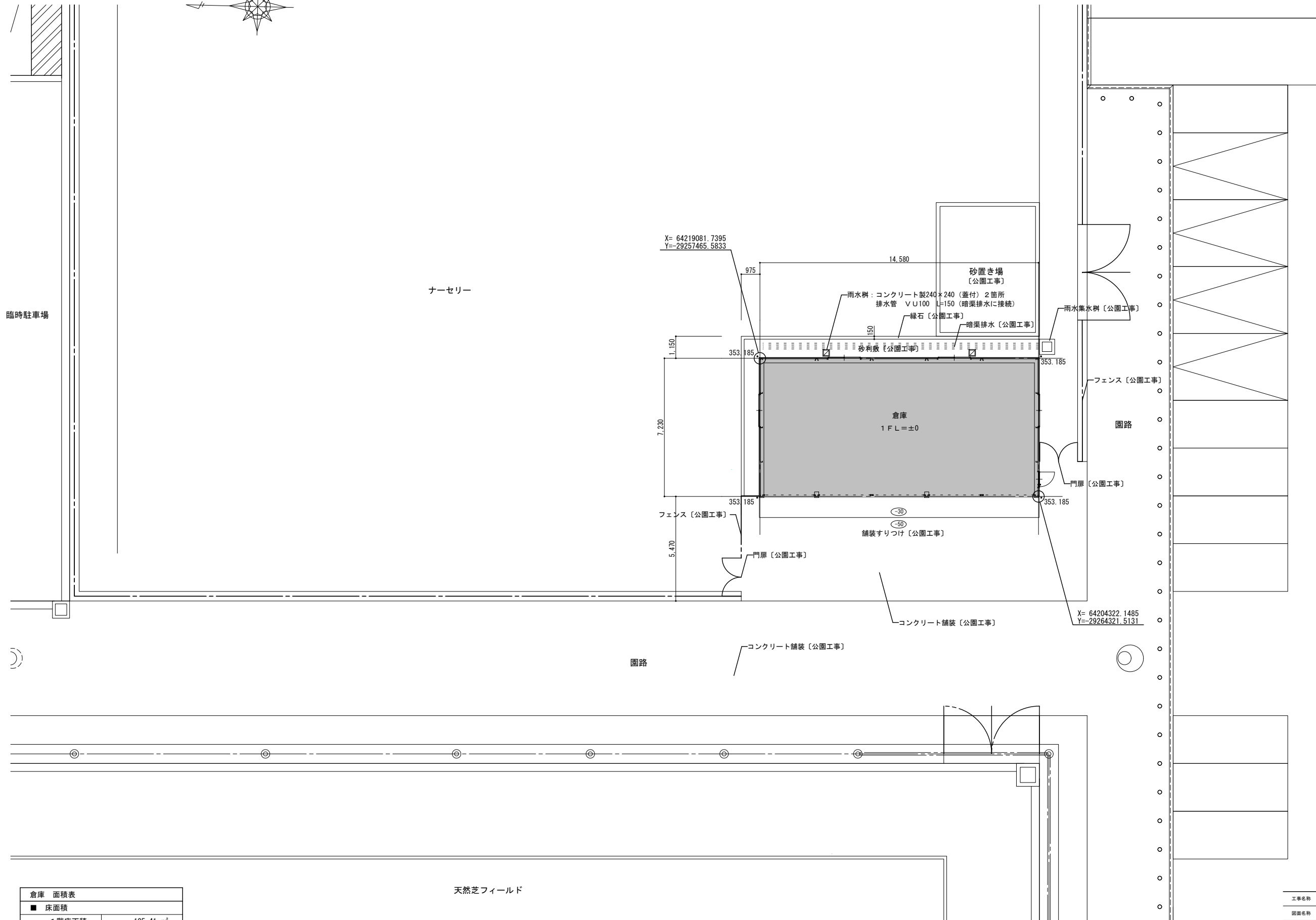
【 1 階耐力壁配置の検討】

X 方向 ☑ 両方の壁量充足率>1.0 ☑ 壁率比 ≥ 0.5
Y 方向 ☑ 両方の壁量充足率>1.0 ☑ 壁率比 ≥ 0.5

柱 の 小 径 の 検 討 (建築基準法施行令第43条)

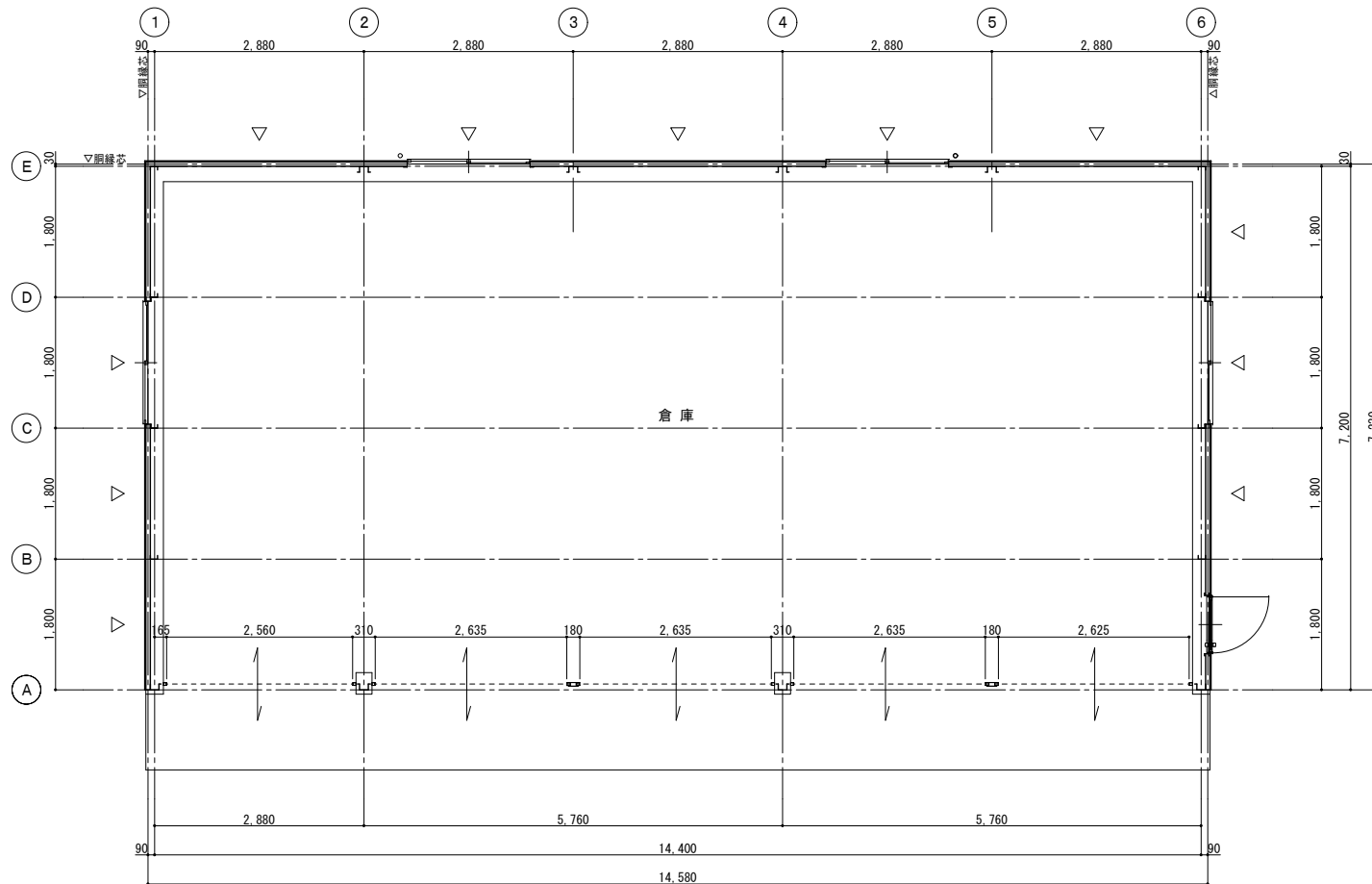
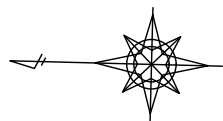
		柱の必要小径de (単位 mm)					
		平 屋		2 階 建 て			
		de/l	de(mm)以上	1 階	2 階	2 階	2 階
○	早 見 表	1/30	90				
・	表計算ツール						

※ 早見表、及び表計算ツールは、(公財)日本住宅・木材技術センターの設計支援ツールを使用。



※倉庫 1FL=設計GL (353.185) +100
 ※○内の数値は、1FLからのレベルを示す
 ※倉庫周囲の外構工事は全て公園工事とする

工事名称	国体 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事		
図面名称	倉庫 配置図・面積表		
縮 尺	1 : 100 (A3=1:200)	図面番号	A-401
DATE			

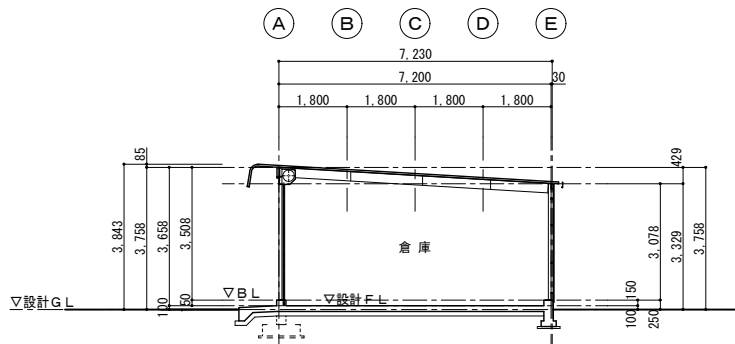


平面図 S=1:50

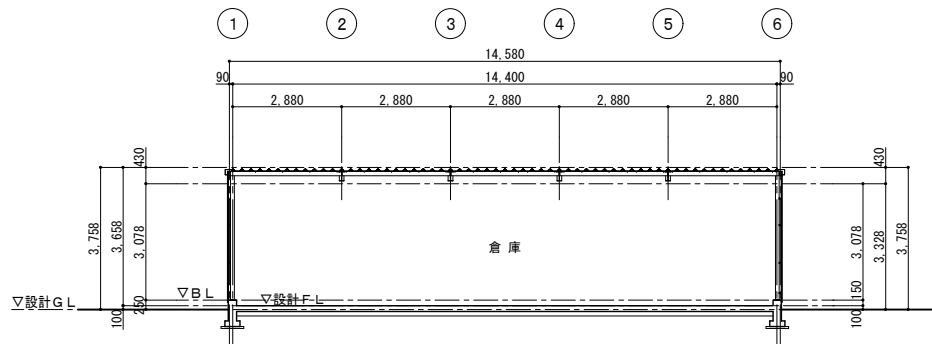
※▽印はブレース位置を示す

設計 G L = 353.185
※倉庫は危険物の貯蔵は行わない。

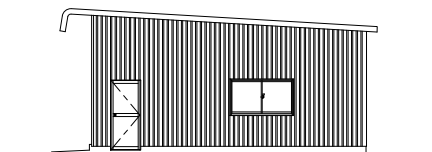
建築面積 : 14.58 × 7.23 = 105.41㎡
床面積 : 14.58 × 7.23 = 105.41㎡



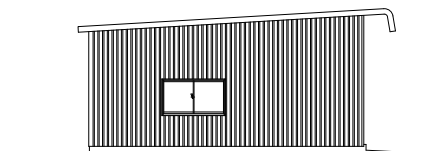
4 通り断面図 S=1:100



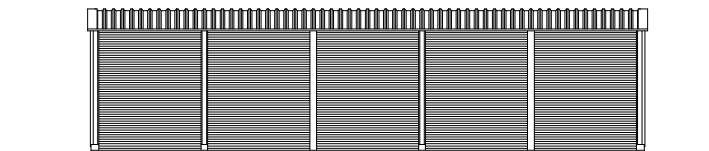
B 通り断面図 S=1:100



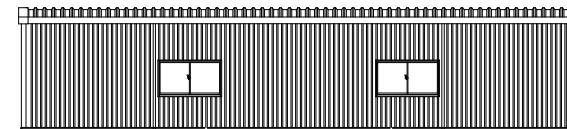
南面立面図 S=1:100



北面立面図 S=1:100



西面立面図 S=1:100



東面立面図 S=1:100

工事名称 : 国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事

図面名称 : 倉庫 平面図・立面図・断面図

縮 尺 : 1:100・50 (A3=1:200・100) 図面番号 : A-402

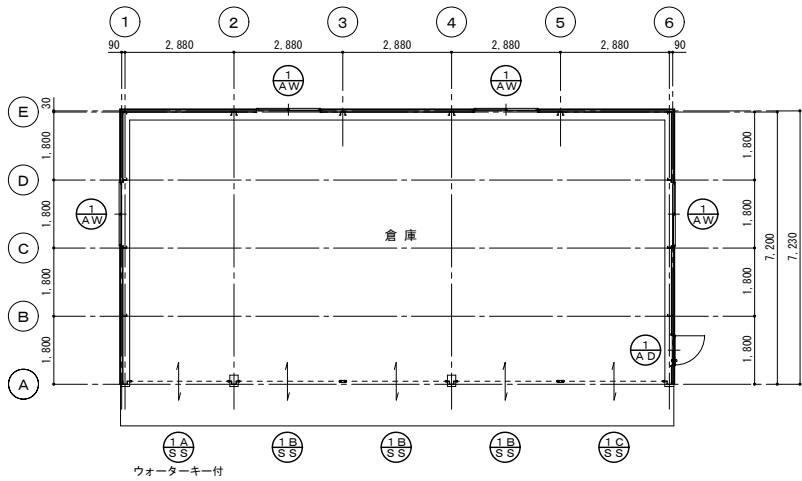
DATE : . . .

株 式 会 社 K R C

長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL. 026-285-7670

1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号

1級建築士 第293052号 渡利 真二

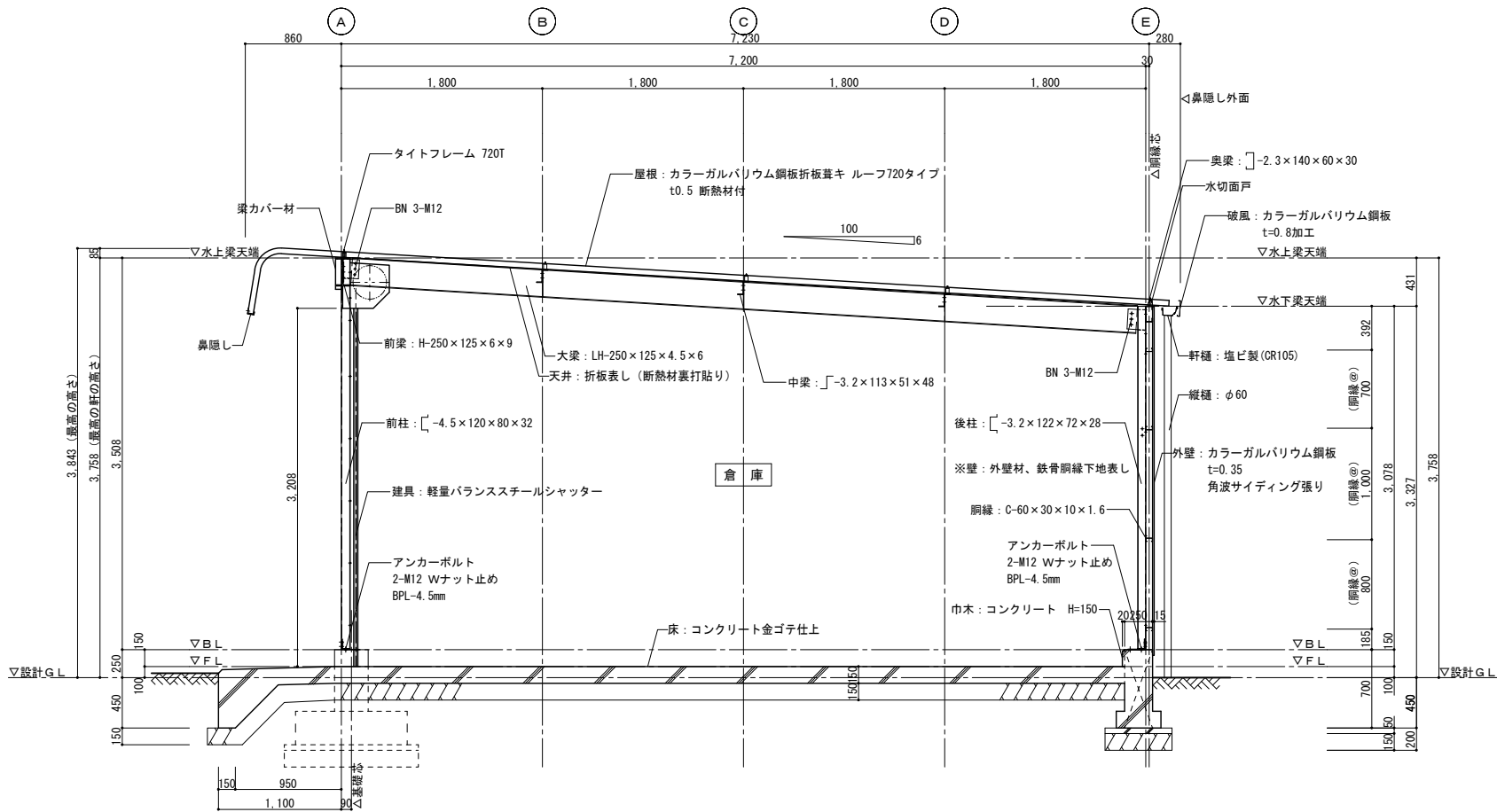


建具キープラン S=1:100

消防法無窓階の検討		(㎡)
必要面積	105.41×1/30=3.51	
有効面積	SS-1A 2.56×3.208×1=8.21	
	AD-1 0.80×1.854×1=1.48	
	計 9.69	
判定	3.51 < 9.69	OK

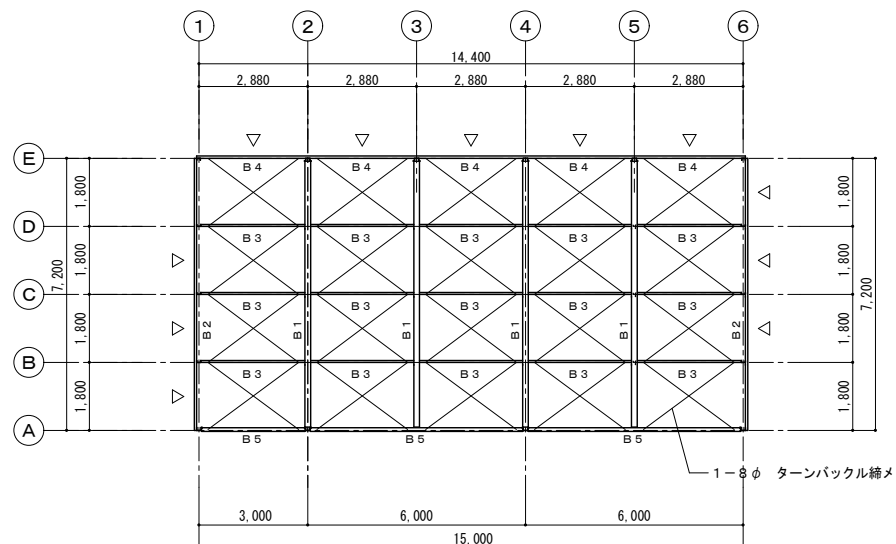
建 具 表 S=1:50

記 号	①AW	倉庫	①AS×1 ①BS×3 ①CS×1	倉庫
※ 図				
種 類	引き違い窓	鉄骨用半外付	軽量バランススチールシャッター (手動)	
口 数	4		5	
見 込	65			
材 種	カラーアルミ		スチール スラット: カラー鋼板 t 0.5	
金 物	クレセント 他付属金物一式		鍵、巻取シャフト、ブラケットケース、 ガイドレール、座板、他付属金物一式	
硝 子	型板ガラス t4			
備 考			SS-1A: ウォーターキー	
記 号	①AD	倉庫		
※ 図				
種 類	片開キ框ドア			
口 数	1			
見 込	30			
材 種	カラーアルミ			
金 物	握り玉・シリンダー錠・丁番			
硝 子	型ガラス t4・アルミパネル			
備 考				



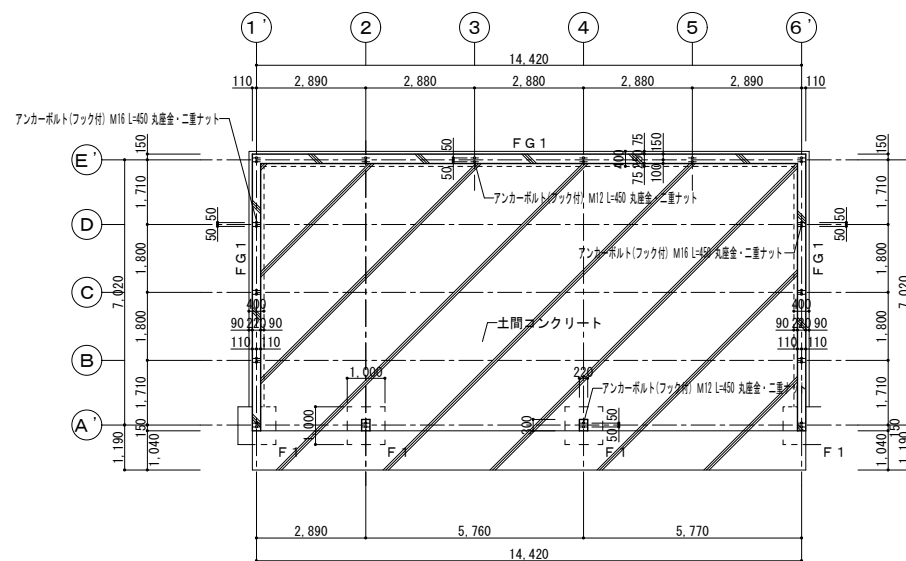
矩 計 図 S=1:30

- 〈共通事項〉
1. 寸法は参考寸法とする。
 2. 特記なき金物はステンレス製とする。
 3. ガラス押エは、原則としてシーリング押エとする。
 4. サッシ廻りのコーキングは、原則として変成シリコン系とする。



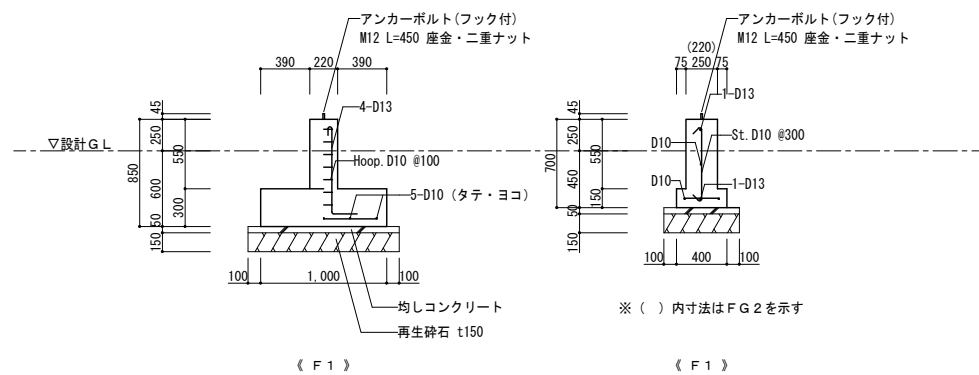
梁伏图 S=1:100

※ ▽印は壁ブレース位置を示す



基礎伏図 S=1:100

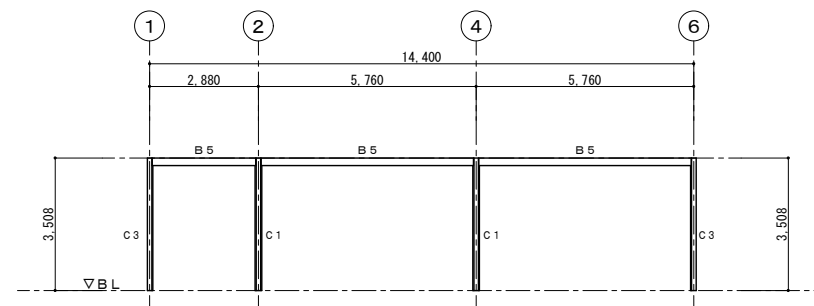
※ 土間コンクリートは t 150、配筋 : D13 @200 タテ・ヨコ



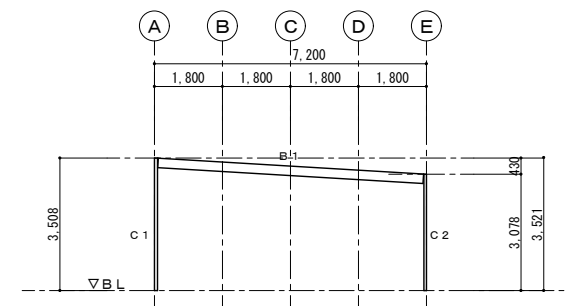
基礎詳細図 S=1:30

※基礎底面において、地耐力 30KN/m^2 （長期）以上を確認すること。

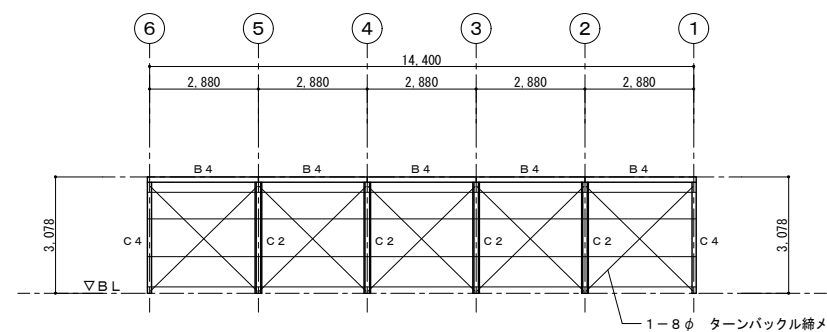
なお、基準値を下回る場合は、基礎形状および地盤改良について監督員と協議すること。



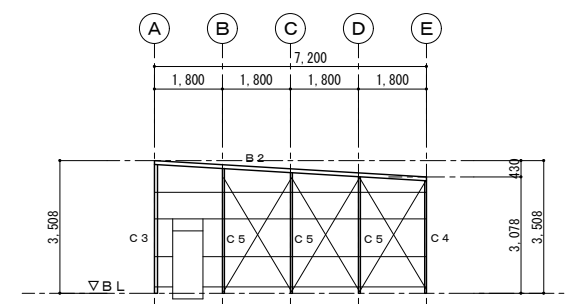
A通り軸組図 S=1:100



2 通り軸組図 S=1:100



E通り軸組図 S=1:100

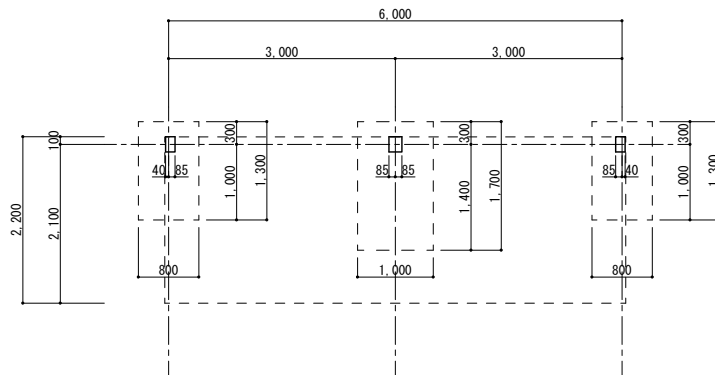
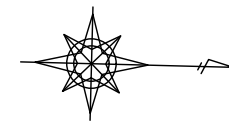


6通り軸組図 S=1:100

部 材 リ ス ト

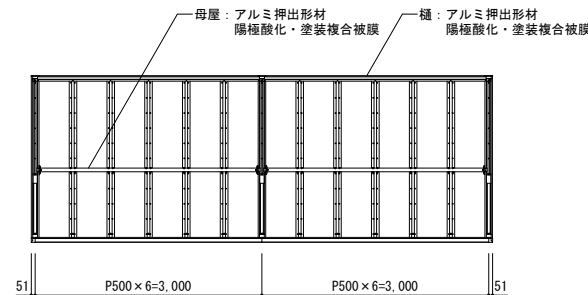
符 号	メ ン バ ー
C 1	 - 4. 5 x 120 x 80 x 32
C 2	 - 3. 2 x 122 x 72 x 28
C 3	 - 4. 5 x 120 x 80 x 76 x 32
C 4	 - 4. 5 x 100 x 60
C 5	 - 3. 2 x 100 x 50
B 1	L H - 250 x 125 x 4. 5 x 6
B 2	 - 2. 3 x 15 x 110 x 60 x 30
B 3	 - 3. 2 x 113 x 51 x 48
B 4	 - 2. 3 x 140 x 60 x 30
B 5	H - 250 x 125 x 6 x 9
胴縁	C - 60 x 30 x 10 x 1. 6
小屋ブレース	1 - 8 φ ターンバックル締メ
柱ブレース	1 - 8 φ ターンバックル締メ

工事名称	国権 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事		
図面名称	倉庫 構造図		
縮尺	1:100・30(A3=1:200・60)	図面番号	A-404
		DATE	



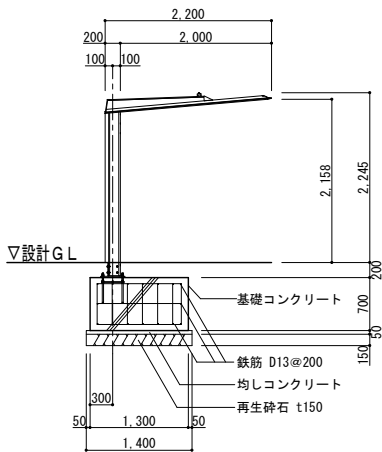
平面図 S=1:50

※シェルター１：設計G.L.=353.21
※シェルター２：設計G.L.=353.21

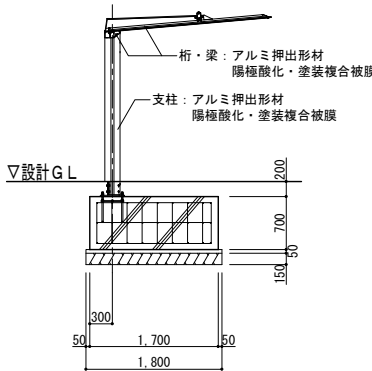


屋根伏図 S=1:50

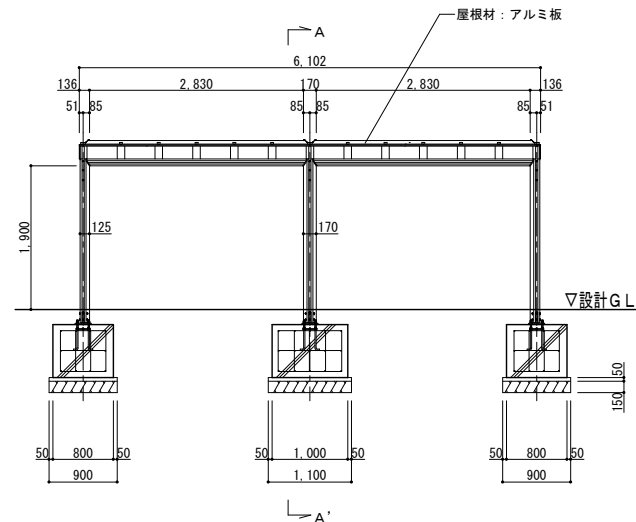
シェルター面積算定
建築面積：6.0×1.1=6.6㎡（屋根先端より1m後退）
床面積：6.0×2.1=12.6㎡



立面・断面図 S=1:50

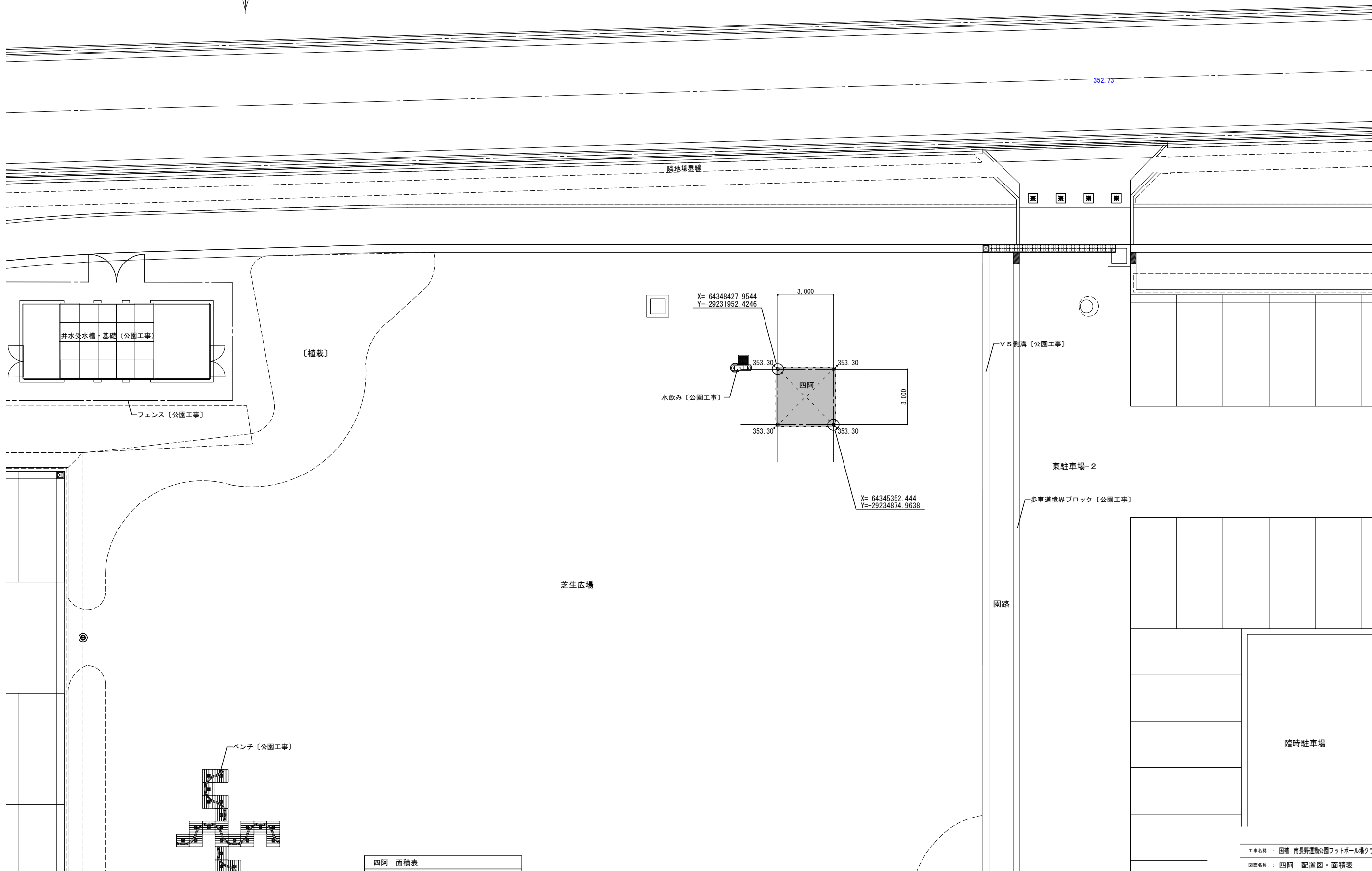
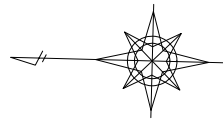


A-A'断面図 S=1:50



立面・断面図 S=1:50

※基礎底面において、地耐力50KN/㎡（長期）以上を確認すること。
なお、基準値を下回る場合は、基礎形状および地盤改良について監督員と協議すること。
※国土交通省告示第410号（平成14年5月14日）に適合するアルミニウム合金造とする。



四阿 面積表	
■ 床面積	
1階床面積	9.00 m ²
合 計	9.00 m ²
■ 建築面積	
	9.00 m ²

※四阿 設計G.L. (353.30)
※四阿の床仕上、ベンチ、周囲の外構工事は全て公園工事とする

工事名称 : 国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事

図面名称 : 四阿 配置図・面積表

縮 尺 : 1 : 100 (A3=1:200) 図面番号 : A-407

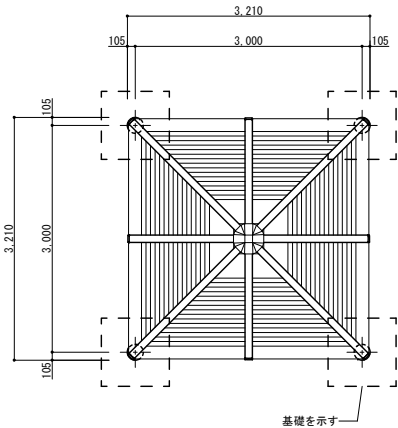
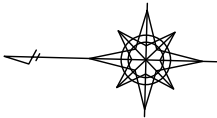
DATE : . . .

株 式 会 社 K R C

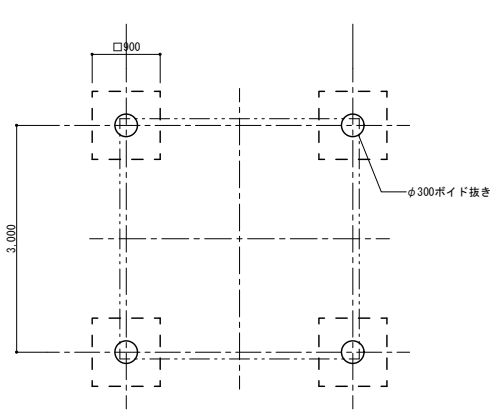
長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670

1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号

1級建築士 第293052号 渡利 真二

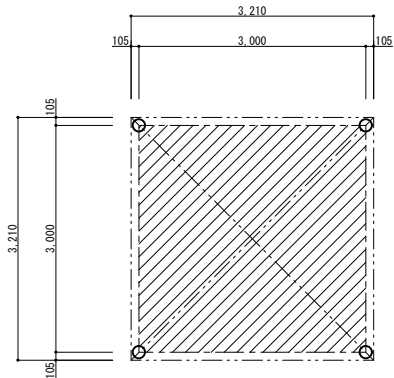


屋根伏図 S=1:50



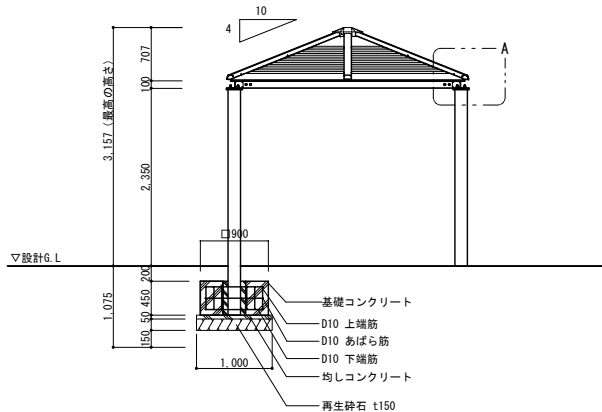
平面図 S=1:50

※設計 G L = 353.30

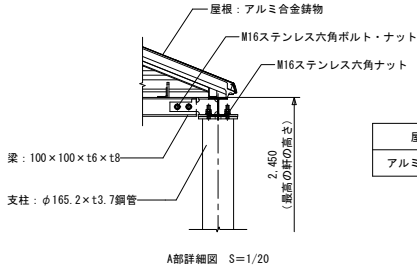


求積図 S=1:50

四阿面積算定
建築面積：3.0m×3.0m＝9.0㎡
床面積：3.0m×3.0m＝9.0㎡

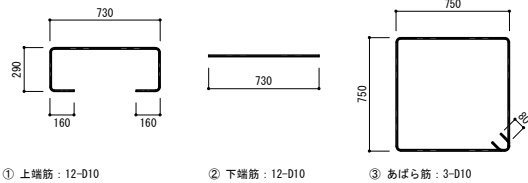


立面・断面図 S=1:50



A部詳細図 S=1:20

屋根材	材料
アルミ合金錆物	AC7A



鉄筋加工図 S=1:25

鉄筋重量表						(基礎1ヶ所当り)	
番号	種別	鉄筋径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg)	総重量 (kg)
①	上端筋	D10	1,630	12	0.56	0.91	10.92
②	下端筋	D10	730	12	0.56	0.41	4.92
③	あばら筋	D10	3,160	3	0.56	1.77	5.31
合計						21.15	kg

※基礎底面において、地耐力50KN/㎡（長期）以上を確認すること。
なお、基準値を下回る場合は、基礎形状および地盤改良について監督員と協議すること。

屋根：アルミ合金錆物 合成樹脂塗装（アースグレー）
支柱：φ165.2×t3.7鋼管 溶融亜鉛メッキ 合成樹脂塗装（アースグレー）
梁：H-100×100×t6×t8H型钢 溶融亜鉛メッキ 合成樹脂塗装（アースグレー）

※ISO9001 / ISO14001認証取得企業の製品とする。
※(一社)日本公園施設業協会 SPL表示認定企業製品とする。
※(一社)日本公園施設業協会団体賠償責任保険に加入した製品とする。
※使用建材は規制対象外の建材とする。